昭和24年3月19日　第3種郵物認可　昭和40年1月20日印刷　昭和40年1月25日発行　第46輯第1号（毎月1回25日発行）

建築と社会

1'65

尾崎久助



日本建築協会



15日間の
テストの答えは
秀
床材Pタイルです

300時間・紫外線にさらす老化試験＋120時間・4～8％の飽和吸水量の石の上におく耐湿試験＋24時間・皮や固いブラシで摩擦を続ける耐摩耗試験＋90kgの重量をハイヒールの踵の面積に長時間押し圧するへこみ試験＋シーグラー式滑り試験etc…365日の変化を人工的につくりだし　Pタイル一枚にたえずテストを続けています。日本独特の〔湿気の多い〕気候にも適応した製品で　さらに米国連邦規格をはるかにりょうがしています。「Pタイルなら安心」とその道のベテランがいう言葉にはこのような連続したテストの成績と世界的水準を上まわる品質とで裏付けされています。床材は**プラスタイルP！**床材の代名詞としてつかわれています。

三星プラスタイルP

田島応用化工KK

東　京／東京都千代田区神田岩本町13　TEL(866)代6101
大　阪／大阪市西区京町堀1ノ74　TEL(441)代5951
名古屋／名古屋市西区桜木町3丁目8番地　TEL(57)6361
広　島／広島市鉄砲町108　TEL(21)2281
博　多／福岡市万行寺前町14　TEL(2)2807

床材のハイファッション マチコ カラー…

●美しいファッションの色
米国連邦規格合格の丈夫さ

美しい色でがぜん注目されたマチコカラー！きびしい規格にも余裕の合格をした丈夫さアメリカはもちろんドイツやイタリヤでも定評のあるマチコタイルは松屋など有名ビルに続々採用されています。……

美しい色が20種 まねのできない国際的なファッションの色です。 オートメ工場で量産していますからいついかなるご注文にもOKです。

■床材のハイ ファッション
マチコV
ビニール アスベストス タイル®

リノリユーム・リノタイル・ビニラートタイル・マチコタイル・ナイアンリノタイル総発売元

東洋リノリユーム株式会社

床材の総合メーカー

大阪市南区鰻屋町通り4の25三和ビル ■TEL大 阪 (252)2921
東京都中央区銀座4丁目三和ビル ■TEL東 京 (567)8341
名古屋市中区菱屋町2の11名古屋センタービル ■TEL名古屋 (23)5380
福岡市今泉町4丁目1260の2 ■TEL福 岡 (75)0425
広島市東観音町1の2067 ■TEL広 島 (31)6139

MATICO



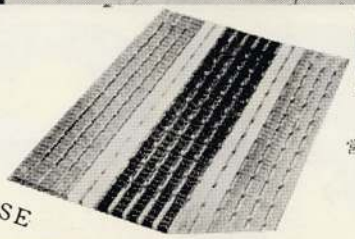


JEWELRY COLORS
IN

グッドセンスを
敷こう
ストレートで
行こう

ビニール

ストレート ライン マット



WAKE A GOOD SENSE
PAT. PENDING

ミツシマ
近代おそうじ百貨
ミツシマ工業株式会社

本社久世工場／京都分工場
営業所・東京都中央区日本橋芳町一の5・(671) 4714
・名古屋市昭和区車田町2の22・(73) 5138
・京都市中京区蛸薬師通鳥丸西入・(22) 5363
・大阪市西区北堀江上通一丁目・(531) 3514
・福岡市下対馬小路一二八・(3) 2706

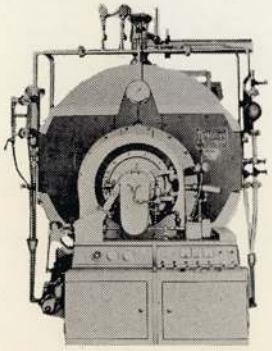
…ボイラに専念する…

…製品の格調…

効率87%以上!

MPボイラ

700型開発
MP－3Tバーナ



あらゆる負荷で
コンスタントに効率87%発揮

株式会社 平川鐵工所

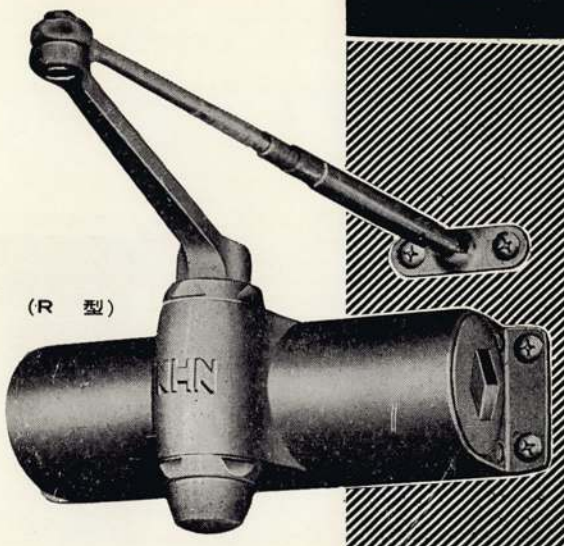
本社・工場	大阪市大淀区大淀町北1－11	TEL(458)8681代
東京営業所	東京都中央区八重洲6－7	TEL(272)2721代
名古屋出張所	名古屋市中区矢場町1－37	TEL (25) 8919直
九州出張所	北九州市小倉区富野545	TEL (52) 4862
滋賀工場	滋賀県野洲郡野洲町大字三上	TEL野洲局405

あなたの忠実な…

ドアーボーイ！

＊紫綬褒章に輝く＊

ニッカナ
ドアーチエック



(R 型)

型状優美
故障絶無

株式会社 ニッカナ

製造元 ダイハツ工業株式會社

ボニーシーラー

最高級のシール材
24時間でゴム状になる

コーキング材に グレインコート

ソフトパテ

アルミサッシュ
ガラス工事に

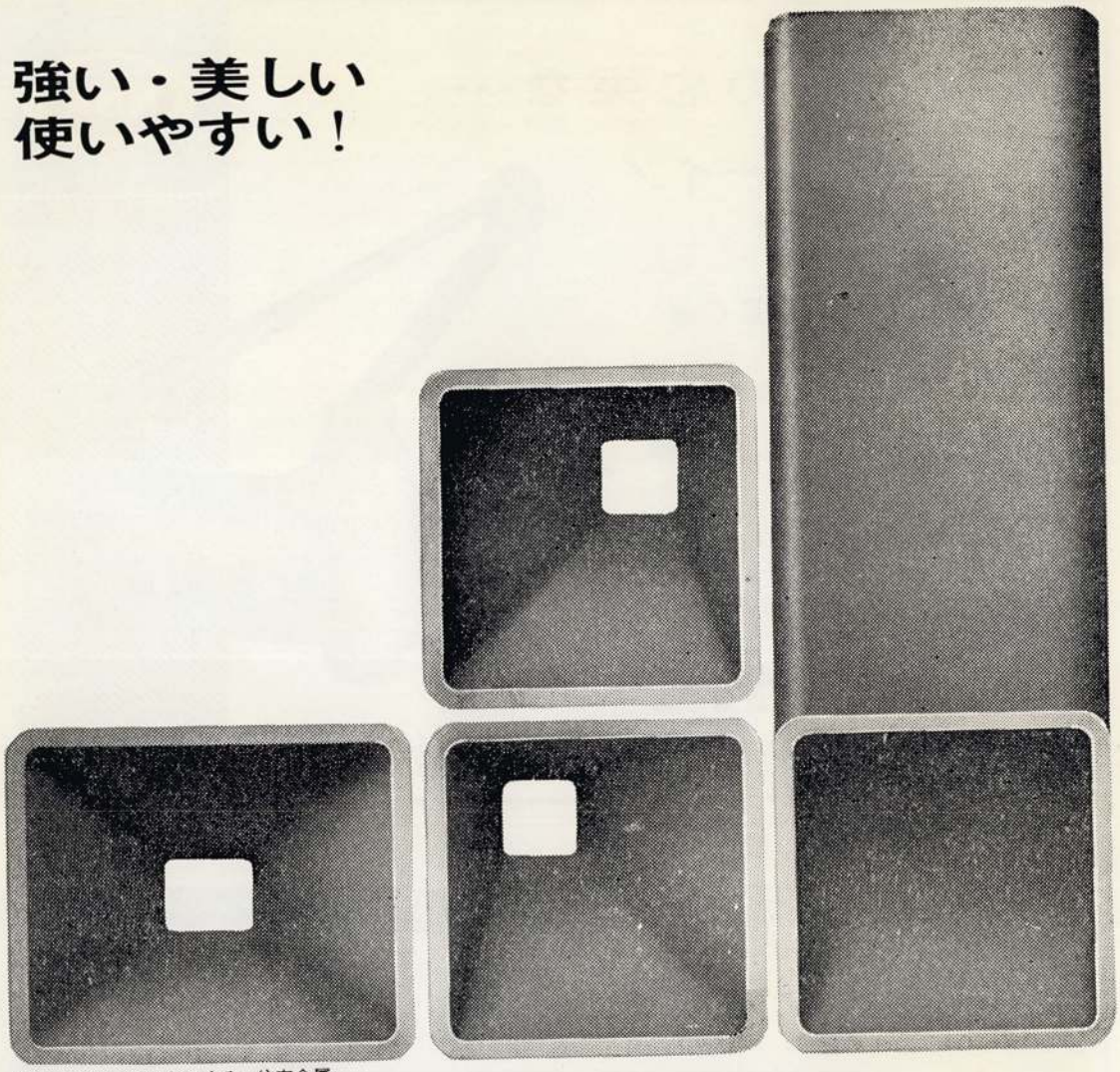


テイパ化工株式會社

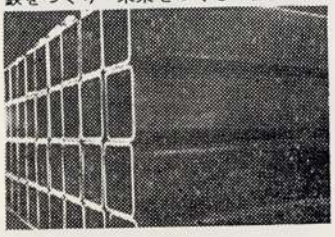
大阪市東淀川区下新庄町2の263

電話 (381) 1118、5509

強い・美しい
使いやすい！



鉄をつくり・未来をつくる・住友金属



住友の 角形鋼管

住友金属

住友金属工業株式会社
本社／大阪市東区北浜5の15（新住友ビル）
支社／東京／営業所／福岡・広島・名古屋・仙台・札幌

燃えない都市づくりのため
角形鋼管が　注目をあびてきました。欧米諸国では　角形鋼管のシャープなもち味が早くから買われ　学校やビルを初め住宅などにもどしどし使われています。

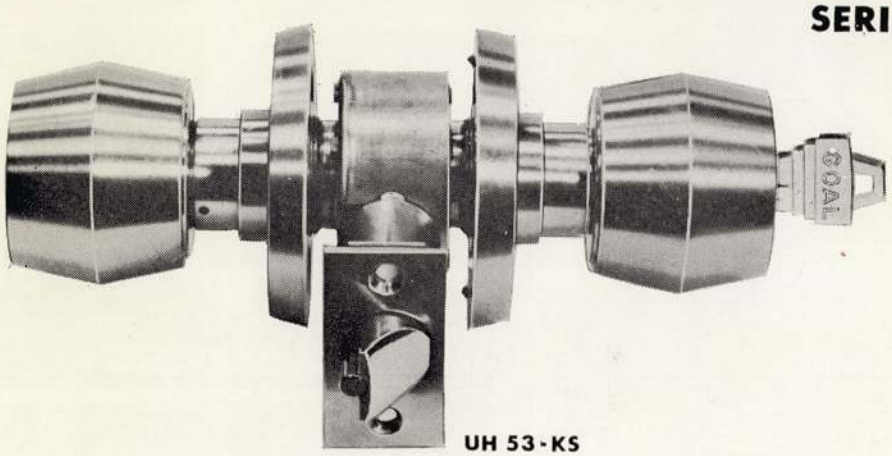
■すぐれた断面性能　■パイプの強さに角形の使いやすさをプラス

■両端を閉鎖すれば　内面からの腐食度はゼロ。耐久力は抜群。

■仕上材とよく調和し加工・組立も簡単。

"強く　美しく　使いやすく"
現代感覚を生かすのに最適です。

GOAL® ユニロックUH SERIES



UH 53-KS

日本で始めて
ヘビーデューティー誕生!!

外国品と絶対に遜色のない製品、近代建築にぴったりの優美なデザイン、内部にはゴール高級六本ピンシリンダーを装置し、精密堅牢な構造に設計しました。
ホテル・ビル・銀行・学校から高級住宅に至るまで各重量扉に最適です。

鍵をつくって50年!!

GOOD DESIGN GOOD FUNCTION

株式会社 ゴール

本社・工場 大阪市東淀川区三津屋北通四丁三〇 電話 大阪(92)代表 一七七一~五番
営業所 東京・名古屋・福岡・札幌・広島・仙台

規格化と量産による安くて安全な

クマリフト

押釦全自動式小型昇降機



■つねに新しいアイデアで業界をリードする
クマリフトは生産量でも断然業界第1位です

◆工場生産される配線工事

業界初のコンセント方式を採用しましたので、機械据付工事が終ると同時に運転が出来ます。従って工期が30%方短縮されました。

◆コンベヤーラインに乗る完全塗装

パーカー処理装置およびコンベヤー式赤外線焼付炉等、一連の最新式塗装工場が完成しましたので、製品は一層優美完全になりました。

クマリフトは一貫メーカーとしてすぐれたアイデアと量産により、機構、価格、納期などすべでに御満足いただける様、日夜努力いたしております。人手不足の折柄、料理・小荷物・書類等の運搬用として、あらゆる職場に御採用下さい。

機種	積載量	毎分速度	カゴ寸法 間口×奥行×高
T－30	30kg	20m	500×500×600
M－50	50〃	30〃	600×600×750
M－100	100〃	30〃	750×750×900
M－200	200〃	30〃	900×900×1,050
M－300	300〃	30〃	1,000×1,000×1,200

電源はJ－30B・M－50Bは交流100V
J－30A・M－50Aを含むその他は交流200Vです

KUMA

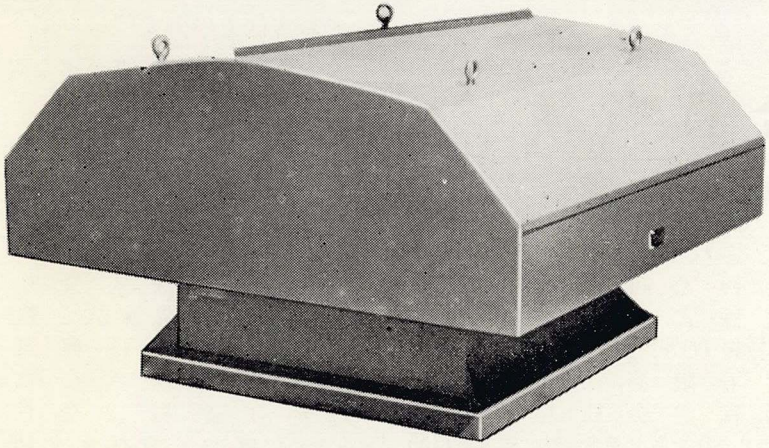
クマガイ工業株式会社

大阪市西区京町堀2－30　電話 大阪(443)3421～5／東京都北区岸町1－9　電話 東京(913)3146～8／名古屋市中区東陽町7－2　電話 名古屋(24)0372・(25)9041
京都市上京区智恵光院通り丸太町上ル　電話　京都(84)3404・5986　／　福岡市清川町3－26　電話　福岡(2)4777　／　広島市小網町39　電話　広島(31)1250

よりよい作業環境をつくる

栗田屋上換気扇

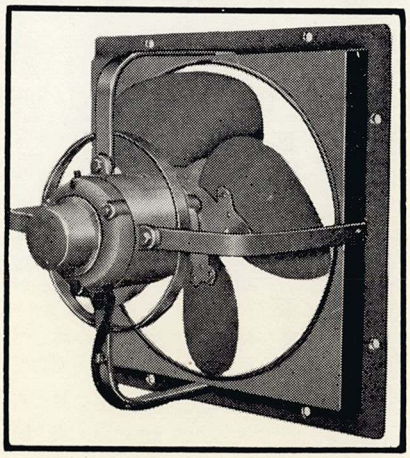
KURITA ROOF VENTILATING FANS



RV—S型

栗田圧力扇

KURITA PRESSURE FAN



関西地区総代理店 湊商事株式会社

大阪市福島区上福島北3丁目94番地(一宇ビル) 電話大阪(458)8761(代表)~8

日本アスファルト防水工業協同組合

● 建設省認可／東計第240号　● 資本金　840万円

防水工事の
コンサルタント！

年限保証と責任施工の日アス防水工業協組の組合員は全国に配置されております。
信頼される施工技術と、たゆまぬ研究と努力でお客様方の御要望にお応へしたいと念じております。防水工事の事なら　下記の日アス組合員に、御相談下さい。

■組合員名簿

近畿地区

日新工材株式会社	大阪	(541) 3785
マルエス工業株式会社	大阪	(458) 4841
株式会社新光商店	大阪	(371) 3220
清水興業株式会社	大阪	(371) 0251
中村瀝青工業株式会社	神戸	(34) 5884
棚田建材有限会社	神戸	(22) 0674
石橋建材株式会社	福井	(3) 0775
マサル瀝青工業株式会社大阪営業所	大阪	(481) 7355
日新建工株式会社京都出張所	京都	(69) 4676

東海地区

中央建材工業株式会社	名古屋	(25) 3541
日本建材興業株式会社	名古屋	(57) 5541
宮崎建材店	名古屋	(32) 1311

中国地区

豊永建材株式会社	広島	(61) 6371
東中国防水工業有限会社	岡山	(23) 2211

四国地区

株式会社山本商会	松山	(2) 2717
大三工業株式会社	高松	(2) 8697
株式会社高知アスファルト工業	高知	(2) 3244
大三工業所	徳島	(2) 9243

九州地区

日新興業株式会社	延岡	4305
株式会社工材社	北九州	(38) 1468
安藤工事株式会社	福岡	(2) 6968
株式会社大二商会	宮崎	5001
株式会社北原建材商会	鹿児島	(2) 8859
日建工材株式会社	福岡	(75) 7752

関東地区

伊藤建材株式会社	東京	(841) 5311
北条瀝青工業株式会社	東京	(551) 2670
有限会社金岡興業	東京	(361) 5947
瀝青建材株式会社	東京	(541) 6947
大和工業株式会社	東京	(801) 6368
マサル瀝青工業株式会社	東京	(841) 8501
藤井工業株式会社	東京	(941) 0271
鶺田工業株式会社	東京	(331) 3468
木下工業株式会社	東京	(633) 4231
日新建工株式会社	東京	(891) 1144
野口工業株式会社	東京	(441) 3751
株式会社奈良屋商店	水戸	(3) 0171
石田建材工業株式会社	高崎	(2) 3301
同和建業株式会社	新潟	(4) 0901
合名会社島屋建設	金沢	(2) 0085
有限会社折橋政次郎商店	富山	(2) 0999
株式会社三井工業所	静岡	(85) 5718
協和建材工業株式会社	清水	(2) 5665
大和工業株式会社富山営業所	富山	(3) 4385

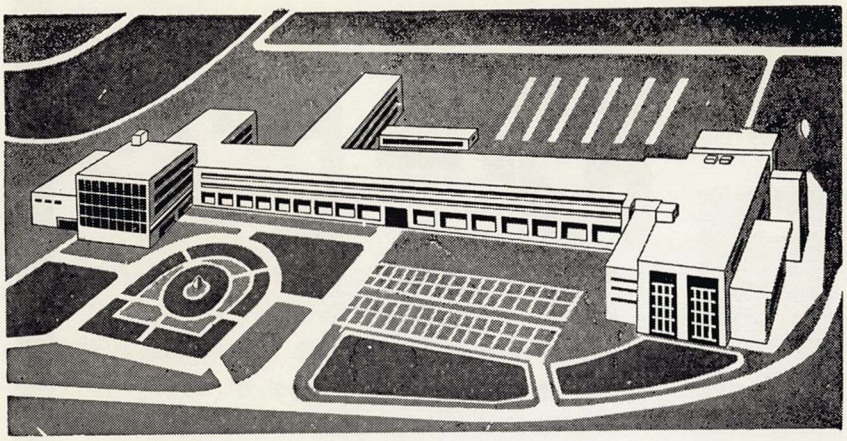
東北地区

日新建工株式会社仙台出張所	仙台	(3) 7790

北海道地区

日本スレート株式会社	札幌	(2) 3458
日新建工株式会社札幌出張所	札幌	(2) 5015

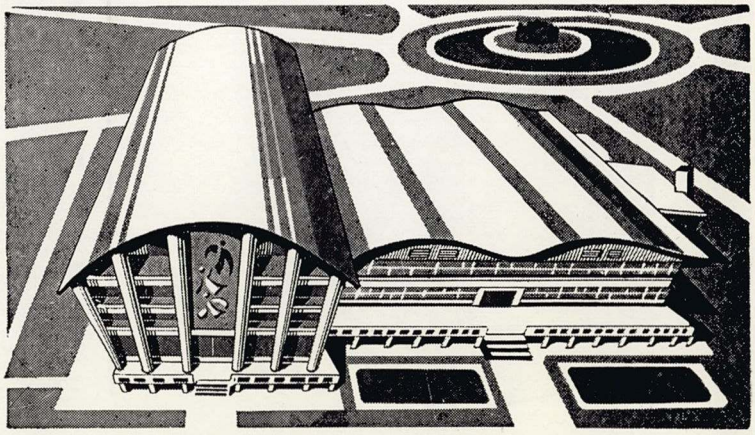
本　部　東京都足立区千住東町93（日新工業内）　電話（888）2101～9
関西支部　大阪市西区新町北通1～40（日新工業内）　電話（531）5281～3
九州支部　福岡市大手門1の16（日新工業内）　電話（74）3461～3



軽量、緩勾配屋根に
軽快な近代建築材

日泝スーパーアルソイド
日泝ゴールデンルーフイング

伸縮目地材　エキスパンタイト
　　セロタイト
コーギング材　サッシール



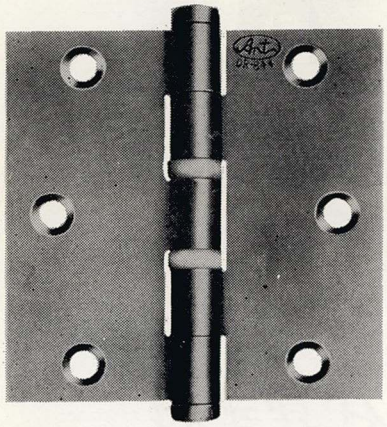
日泝化学工業株式会社

本　　社　東京都中央区八重洲1—3
　　TEL（271）7000・5463～5
名古屋営業所　名古屋市港区南十一番町2—6
　　TEL（66）8251～5

大阪営業所及大阪工場
　大阪市東淀川区堀上通り3—39
　TEL（392）0051～6

アート ドアーヒンジ

●ドアーを大切にするヒンジ

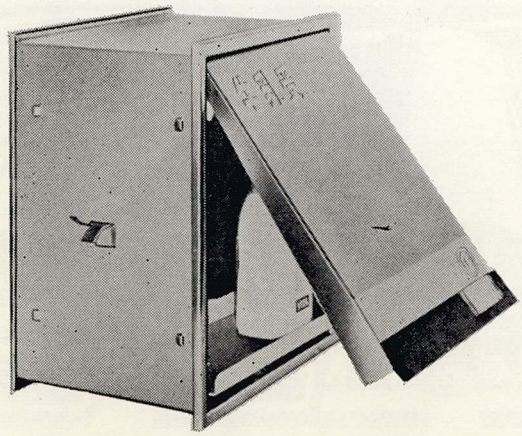


●耐蝕性・耐熱性にすぐれ、錆びたり変色したりすることはありません
●高精度を誇り●音を立てない●磨耗がない●注油がいらない●衝撃に強い……など数多くの特長をもっています

●鉄筋住宅・アパート・マンションにマッチする機械性
——牛乳の安全と盗難防止の

ミルク チェスト

近代建築にふさわしいスタイル！ステンレスにヘヤーライン・ラッカー焼付加工し内部は完全防錆下地メラミン焼付塗装



■牛乳の安全性…盗難を防止します
■牛乳が配達される場合…表蓋が自動的に施錠されます
■牛乳を取出す場所…裏蓋はかんたんに開きます（表蓋は施錠されたままです）
■空瓶を入れる場合…空瓶を受台に置くと、表蓋が自由に開けられるようになります
■受台には 180cc瓶3本が置けます
■取付けはかんたんです
■ミルクチェストの壁厚は 100㎜、150㎜、180㎜ の3種があり、ご要求に応じて製作しております

●JIS規格表示許可工場　日本住宅公団指定メーカー

Art

永和工業株式会社

東　京　東京都千代田区外神田3—15—4　TEL東京(255)4831
営業所　（日商会館ビル113号）

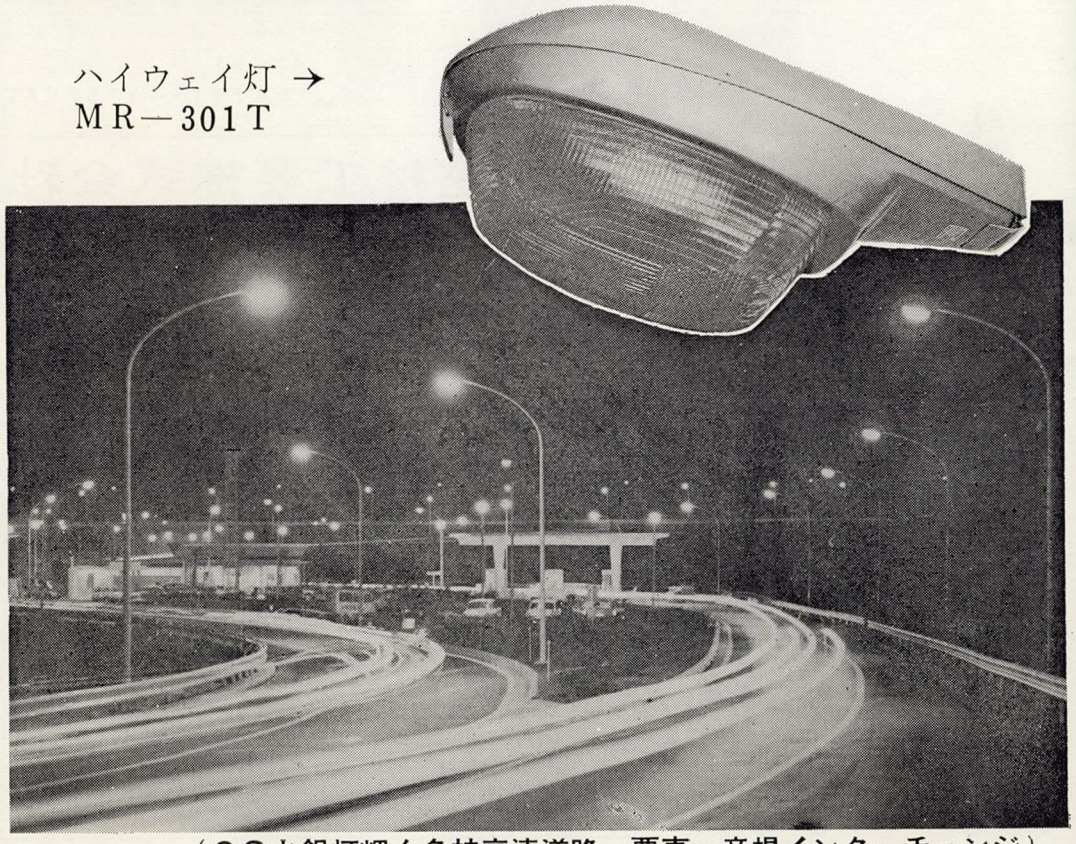
ハイウェイからあなたのお庭まで…

GS 水銀灯

光とともに大きく伸びる！

ハイウェイの決定版!!
最高技術を誇る
“カットオフ”

ハイウェイ灯 →
MR—301T



（GS水銀灯輝く名神高速道路…栗東・彦根インターチェンジ）

STORAGE GS BATTERIES

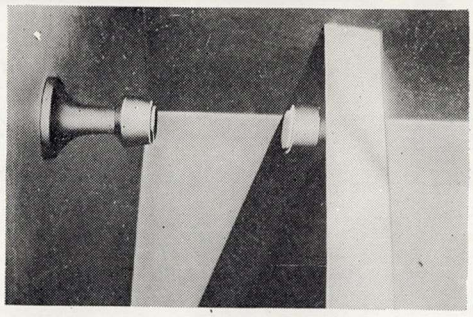
日本電池株式會社

本　社　京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町３－２
支　店　東京・大阪・名古屋・福岡・札幌
営業所　仙台・高松・金沢・広島　駐在所　岡山・静岡

住友の永久磁石を使った〈新しいドアー・ホルダー〉

サンエイ マグダー

従来のゴム製戸当りなどの〈くいこみ〉〈かみ合わせ〉
構造と違い近代的特色をもち、大量生産により廉価です。



＊半永久的な保持力
永久磁石（5kgに耐える能力）を使用していますから、保持力は半永久的です。

＊美しい合成樹脂外装
合成樹脂の外装は錆びることなく変色することのない近代色が、ドアーのポイントになります。

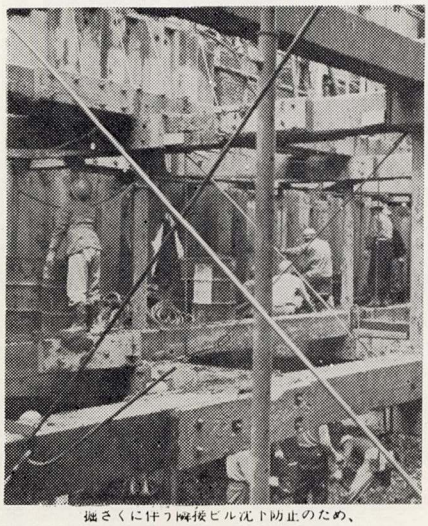
＊軽快なワンタッチ
従来のゴム戸当りと違って、ワンタッチで軽く接触するだけで、ホールドします。

＊強い磁気力
磁気力が強力なため、風力などにあふられて離れるようなことは、全然ありません。

＊床用デザインのものもあります。

大阪市生野区巽矢柄町一五一番地
大阪（741）4655（716）0188～9

■ 三榮建材工業株式会社



掘さくに伴う隣接ビル沈下防止のため、
シートパイル背面への薬液注入現場

薬液注入……

M·I並びにL·W工法

ケ・ミイ・ゼクト（東大生研、浅岩・今岡博士特許）

特徴
- 浸透性が良く低圧で注入出来る
- 両液の反応成生物であるゲルは水に不溶性で短時分で固結し収縮性がない。
- ゲルで固結した砂層は5～10kg/cm²の圧縮強度を有する。
- Y管より注入するので土質に応じ無駄なく注入出来る。

不安定水ガラス　（樋口博士特許）
- M·Iに次ぐ浸透性を有し強度大で工費低廉である。要すればセメント注入への切替が容易である。
- グラウトの凝固時間の調節が容易で止水効果大である。
- 土質によってはM·I工法或はセメントベントナイト工法と併用して最も経済的に目的を達成出来る。

用途
- 軟弱地盤、破砕帯の固結強化
- ずい道掘さく、押込式及びシールド工法の地盤固結
- 隣接建造物の沈下防止
- あらゆる種類の漏湧水の止水

完全な防水に……

レオパノールBA

詳細に関しては弊社営業部にお問合せ下さい。

日本綜合防水株式会社

取締役社長　山崎慎二

本　　社　東京都千代田区神田猿楽町1の9(大平舎ビル2階)　電話(201)代表　7691
大阪営業所　大阪市東区道修町1－4(松井ビル)　電話(202)6884
工事々務所　東京都板橋区板橋町6の3356　電話(962)2581

きんきの サッシ



＊営業品目
■スチールサッシ・ドア・アルミサッシ・ドア
　ステンレスサッシ・ドア・カーテンウオール
■冷暖房・給排水・衛生設備工事
■電気設備工事
■建設用機械

発売元
近畿工業株式会社

本　　社　大阪市北区梅ケ枝町１０８（新梅ケ枝町ビル）
　　電話 大阪（341）１８５６・５８３１（代表）
東京支店　東京都千代田区神田岩本町２（共同ビル）
　　電話 東京（254）２０５１（代表）
名古屋支店　名古屋市中村区平池町４丁目４８の２
　　電話 名古屋（55）２５２２・８６５５番

製造元 近畿車輌株式会社



古い信用と 新しい技術

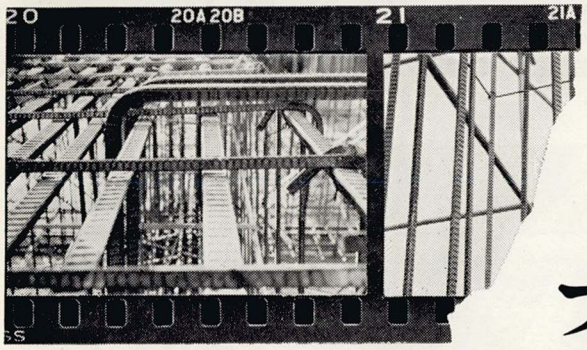
各種金庫扉
各種鋼製家具

株式会社 **寺西金庫工業所**

大阪市北区北森町30番地　電話(231)　5888・4938・(361)6484





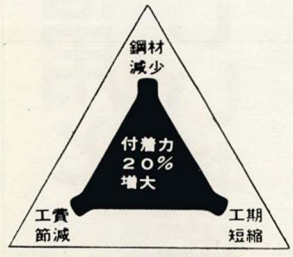


これからが ブームの本番

ホテル、ビル、工場、学校…　この一年半、忙しく働き続けた**トリコン**北は札幌から南は指宿まで、日本国中に施工例がひろがりました。性能が高く経済的な**トリコン**。海外からも技術導入の希望が寄せられました。建設ブームといわれる中でも、**トリコン**の伸びは格別。まさに**トリコン**ブームです。○工事の大小は問いません。あなたもぜひお使い下さい。

トリコンのカタログ・資料請求は……

東京都千代田区丸ノ内1丁目1（鉄鋼ビル）
（株）神戸製鋼所 ═══ 東京支社
大阪市東区北浜3丁目（大阪神鋼ビル）
（株）神戸製鋼所 ═══ 大阪事務所



新しい鉄筋
TRICON
トリコン
神戸製鋼所

建設大臣の特別認定　トリコンはその高性能を認められ、建築基準法に基づく特別認定を得ております

会員の頁用

会員の頁へどしどしお便りを！

毎号，「会員の頁」欄に会員の皆さんの声をのせており好評をえております。
協会に対する注文，掲載文に対する感想，ご意見，建築界のいろいろな問題に対するご感想，会員間の通信その他何でもよいですから，どしどしお便りをおよせ下さい。「会員の頁」欄に集録していきます。字数はハガキに書ける程度でよいと思います。このハガキをご利用下されば幸いです。

掲載の分には粗品呈上

日本建築協会編集委員会

郵便はがき

5円切手をお貼り下さい

大阪市東区北浜三―三七

日本建築協会
「建築と社会」会員の頁欄 行

会員の頁原稿

住　所

役　職　　氏　名

会員の頁へどしどしお便りを！

このハガキをご利用下さい。

1. 字　数　600字以内（原則として）長くなる場合は別に手紙でお送り下さい。
1. 期　日　自　由
1. 内　容　内容も自由です。
1. 掲　載　掲載号を一冊呈上いたします。
1. 粗品進呈　掲載の分には粗品呈上します。
1. とく名　とく名希望の場合はその旨明記のこと。

賀　正　1965年

新　年　午　餐　会　開　催

新年午餐会を下記により開催致します。恒例により昨年11月に勲章並びに国家褒章を受けられた会員諸氏をお招きしてお祝辞を申し上げたいと存じます。何卒お誘い合せの上多数ご出席下さいますようお願い申し上げます。

記

日　時　昭和39年1月14日（木）11時半～1時
会　場　大阪建設会館6階集会場（東区京橋3）
会　費　￥1000円
お申込
- 1月12日迄に会費を添え事務局までお申込み下さい。
- 準備の都合により当日の新規お申込受付は致しませんのでご了承下さい。
- お申込者ご欠席の場合でも12日までにお知らせがない場合は会費のご負担を願います。

日本建築協会欧州建築事情視察団募集（予告）

□期　間　40年6月5日→6月28日（24日間）
□総経費　758,000円（航空・鉄道運賃・送迎観光バス料金・ホテル料金・食事料金・手荷物運搬料金・空港税）
□行　程　（東京）—（アテネ）—（ローマ）—（フローレンス）—（ミラノ）—（ジュネーブ）—（パリ）—（ロンドン）—（デュッセルドルフ）—（ベルリン）—（ハンブルグ）—（コペンハーゲン）—（ストックホルム）—（アムステルダム）—（東京）
□申　込　ご希望の方は，事務局までお申出下さい。2月号で詳細をお知らせいたします。
□視察団は15名で編成いたします。
□協　賛　日本交通公社海外旅行関西事務所

松下電器産業（株）枚方体育館工事現場見学会

（サスペンション鉄骨構造見学会）

日　時　1月20日（水）出発・午後1時30分→解散・5時
集合所　大阪駅西口バス駐車場・京阪観光バス・目標会旗
申　込　1月11日までに到着する往復ハガキ（氏名・勤務先を記入）で願います。定員70名を越えた場合は抽せんの上参加証を送付いたします。

建物概要

設　計	鹿島建設株式会社設計部
施　工	鹿島建設株式会社大阪支店
建　坪	4,530　m²（1,370.6坪）
延　坪	5,329.5m²（1,612.2坪）
構　造	基礎：RCパイル300φ，ℓ＝14m～19m継杭。 躯体及びスタンド：RC　軒高18m。 屋根：2本の各々傾斜を異にするアーチ曲線，RC梁にて一方向のサスペンション鉄骨（円弧の一部として半径108mより38mまで17本の各々の半径をもつ鉄骨）を受け，トラグザイル方向にかかる母屋の上にラスシート（26井）張り，ガンナイトによるモルタル塗り，その上にブチムゴム系シート防水（シート厚1.0㎜）を施す。 アーチ脚部：2本のアーチ交点より1本の脚部となり各々を地中タイビーム（RC造）にて結ぶ。なおアーチは擬似抛物線で，サスペンション構造による変形をアーチ上部で更にPC鋼棒に依り引張を与えバランスをとっている。

天井・間仕切には軽量鉄骨を・軽量鉄骨は日進式を御採用下さい・

耐震・耐火・軽量・堅牢
防錆完全・中空防音
合理的工法・責任施工

株式会社　奥村重兵衛商店
大阪市北区木幡町六〇番地
電話北(340)四一三一～四

杭

株式会社　武智工務所
取締役会長　福留並喜
大阪市東区瓦町3ノ11（井池筋）旭洋ビル3階
電話（202）3233・3234

謹賀新年

昭和40年元旦　(50音順)

青盛繁男

青盛建材株式会社
広島市鉄砲町108

赤崎尚信

大阪市北区富田町 新日清ビル
TEL (361) 8388・0982
赤崎建築事務所　所長

明石一夫

高岡建設株式会社　取締役社長
大阪市西区新町通 1—77

浅井貞治

大阪市北区堂島中2—37
双星社　竹腰建築事務所　次長

浅沼猪之吉

大阪市天王寺区石ケ辻町13
株式会社　浅沼組　取締役社長

浅野重太郎

大阪市北区富田町30
第一工業株式会社大阪支店　取締役支店長

浅海正雄

宝塚市切畑字長尾山2—161

朝倉暢二郎

閑林工業株式会社大阪出張所　所長

荒木芳邦

造園コンサルタント　荒木造園設計事務所
池田市才田町116　TEL 池田(0727)⑥—8874

安藤芳雄

大阪市北区堂島北町九
大日本土木株式会社大阪支店　専務取締役

井上秋次

大阪市天王寺区生玉町40
井上窯業株式会社　代表取締役

井上福蔵

大阪市都島区東野田町2—15
株式会社　井上組　代表取締役
自宅・枚岡市石切山荘

井手正雄

京都市中京区押小路通柳馬場東入橘町645
京都建設会館内
社団法人　日本建築協会京都支部　支部長

五十嵐芳雄

株式会社　大林組　取締役副社長

伊勢清志

株式会社　アイエス工業所　代表取締役

伊勢谷圭作

株式会社 伊勢谷特殊硝子製作所 代表取締役
大阪市西区靭本町4—83

伊丹久吉

大阪市東区両替町1
株式会社　藤木工務店　専務取締役

伊東正也

大阪市浪速区幸町通2—6
伊東建築設計事務所　所長

伊藤鑛一

日建設計工務株式会社　取締役社長

飯田精次郎

大阪市北区富田町9
共同設計株式会社　取締役社長

謹賀新年

昭和40年元旦　(50音順)

生田重政
日本建設株式会社　取締役社長
大阪市東区安土町4－5

岩佐直則
尼崎市西本町7－268
有限会社　岩佐建築設計事務所
西宮市上甲子園2—115　TEL (4) 5753

生島道春
大阪市城東区古市南通5－5
日本建築積算研究所　代表者

岩崎甚太郎
大阪市東区京橋3－75
株式会社　大林組　工務監督

諫早信夫
不動建設株式会社　常務取締役

上田博巳
上田消防建設株式会社　取締役社長

石川寛三
大阪市天王寺区茶臼山町111
石川建築事務所　所長
自宅・宝塚市切畑字長尾山2—37

内田成之
須賀工業株式会社

一圓俊郎
名古屋市中区南大津通4－1
日本建築協会　東海支部長

浦辺鎮太郎
大阪市北区梅田8新阪急ビル5階
株式会社　倉敷建築研究所　代表取締役

一宮能和
日泉化学工業株式会社　常務取締役
自宅・池田市室町7番丁1017

江川好巳
山下寿郎設計事務所大阪事務所　所長
大阪市東区北浜5－11　新立川ビル

稲垣皎三
株式会社　大林組　取締役

蛯原逸雄
大阪市東区釣鐘町2—41　TEL (941) 代8431
西松建設株式会社関西支店　常務取締役支店長

今西壽雄
大阪市天王寺区上本町7—2ノ1　上六ビル
株式会社　今西組　取締役社長

小川正
株式会社　竹中工務店　取締役・設計担当

今村騰
大阪市北区梅ケ枝町56
中央電気工業株式会社　取締役社長

小津利一
内外木材工業株式会社　専務取締役
大阪府大東市深野南100

猪飼幸次郎
大阪市生野区勝山通9－72
江東電気工業株式会社　取締役社長

尾亀清四郎
株式会社　三晃商会　代表取締役会長

謹賀新年

昭和40年元旦　(50音順)

尾崎久助
日建設計工務株式会社　取締役相談役
自宅・京都府乙訓郡向日町上植野南開34—14
TEL (92) (向日町) 0579

尾崎博一
尼崎市下坂部久々知前235
旭化工板製造株式会社　取締役社長

大井弘治郎
大阪市北区宗是町44第1ビル2階
株式会社 大井建築設計事務所 代表取締役

大木末次
大阪市西区南堀江通リ3—3
大木建設株式会社大阪支店　常務取締役支店長

大澤幸平
大阪市東区今橋5—2
大幸建設株式会社　取締役社長
自宅・豊中市玉井町1—8ノ18

大下順三郎
大阪市城東区関目町1—40
平和建設株式会社　取締役社長
自宅・旭区新森小路中3—94 TEL (952)1240

大林芳郎
株式会社　大林組

大森久司
大阪市北区南扇町11
近畿電気工事株式会社　取締役社長

大八木得治
日本建鉄株式会社　大阪営業所長

岡三郎
株式会社　岡組　取締役社長

岡崎八太
全国木毛セメント板工業組合理事長
日建興業株式会社　社長
大阪市福島区海老江上2—170
自宅・豊中市曽根西町2—116ノ4

岡本行善
大阪市西区阿波座南通2—58
株式会社昭和設計事務所　取締役社長

沖田誠一
日本建築学会近畿支部　事務局長
大阪市西区靱1—118　大阪科学技術センター内
自宅・大阪市住吉区苅田町9—21　公住 3—204

奥村太四郎
大阪市阿倍野区松崎町1—51
株式会社　奥村組　取締役社長

嘉納伝三
三宝電機株式会社　取締役社長

海上静一
大阪市南区鰻谷仲之町62 (市川ビル)
株式会社　海上静一建築事務所

笠原梯治郎
田島応用化工株式会社　大阪営業所
取締役・営業部長兼大阪営業所長

柏岡十三介
大阪市東淀川区十三西之町1—175
阪急電気工事株式会社　専務取締役

柏原国光
大阪市西淀川区御幣島東2—5
柏原瀝青株式会社　取締役社長

梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町392
八千代電設工業株式会社　取締役社長

謹賀新年　昭和40年元旦　(50音順)

鼎　秀夫
大阪市北区空心町1—40
株式会社　カナエ商会　代表取締役

金光五郎
万年スレート株式会社

川岸繁夫
大阪市西区靱本町2—98
株式会社　川岸窯業商店　代表取締役

川崎敬三
大阪市西区靱本町4—103
株式会社　近畿建設　代表取締役
自宅・大阪市東区釣鐘町1—36

河井覚弘
河井建築設計事務所
大阪市北区兎我野町15

河津喜之助
大阪市北区堂島上1—24
河津装飾株式会社

神田正平
株式会社　日本シャッター製作所　代表取締役

木下国男
株式会社　内外写真　取締役社長

木下光雄
大阪市西区江戸堀5—5
株式会社　木下謹三商店　取締役社長

木戸口信義
大阪市天王寺区北河堀町54
大洋建設工業株式会社　取締役社長

木村謹次
株式会社　木村工務所　取締役社長
大阪市南区南炭屋町38

岸間脩
株式会社　桂商会　社長
大阪市大淀区国分寺町1—1

久保幸一
株式会社　久保商店
自宅・宝塚市宝塚武庫山99

黒田顕真
建築雑誌 広告代理店 一報社 取締役社長

桑名栄助
株式会社 エバレヂン工業所 取締役社長
大阪市北区鳴尾町10　TEL (341) 6260

株式会社研文社
大阪市北区堂山町66　TEL (312) 8140

小池茂
大阪市西成区出城通4—12
株式会社　小池商店　取締役社長
大阪ツキ板同友会会長

小島栄
三精輸送機株式会社　取締役社長

小西岬
株式会社　田中小西　建築事務所　取締役社長

小早川美武
美工装飾株式会社　社長
大阪市西成区姫松通1—30　TEL (651) 0105

謹賀新年　昭和40年元旦　(50音順)

小林得志
大阪市北区堂島北町20
小林得志建築事務所 所長

小林廣仲
大阪市天王寺区南河堀町115
コバヤシ産業株式会社 代表取締役

小林三甫朗
小林住宅・社長
大阪市東区御堂筋難波神社前

古林義敦
日本建築協会 中国支部長

鴻池藤一
株式会社 鴻池組 取締役社長

駒敬三
駒日出男
大阪市天王寺区椎寺町46
株式会社 駒建築設計事務所

近藤郷次郎
近藤金属工業株式会社 代表取締役

佐々木新一
株式会社 佐々木建築事務所 代表取締役
大阪市西区京町堀1—15

佐々木廣
株式会社 大阪硝子店 代表取締役
大阪市東区本町5—4

佐藤重夫
広島大学工学部建築学科教授工博 TEL ㊶1161
自宅・広島市富士見町富士見住宅41 TEL ㊶6429

佐藤太
大阪市北区南扇町11
近畿電気工事株式会社 取締役会長

佐野正一
大阪市東区淡路町2—34
株式会社 安井建築設計事務所 取締役社長

佐村木実
大阪市東住吉区西長居町811
合資会社 佐村木商店 代表社員

雑賀孝夫
株式会社 雑賀建築設計事務所
和歌山市小松原通5—1

坂内幾男
株式会社 坂内建築設計事務所
大阪市西淀川区野里東3—13

櫻井正美
大阪市東区今橋1—10 朝日生命ビル12号室
関東電気工事株式会社大阪支社 支社長

清水和彌
大阪市北区神山町26(富国信用ビル)
清水和彌設計事務所

設楽(したら)貞三
株式会社 洋建築事務所 代表取締役
自宅・神戸市須磨区桜木町3—23

芝地光
大阪市北区真砂町32
戸田建設株式会社 大阪支店長

島田啓太郎
清水建設株式会社 関西事務所長
自宅・枚方市茄子作1979

謹賀新年

昭和40年元旦 (50音順)

島村佐次郎
島村建築事務所
和歌山市四番丁4

庄野勝
大阪市南区鰻谷仲之町57
不動建設株式会社 取締役社長

城口庸平
株式会社 大阪城口研究所 代表取締役

須賀豊治郎
須賀工業株式会社

菅野榮
大阪市北区高垣町1
株式会社 大阪城口研究所 常務取締役

菅谷三郎
大阪電気暖房株式会社 取締役社長

杉本裕
大阪市北区堂島上通り3—10
株式会社 松田平田設計事務所大阪出張所 所長

錢高輝之
株式会社 錢高組 取締役社長

仙田四郎
大阪市住吉区万代東6—3
関西煖房工業株式会社

田中政二
大阪市城東区野江東之町4—104
大島応用化学工業株式会社 取締役社長

田中実
大阪市西区北堀江上通1—65
富士電業株式会社 取締役社長

田辺信
西日本建設業保証株式会社

田村史郎
大阪市西区京町堀1—170
社団法人 日本建材協会 常務理事

高木幹祐
八幡エコンスチール株式会社
大阪営業所 技術サービス課長

高須洪一郎
株式会社 朝日工業社 取締役社長
自宅・西宮市甲子園町41

高橋慶夫
株式会社 大阪建築事務所 取締役社長
自宅・大阪市東淀川区相川中通2—2ノ4

竹内良一
吹田市中の島町4—53
吹田建設株式会社 社長

竹腰健造
大阪市北区堂島中2—37
双星社 竹腰建築事務所 所長

千原大五郎
株式会社 大阪建築事務所 常務取締役東京支所長
東京都港区赤坂溜池東急ビル

地頭政人
大阪市北区若松町30 TEL (341)9004・9016・4825
小俣シヤッター工業株式会社大阪支店取締役支店長

謹賀新年

昭和40年元旦　(50音順)

知見義夫

株式会社　斎藤省三商店大阪店　取締役支店長

中村亀太郎

大阪市天王寺区細工谷町74　TEL(771)0633
株式会社　中村組　取締役社長

塚本猛次

日建設計工務株式会社
大阪市東区横堀2—38

中村金三

京都市下京区楊梅通烏丸西入　TEL㊱1184
中村金三商店

恒成一訓

(名)つねなり・すたじお

中村孝三郎

灰久建材株式会社　取締役

戸田弘光

大阪市北区兎我野町33
戸田建築設計事務所

永井圭二

大阪市東区横堀5—20
株式会社　永井半商店　代表取締役

東畑謙三

大阪市東区伏見町5—19
株式会社　東畑建築事務所

永谷光男

大日本硝子工業株式会社大阪支店　取締役支店長
大阪市北区玉江町2—4ノ1　三菱倉庫ビル

堂東捨蔵

福島区上福島北2—83
日東石膏株式会社大阪営業所　取締役所長
自宅・箕面市桜ケ丘739の10

長尾正大

大阪市大淀区天神橋筋6　天六阪急ビル
日本エレベーター工業株式会社　代表取締役

栃木政昭

大阪市東区高麗橋2—9　野村ビル5階
株式会社　矢橋大理石商店大阪出張所　取締役所長

西島修吉

大阪市東成区大今里北4—127
協同金属工業株式会社　社長

伴野龍太

本田工業株式会社　常務取締役

西嶋徳太郎

株式会社　大阪建築事務所　専務取締役

内藤一真

大阪市浪速区元町1—742　藤本ビル
株式会社　竹内建築事務所　代表取締役

西田義郎

株式会社　西田工務店　取締役社長
自宅・大阪府岸和田市別所町503

中西道明

日本瀝青工業株式会社　大阪支店長

西村庄市

工藤電気株式会社　取締役社長

謹賀新年　昭和40年元旦　(50音順)

野地脩左
大阪市東区内平野町2—17
株式会社　K構造研究所　取締役会長

原正太郎
アスニュー工業株式会社　取締役社長

原田富一
堺市海山町6—224
昭和アルミニウム株式会社　取締役社長
自宅・堺市浜寺昭和町3—404

原田守蔵
株式会社　原田商店　専務取締役
大阪市西区北堀江通5—57
自宅・堺市北長尾町3—123

伴秀雄
株式会社　西原衛生工業所大阪店

伴野薫三
大阪市北区宗是町　大ビル735号室
日本プレスコンクリート工業株式会社
建築事業部関西事業所　所長代理

日景一郎
高砂熱学工業株式会社　常務取締役　大阪支店長
大阪市北区梅田8(新阪急ビル)

比石英二
比石英二建築事務所　所長
大阪市西区京町堀1—55　ヤヨイビル
TEL (441) 3369 (443) 7816

樋口勝栄
三機工業株式会社　取締役　大阪支店長
自宅・大阪府豊中市曽根西町2—84

久野三一
大阪市東区瓦町3—29
東洋空気調和株式会社大阪支店　支店長

平田作太郎
株式会社　平田タイル　副社長
自宅・京都市下京区綾小路通大宮東

平山京平
大阪市西区江戸堀2—2
平山工業株式会社　取締役社長

廣野悦二
日亜金属興業株式会社　取締役社長
自宅・芦屋市岩園町299ノ11

深尾実郎
大阪府建築部長

福頼圭蔵
株式会社　新興建材工業所　代表取締役社長
自宅・大阪市住吉区住吉町242の22

福田朝生
大阪市北区堂島中2—37
双星社　竹腰建築事務所　次長

福田好雄
ダイケンサッシ株式会社　取締役社長

福永薫
株式会社　福永建築設計事務所　代表取締役
大阪市南区順慶町4—61

藤木正一
大阪市東区両替町1
株式会社　藤木工務店　取締役社長

藤田邦昭
RIA建築綜合研究所
東京(270) 5861　大阪(441) 9226　名古屋(23) 5511

謹賀新年

昭和40年元旦 (50音順)

藤本庄之助
株式会社 工盛社 代表取締役
大阪市城東区西鴫野6—43

古川卯七
株式会社 冨士工務店大阪支店 取締役支店長
自宅・豊中市曽根東町6—4

宝来佐市郎
株式会社 大林組

星廣文
平和建設株式会社 常務取締役
自宅・門真市字上島頭288の1 TEL 0720 ⑧ 0667

本田史郎
本田工業株式会社 取締役社長

本田令三
千代田工芸株式会社 取締役社長
大阪市浪速区恵美須町3—14

町田信治
東洋リノリユーム株式会社 取締役社長

松井邦彦
耐酸化学工業株式会社 代表取締役
大阪市北区高垣町80

松井文哲
大阪地建株式会社 代表取締役
自宅・布施市岸田堂南町43

松尾陽三雄
内外アスベスト株式会社大阪支店 取締役支店長

松岡織江
株式会社 アイ・エム商会 代表取締役
大阪市浪速区芦原町1183 TEL (561) 代 3901

松島清重
大阪市北区堂島浜通1—25
大阪生コンクリート株式会社 代表取締役

松田昌平
松田順吉
福岡市下西町2 明治屋ビル
株式会社 松田設計事務所

松村雄吉
株式会社 松村組 取締役社長
大阪市北区空心町1—70

松本大平
田島応用化工株式会社 大阪営業所 営業二課長

三宅昭栄
三宅電気株式会社

南長吉
大阪市北区常安町11
斎久工業株式会社大阪支店 TEL (443) 5041—5

宮後健
大阪市天王寺区上汐町6—35
株式会社 宮後建築事務所 代表取締役

村石秋吉
浪速合板株式会社 代表取締役
大阪市浪速区幸町通3—20

村島良雄
大阪市北区堂島中2—38
株式会社 藤田組大阪支店 常務取締役支店長

謹賀新年

昭和40年元旦　(50音順)

森川喜代之助
池田市中之島町1番地の1

横田喜一郎
大阪市西成区橘通9－24
株式会社工英社代表取締役

矢島正人
中外建材株式会社取締役社長
大阪市西区北堀江通5－69

横山正義
株式会社日勝建築設計事務所取締役社長
大阪市南区瓦屋町五番丁11

山口吾郎
不二建設株式会社取締役社長

吉田広助
株式会社ナニワ商会取締役社長
大阪市天王寺区烏ケ辻町61

山口武雄
大阪市西区阿波座中1－9
淡陶株式会社常務取締役
自宅・大阪市住吉区粉浜中1－6

吉田信武
大東市三箇1140

山田新治郎
株式会社山田建築事務所取締役社長

若林繁吉
大阪市大淀区本庄川崎町2－6
二葉屋装備工業株式会社取締役社長

山中茂一
大阪市東区高麗橋詰町54
栄興建築株式会社社長

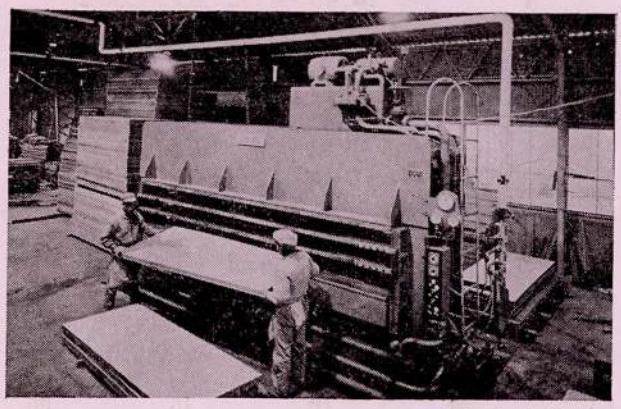
鷲尾健三
大阪大学工学部構築工学教室

山本照夫
テイパ化工株式会社代表取締役
大阪市東淀川区下新庄町2－263

山本義樹
株式会社錢高組

山本龍太郎
株式会社ヤマト電気商会取締役社長

勇内英次
佐藤工業株式会社取締役大阪支店長
大阪市東区北浜1－25



可動中のホットプレス

●住いをデザインする 東和パネル

●フラッシュドアー
●屋根パネル
●壁パネル
●床パネル
●間仕切パネル
●天井パネル
●トイレブース
●パテーションエース

建設省認定工場

株式会社
東和パネル製作所

枚方市大字渚１５３０－１
TEL 枚方(41) 5441－3

東和興業株式會社

大阪市北区堂島上２－39TEL(363)0281～5
東京都千代田区神田松住町８TEL(253)8871

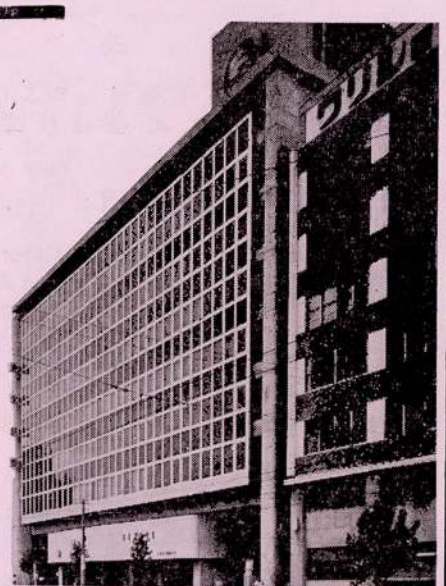
セメント混和剤 コーキング材には オートリ製品を!!

＊ 建材部門

トリベースM-1	モルタル防水剤
トリベースM-3	接着性モルタル防水剤
トリベースH-1	セメント表面硬化剤
トリベースS-5	セメント凝結遅緩剤
トリタイト#7	油性コーキング材
トリタイト#10	硬化型 高級コーキング材
トリタイト#100	液状皮膜型防水剤
トリタイト#300	接着・防水剤
トリタイト#500 / トリタイト#510	タイル接着剤
トリタイト#1000	2液性 高級シーリング材

＊ 工事部門

トリタイトコーキング充填工事
トリタイト高級シーリング材充填工事
トリタイト防水工事
床張り工事一式
アスファルト応用防水工事
モルタル防水工事



（資料送呈）
製造・販売・施工

鳳工業株式會社

本社	東京都品川区五反田３－１２０（東商ビル）	TEL (443) 1721代表
大阪支店	大阪市福島区今開町２の１２（大島ビル４階）	TEL (461) 4774代表
名古屋営業所	名古屋市中区東陽町５の１１	TEL (24) 3363
福岡営業所	福岡市志免町大字別府鉾田６１９（日章工業KK内）	TEL (65) 3540
札幌営業所	札幌市北二条東一丁目	TEL (25) 9313
工場研究所	大阪、名古屋	

美しくゆたかな暮しを作る

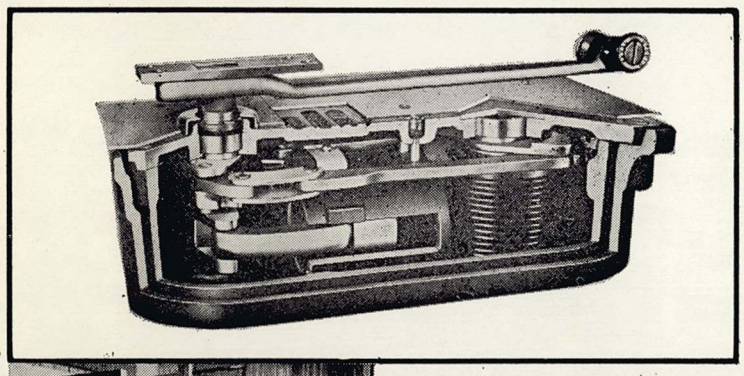
ダイキン タイル

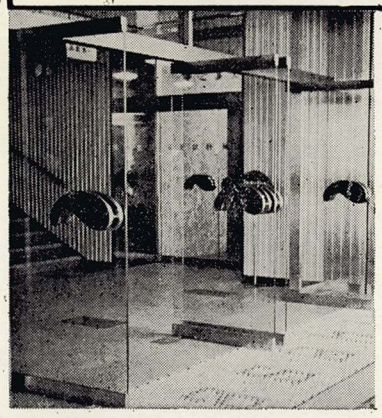
■タイル施工の第一条件は下地に馴じみ易く耐久性のあることです　ダイキンタイルは厳密な材質の選定と徹底した品質管理のもとにつくられております
■「桂」は優れた製品として皆様に御満足願える様に　最高の施工技術と責任施工システムを持って新しい時代の建築に御奉仕申上げております　床材のことなら「桂」を御利用ください

ダイキン工業株式会社代理店

株式会社桂商会

本　　社 大阪市大淀区国分寺町一の一
電話 大阪(351)6625.7778～9.8677～9





専門家が推奨する

金属製扉、木製扉、強化硝子扉
合成樹脂扉、何れの扉にも使用出来ます。

諸官庁御指定品　旭硝子御採用品

製造元
敷島金物株式会社
大阪府布施市横沼町1の46
電話 布施 (721) 7713～4
東京都千代田区神田三崎町2の26
電話 東京 (262) 5310・0403

ユートピア印 フロアヒンジ ピボットヒンジ

S.K ユートピア

あなたのセンスがそのまゝ生きる！

伝統と技術にはぐくまれた美しい3つのデザイン



●ダイナミックタッチ

ジュピター　L1305

陶器・金具セット

1級 16,590　並級 15,090



●やわらかい甘いムード

ヴイナス　L1223

陶器・金具セット

1級 16,170　並級 14,730



●端正な感触・・・・

アポロ　L1306

陶器・金具セット

1級 15,210　並級 13,710

Toyotoki 東洋陶器株式会社

本社/小倉　工場/小倉、茅ヶ崎、滋賀

大阪営業所/大阪市東区高麗橋Tel(231)4518～9 1424



近代建築のポイント

美と強と変化を誇る

日本スピンドルの

アルミサッシ

NA—70

NA—85

日本スピンドル製造株式会社建材事業部

大阪営業所	大阪市東区備後町（綿業会館内）	（202） 7991
東京営業所	東京都千代田区丸ノ内2丁目2番地 丸ビル403号	（201） 3605
京都営業所	京都市中京区西洞院四条上ル蟷螂山町	（23） 5051
茨木工場	茨木市大田新田60番地の1	（07262） 4741
本社工場	尼崎市潮江西ソウケ2番地の1	（401） 5551
姫路出張所	姫路市光原寺前16番地(広瀬ビル)	（23） 0690

建築と社会

1965年・第46集・1月号・目次

ARCHITECTURE & COMMUNITY ©　尾崎久助特集　1

スケッチブック　第10回工高生デザインコンクール入選作
設計課題：市民のためのスポーツハウス……18
昭和39年中に竣工した新建築（PR）……25
建築の眼　担当：池　保・本郷聰・片寄俊秀・水島恒子……22
尾崎久助特集
巻頭言　巻頭言……東畑　謙三……41
尾崎久助略歴……42
作品　建築作品……43
絵……48
短歌……56
回顧録　回顧録……尾崎　久助……57
余技……尾崎　志ん……64
尾崎久助氏を語る（順不同）
尾崎久助君を語る……内藤　多仲……70
尾崎君を語る……竹腰　健造……71
尾崎さんと絵……鈴木　剛……72
尾崎君を語る……岡野　清豪……73
尾崎久助君を語る……新居善太郎……74
尾崎さんのイメージ……山田　久就……75
尾崎君を語る……黒崎　幹男……76
尾崎久助さん……伊藤　鑛一……77
尾崎久助先生と私……横山　不学……78
尾崎さんの短歌……佐佐木由幾……79
元気な頃の尾崎さん……福田　佳雄……80
尾崎先生……岡橋作太郎……81
父……尾崎　嘉文……82
尾崎久助君を囲む座談会——大学の同期生が語る学生時代・卒業後・先達のこと——
出席者（順不同）……尾崎久助・黒崎幹男・森田慶一・中沢誠一郎・滝沢真弓・政岡基次・片山光生・生方文次……83
著作　尾崎久助著作目録……93
尾崎久助雑誌掲載論文の内容梗概……95
近代建築調査委員会報告 61
細部特集　4. 手摺　5. 天井……近藤　豊……97
職人シリーズ　第25回・町方大工（千原喜代蔵氏）……松井　昭光……99
会員の頁……100
技術の頁　29. 施工部門：雨仕舞について……笠原　正幸……101
建築のしおり……105
北京科学シンポジウム参加のため訪中して　2
中国建築界の人々と交流して……松井　昭光……104
会報（11月分）……106

表紙デザイン：表紙デザイン小委員会 & 菅谷　淳
裸婦スケッチ：尾崎久助
売価　1部 180円・送料共
昭和40年1月20日印刷　昭和40年1月25日発行
編集人　松井　昭光
発行所　社団法人 日本建築協会　大阪市東区北浜3丁目37
電話大阪㊇9648・9649・9640番　振替口座大阪39975番
発行人　手島　政男
印刷所　株式会社 研文社　大阪市北区堂山町66　電話㊇2091～3番
印刷者　網野　栄

建物の洗ひと管理の店

住宅美素工事の創始者

- ビルディングの洗浄工事
- 木造建築洗浄・美素仕上工事
- ビルディングの清掃・一般管理

（登録商標）

美素工業所（株）
美素建物管理（株）

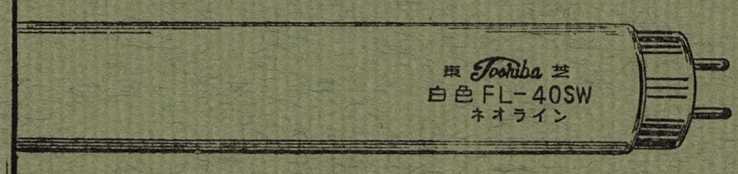
本　社　大阪市東区瓦町 三和ビル
電話（231）5888・4938
営業所　大阪市東区本町二丁目五
電話（261）4070・4079・617

東芝技術の成果！　新製品誕生

明るさ3,200ルーメンを超えたスマートな32㎜管

従来の安定器および灯具がそのまま使用できる

東芝蛍光ランプ ネオライン



定価も従来品と変りません

現金定価

FL-40SW　480円

FL-40SD　480円



霊隠寺附近の石仏（中国杭州）

撮影：松井　昭光

第 10 回

工 高 生 デ ザ イ ン

コ ン ク ー ル

入 選 作

設計課題：市民のためのスポーツハウス

主催：日本建築協会

審査総評：敷地の制限はないので，のびのびとした案を期待したが，建築面積の制限で思うにまかせなかったことと思う。勢い余ってオーバースケールの作品が多かった。

単に設計要件を満足させるだけでなく，そこに市民が楽しく憩い，またプレーをする姿をとらえることが大事だと思う。また，ただ建物を誇示する表現ばかり追わないで，いま少し中味も研究してほしい。それにしても楽しい，また夢のある若さに満ちた多数の作品を見せていただいたのは，審査員一同の喜びであり，大いに次代に期待するわけである。

なお選外とはなったが，下記諸君の案は，候補として最後まで残ったことを付記する。

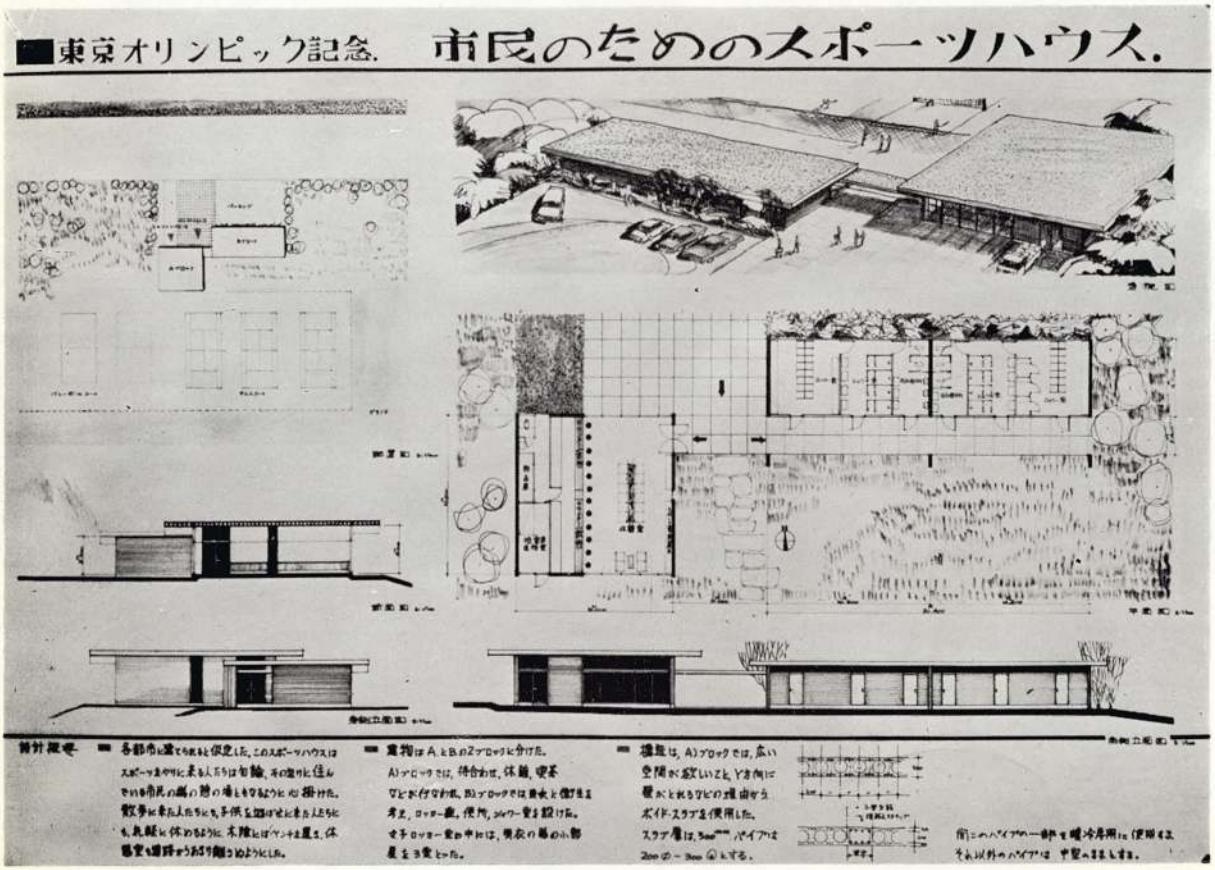
東京工業高校：2年・川島正巳，牧野光作，篠原准，渋谷準一，中島津子紀（共同製作）
東京工業高校：2年・鈴木暐衛，山田綾雄，笹原豊男（共同製作）
名古屋市立工芸高校：2年・小森博重
大阪市立都島工業高校：3年・吉田孝
新潟県立高田工業高校：3年・竹内弘

審査経過：審査会は，昭和39年10月14日午後2時より6時にわたった。出席者は，渡辺道輝委員長，足立孝・岩本博行・岡橋作太郎・佐野正一・白石博三・田中幸太郎・鳥田家弘・西嶋徳太郎各審査員であった。審査は，本会4階集会室に応募作品（29校・108点）を掲示した会場で，書面投票によった。第一次審査で24点の作品が残り，審査員の作品についての自由討議がおこなわれ，第二次審査で13点の作品が投票で残った。その際得票上位の3作品が入選に決定した。第三次審査で得票上位4点を入選作品に決めた。第四次審査で入選作品3点を決定した。第2次審査で入選に決定した3点の作品中より審査員の合議で最優秀賞（一の会賞）を決定した。

最優秀賞

早稲田大学工業高等学校
3年　与 羽 安 美

設計要件を適格にとらえ，ブロックの配置によりそれを大変素直に表現しており，このままでも建つ案である。ただ屋根スラブの構造はともかく，設備に利用するには難点がある。敷地周辺の配慮は随一である。



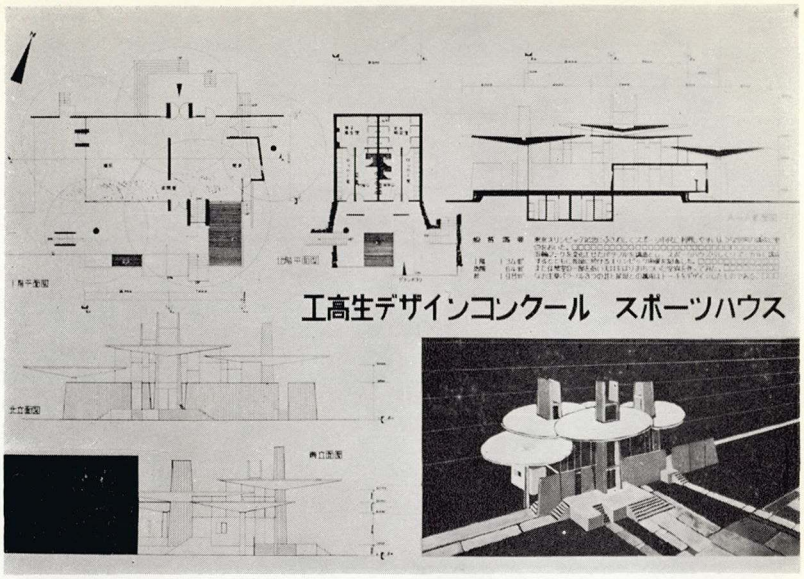
設 計 要 件

a. 敷地：市民グランドの一隅に建つものとして面積は自由に想定すること。

b. 建築の面積：延200m²以内（庇面積は含まない）

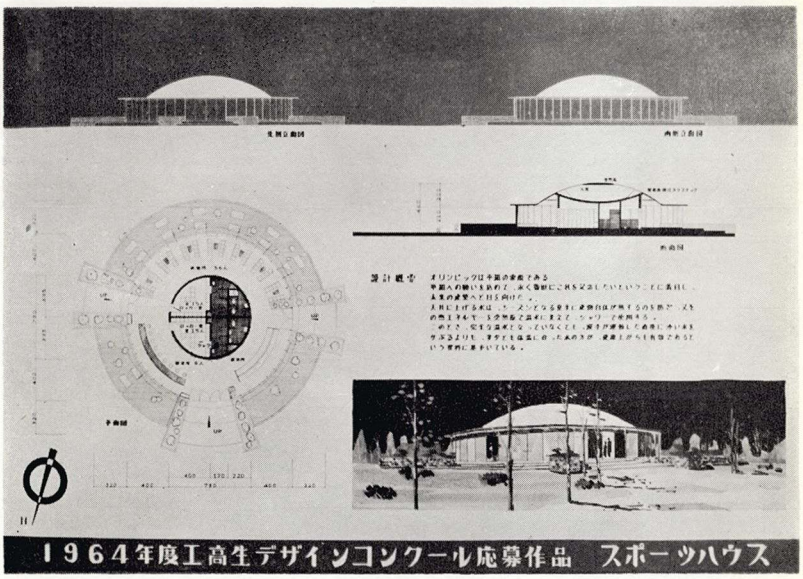
c. 所要室および設備：
(1) スポーツ資料が展示出来る休憩室
(2) 脱衣室（男女を区別し，ロッカーはそれぞれ15人程度づつとする）
(3) 便所（男女を区分すること）
(4) 軽食カウンター
(5) その他適当と思われる室
(6) 管理人室，厨房，食堂は別棟にあるものとし，図面に表現する必要はない。

d. 構造および階数：自　由



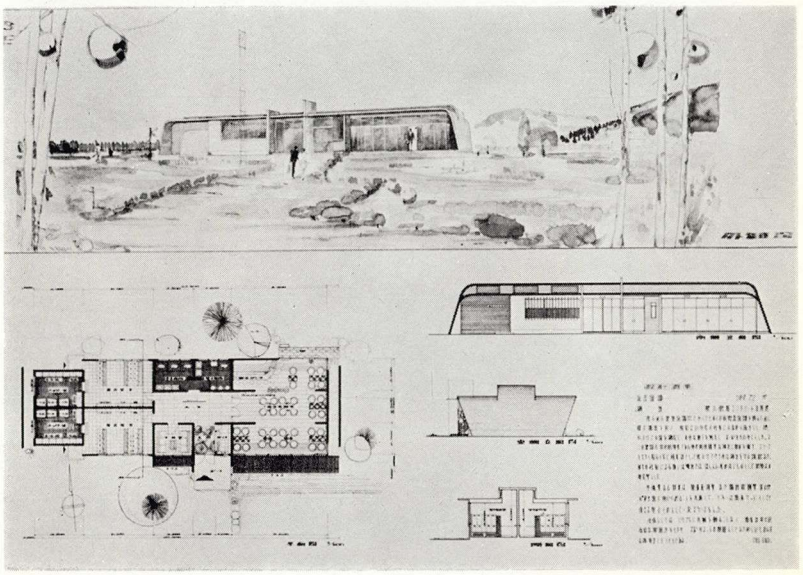
静岡県立静岡工業高等学校
3年　本 多 徳 行

アイディアは面白いが，それだけでは建築となり得ない。いま少し建築的にまとめる工夫をしてほしい。が将来性のある楽しい案である。



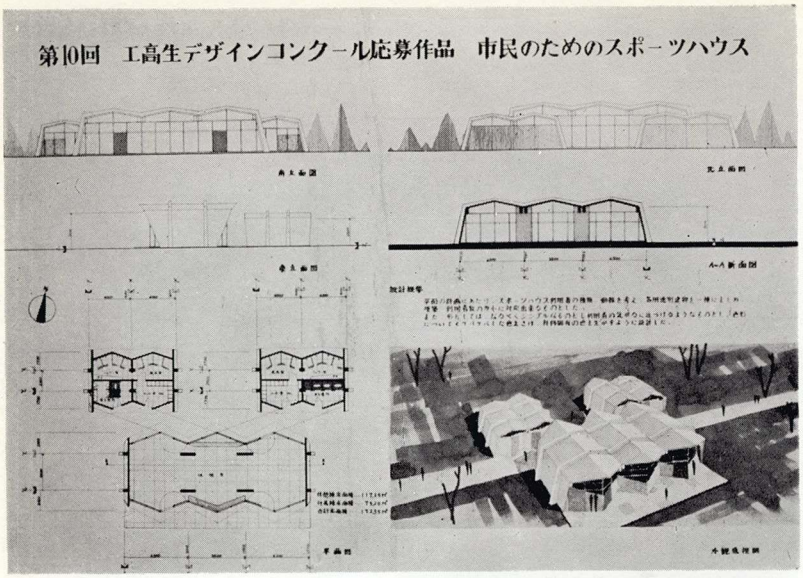
静岡県立静岡工業高等学校
3年　小 林　　隆

円形プランの中では秀作。図面もよくまとまっている。屋根の水槽は面白いが，こぢつけの感あり。



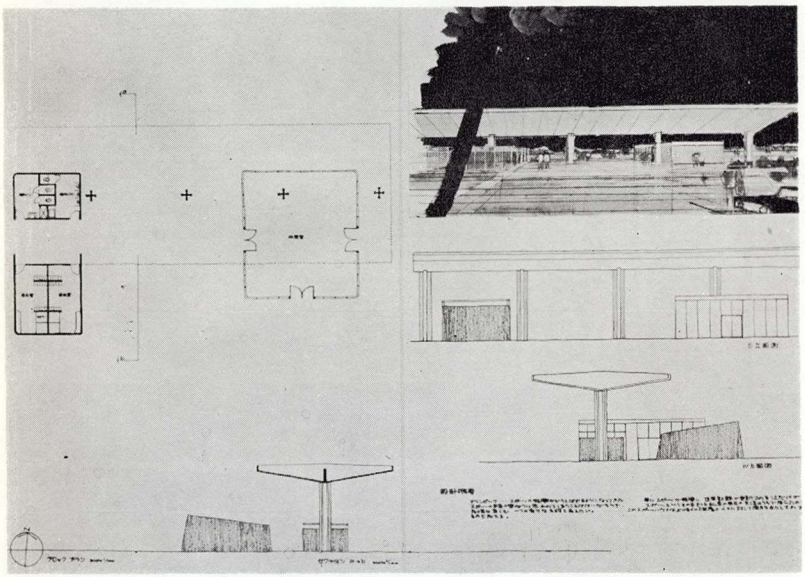
名古屋市立工芸高等学校
3年　横 井 豊 彦

図面は達者。但し屋根スラブに疑問がある。またその表現に注意が必要。



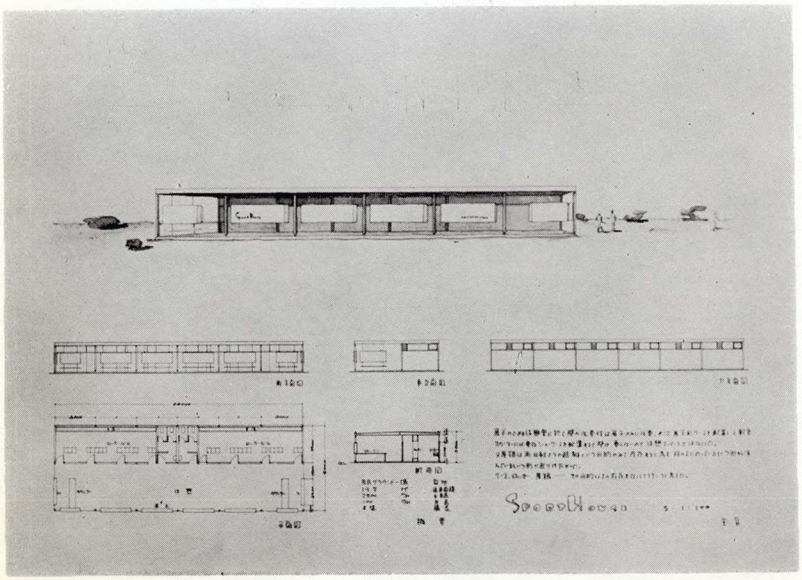
静岡県立静岡工業高等学校
3年　野沢経恭

六角プランの組合せは面白いが，この建物にはアフトオブスケールで，そのため少しこせこせしている。図面はよろしい。



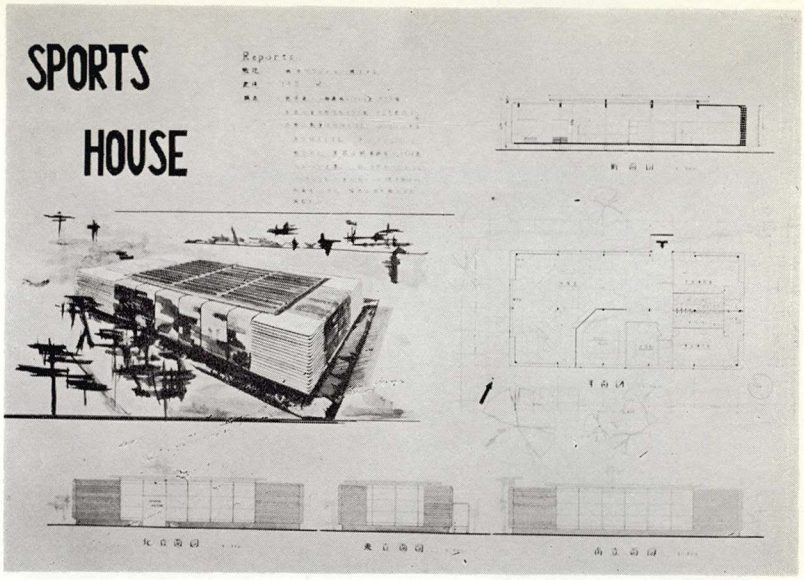
東京工業高等学校
2年　渡辺　泰治，高野　雄二
　　佐藤　和之，田中　四郎

こういう着想の建物もすでにあったと思うが，おほらかな，オープンの扱いはよろしい。ただ傘のプローポーションは大事で，図面の表現にも注意が必要。



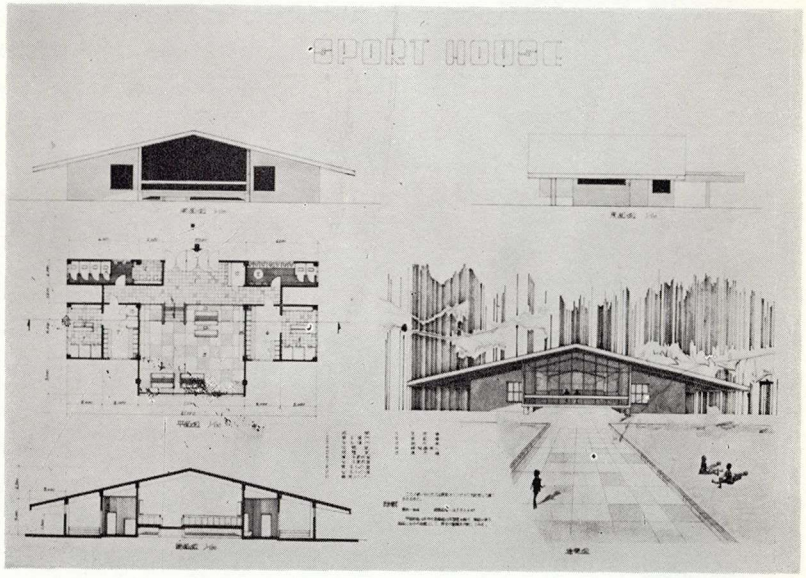
大阪市立工芸高等学校
3年　塩路祐一

まことに簡明で直ぐにでも建つ案だが，展示にこだわり過ぎて休憩室を害っているのが難点。



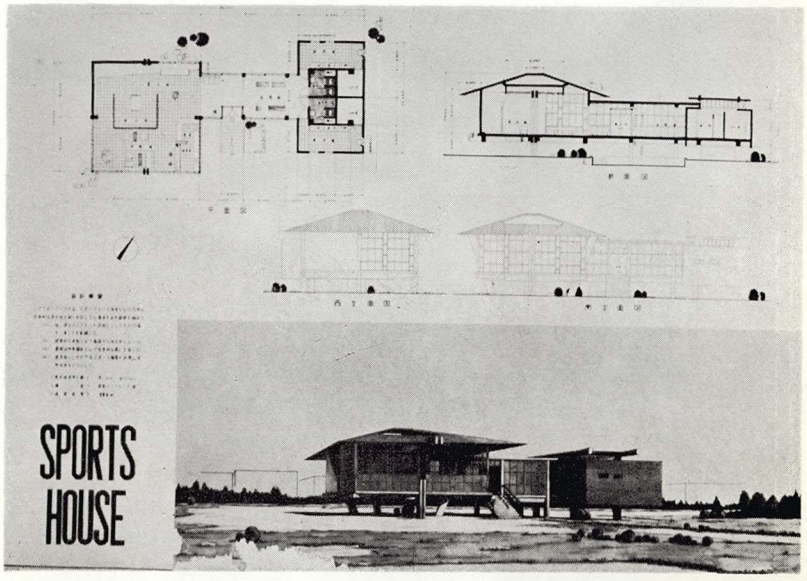
大阪市立都島工業高等学校
3年　杉本正信

コンパクトな案で，デザインも達者だが，その表現が工芸的で建築的でない。力をその方向に向けてほしい。



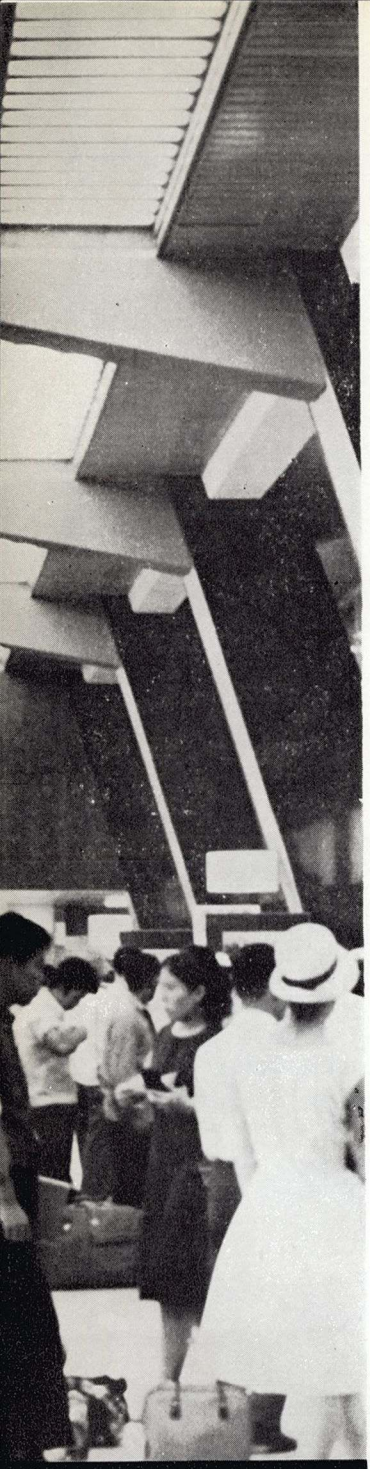
神奈川県立神奈川工業高等学校
3年　岩田保幸

素直なよい案だが味が足りない。もう少し若い野心的なものがあってもよいと思う。



大阪市立都島工業高等学校
3年　藤田稔

表現は実に達者だが，いささかオーバーデザインで，いま少しのびのびしたものを望む。図面は優秀。



建築の眼

担当　池　保
　　本郷　聡
　　片寄　俊秀
　　水島　恒子

■ 薬　師　寺

昭和17年の夏，関野先生に引率されて，関西旅行に来たきりで，20年ご無沙汰していたので，薬師寺も大分かわっているだろうと思ってみてきました。
綺麗につつじが咲揃っていたのと，写真をとっても坊さんにどなられなかったことはかわっていましたが，礎石も三重の塔も金銅仏もちっともかわっていないので，ぎくりとしました。
1000年立っていた寺が，1024年たってもかわらないはずでした。戦災をうけたわけでもないのだから。
しかしその20年の間，兵隊にはとられるし，喰うや喰わずで終戦後を過し，前の会社がつぶれて，転職したことなど思い直すと，つらにくいほど，かわらぬ姿に見えたのです。
何か間違った考えで寺を訪れたのかもしれません。　(IT)

■ 古ビル礼讃

近頃やたらと陸橋や地下街がふえたが，この階段がなかなかの急勾配で，昇降のたびに疲れを覚えることおびただしく，なかには山登りを思わすようなものすらある。しかし将棋倒しになった例はあまり聞かない。また林立する近代ビルの中に入ると，その天井の低さにまず驚く。別に頭がつかえたり，使用上不都合がない程度には押さえてある。あらゆるデータを尊重し，経済性を追求した結果なのであろう。にもかかわらず，これらにであうたび一種の抵抗を感ずる。
小生の勤務するビルは，相当の年代物で，窓は小さく，壁天井はひどくくすんでいる。階段，ホールは広すぎ，天井は高く，全くむだの多い建物である。それでも，その中にいると，母の懐に抱かれた程の安らぎを覚えるのである。古ビル礼讃である。　(HM)

■ 開発と人間

開発という言葉が，やたらと使われている。いわく地域開発，都市再開発，宅地開発，観光開発，はては人間，社会，環境，能力といったものにまで「開発」をつけることがはやっている。たしかにこの言葉には，目新しい，人をひきつけるようなひびきがある。すべてを新しく開きおこすことによって，なにか人間生活にプラスを与えるといったようなひびきがある。しかし，現実はどうか。地域開発における農漁村の問題，それにともなう出かせぎ労働者の問題，宅地開発，観光開発における遺跡保存の問題，能力開発における過剰競争の問題と脱落者、非行少年の問題など，「開発」が現実に人間生活に対して与えるものは，決してプラスではなく，むしろ社会の最も弱い部分にシワよせされる残酷なマイナスでしかないという場面が多い。われわれは日本の政治家が好んで使うこのことばに大いに驚戒しなければならぬと思う。　(KT)

■ サラリーマン住宅

政府の〝新〟住宅政策として，「勤労者に住宅建設費を積み立てさせ，残額を住宅金融公庫や住宅公団に融資させて住宅を分譲する」というサラリーマン住宅なるものがあらわれた。
「持家こそが個人の住宅所有の最終的目標である」という考え方は戦後一貫してとられてきた住宅政策の基調であるが，宅地債券といい，サラリーマン住宅といい，ここ2，3年この考え方が非常に表面だってきた観がある。
もちろん，持家を持てる経済力のある人々には結構なことである。しかし，より多くの人々が日々の生活でさえもどんなにしんどい思いをしているかも知らぬげに，「積み立てよ」とおっしゃる。どうも，よりよい住宅に住めるも住めぬも個人の努力次第であると考えていらっしゃるらしい。
これで，「高度社会福祉国家をめざしております」といわれても，そりゃきこえませぬ。
(MT)

本号と次号は左記の新しい執筆者が担当します。

昭和39年中に竣工した新建築

PR・順不同

大阪証券会館……KK　大　林　組／25
姫路観光交通会館……鹿　島　建　設　KK／26
河野KK本社ビル……大　成　建　設　KK／27
長谷川第10ビル……KK長谷川工務店／28
浪花組ビルディング……不　二　建　設　KK／29
オリエンタルホテル……KK　竹中工務店／30
浦島本館・従業員宿舎……戸　田　建　設　KK／31
秋田市庁舎……KK　浅　沼　組／32
丸亀市庁舎……KK　錢　高　組／33
寝屋川市庁舎……KK　松　村　組／34
日本専売公社橋本工場……KK　奥　村　組／35
堀川電話局……大日本土木KK／36
三笠コカ・コーラボトリングKK本社工場
……KK　藤　田　組／37
石切農業協同組合……KK　井　上　組／38
大阪身体障碍者職業訓練所……村　上　建　設　KK／39
立花製菓KK高槻工場・工場棟
……東　海　興　業　KK／40

発売開始

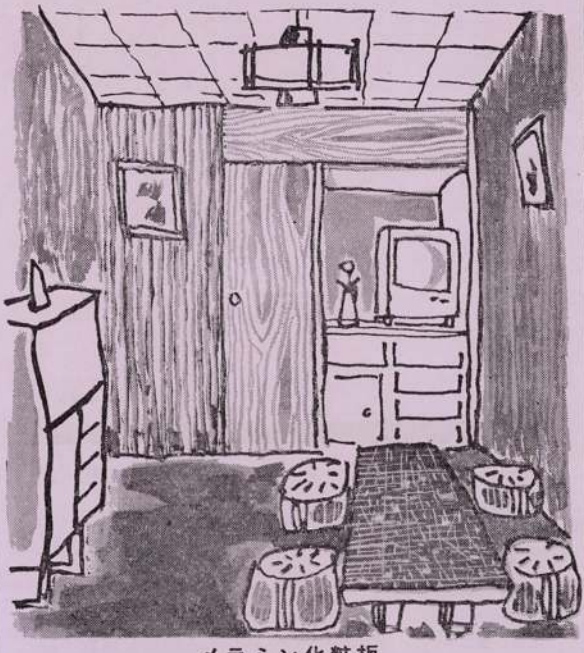
＊耐クラック性最高
耐熱・耐水・耐摩耗
耐衝撃　各物性抜群

ジアリルフタレート系樹脂 オーバレー合板

トーケン ダプレ

■含浸・ホットプレス方式・鏡面板仕上げ

910×1820×3㎜(3×6)
610×2430×4㎜(2×8)　各種柄



メラミン化粧板

メラトップ

1.6㎜, 1㎜・(3×6)(4×3)2.5×5)(3.5×2.5)

●其他各サイズ　　天板・家具材

DAP(ジアリルフタレート)樹脂オーバレー

トーケン ダップ

高級壁面・家具・キャビネット
車輛・船舶・内装用

総発売元

東洋棉花株式会社 木材部

本社　大阪市東区高麗橋三丁目一番地　TEL大阪(代)(203)1361
支店及出張所　札幌・東京・仙台・新潟・富山・金沢・福井・浜松・名古屋・岡山・広島・福岡

製造元

トーメン建材工業株式会社

大阪府吹田市西御旅町八番十八号　TEL大阪(代)(381)2525



大阪証券会館

所在地	大阪市東区北浜1丁目29番地
敷地面積	650.169 m²
建築面積	635.865 m²
延面積	7,098.987 m²
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造，地下2階，地上9階，塔屋3階
竣工日	昭和39年10月25日

設計施工　株式会社　大林組



所在地	姫路市駅前町
敷地面積	845 m²
建築面積	758 m²
延面積	6,142 m²
構造規模	鉄筋コンクリート造（一部鉄骨造），地下2階，地上7階，塔屋3階
竣工日	昭和39年 9 月15日

姫路観光交通会館

設計　日建設計工務株式会社

施工　鹿島建設株式会社 大阪支店



所在地	大阪市安土町3丁目23番地
敷地面積	785.7 m²
建築面積	776 m₂
延面積	4,354.25 m²
構造規模	RC，地下1階，地上5階，塔屋2階
竣工日	昭和39年10月

河野株式会社本社ビル

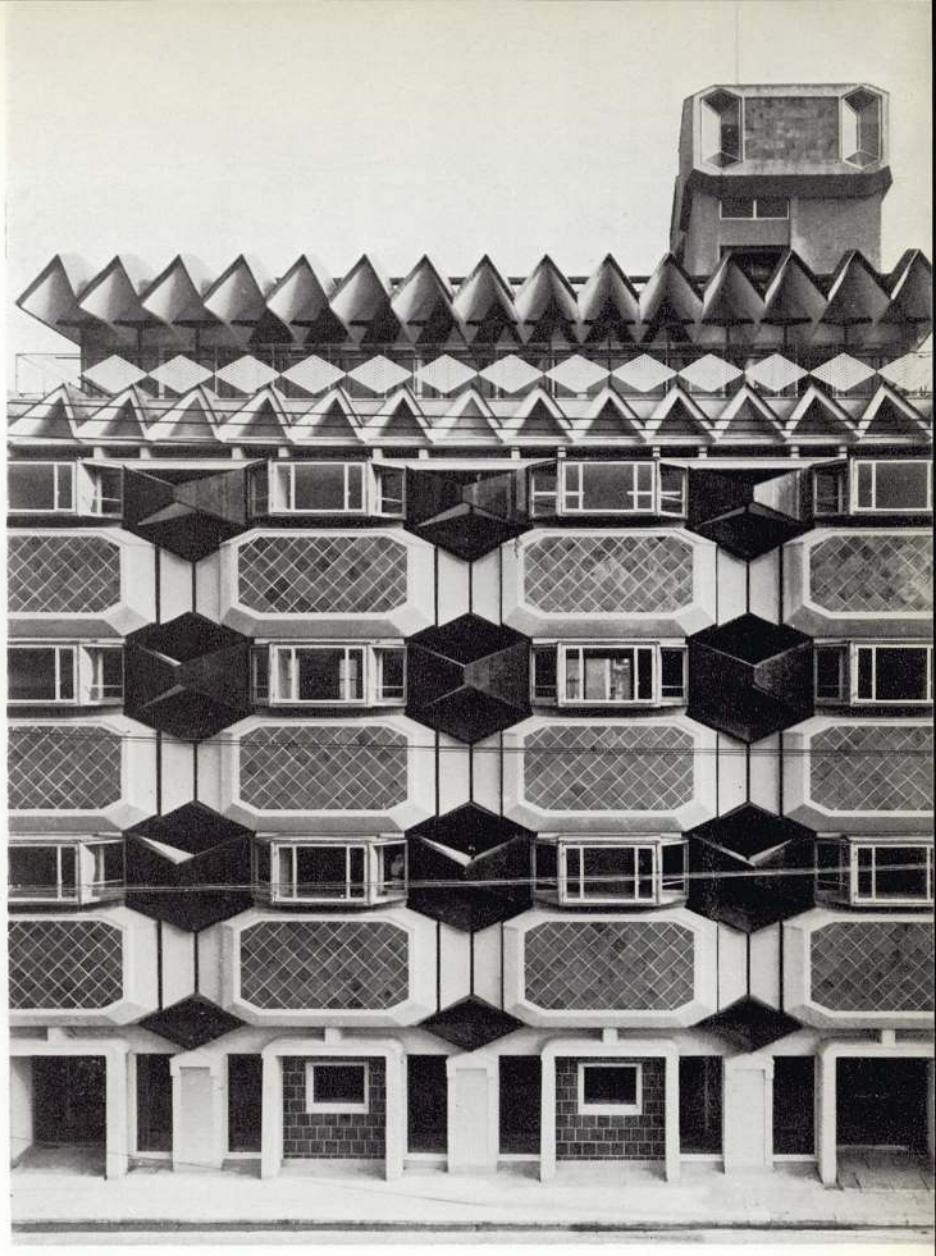
設計施工　大成建設株式会社大阪支店



所在地	東京都千代田区神田錦町3—20
敷地面積	950.995 m²
建築面積	850.539 m²
延面積	10,921.850 m²
構造規模	鋳鋼管構造，地下3階，地上10階，塔屋3階
竣工日	昭和39年11月17日

長谷川第10ビル

設計施工　株式会社 **長谷川工務店**



所在地	大阪市南区玉屋町11
建築面積	337 m²
延面積	1,703 m²
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート，地下1階，地上5階，塔屋2階
竣工日	昭和39年6月15日

浪花組ビルディング

設計　村野森建築事務所

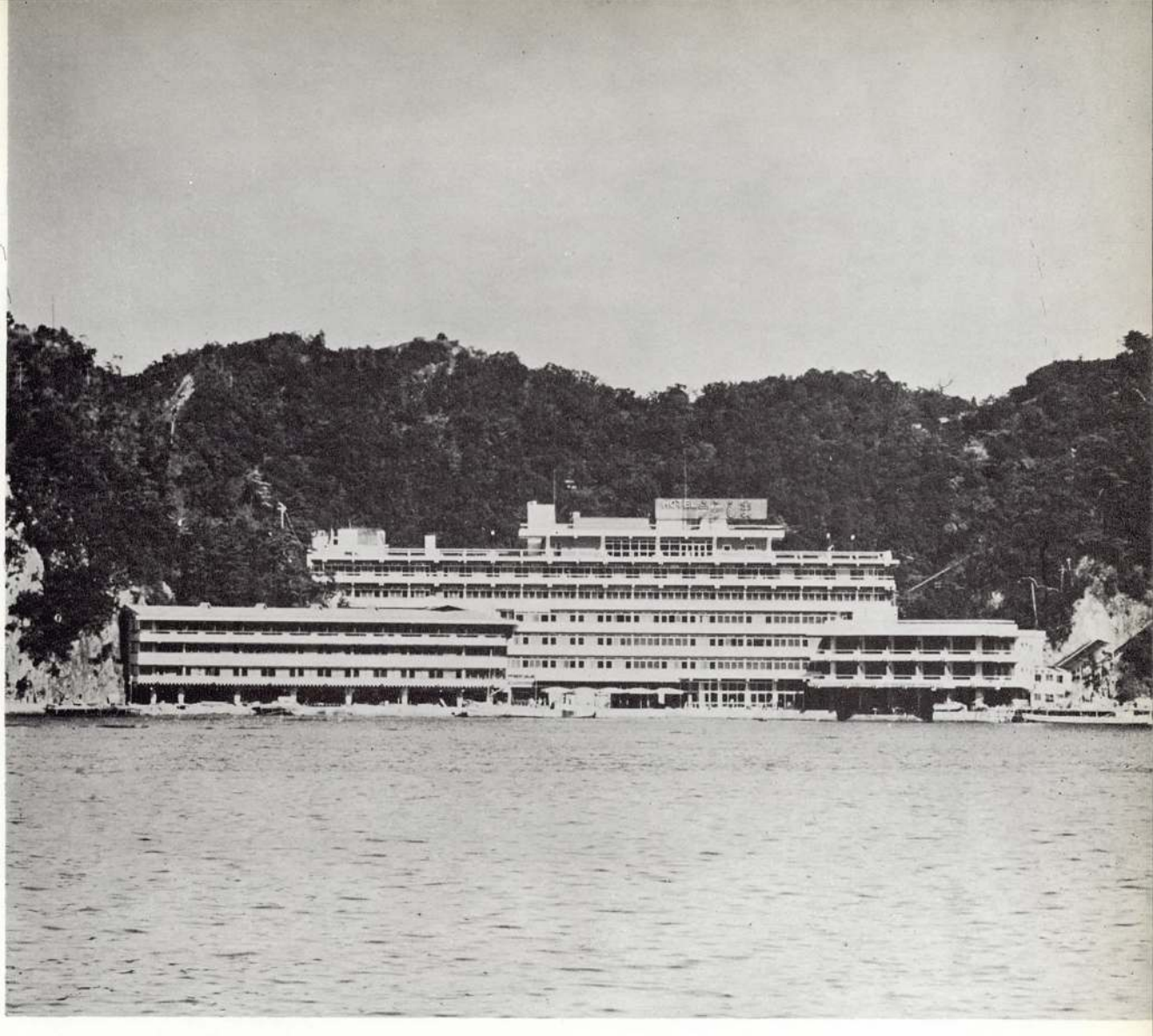
施工　不二建設株式会社



所在地	神戸市生田区京町25
敷地面積	2,471.59 m²
建築面積	2,285.05 m²
延面積	17,882.50 m²
構造規模	鉄骨鉄筋コンクリート造，地下2階，地上11階，塔屋2階
竣工日	昭和39年 8 月15日

オリエンタルホテル

設計施工　株式会社 竹中工務店



所在地	和歌山県東牟婁郡那智勝浦町	
敷地面積	約 50,000 m²	
	本館	宿舎
建築面積	1,765.711m²	395.241m²
延面積	8,283.427m²	2,538.681m²
構造規模	RC6階建	RC7階建
竣工日	昭和39年 9月27日	

浦島本館・従業員宿舎

設計　富松一級建築事務所

施工　戸田建設株式会社大阪支店

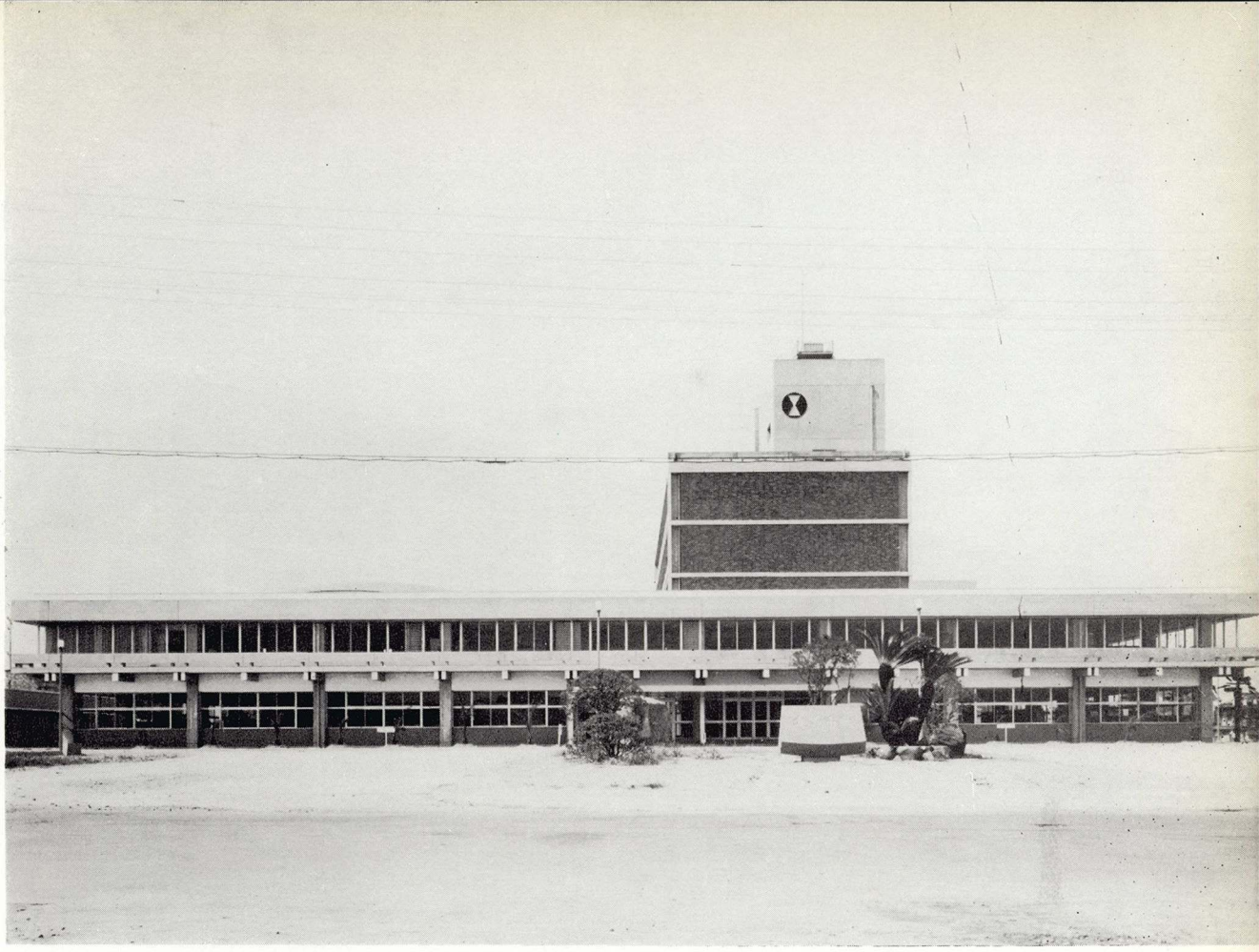


所在地	秋田市川尻町山王通リ
敷地面積	28,603 m²
建築面積	4,967 m²
延面積	庁舎部分 13,043 m²
	消防棟 1,002 m²
構造規模	RC（一部S造），地下1階，地上4階，塔屋3階
竣工日	昭和39年10月26日

秋田市庁舎

設計　久米建築設計事務所

施工　株式会社 浅沼組



所在地	丸亀市大手町
敷地面積	11,570 m²
建築面積	2,348 m²
延面積	6,717 m²
構造規模	RC，地下1階，地上5階，塔屋2階
竣工日	昭和39年6月30日

丸亀市庁舎

設計　日建設計工務株式会社

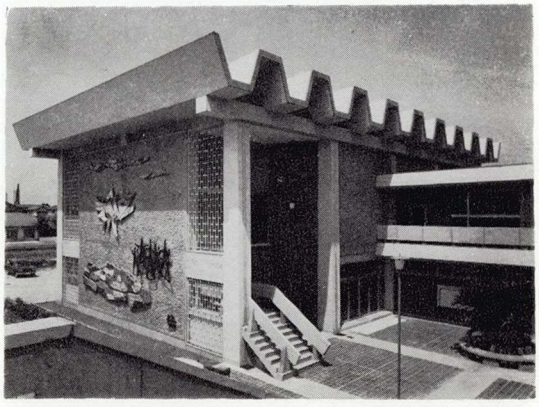
施工　株式会社 銭高組

寝屋川市庁舎

設　計　ベニススタジオ設計事務所

施　工　株式会社 **松　村　組**

所在地	寝屋川市大字泰571
敷地面積	9,956 m²
延面積	5,935.585 m²
構造規模	RC，地下1階，地上3階，塔屋4階
竣工日	昭和39年 5 月31日



議事堂



所在地	和歌山県橋本市字妻
敷地面積	約 19,800 m²
建築面積	11,896 m²
延面積	34,876 m²
構造規模	RC 3階建，一部地下1階，塔屋2階
竣工日	昭和39年 6月30日

日本専売公社 橋本工場

設計 日本専売公社・K構造研究所

施工 株式会社 奥村組



所在地	大阪市北区南同心町1丁目24
敷地面積	3,142 m²
建築面積	1,570 m²
延面積	7,356 m²
構造規模	鉄筋コンクリート造，地下1階，地上4階，屋階2階
竣工日	昭和39年 6 月30日

堀　川　電　話　局

設　計　日本電信電話公社近畿電気通信局第二建築部

施　工　大日本土木株式会社大阪支店



所在地	奈良県天理市嘉幡町643	
敷地面積		5,307 坪
建築面積		970 坪
延面積		2,854 m²
構造規模		
事務所	RC造 2F	760.4 m²
工場	S造 一部2F	599.2 m²
倉庫	S造 平屋建	783 m²
付属建物	L.G.S造 2F	396 m²
修理工場	CB造	105 m²
ガレージ	L.G.S造	210 m²
機械基礎，外部工事	一式	
竣工日	昭和39年 4 月15日	

三笠コカ・コーラボトリング株式会社本社工場

設計施工　株式会社　藤田組



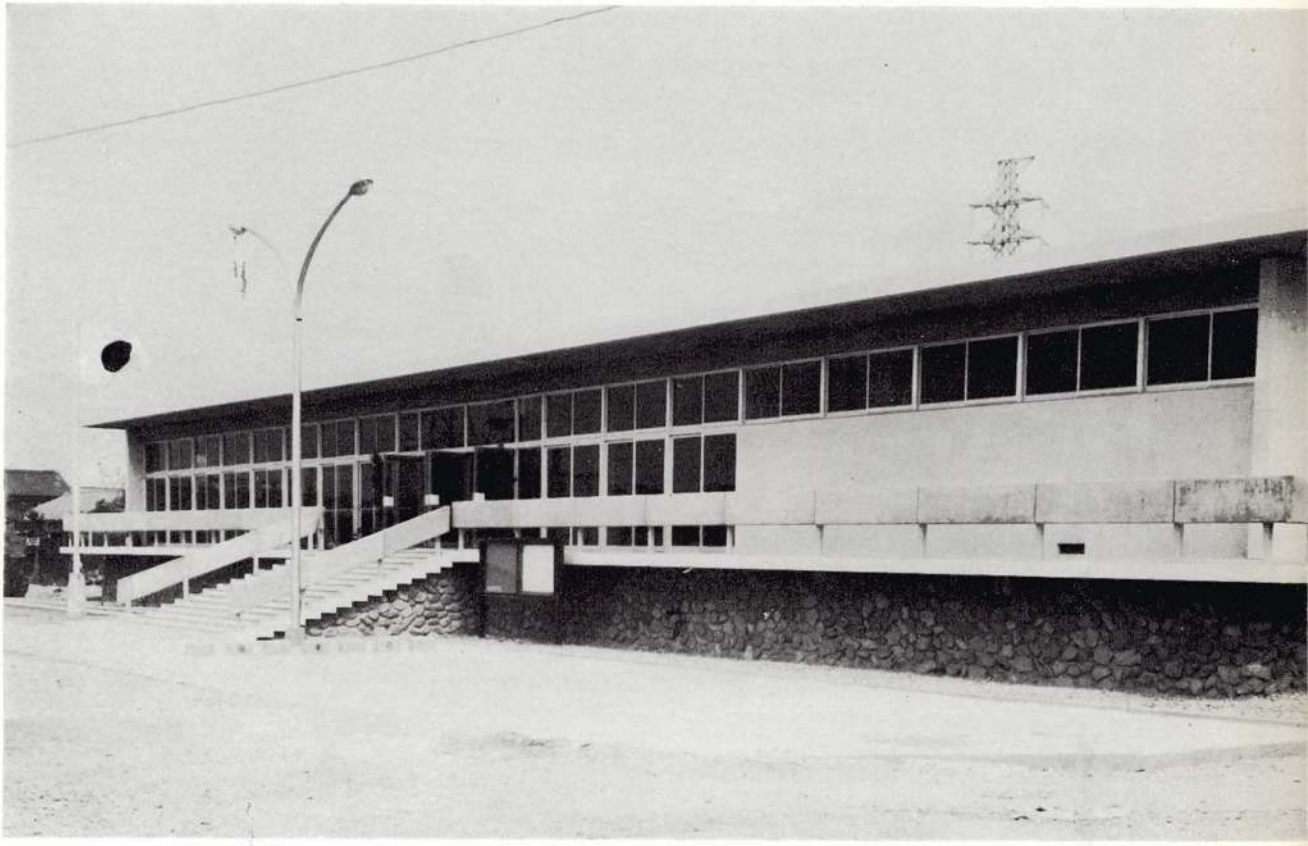
所在地	大阪府枚岡市石切町630番地ノ1
敷地面積	1,450 m²
建築面積	300.894 m²
延面積	570.96 m²
構造規模	鉄筋コンクリート造（付属家コンクリートブロック造）
竣工日	昭和 39 年 10 月 10

石切農業協同組合

設計　株式会社登光建築設計事務所

施工　株式会社 **井上組**





所在地	大阪府堺市旭ケ丘中町4丁目126
敷地面積	3,714.02 m²
建築面積	1,829.10 m²
延面積	1,829.10 m²
構造規模	鉄筋コンクリート造 平家建
竣工日	昭和39年3月末日

大阪身体障碍者職業訓練所

設計　近畿地方建設局営繕部

施工　村上建設株式会社 大阪支店



所在地	高槻市大字梶原705番地
敷地面積	18,717.60 m²
建築面積	3,964.27 m²
延面積	4,037.16 m²
構造規模	鉄筋コンクリートおよび鉄骨造平家建，一部2階
竣工日	昭和39年11月30日

立花製菓株式会社高槻工場・工場棟

設計施工　**東海興業株式会社 大阪支店**

昭和39年中に竣工した新建築

巻頭言

日本建築協会会長 東畑謙三

前会長尾崎久助さんの特集号の巻頭言を，はるか後輩である私が書くことは全く面はゆい感があるが，役目と存じ，あえて記します。私が尾崎久助さんを知ったのは，大正の末期，大学の二年生の夏休みに，当時の大蔵省営繕管財局へ実習に行った時である。当時，この営繕管財局は大熊喜邦氏を局長として，多くの官庁建築の設計監理をしていたのだが，その中の最大のものが現在の国会議事堂の設計であった。その構造計画に生魂を打ち込んでいられたのが，今はなき斎藤亀之助さんであった。私はその横に席をもらって計算の実習に一夏をおくった。その前年が関東の大震災，大蔵省もすっかり焼けて文字通りバラックであった。こんなきたないバラックから，新日本の建築物のリーダーたるものが生れるのかと，学に志す素朴な私には，それがかえって建築への希望をかきたててくれたのをおぼえている。当時は震災の直後で，鉄筋コンクリートなるものが救世主のごとく考えられた時代で，若き斎藤さんはこの新しき工法を修得して，この大建築の設計に取りくんでいられたのだが，時々行きつまられる時になると，きまって立ちよられるのが同期の尾崎さんであった。おそらく相談によばれたのだろう。そこで口角あわをとばしながら議論が始まるのである。学生である私は，これらの先輩達の議論をそばで聞きながら，建築技術の深さと奥の広さを知ったのである。私にとっては尾崎さんは間接の師であった。

日本で鉄筋コンクリート構造が大学で講ぜられたのは，たしか大正の中期である。始めてできた建築物は，今なお名建築として残っている京都市立図書館で日比教授の構造設計で，たしか大正十年頃の落成である。この時代は近代日本の建築界の第一の革進時代である。おそらく大学の講義の内容もまた大きな変化があったであろう。尾崎さんは大正九年出であるから新しき学問を学ばれて世にでられた時には前に人がいなかったものと想像する。そこへ旧態を精算するがごとくにやってきたのが，かの大震災である。そうして，その事後処理こそ建築技師の使命，尾崎さんはある意味において幸福な技師であった。事実日本で建築運動の始めは分離派運動であるが，そのメンバーはすべて同期の方々である。駿足をのばし得られる時代に，そのために出現されたような尾崎さんの活動は，さだめし華々しかったであろう。

日本建築界の第二の革進時代は最近の十年間である。戦争は破壊に始り建設に終る。時代を劃した出来事の後，その国の地位や社会の状態が，どのような大きな変化をきたすかをよく表わしているのが，わが国の現状である。勝敗とは無関係である。戦前，物のない国の代表であった日本は鉄鋼生産量は八倍にもなって世界第三立となった。セメントの生産量もまた同様第三位，建設工事量もおそらく同位ではなかろうか。この時代に尾崎さんは大きな職能団体の長であった。この意味においても尾崎さんは幸福な技師であった。統計によると，日本最大の建設会社は工事量においてアメリカ合衆国の最大会社をぬき世界第一位であるとのことだ。尾崎さんが主管されていた会社の設計監理をされた量と質，ならびに社員の数はおそらくアメリカ合衆国のそれと比較して，けっしておとるものでないと信ずる。

原子力から炊事器具まで，現代の建築家は知らねばならぬ。一人の力をもってしては到底及ばぬ知識の範囲が必要である。現代建築の複雑さ，広さは到底従来信じていた建築家という観念をはなれてしまった。それぞれの専門家の技を借りて，一つの目的に向って有機的に物を組立ててゆく術が建築家のすることである。目的を内蔵した有形物の組織能力が建築家の評価である。絵が上手であるとか，構造知識が達者であるとかは，それぞれの専門家の技にゆだねておいて，それらよりはフェーズを異にした，あるいはそれらより先行した〝物を組織する術〟こそ，建築家の最終到達境地であろう。しかもその術は実在物として衆目にふれ，また抹殺不能の建造物として後人の批評をうける。私は尾崎久助さんが長としての会社の作品をみて，今さらながら氏の非凡な業績に敬意を表してやまないものがある。

（東畑建築事務所長）



尾崎久助氏

前日本建築協会会長
日本建築協会名誉顧問

原籍地　静岡県浜名郡新居町1276
現住所　京都府乙訓郡向日町上植野字南開34—14
生年月日　明治29年5月4日生

学歴

大正9年　7月	東京帝国大学工学部建築学科卒業

職歴

自大正9年8月 至大正12年10月	辰野葛西建築事務所技師
自大正12年11月 至昭和2年10月	帝都復興院（後に復興局）技師
自昭和2年11月 至昭和13年8月	日本銀行技師
自昭和13年9月 至昭和19年11月	長谷部竹腰建築事務所副所長兼東京事務所長
昭和19年　11月	長谷部竹腰建築事務所は住友土地工務株式会社に合併により同社取締役建築部長兼東京事務所長
昭和21年　5月	日本建設産業株式会社（住友土地工務株式会社改称）常務取締役兼建築部長
昭和22年　3月	同　専務取締役兼建築部長
昭和23年　6月	同　建築部長を免ぜらる
昭和25年　6月	日本建設産業株式会社専務取締役辞任
自昭和25年7月 至昭和33年5月	日建設計工務株式会社取締役社長
昭和33年　5月	日建設計工務株式会社取締役会長
昭和38年　2月	日建設計工務株式会社取締役相談役に就任現在に至る
自大正14年 至昭和18年	早稲田大学講師
昭和14年	工学博士の学位を授与せらる
自昭和21年 至昭和23年	京都大学講師
自昭和23年 至昭和27年	大阪大学講師
昭和20年	軍需省嘱託
昭和21年	戦災復興院嘱託
自昭和22年 至昭和27年	大阪市立医科大学理事
昭和24年　8月	日本工業標準調査会委員
昭和26年　3月	大阪府建築士審議会委員
自昭和26年6月 至現在	大阪府建築士審議会々長
自昭和21年4月 至昭和33年3月	日本建築協会理事
自昭和33年4月 至昭和39年3月	日本建築協会々長
昭和39年　4月	日本建築協会名誉顧問
自昭和27年3月 至昭和36年3月	大阪府建築士会理事
自昭和27年9月 至昭和27年12月	ポルトガル国リスボン市において開催の第21回万国住宅及び都市計画会議に出席し，その後イタリア，スペイン，フランス，スイス，ドイツ，スエーデン，フィンランド，イギリス，アメリカの建築を視察す
自昭和31年11月 至現在	大阪市建築審査会委員
自昭和33年8月 至昭和39年3月	中央建築士審議会委員
昭和36年　5月	日本建築家協会終身正会員

賞罰

昭和32年　5月	建築行政に対する功績により大阪府知事より表彰を受く
昭和32年　7月	建築事業に関する多年の功績により建設大臣より表彰を受く
昭和35年　10月	藍綬褒章を受く

尾崎久助特集内容

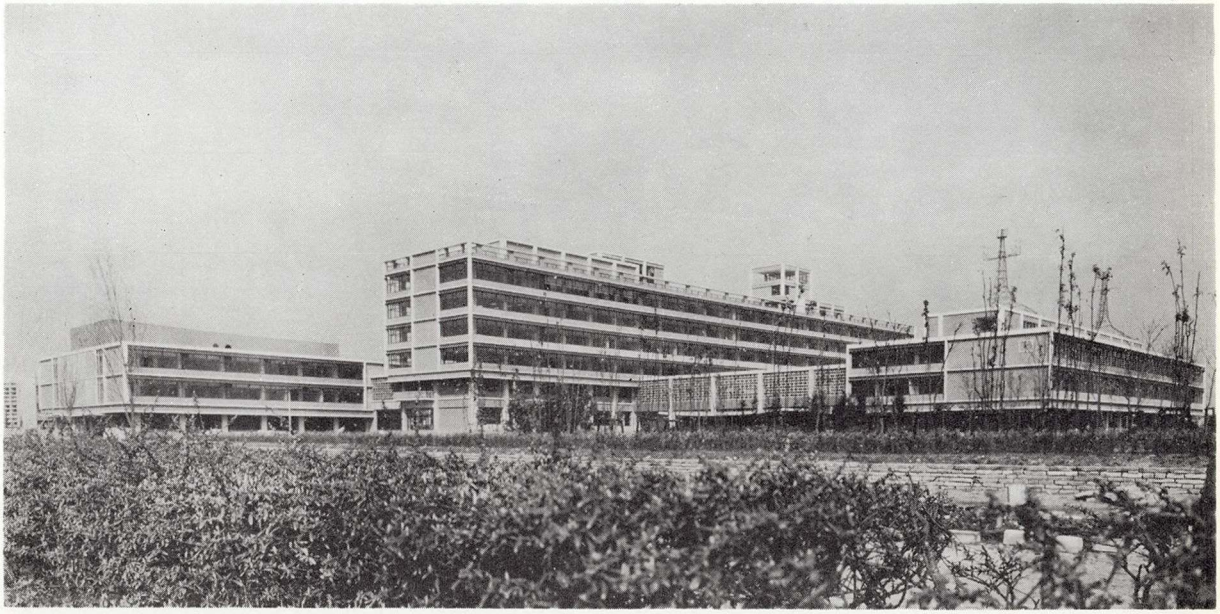
・尾崎久助・建築作品
・尾崎久助・絵
・尾崎久助・短歌
・回顧録
・余技
・尾崎久助氏を語る
・尾崎久助君を囲む座談会
・尾崎久助著作目録・論文梗概

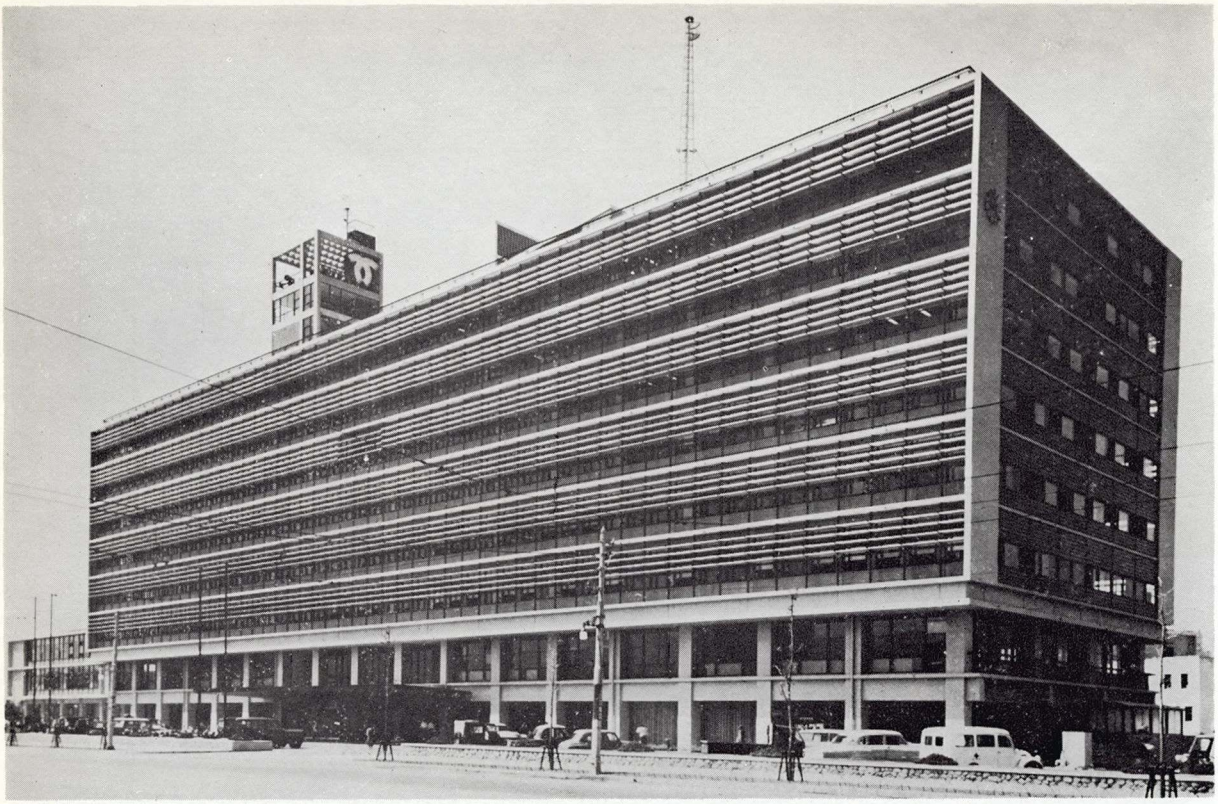


長崎県庁舎　長崎市　昭和28年

尾崎久助・建築作品

広島県庁舎　広島市　昭和31年



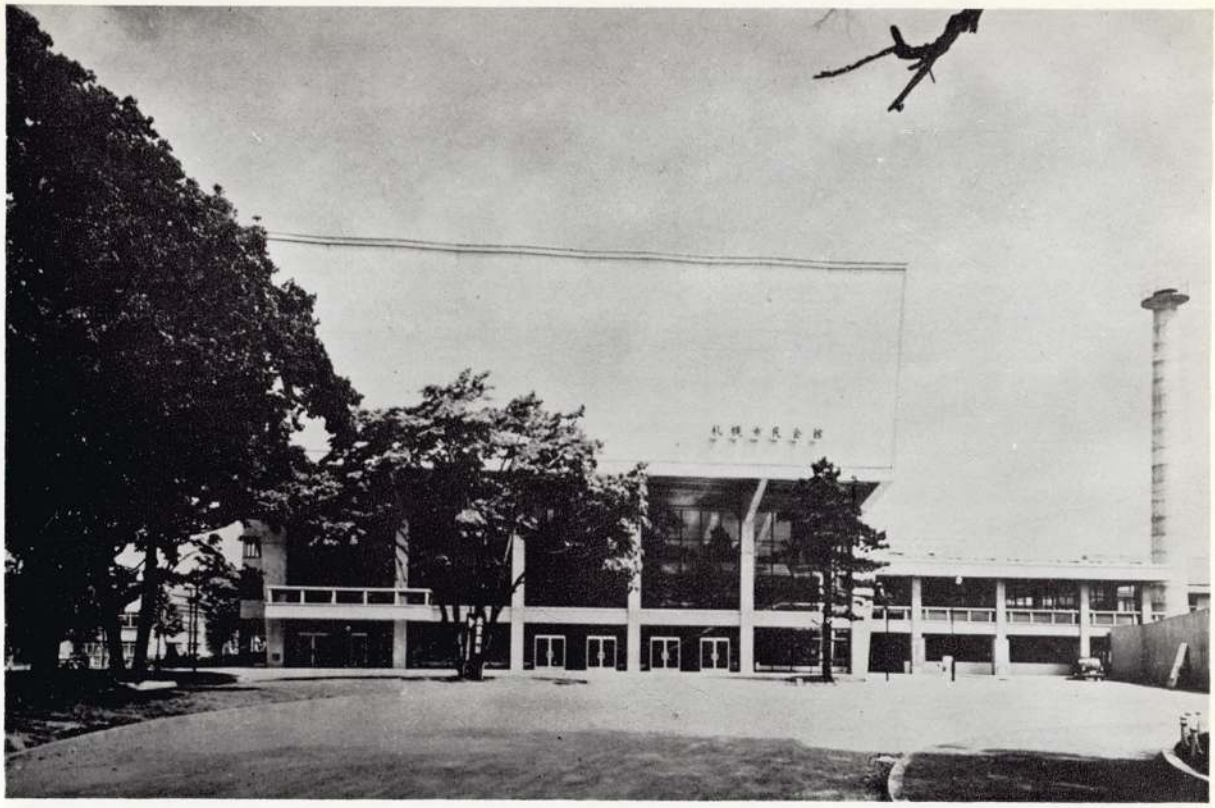


神戸市庁舎　神戸市　昭和32年



北国銀行本店

金沢市　昭和33年

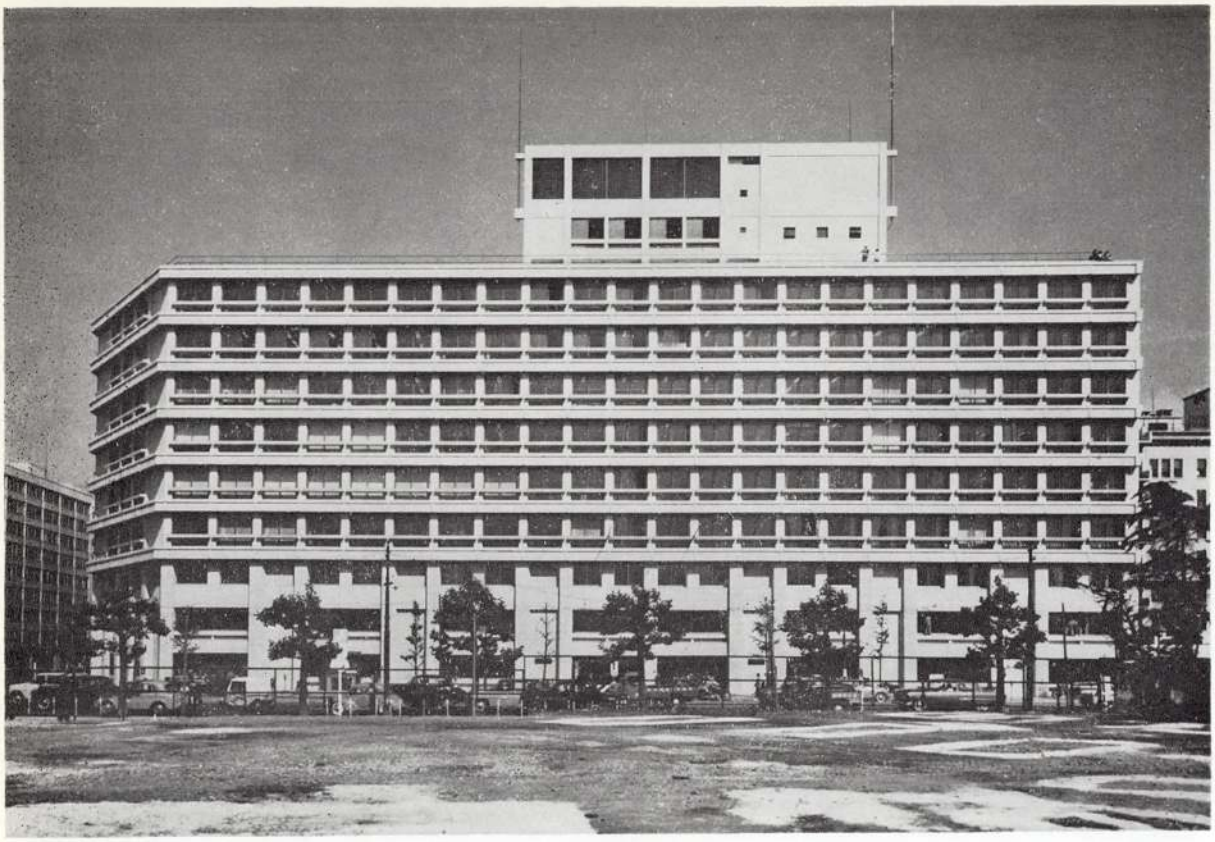


札幌市民会館　札幌市　昭和33年

毎日大阪会館

大阪市　昭和33年





東京新住友ビルディング　東京都　昭和34年



日本都市センター

東京都　昭和34年



都道府県会館　東京都　昭和35年

東海銀行本店

名古屋市　昭和36年



尾崎久助・絵

尾崎さんの絵

池田遙邨

会社のなかではいかめしい顔をしている社長さんたちが，チャーチル会の写生日はまるで子供のようにほぐれた顔に変って無心に絵筆をとっている姿が，客員の故で出席した私をほのぼのとした暖さにつつんだ。そのひとりであった尾崎久助さんと初めて識り合ったのは昭和28年頃と思う。

日曜画家の絵は，私たち職業画家には持合せない純真無垢さがあり，無技巧なかに対照への素直な見方や感じかたが，構図や色彩や調子などに現わされていることにほほえましい親しみをおぼえたときに，感心し，ときに教えられるのである。

尾崎さんは京都チャーチル会員として早くから参加されており，毎年開かれる展覧会への出品はそのたびに最高の賞を授けられているが，ほかに会員のなかの経済人が3，4人と相寄ってひらく展覧会には，いつもその一員として数点の多くを出品されていたのを，私は，3，4回観て，その熱心さと努力と，画境と，進歩のあとをよく識るをえたのであった。

尾崎さんが，人物，風景，静物となんでも自由に描きこなされるのはめずらしく偉とするところである。その色彩は美しく冴えて構成の巧みさとが対照をつよく押し出す力をもっているのが特色といえよう。

私は，最近に向日町のお邸を訪える機会を得たが，まず玄関に立って，そこに掲げられた三十号大の静物画に魅せられて署名を見直したほどである。そして階上階下の部屋のなかを埋めて陳べられていた作品，おどろくほど多くを積まれていた色紙，さらに夫妻同伴で渡米の途の写生をも一覧するのに愉しい時をすごしたが，その2，3年来の近作の油彩には，すでに日曜画家の域を脱しているのに感心して看入ったのである。

（尾崎久助絵と短歌1の「画集の刊行に寄せて」より引用）

1. 熊野の海





2.　舞妓（京都木屋町にて）

上図に対する池田遙邨先生よりの書簡の一部

舞妓を描くのは実にむつかしく，私も幾度か写生しましたが，素描ですらかけないのに手を焼きました。それを油でここまで描かれているのは感心のほかありません。だいいち黄色が明るくて非常にそれが効果的です。髪のこなしから顔から着衣の色合いから模様もよく入っていますし，少しツンとしたこういう妓のあの性格や表情もまことによく現わされています。手先も柔らく置かれており，それに少し斜向きにみた全体の姿が美しい。屏風の黒い縁線が直線にあらず，下方で右へ開いているのがとてもよろしいのや，畳の縁もよく入っており，頭部の切り方といい，構図としても難はありません。

この至難なモチーフをこれまで描かれたご技術は日曜画家の域を脱していると全く感服いたしました。



3. アマリリス



4. 戸隠山残雪



5. 壷を捧げる女



6. スリップを脱ぐ女



7.　バレリーナ（木炭淡彩）



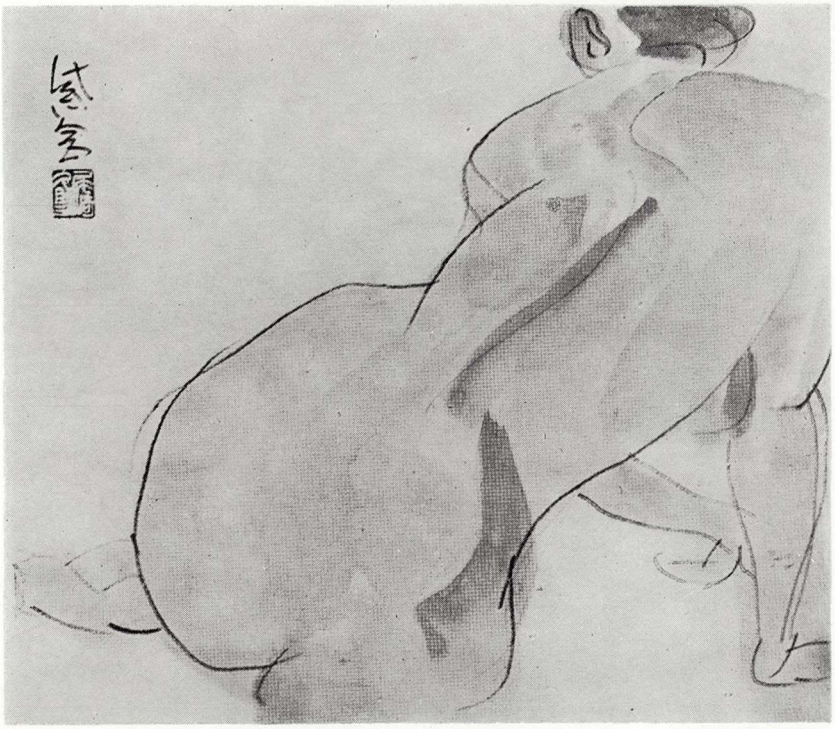
8.　椅子の上のシクラメン



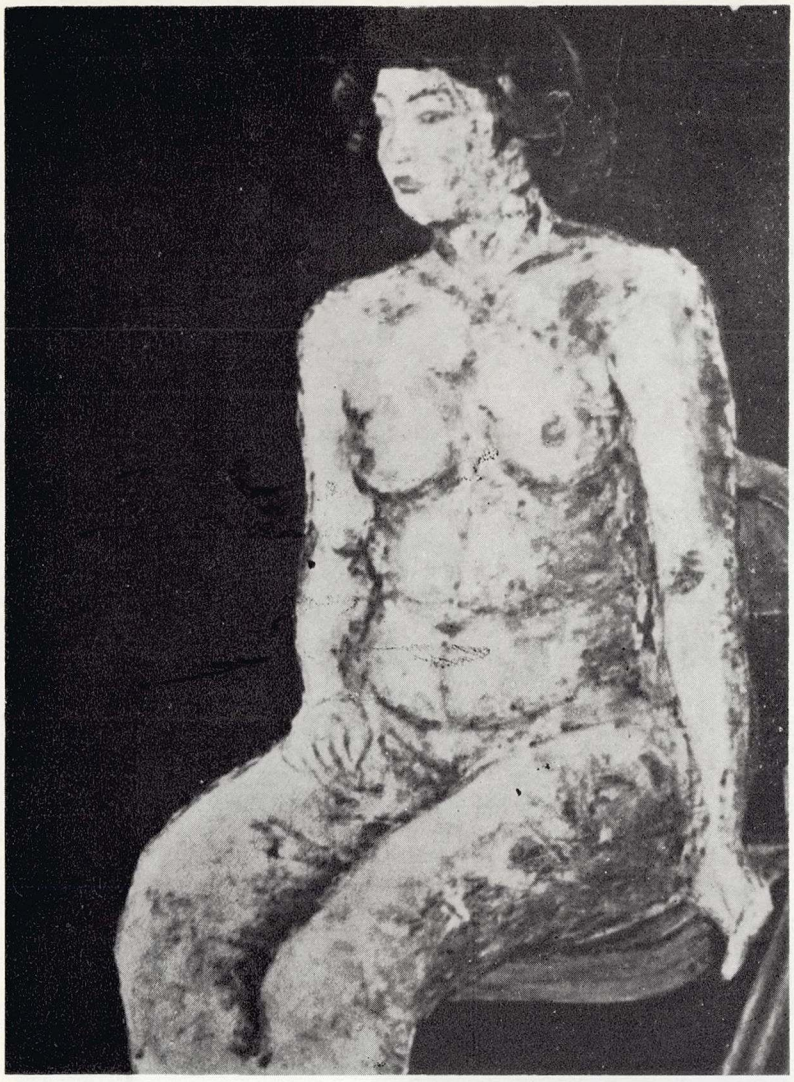
9.　李朝染付壷と赤楽茶碗



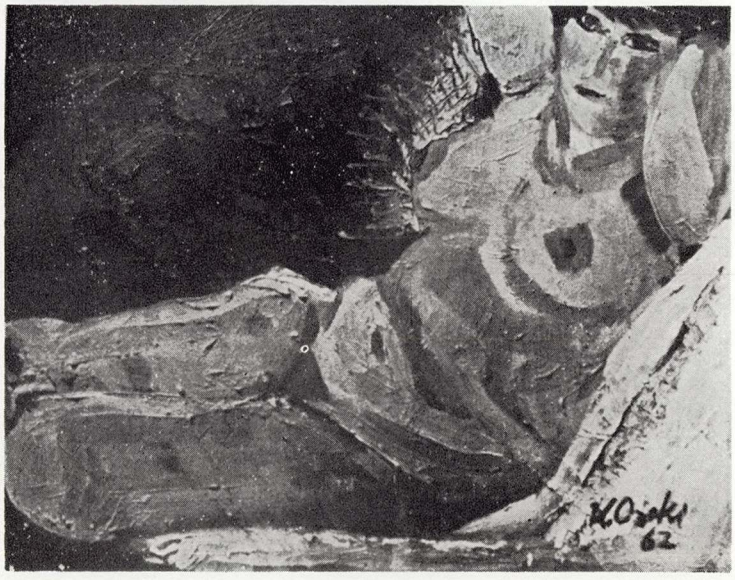
10.　ダ　リ　ア



11.　右向背面裸婦



12. 裸　　婦



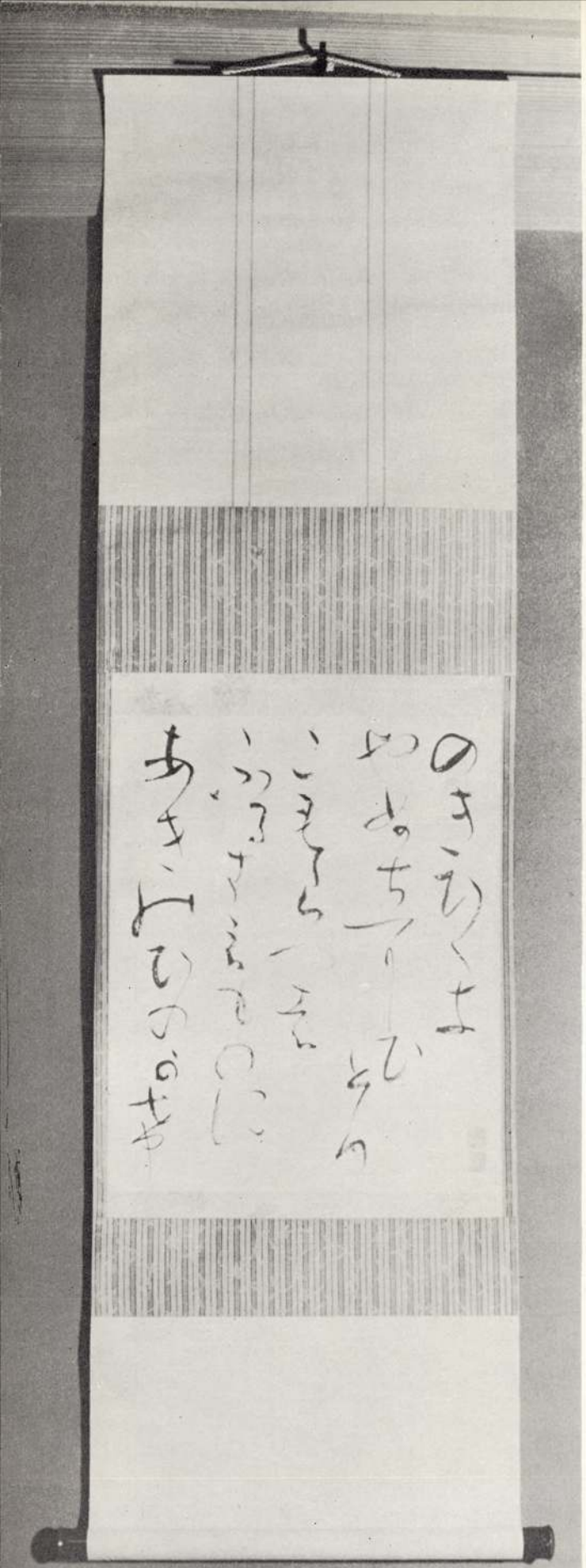
13. 白いクッション上の
臥裸婦



14.　白いバックの白衣座像

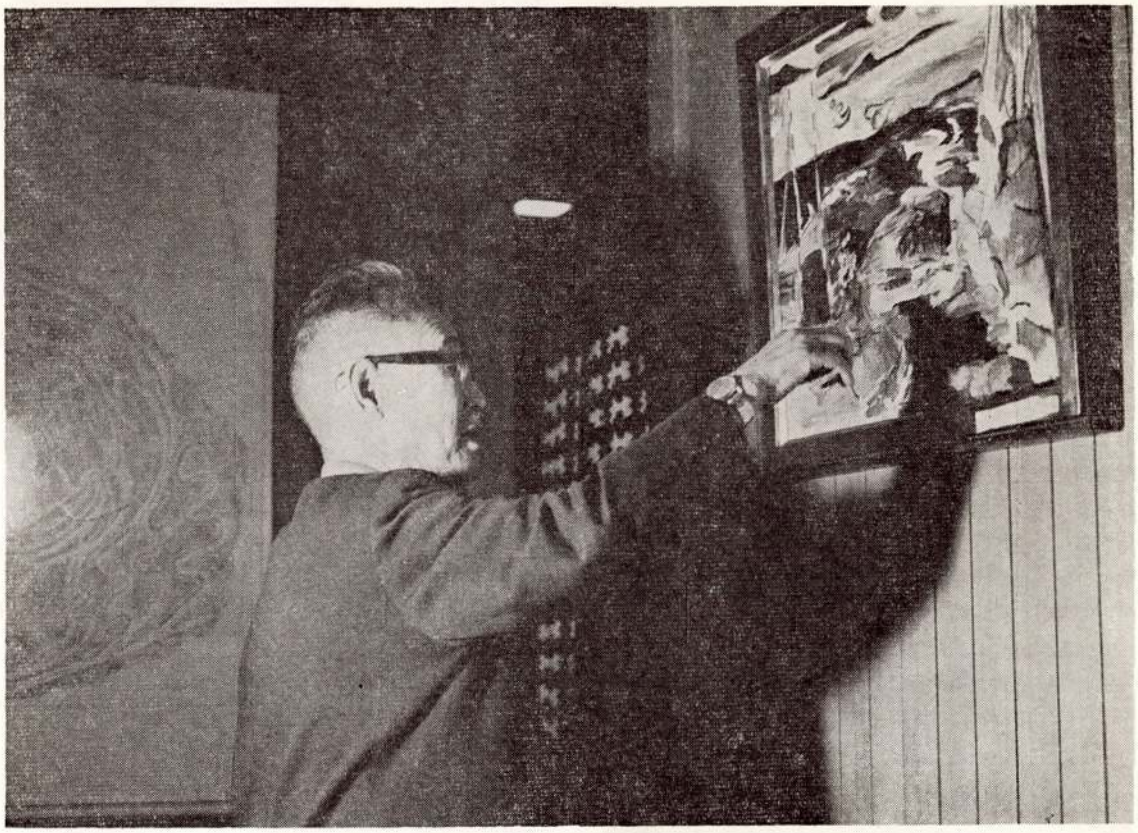


15.　唐　　三　　彩



尾崎久助・短歌

のきひくき
やぬちにひとり
こもらへば
ふるすえものに
あきの日のかげ



自宅玄関での尾崎久助氏（昭和39年12月）。右の絵は昭和39年関西一水会入選作品「沖縄の海」

回　顧　録

尾　崎　久　助

建築協会誌「建築と社会」に尾崎久助特集号を作られるということを耳にしたとき，格別の功績も無い者としてまことに恐縮であり，またはずかしいことだと思ったが，前会長の特集号を作ることは，前例にもなっていることだということでもあるので，ありがたくお享けしている次第である。その中に回顧録を書けとのことであるが，今年は満70才にはなるが，そうとはいえ，近頃のように平均年令が上っては，人生70才古来稀なり等とはいえぬし，また他人に読んで貰うような過去を持っているわけでもない。しかし私は最近お世話になった某氏から「70の年輪」という回顧録を戴いた。その序文中に『「忘却は神の人間に与へ給いし恩恵なり」という言葉もある。神の御恵みあらたかなる故か，近頃とみに物忘れがひどく自分の70年の生涯の記憶もぼんやりと霞んでしまいそうである。そこで70年の年輪としては，あまりにも平凡過ぎるかも知れぬが，平凡なる人生こそ，ありがたき一生とも思われるので，ありのままをそこはかとなく書き綴った次第』といわれている。

氏は年令こそ私より一つ上だけであるが，実業界に雄飛された方だけによいことをいわれております。そこで私も私の今までの一生は，よい先生，上司やよい先輩を持ってここまで来られた経緯につきる，まことにありがたいことである。私は70年の年輪の著者に做っても到底及びませぬが，やはり，思い出すままを書き留めて置くことにしました。徒然の折，ひろい読みされて思い出されることのある方もあれば，望外の倖であります。

中学校時代

私は明治42年（といえば随分昔だが），親が父祖の業を日露戦争で勢力を張った満洲へ拡張すべく大連（今何と呼ぶか知らぬが）へ出かけたので私もついて行った。そして翌年，中学校では始めてだという官立の関東都督府中学校というのが旅順にできたので，そこへ入った。そして，校長が元東京府立一中の校長として令名のあった勝浦鞆雄先生であったことは，私どもの誇りでもあった。また民政長官は後に製鉄所長官や日本郵船の社長を勤められた白仁武氏であり，都督はシベリヤ単騎遠征で歌われた福島安正陸軍大将であった。私は首席で卒業したので大将から銀時計を賞にいただいたが，今も大切にしている。

果して勝浦校長の教育は独特のもので，専門の歴史の先生とは別に，特に日本歴史を講ぜられたが，それは天皇や源平藤橘の治乱興亡の跡を顧みる普通の歴史ではなく，いわゆる文化史であった。私は後になってよい歴史を教わったと喜んだことであった。また修身を特に講ぜられたが，これがまた普通のやり方でなくて，高田屋嘉兵衛，熊山蕃山等特殊の人物の伝記を講ぜられた。蕃山の苦行の話等，実社会に入ってからの私に益する所があった。「筑葉山葉山繁山しげけれど思ひ入るにはさわらざりけり」「憂き事のなほこの上に積れかし限りある身の力ためさん」の蕃山の二首は今もなおよく覚えている。

また校訓というものを作られたが，その第一に「体を錬り気を養い以て剛健の志を立つべし」というのがあったが，これも私の人生によい指針を与えてくれたと思う。勝浦校長こそほんとの教育者であったと私は今もありがたく感謝している。勝浦先生こそは私に恵まれたよい先生の最初である。いつであったか，乃木大将が学校へ来られたことがあった。満洲の冬のこととてスチーム煖房がしてあったのは当然だが，乃木大将は「こんなことでは生徒は弱くなる」といわれて流石の勝浦校長も言葉がなかったという話がある。それほど，いわゆるスパルタ式教育であった。今では問題もあろうが，私はそういう教育のお蔭を蒙っていると信じている。



中学時代

高等学校時代

大正3年東京都へ来て三高へ受験入学した。その頃の高等学校ことに一高や三高へ入ることは大変なことで三条の白線の帽子をかぶることは，その後東京帝大へ入ったり，それを卒業したりまた就職したりした時よりずっと得意でうれしかった。その頃土浦建築事務所の土浦亀城君は中学でも，東大でも私より1年下であった。一高と三高以外は中学校で成績が優秀であった者は無試験で入学させるという規則があったので，私は郷里に近い名古屋の八高へその願書を出したのだが，満洲にあって歴史もごく浅い中学校の卒業生にはそれは許されなかった。私はおくればせながら勉強して三高へ入ったのだが，無試験で八高へ入れてもらはなかった方が却ってよかった。三高は一高との野球戦やボートレースで，青年の血をわかしたし，また山紫水明の地で比えい山や愛宕山へもしばしば登って大いに高校生活をエンジョイしたものだ。しかも大正3年は青島が陥落し，大正天皇の御大典もあって，私達の京都の三高生活は恵まれたもので



三高同窓。阿倍孝次郎君，故石本喜久治君らも見える。

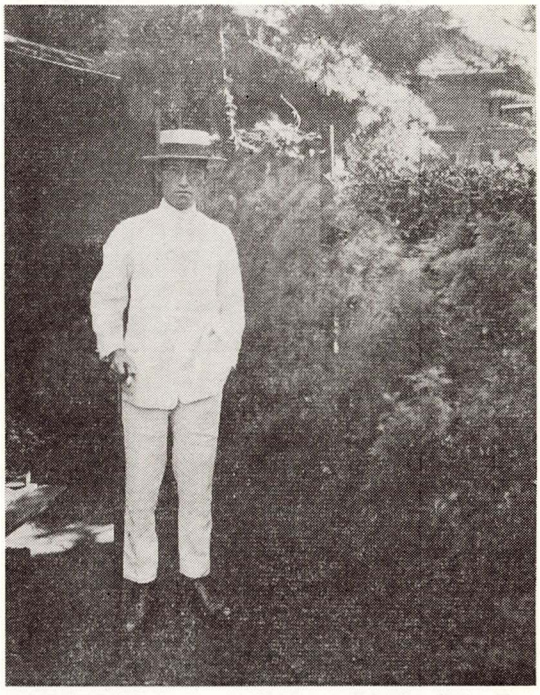
あった。当時の同窓生には関西経済連合会々長であり，東洋紡の会長である阿部孝次郎氏がおり，最初期の無産党代議士で神田の旅館で刺殺された山本宣治君も同級生であった。三高へ入ると，そこではまた自由主義の鼓吹を受けた。その主唱者はもうその頃は引退しておられた前校長折田彦市先生（後に貴族院議員に勅選せられた）で，われわれは自由主義を賛美するとともに，折田先生を敬慕したものだ。ここでも私は敬慕する先生を持ったことを喜んだ。

実社会に出て

大正9年私は東京帝国大学工学部建築学科を卒業した。その年は第一次欧洲大戦後の景気が出た時で，卒業見込の者は早くから就職の話があった。私には始め先生から海軍または警視庁へ行かぬかとお話があったが，気が向かぬので遂に辞退した。そのうちに滝沢真弓君（神戸山手女子短大教授，工博）がデザインを，私が構造をそれぞれ担当することで，建築事務所で最古（明治36年開設）の辰野葛西建築事務所から話があった。当時，同事務所には大学卒業生はおられなかったようで，相当の期待もかけられていたらしく，旁々かれこれ考えることもなく滝沢君とともに入所を決意した。日本建築界の父といわれた辰野金吾先生はすでに亡くなられていて，葛西万司博士が主宰しておられた。先生の家柄は南部藩の鉱山方で厳父は古河財閥の理事であったかと思う。そういう家柄のせいか，先生は実におっとりした方で，私どもコセコセするのが恥ずかしい思いだった。悠容迫らぬ先生の態度は私どもの真似してできるものではないが，瞼の裏には今も残っている。

帝都復興院復興局時代

辰野葛西事務所在職中，大正12年の関東大地震に遭った。私は自分がカメラを携えると共に焼け出されの本職写真師を同行して，主として焼けただれた鉄骨構造や鉄筋コンクリート構造の建築を写して歩いた。これが後に復興局技師時代に内田祥三先生のご指導の下に耐火建築の実験的研究を為す縁になった。そのうち大震火災の復興のため，帝都復興院という役所ができて，佐野先生が建築局長に任ぜられたので私も招かれて技師の一人になった。技術陣には先輩として，笠原敏郎，佐藤茂助，伊部貞吉，北沢五郎，志知勇次，柳沢彰等の諸氏がいた。私はここで，こういう秀才を立ち所に集められたのは佐野先生の魅力に依るものだと驚き感心した。ここでまた私はまれに見る立派な先生であり，上司である人に遭遇し得たのである。先生は非常に進歩的な方であった。専門以外にも日本のメートル法制定，ローマ字の普及にも非常に功績があったらしいし，現在の建築基準法の前の市街地建築物法や都市計画法，またその元をなす東京市建築条例の制定にも非常な力をつくされた方である。そして帝都復興院でも，後に内務省の復興局になってからで



辰野葛西事務所時代



復興局時代（昭和5年4月）

も，その中には土木上下水道造園等色々の技術者もいたが，期せずして佐野先生はそれら技術者の中心を為す観を呈した。これは官制に依るのではないので，前述した先生の稀に見る人間としての魅力に依るものだと思う。（しかしそれは親分肌というようなものではなく先生はあくまでも学究的の方であったが）。

日本銀行時代

昭和2年東京および横浜の復興は完成した。私は役人の友人のフロックコート，父親のシルクハットで天皇陛下に拝謁した。佐野先生は新設の大学の教職に私を考えておられるようなことを一寸漏らされたこともあったりまた別の所からのお誘いもあったが，結局当時の早稲田大学教授内藤多仲先生のお世話で新設の日本銀行臨時建築部へ技師として入った。日本銀行本店は，本館のほかに，敷地内に色々の建物を持っていたが，一貫した計画に従ったものでもないので，極めて不便不体裁のもので

あった。そこでそれらを取除いて一大建築を建て，増築とはいうものの，それを本体としょうとするものであった。日本銀行大増築の一般デザインは長野技師長であったが構造は内藤博士に特に委嘱せられていた。

一般デザインについては，ずっと以前に日本銀行技師をされたことのある長野宗平治博士が技師長として就任していられた。そして事務の方としては調査役岡野清豪氏（後に三和銀行頭取，自治大臣，文部大臣，通産大臣を歴任された）が大阪支店から転任して来られた。日本銀行でも私は行内で二人の得難い先輩に日毎親炙して私の人生に大いにプラスすることを得たのはありがたいことであった。

そして施工は慎重を期して直営と実費清算式とを併用された。そこで私は構造を実施するに就ての面倒を見，またその工事監理を担当した。その間に勉強したことによって私は昭和14年に学位を受けた，その間私は日銀臨時建築部で私の下で働いておられた横山不学君（後に工学博士）の助力をいただいたこと少なからざるものがある。

長野博士は還歴をとくに過ぎた高齢にもかかわらず，小さい特製製図板を作らせて，定規を使用して色々と原案を錬っておられた。そういう事がお好きであったといえばそれまでだが，そういう風に建築芸術，建築技術に徹しておられた方で，当時の日銀総裁井上準之助氏の信任も非常に篤かったのだと聞いた。その代り事務的才能には欠くる所があった。従って政治的動きをされるとか術策を弄するとかは全然ない方であった。先生は在原業平の後裔だという噂があったが，その真偽はともかくとして，そういってもよい程の美男子で，悠容迫らぬ挙止はたしかに日本銀行技師長にふさわしいものであった。岡野氏は私より5年先輩の法学士であったが，非常な勉強家で私共があっと驚くような建築の知識をどこからか仕入れられて部下を手足のごとくに駆使され，建築界の大家長野技師長に対して事務家として堂々と相対しておられたのは，まことに見事なものであった。氏は実によく努力する人であったが，また頭脳も図抜けてよい人であった。



日本銀行時代

その頃中学校や高等学校で頭のよいものが，理工学系統に進むとよくいわれたものだが，法科系統で頭のよいということは実にスケールが大きくてすばらしいものだということを私は岡野さんにおいて屢々痛感した。長

野先生といい岡野さんといい，十年ほどその下にあった私は，ここでも幸福を享受したといわねばならぬ。

ここで私は思いつくままに日本銀行の人に対するやり方に触れて置こう。私は昭和8年の春スキーで頸椎骨を痛めて半年間ギブスベッドに病臥した。その頃，岡野さんは秘書役をしておられたが，丁重なるお見舞をいただいたことはいうまでもなく，温情溢るるお言葉をいただいたことを今も忘れぬ。もう一つ岡野さんについて誌して置かねばならぬことがある。それは岡野さんが計画されたことはむつかしいことで定評のある日本銀行の理事会を大抵通してしまう。それについて語られたことがある。それは「私は理事に説明しに行く前にまづ自分によくいい聞かせて，説明して自分を十分に納得させる。自分が納得せずしてどうして他人を納得させることができよう」といわれたことである。岡野さんの努力の一端はここにもあらわれている。

岡野さんが（後にご自分でもいわれたが）全く素人の自治大臣や文部大臣もやってのけられたのは，頭脳のよさもさることながら，恐らくその熱意と努力の賜といえよう。

長谷部竹腰建築事務所へ入る

昭和13年日本銀行の大増築工事は完成した。その頃の私の行先については内藤先生も考えておられたようであったが，日本銀行内での私の友人が竹腰健造氏の親戚であったようだし，竹腰さんの同窓の早大吉田教授の推挙もあったらしく，私は招かれて長谷部竹腰建築事務所に入り，副所長兼東京事務所長として働くことになった。竹腰所長からは早く大阪へ来てそれぞれの筋へ挨拶するようにとの督促を受けた。私はこれで3回目の勤め変えであったが，いつも勤め口を変える間にブランクの月日が全然なかったのはまことにありがたいことであった。大阪へ行くと，長谷部竹腰両所長の外に後の住友総理事古田俊之助氏始め，住友のおえら方が来られて住友本社で中食会を催して歓迎して下さった。これには恐縮したが，後にこの事を古田さんにお話すると「結城日銀総裁から紹介の手紙が来たのだから特別扱いだった」と笑い話でいわれた。事務所へ入るや否や日本銀行から北分館の新築と，増築部分の防弾施設の設計監理のご委嘱を受けたので，時々日本銀行の古巣へも出入し得たことはうれしかった。また上海の華興商業銀行や北京の聯合準備銀行の主脳部に日本銀行から赴任された方があった関係で，両行の本店や各地の支店の新築や改築の設計監理を受注した。私はその仕事で北支や中支へ何度も往来した。しかも戦争中ながらその間どこでも快く仕事をすることができたのは，全く日本銀行のお蔭であった。


長谷部竹腰建築事務所時代（戦時）

長谷部さんという方は明治，大正，昭和三代を通じての最もすぐれた芸術的建築家であった。しかも天才的芸術家にありがちな偏奇なところは全然なく人格中正，円満温和立派な人間であられたことは知る人皆が敬慕する所である。こういう所は長野宇平治先生とも相通じていた。

竹腰さんはまた全く違った人物であった。ある時私の三高以来の友人であり大阪市建築局長であった故井上新二君を評して偉大なる常識人だといわれたことがあったが，竹腰さんもそういえば，また偉大な現実人だともいえる人であった。

住友人になる

大東亜戦争は緒戦の華々しさに反して，急速に形勢は逆転して行ってあらゆる工事の遂行が非常に窮屈になった。昭和19年，住友土地工務株式会社というのが，設立せられ，長谷部竹腰建築事務所はその会社に買収されることになった。そこで竹腰さんはその経緯を話され「あなたはどうしますか」と問われた。そこで私は「先輩のよいと思われるようにして下さい」と答えて住友土地工務株式会社取締役建築部長兼東京事務所長として住友人になった。後に，元住友銀行社長であり住友の元老の一人であられる岡橋林氏にお会いしたとき，「私は突然住友人になったが，様子がわからぬので心配している」とお話したら，「日本銀行で勤め上げた人なら心配はいらぬ」といわれた。そこで「真面目に努力すればよさそうだ」とまづは安心した。その後会社は日本建設産業株式会社と改称して商事貿易を主とする会社になった。

日建設計工務株式会社

私はその専務取締役建築部長になったのだが主として建築の設計監理の業務に従事した。しかし敗戦直後でまともな設計監理の仕事があろうはずはなく，住友連系会社やその他関係ある工場の復興のために資材入手に骨を折ること等が主な仕事であった。その頃は建築部門の成績の上がらぬのに苦慮したが，商事部門と建築の設計監理業務とが一つの会社内にあることが双方に利益でないことがわかって昭和25年に設計監理部門は，日建設計工務株式会社として分離し，私はその取締役社長になった。間もなく労働組合ができることになったが，私はそういうことには全然素人なので，急いで参考書を買って読み当時の総務部長布清二氏（東京商大出身で現在専務取締役）の援助を受けて，どうやら労働協約を結んだが，全く骨を折った。しかし私は団体交渉の時はどうせ掛引をするような知識も，能力もないので，ただ誠心誠意をもって当ったが，これは組合側にも理解されたらしくて大した波瀾もなくて，労働協約を結び得たのはありがたかった。

私は学校を出て最初に就職したのが建築設計事務所の濫觴（明治36年設立）である辰野葛西事務所であったが，日建設計工務株式会社というやはり建築設計会社で最後？のご奉公をすることになったのは奇しき運命ともいえようか。そこで私も全力をつくす覚悟になった。そして何というても住友財閥を背景にしている上に，長谷部竹腰建築事務所以来の経歴もあって社業は日を逐うて盛大におもむいた。その上私が復興院や復興局にいた頃の先輩，知己が地方長官や市長等になっている人が幾多あり，日本銀行で食堂をともにしたお仲間は地方銀行や特殊銀行の頭取総裁になり，また有力会社の主脳部になっておられたので，それ等の方々のご援助で社業はいよいよ盛大におもむき，日本最大の建築設計会社であり，世界的にいっても五指に入るといわれるようになった。しかし仕事の量や技術陣容の大をもってのみを誇りとすべきではなく，よい建築を作るべきなので，それには苦慮したが，幸に大方に褒められる建築も幾多設計監理することができたことはうれしいことであった。上記先輩や知己が長く私を忘れられることなく庇護を賜わられたことは感激のしだいである。



日建設計工務KK会長時代

私は本業のかたわら，長年早稲田大学，京都大学，大阪大学の講師も勤め，昭和の初年以来，日本建築学会，日本建築士会，日本建築家協会等の役員を勤め，また軍需省戦災復興院の嘱託であったこともあり，建設省の中央建築士審議会委員，通産省の日本工業標準調査会委員等であったこともある。日本建築総合試験所創立準備委員長もやり，それができた今は顧問をしている。これらは何れも私の建築家たることに大いにプラスになった。

その後昭和38年2月末には改選を機として会社の会長も辞して現在は取締役相談役として気ままな出勤をしている。また社団法人日本建築協会の会長も昨の春の任期を機に退いて，今は名誉顧問をさせてもらっている。日本建築協会の会長として就任していた建設省の委員も自然辞任した。ただし，大阪市建築審査会委員は，そのままで毎月一回の委員会その他臨時委員会等にもつとめて出席するようにしている。

ある時先輩の某氏が「尾崎君は実に人柄がよい」と褒められたので，私は「尾崎君は手腕力量に勝れていると誰もいってくれないのが物足らぬ」と返事したところ，「人柄というものは手腕力量以上のもので容易によい人柄に達することはできるものでない。よい人柄というのは最大級の讃辞だよ」といわれたことがある。そういえば多くの先輩，知己が援助して下さるのも，私のなまじっかな手腕力量でなくて，よい人柄故というようにいわれる方もあるので，あるいはそうかなとひそかに自負することもあった。

私は昭和33年社長を後進に譲って取締役会長になり分



日建設計工務KK社長時代（昭和33年）

に応じて社業に精励していた。しかるに昭和36年夏突然脳血栓というのに罹って直ちに住友病院に入院した。私は元来酒は余り飲まぬし，近年は余技として勉強した小唄や全く我流の立方で時間をつぶしてできるだけアルコール分を摂らぬことにしていたので，はなはだ不思議に思ったのだが，院長や主治医は「あなたのは働き過ぎが原因ですよ」といわれるし，見舞にこられた先輩知己もよくそういわれた。

内藤多仲先生

日本学士院会員早稲田大学名誉教授早稲田大学名誉工学博士内藤多仲先生は私の恩人である。内藤先生には学校で教えを受けたわけではない。講習会で講義を聞いたことはある。学校を出た頃同窓生が逓信省に入ったが，その時先生は逓信省の嘱託をしておられた。そこで同窓生を通じて先生に知られた。そして私も構造学を勉強していたので先生を師外の師として色々教えを受けた。これが機縁となって，四十年余非常なお世話になることになった。そういう仲間は数人いたのだが，職務の関係で遠ざかった者もおり死亡したものもあり，結果私が最も恩顧をいただいたことになった。先生は甲州の旧家のご出身だそうだが楽学ではなかったそうである。近年努力五十年という回顧録を書かれたように記憶するが，たしかにその通りと思う。

私どもが学校を出た頃丁度先生が横力分布係数を基礎とした耐震構造論を発表された頃で，それからは内藤先生の耐震構造論は，日本の耐震構造学となり先生の構造学者としての地位を確立した。その数年前から先生が構造設計をされた重要建築は沢山できた。先生はそういう実務ご多忙の中を早大教授として重要な講義をされた外に，早稲田高等工学校，早稲田工手学校，早稲田工業専門学校等にも講義を持たれ，その頃のご多忙さは驚歎すべきものがあった。その上振動理論に基礎を置いた最新の耐震構造論にも耳を傾けられてマニラ大学の求めに応じて耐震構造論を講義してこられたり，また基礎研究会を作られて私どももお手伝いをして勉強した。そのお忙しい中にも謡をたしなまれ，東京染井の舞台で衣裳をつけて演能されたのには驚いた。

しかし先生の努力はただ時をかけ力を竭すばかりでなく，何に当られても必ず創意による工夫をこらされたことを私は知っている。その一つは熔接でありまた馬事公苑を計画されておられた時，鉄筋コンクリートのアーチに色々工夫されていられたことでもある。日建設計工務株式会社の顧問として，エッフェル塔より高い東京タワー設計の指導に当られたが，ただ非常に高い鉄塔というだけの計算ではなかったようだ。その縁故をもって先生はエッフェル塔何十年かの記念にご家族とともにパリに招かれて，最近行って来られたはずだ。80才に近い御年だが，まことに御羨しいしだいではないか。また先年地震学者として地震後のイランに招かれて行って来られたが，その後早稲田大学へ研究所を寄贈せられ，そこでイランの学者だか学生にしばらく耐震構造を教えられた。

柳家金語楼師匠の言葉

昭和39年1月，私は渡辺日本電気社長のご媒酌で三男に土田家の女を娶り，パレスホテルで披露宴を催した。そのとき，柳家金語楼師匠が土田家の客として出席されたが，そのご挨拶が興味を引いたので，ここにご披露する。曰く「何か面白くなくてムシャクシャした場合は私の顔を瞼に浮べられたらなおります」これはテレビのジェスチュアーの金語楼師匠の奇妙奇テレツな表情のことであろうが，もう一つ私がほんとに同感したことをいわれた。それは「私は努力ということを意識せずにつねに努力してきました」と。芸能界ではちよっと油断しているとおくれてしまう。何をするのでもつねに清新創意を考えての日々でなければなるまい。そういう風では一々意識して努力していてはたまるまい。意識はせぬが，それが努力になっているというのは尊いことだと思う。オリンピックのクーベルタン氏も勝つことより努力することが大切だとテレビを通じていわれた。そういう私も実は四十余年つねに努力してきたのだが，特に骨を折った等の意識はあまりなかった。日本銀行増築の構造施工に当って，今までただ習慣的にやってきたことを理論的に考えたり，前後十年間にわたり三回に分けて施工したので，その間のデーターを整理して，統計的研究をあてはめて見たり，要するに，日常の職務として精出したことが，学位論文に自然になった。また日建設計工務株式会社になってから他から羨ましがられるほどよい建築の設計監理を沢山受注したが，その多くは多年の友情の自然の賜であった。

今回「建築と社会」が尾崎久助特集号を出されるというのは誠に望外の幸であるが，特にお忙しい方々が多数ご寄稿になり，また座談会には東京からわざわざ来会された同級生もあつて，真実ありがたいことである。私は健康もその後順調に快方に向い，先般は主治医のご諒解もあつて本復のご挨拶状をご心配に与つた各方面へ出した。終りに望んで私の深甚の謝意を申し述べて置きます。

余　技

尾崎夫人　尾　崎　志　ん

尾崎は非常な勉強家でございましたが，また趣味の広い人で，いずれも専門家について習っておりました。だからどれも相当な域まで達したのは感心だと，内藤多仲先生のお褒めもいただいておりました。

大正9年に東京帝国大学建築科を卒業して以来，一にも勉強，仕事と四十有余年を過してきました。私の友達などは，尾崎さんはほんとうに勉強がすきなんですね，何時伺っても書斉に入っていて一度もお目にかかれず，帰える時分になってやっと書斉から出て来られるので，今日はと，さようならを一度にいわなければならないのね，しかし人様からほめられるような勉強という，いい趣味を持っておられて結構なことですね，といわれたこともございました。それは自分の職務のこともございましたでしょうが，非常に責任感の強い人であるからだと思います。そのことを尾崎に話しました時に，誰だとて遊ぶのが嫌いな人はおそらくないだろう，私だってその通りではあるが，それでは，世の中は通れるものではない，たゆまず勉強もし，研究もして少しでも世の中のためになるよう努力するのは当然のことではないか，と申しておりました。と申しましても，全く他に趣味のない人ではなく，スポーツは三高時代にはテニス，大学になってからは乗馬と，しかし乗馬はなかなか思うように馬がいうことをきいてくれず閉口したようなことを，今はなき尾崎のお友達の故陸軍中将小倉尚様からうかがいました。

また，テニスもすきで勤めに出るようになりましてからも，日曜日ごとに，渋谷に同郷のお友達がございまして，そこにコートがおありになりましたので，友人と連れ立って私などほうり出して置いて行ったものでございます。小松製作所の社長の河合様は当時のお仲間だそうでございます。

その頃でしたように思いますが，腸が弱かったものですから声を出すことが健康上よいと申しまして，宝生流の謡を数年習いました。もっとも謡はこの時がはじめてではなく，大学卒業前に郷里の静岡県新居町に夏休みで帰省しておりました時，豊橋まで毎日通って習いましたが，その当時は近所の人達が尾崎様では誰か病人でもあるのではないでしょうか，大分にうなり声がするといわれたほどで，その程度もおわかりになりましょうと思いますが，しばらくやめておりまして，また健康のためはじめました時は，下地のありますためか何もわかりませぬ私達でもきかれるなと思うようになりました。

大正12年の大震災の後は職務上非常に多忙になりましたので，何時とはなしに遠ざかりましたが，数十冊ありました謡の本には丹念に節回しのしるしが朱で書いてあり，何時でも謡えるようになっておりましたのには感心いたしました。

横浜の復興を担当しておりまして，その復興も完成しまして日本銀行の臨時建築部の技師として勤めますようになりましてからは，銀行建築のため一層多忙を極めておりました。

その間，銀行の若い方々と一緒にスキーをはじめました。子供の時満洲におりましてスケートはかなり上手であったとか申しまして，スキーなど何でもないと申しながら中年であることもわすれ，若い方よりもっと無茶なことをしたために頸椎に怪我をしまして半年間も臥床しなくてはならない憂目にあいました。その間病院へ行く時でも，私どもが車のことは心配するからと申しますのに，自分で流しの車をひろい，あとになって病人が何でもしなくてはならないのだから困ったものだとこぼしておりましたが，ちょっともじっとしておれない気性も病気してまであらわれるのだなと思いました。他人まかせにしておけなくて自分で何でもしなくてはすまされない性格の人であることが，仕事の上にも充分あらわれていたと思います。また趣味ですることでも，いい加減なことは嫌いで，何でも徹底しなくてはすまない人でした。

病気して臥床しておりました夏は，厳しい暑さでございましたが，銀行の建築のことで，非常にせわしい時で，ことに構造設計の方でしたので，銀行からは係の方が毎日のように図面を持って自宅までおいで下さるのですが，具合の悪いところをその場で直して行かれるのでなく，いちいち銀行へお持ち帰えりになり，直しては，また翌日おいで下さるという有様で，あまりにも暑い日中をお気の毒に思って家の客間ででも直していただいてはと申しましても，そんなことは公私混同になるおそれがあるから困ると，かえって私どもが叱られたほどやかましい人でございました。

多忙の中でも日曜日など子供達をつれて茨城県取手町に中学校時代からの友人がおられましたので，よく魚釣に行きました。一週間のせわしさのあとのリクリェーションでしたことと思います。あまり魚釣はうまくなかったようでございましたが，釣堀の開場の時だけは尺余の

鯉を釣ってまいり，うれしそうに魚拓を青写真にとっていたこともありました。子供達から釣堀の開場の日なら当然ですよなどいわれて大笑いしたこともありました。また海釣りにもよく東京湾に行きましたが，晩の食卓を賑わすというほどのこともなく，大公望だったようにも思われました。

またいつの間にか社交ダンスも習いに行きましたが，何でも理論的にステップなどを手帖に控えておぼえるという有様でございました。半年たちましても一向に上達いたしませず，ダンスの先生もとても物になりそうもありませんよといわれたこともありましたが，一つのことをはじめると相当の域までは，やはり通す人でございますので，2年，3年たつうちに，尾崎さんの熱心には頭が下りますよと先生からいわれたほどでございます。

とにかく，前にも書きました通り運動神経は発達しておりませんでした。

長谷部竹腰建築事務所にお世話になりますようになりましてから，短歌を佐々木信綱先生について勉強しまして，北京などへまいりまして帰りますと随分沢山できておりました。短歌につきましては，佐々木由幾先生がお書き下さるとか故，私はこれだけにして置きます。

そのうちにいまは亡きお友達の矢田茂様のお誘いをうけまして小唄をはじめましたが，矢田様はお声もよくまことに節回しもお上手に思いますのに，尾崎のを聞いておりますと，ぶっきらぼうの調子で歌までかたい感じがでておるように思うと申しますと，そんなことはないよ，ごまかさずにやるところに味があるんだなど，まけおしみを申しておりました。

黒崎幹男様(若斗師匠)は尾崎と同期のご卒業の方で，長唄は吉住のお名取りであり，小唄は田村派の権威者でございますが，ある時，矢田様，尾崎の二人が小唄の師匠より名前をいただきましたのでございますが，どうも黒崎様に信用していただけないとみえまして，一席もうけまして，わざわざ黒崎様をお呼びして，君と同格になったよと申しましてそれを証明させるために，私をつれて行ったこともございました。黒崎様のお宅をお訪ねした時など，一つおさらいしょうかとおっしゃって，おさらいしていただく時は初雪ばかり，君は初雪はたしかなものだとおっしゃっておられましたが，ほかはあまりパットしないようでした。尾崎自身は相当なもののように思っていたようでございます。尾崎の小唄については若斗師匠が別に書かれると存じます。

お友達に，お誘いうけてはじめました小唄も下手ながらも仕事の上で大変役立ったように思われます。

現在の日建設計工務株式会社の初代の社長を勤めさせていただきました時，欧米視察にまいりました。昭和27年に素人画家の団体である京都チャーチル会へ，知人のご紹介にて入会させていただき油絵を画くようになりました。日曜日ごとに絵のレッスンがございまして行っておりましたが，チャーチル会の総会の折，幹事長さんの紹介されるのに，今度入会した尾崎さんという人は一体，どういう人だろう，レッスンの時には必ず見えるが浴衣がけでスケッチブックを持って，時間にはきちっと来てモリモリとデッサンして時間が来るとさっと帰って行く，まことに窮屈な，つき合いにくい人やなあと話しておりましたが，深く交際しているあいだに，なかなか味のあるいい人なんですといわれたこともございます。

一面謹厳な人で気むづかしい人のようでして，子供達にはやかましいお父さんというように思われておりましたが，その半面口には出さないでも，随分子供のことも心にかけておりました。大東亜戦争で次男が学徒動員に入隊しました時のことも歌にしてありますし，また空襲で東京の家が焼け，吉祥寺に仮住居の時も空襲が続いておりましたので，京都に離れて住居しておりまして，まだ学生であった長女や，三男のことが気にかかり，夜分もおちおちとねむることもできずおりましたが，ようやくの思いで京都へ連れてまいりまして，やっと気持が落ついたと申しておりましたが，やさしいあたたかい心の持主でもあると思いました。

前にも書きましたように，沢山の趣味を持ってそれを上手に利用していたと思います。私など一本の線も引くことができないと思っておりましたが，門前の小僧何とやらにて，ほんのわずかでも絵を見ることを覚えさせてもらったことは，ありがたいことと感謝しております。

昭和34年には私どもの両親など，ハワイに早くから進出して貿易商をしておりましたので，亡き両親のおりましたところ故ぜひ行こうと申しまして，ハワイから，ヨセミテ国立公園やグランドキャニオン，ロスアンゼルス，サンフランシスコ等米本土の西海岸の方へ連れて行ってくれましたが，その時も油絵の道具を持参してまいりましたので，やかましいと聞いておりました空港での税関も，絵の道具を見てさほど調べられず通り，こんな時にも役立つものかと感じました。

翌年昭和35年10月には，まことに思いがけなく藍綬褒章をいただき，天皇陛下にもお目にかかりましたが，まことにありがたくこれもひとえに平素からよく勉強し，仕事につくしたたまものと思います。私など，若い時分から随分やかましい，物一つまがっていても小言をいうようなむづかしい人だと思ったことも間々ありましたが，それがこうして褒章をいただけるようになったのだと思いますと，不足に思ったことが恥かしくも思われましたけれど地味な人でしたので，仕事仕事で相変らず夜を日についではげみ，まるで仕事の虫のように感ぜられました。

十年一日のごとくと申しますが，学校卒業して以来勤めはじめましてから，数えるほどしか休暇をとったこと

はございません。

昭和36年のこの年，西向日町に新築しました家に移りましたが，毎年のこととは申せ，この年の8月はとくに暑さ厳しくございました。日頃私が非常にあつがるものですからクーラーをとりつけてくれました。いたわってのことと思いましたが，勤めに出る尾崎はさぞ暑いことでしょうと涼しい家の中で感謝しておりました。その頃は比較的早く会社から帰るようにしており，庭の水撒きなども手伝ってくれました。倒れる十日程前にころんで足を怪我したことがありましたので，少々様子が変だなという感じがしまして日々注意しておりましたが，あまり自分の体のことでとやかくいうことをしない人のため，少々の病気は押通して仕事をするというようでしたので，怪我した時も何も申しませず，足についている血を見て私が驚いてききましたようなわけで，その時本人はなんでもない，一寸石車にのってころんだだけだと申しておりました。あとで考えてみますと，その時分から脳血栓のきざしがあったのではないかと思われます。

8月26日には会社の方と伊勢の松坂まで社用で行き，出がけに申しますのに，今日は帰りは6時過ぎるだろうと申しておりましたのに，4時頃帰ってきまして，めづらしく今日は物凄い暑さで閉口したよと申しておりました。その時髪の毛がさかだっていたように思われ心配しましたけれど，夜分になりましてからは平素と変った様子もなく，書物などして昼間の暑さのことも申しませず床につきました。

27日は日曜日で娘婿も東京からきておりまして，長男夫婦も，お父さんは家にいるとまた仕事仕事でゆっくり休むことをしない人だから，今日はみんなでどこかへドライブしようと申しまして一緒に出かけましたが，その時は尾崎も大変喜んで冗談など申して一日楽しく過して帰りましたところ，その晩から様子がおかしく，時計を腕にはめたままお風呂に入り，それもわからなかったようでございました。

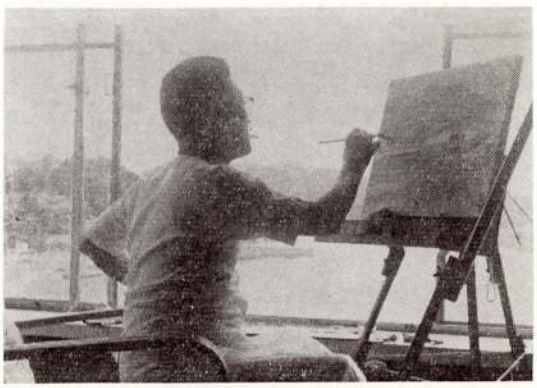
28日には株主総会，役員会があるから何時もの時間より早く出掛けると申しまして仕度しておりましたが，どうしてもワイシャツのボタンがかからず，これは変だと思いましたので，今日は一日休んだらいかがですかと注意したのでございますが，休むなんてことできるか，大切な会議はあるし，今晩の夜行で上京しなくてはならないからその仕度をしておいてくれと申しまして，無理に出社いたしましたので，とにかくすぐ会社の方へ，尾崎の体の様子がおかしいからご注意お願いしたい旨を，お電話申し上げましたこともよかったと存じます。会社の重役の方々も，今日は社長の様子がどうも何時もとちがって変だ，髪はさかだっているし，ワイシャツのボタンははづれているしと，現在専務でいらっしゃる布様と相談役の船越様とで，やかましくおっしゃって病院へお連れ下さったそうでございます。そのため大事に至らずにすみましたこととまことにありがたく存じております。

病院へ入院しましてからも，これから東京へ出張しなくてはならないから帰えして下さいと申しまして，随分院長先生をおこらませしたそうでございます。また，院長先生から二三ケ月は仕事のことは考えず，ぼーっとして暮しているようとのお話でございましたのに，本も読んではいけない，ラジオ，テレビは見聞きしてはいけないといわれては，仕事のことを考えるより外ないと駄々をこねますので，それではマンガ程度ならということでようやくお許しを得て，週間マンガの本を手にいたしておりました。読んでいるのやら読んでいないのやらわからないのでございますが，子供のマンガの本とちがいまして週間誌のマンガでございますので，いろいろの記事がのっており，折にふれて話すことをききますと何でもよくわかっており，四六時中手から本をはなさず読んでおりましたのだなということがわかり，あきれもいたしましたが，院長先生も随分ご心配下さいましたことと思います。

39年8月28日で，満三年になりましたけれど，後遺症として左手指先きが不自由で，物をむすぶこと，指先きの仕事はほとんど駄目といってよいくらいでございます。もっとも当の尾崎は右手が不自由ないのだから，左手はあえて使わなくてもよいと申しますけれど，やはり何一つするにしましても左手の不自由なのは尾崎も感じておることと思います。

晩年，会長を引き，取締役相談役となりましからは，日々気のむくままに絵を画いて楽しみにいたしております。

職業柄風景を写生することはもちろん，自宅で静物を描くこともございませんでした。従って同好の方々数人と，先生のご指導をうけながらモデルを写生することが多く，裸婦には無限の線も，面もあって，色彩などに至っては肌色にこだわる必要もないと申しますが，これこそシェードとシャドウ，ハイライトなど少なからぬ色が

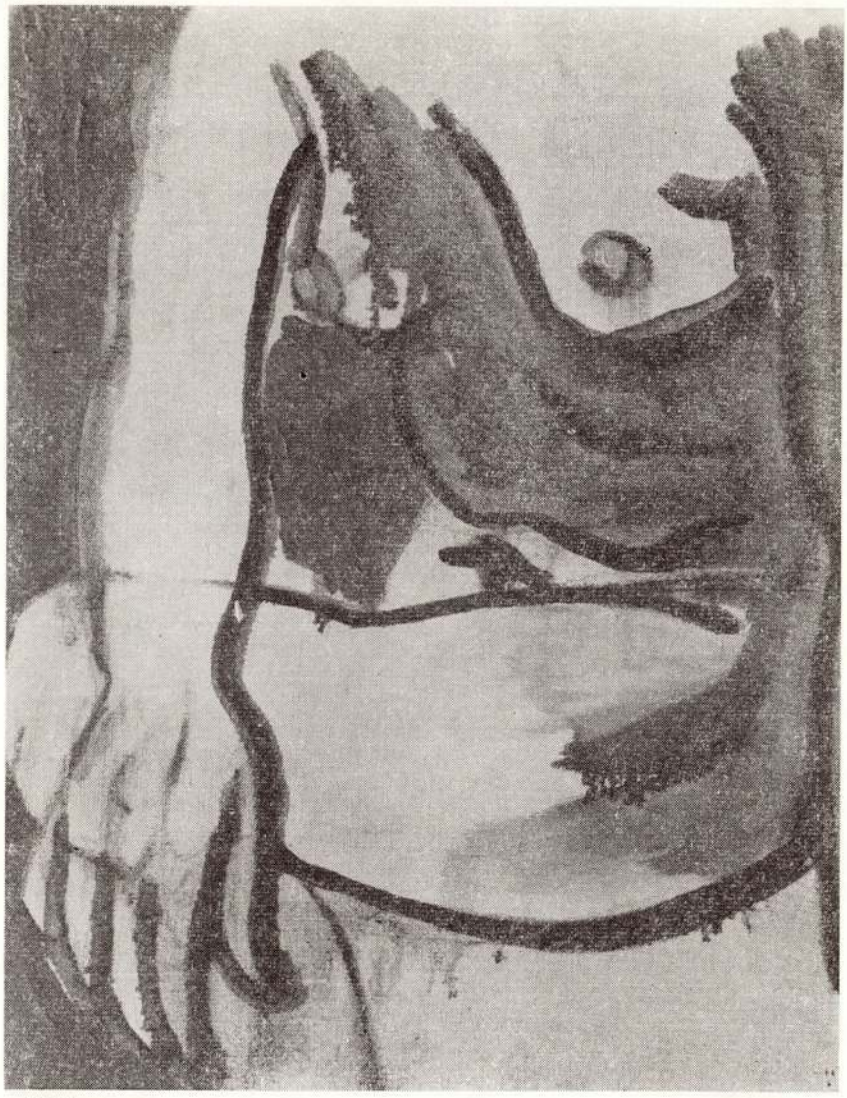


絵を描いているとき（日建設計工務KK社長時代）

要求されます。それですから裸婦が書ければ他のものは何でも書けると先生もおっしゃるのでございますが，それだけにむづかしくてなかなか描きこなせません。しかしそれだけにまた，裸婦を描くことは楽しいのだと申しております。

尾崎は一昨々年病気をして4ケ月病院生活をし，昨年の春もまた歯槽膿漏で1ケ月半の入院生活をし，今も時々大阪へでて病後をいたわりながら，絵も時々描いております。ところが病後は何と申しましても根気が充分でなく，六号でも全面をぬりつぶすのはかなり骨が折れるようでございます。

最近になって尾崎は，東洋画は余白の芸術だという論文を読んだことがあると申しております。その論旨は，余白なるものは書いてある部分との調和とかコントラストで一つの絵の構成をたすけるもので，決して単なる塗り残しと見るべきではないというようなものであったと記憶していると申しております。



裸婦（昭和39年さんこむ会）

短歌でも余情ということがいわれるそうでございます。

すなわち叙景歌でも，叙情歌でもすべてのことを読みこんでしまっては面白味がなく，いく分か足らぬ部分を残して置いて，読者の想像に任すべきである。たしかにその通りだと思うと申しております。

ここに掲げる油絵も，線に重きを置き，余白を活かしたつもりだと申しております。一寸見ますと，いかにも未完成のようでございますが，先生もこれ以上書かぬ方がいいとおっしゃるし，他の方々にも好評でございました。窮して通ずるとまではいっておりませぬが，窮しての試みが，こういう描き方を産みだしたのでございましょう。

裸婦の絵では，身体の塗りのこした部分に，やわらかい肉体を感じ得られると褒めて下さる方もありますので，自身もいく分うぬぼれてる時もございます。そのかわり，こういう絵では線が大切で，むづかしいと思います。

まさに東洋画の神髄の追求だと申しております。これからも大いに努力して新境地を拓くことができればとうぬぼれております。私としましてはまだまだ絵を批判することはできませんので，絵のことにつきましては，別に朝日放送株式会社社長鈴木剛様がお書き下さることと存じます。



花（黄色の壺）。チャーチル会。
昭和38年8月大丸展受賞。38年12月大阪商工会議所へ貸し Chamber 誌に色刷で掲載される。



尾崎久助氏を語る

順不同・敬称略

内藤多仲
竹腰健造
鈴木剛
岡野清豪
新居善太郎
山田久就
黒崎幹男
伊藤鑛一
横山不学
佐佐木由幾
福田佳雄
岡橋作太郎
尾崎嘉文

尾崎久助君を語る

内藤多仲

どうした機縁か，大正10年前後の東大の人は不思議に早稲田におった私に，非常の親しみを持ち，構造学の研究をともにしたことがある。大正9年では尾崎久助，故斎藤亀之助，故森泰治，大正10年では故永田念郎，11年では上浪朗などの諸君である。これらの人々と旨いチームができて，構造学の実地参考書を作ろうということになり，内藤ほか八君共同で執筆してでき上ったのが，建築構造要覧二巻で，これはスゴイ馬力でやり，昭和4年に初版の刊行ができ，随分各方面から歓迎されたものであった。尾崎君はその著者の中でも最も重要で多くの部分を担任された。すなわち，基本数学の部から不静定力学のむつかしいところ，また特殊構造物の設計実例までやっかいな面倒をいとはないでやってくれたものである。一方本業は，その頃震災後の復興院におられ，防火建築の研究著述もされたのである。

昭和5，6年の頃と思うが，日本銀行増築の件で，故長野宇平治博士が，車を驅って私の旧居戸塚町諏訪にこられ，転居と知って車を転じて今の若松町の家にこられたことがある。それは日銀増築につき私に構造設計をやってくれということと，また別に銀行の技師として構造方面の主任者を推薦してくれとのことであった（設計方面は阪東義三君）。そこで上記構造組の人を見回したところ，ちょうど尾崎君が自由の立場にあり，かつもっとも適任と考えたので長野博士に推薦し，それからおよそ5，6年日銀増築の大工事が完成するまでおられたのである。勤勉の同君は，日銀在勤中，その工事に連関した事項につき一々克明の研究調査をなし，これを取りまとめ論文となし，工学博士の学位を得られたのである。今でも私の頭に残っているのは，北別館取壊しの際，その重量軽減により地盤は弾性浮上をきたしたことを測定で見極めたこととか，また材料試験に際し，抜取り試験片で，プロバビリティーを応用した判定などのこと，いずれも独自の新らしい道に踏みこんでおったことである。

日銀の建築は，その機能上極めて複雑で，施工においても困難な点が沢山あった。旧館に近接して深い新館基礎を作るとか，新旧の接続とか……同君は実に綿密な計画実施，監督をなしたもので何一つ欠点なく，新旧の両館共完全に不同沈下もなくでき上ったことは実に賞讃すべきことと思う。長野博士は臨終に間近いある日，自動車で，日銀の回りを乗り回して，これを眺めすこぶる満足されたということである。これは昭和12年の頃と思っている。日銀が終ってやがて住友へ，現在の日建設計工務株式会社の前身，長谷部竹腰建築事務所に迎えられたのである。

君はまた，早稲田大学講師として，昭和の初めから，建築構造学を数年間担当されたことがある。後編のむつかしい不静定とかやっかいな架構力学の部分で実によく勉強され，学生にとっては苦手の一つの学科であったようである。朝の第一時間目8時から，時計の針の狂いなく教壇でビシビシ相当学生は締められたものらしかった。

尾崎君について最も，感心するのは，何をやってもマスターすることである。しかも人並以上にそれぞれの道に十分の貫録を示すことである。日本画にしても洋画にしても，始めればこれに凝って必ず上達する。画集などすでに二冊も出し，展示会とかチャーチル会で実業陣営天狗連の出品でも，群を抜いてよいものを出している。私も一枚十和田湖のを頂戴したが，居間を飾る爽快なものである。

それかというとまた別口に，酒席などでは小唄もでれば，余興もやる。これも人並以上であり，よくもこう多忙の人が，あれもこれもできるかと不思議に思う位である。しかしこれには一つの大切の鍵があるようだ。それは何んでもない，それぞれの道のよい師匠につくということである。つまり和事総て本腰に取り組んで，しかも熱心に勉強するので早く上達するのだと思う。小唄など四畳半の座敷などで一杯やりながらでは，いくら念をかけても物になるまいと思う。よい師，よい友を選ばれることが上達の最も早道であると思う。以上は余技についてであるが，本業の建築でも同様で，更に更に熱心に勤勉精励というか，東奔西走全く席の温る暇がない位活動されたものである。

弘法にも筆の誤りというか，日銀在任中スキーで背骨をやられ，年余休養されたことがあるが，絶対療養で全復された。先年の発病も同様に克服，趣味の世界に精をこめ，かつ楽しく後輩を指導しておらるるのはまことに結構のことと思う。

（早大名誉教授・日本学士院会員・文化功労者・早大名誉博士）

尾崎君を語る

竹腰健造

私が尾崎君を知ったのは，昭和12年でもう立派に建築家として完成しておられ，日本銀行の本社の仕事に従事しておられた時である。

当時私は永年勤務していた住友本社を退き，先輩長谷部鋭吉さんと二人で住友の工作部の部員を引連れて，長谷部竹腰建築事務所を創設し，ようやく事務所の経営が緒についた頃であった。

ちょうど東京手形交換所の設計競技に私の案が当選しましたが，手形交換所の業務は国の金融界の中枢をなすものであり，従って中央銀行である日本銀行と種々の点で関係があり，また敷地が日本銀行の背後に位置しているために，日本銀行と建築上の交渉もあったのである。ちょうど東京手形交換所の工事が完成した頃，長野宇平治先生の担当しておられた日本銀行の増築工事も完成し，これに従事していた多数の技術者も整理されることとなった。

ある日，日本銀行の文書課長からこの事情を説明され，尾崎，阪東二君のうち何れか一人私の事務所に採用してほしいといわれ，これが機縁となり，長谷部さんとも相談の上，尾崎さんに私の事務所に来てもらうこととなった。爾来今日まで二十数年の年月が経った。

その後の時代の変遷と共に，長谷部竹腰建築事務所にも仕事の面にも組織の上にも推移があった。そして国力が満洲から支那大陸に移るにつれわれわれの仕事もその方面に伸び，尾崎さんにはたびたび北支から南支方面の仕事に携ってもらった。そして外地における困難な仕事も氏の社交的手腕によって恙がなく完了したことが多かったのである。

世界戦争も終末に近い頃には軍事的な工事が多くなったが，昭和19年末には私達の事務所は住友土地工務に買収されることになり，ここに長谷部竹腰建築事務所はなくなった。尾崎さんもその建築部門の主脳の一人となられた。その後，敗戦の結果財閥解体が決定し，住友土地工務も名称を日本建設産業と改め，新に商事部門を加え，これが重要なる仕事になったが，昭和22年勅令第一号で財閥会社の主要なものは公職と見做されることになり，日本建設産業もその指定を受け主脳者は追放ということとなり，社長であった私も常務取締役であった池田宮彦君も追放退職した。そして建築部門は池田君の代りに尾崎君が主宰することとなった。

その後日本建設産業も商事部門と不動産部門が大きくなり，建築部門は切離すこととなって当時検査役をしていた星野君と尾崎君とで日建設計工務株式会社を作り，尾崎君が社長となり，星野君がもっぱら経営の任に当り今日に到ったのである。尾崎君もその社長ののち会長となり，さらに相談役となられ第一線を退いておられるが，日建今日の大をなしたのに大いに預かって力がある。

最近病をえて後は晩年に始めた絵画の方面に精進し，趣味豊かに余生を送っておられることは羨しい限りである。

（日本建築協会名誉顧問・双星社竹腰建築事務所長）

尾崎さんと絵

鈴木　剛

私が尾崎さんと一緒に絵を描きはじめてから，かれこれもう十年ちかくになると思う。当時，三高卒業の旧友五名が毎週一回あつまって，油絵をならうことにしたのが，最初である。そこで，会の名前をフランス語の Cinq Compagnon をもじって，サンコム会と名附けることにした。その後，転勤その他の理由で，メンバーの一部に移動があったが，尾崎さんと私はいまだに頑張っている。

尾崎さんは，その当時からすでに，画歴も古く，日曜画家の大家であり，そのみちの大先輩でもあった。そのうえ，いちばん稽古熱心でもあった。日本一の設計会社の社長さんとして，いつも北は北海道から南は九州のはてまで，走馬灯のように走り回っておられた。それでいて，週一回の稽古日には，チャンと大阪へ帰ってこられた。時には，汽車で朝早く大阪にかえり，その夜また出張されることもあった。「よくマア，からだがつづくものだ」と，皆が感心したこともあった。私のような性来のづぼら者が，永い年月，絵の稽古をつづけることができたのは，一つには尾崎さんのような熱意に誘導されたからである。

しかし，いくら頑強な人でも，寄る年波にはかてないものとみえて，尾崎さんも昨年来すこし健康を害され，しばらく入院加療を余儀なくされた。ところが，昨今は，再び元気を恢復して，稽古日には，おくさんとご一緒で出席してくださる。それに，暇さえあれば，北海道その他，国内の各地や，遠く布哇までも出かけて，得意のスケッチをしておられる。時々，その作品をもってきて，得意そうにみせて下さる。その様子をながめると，自分も怠けてはいられないような気がして，勇気ずけられるのである。

近年，二度も個展をひらかれ，立派な画集まで出版された。さすがに設計の大家だけあって，デッサンは，全く玄人はだしである。それに，いわゆる技術者らしいかたくるしさが少しもない。いつでも自由奔放にのびのびと描いておられる。裸婦の描写など，つねに若々しさが旺溢している。素人らしく，玄人の真似をしないので，思いきり大胆に描いてあるものが面白いと，私は思っている。尾崎さんの絵には，そういった大胆さがある。

先年，向日町の今のお宅が，新築された直後のことである。私は早速お宅を拝見するために，お伺いした。すると，立派な玄関の上り口から奥座敷まで，至るところ自作の油絵が，いっぱいならべてあるのに驚いた。

人間だれしも，「趣味に生きる」ことができたら，これほど楽しく，幸福なことはないと思う。尾崎さんは，正に，その最も幸福な人間の一人なのである。

（朝日放送株式会社取締役社長）

尾崎君を語る

岡野清豪

尾崎君は私の先生です。私は「先生」を語るほどの資格はございませんが，乞わるるままに受けた教訓の一つを書きましょう。

私が尾崎君と知り合ったのは昭和4年の夏からです。当時，日本銀行で増築工事を始め，臨時建築部が設置された時です。「仕様書」という言葉さえ知らなかったズブの素人が，イキなり日銀の大増築の世話をしろとその係りへ回されて，勝手が違ってドギマギしていた際，親切に教育してくれたのが，当時臨建の副技師長をしておられた尾崎君でした。

技師長は当時天下第一級の建築家であった老大家だから，おそらく私どもは子供のように見えたのでしょう。何か聞くと「素人には分らぬぞ」で一蹴せられたものです。その時，親切に「素人に分るように説明してくれた」のがほかならぬ尾崎君でした。私は「素人」といわれたが，成程大学は法科出身でした。だが，小学も大学もなかった戦国時代に，古今に残る名城熊本城を築いたのは，槍一筋の加藤清正でした。勉強する積りになれば，人のやることならできぬことはなかろうと，たまたま愚妻の叔父が鉄道省の土木建築技師長として近くの目黒に住んでいたので，都合を聞いては夜学に足を運び，土木建築の手ほどきをしてもらい，当面責任ある仕事については尾崎君の教えを受けました。

いろいろ教わったことが多いのですが，ここに一つ一つあげるわけにもいきませんが，そのうち「心」に残る一挿話をあげてみましょう。

それは，セメントを仕入れる時でした。断っておきますが，私が臨建へ回された時，総裁から「こんどの臨建の仕事は一世紀に一度位のものでうんと立派なものを作り上げたい。したがって技師も日本最高級の人を選んであるが，材料，手間も最高級のものを使うようにしてくれ給え」という訓令でした。閑話休題，セメントの話になりますが，セメント買入れの具案を持って重役のご承認を受けようといったところ，その案を読むなり．「君総裁のいわれたことを覚えていますか」と突拍子もないお小言，なんのことやら分らず目を白黒させていますと，息をもつがせず「君セメントの建値を知っていますか」との二ノ矢。これなら日銀プロパーの仕事での物価調べだからお手のものとホッとしていると，第三の矢は確かに「業」あり，「君が建値で買うといってきても，建値というものは『仲値』あるいは『標準物』の『標準価格』，『上』ものもあれば『下』のものある。『建値以下』でどうして総裁のいわれた最高級のものが買えますか」とタタみかけての質問に，タヂタヂと一言も抗弁することができませんでした。この際切り札として，最高級の技師長の「意見書」もつけてあって「適当である」という証明で，「技術のことは存じませぬ」「最高級の技師長の証明もとってあります」といいたかったのでしたが，重役のいわれることにも至極ごもっともな点もあって，よくもう一度検討して，改めてご決済を願うことにいたしましょうと．その場は遺憾ながら引き下がりました。

実をいえば，成程重役のいわれることにも一理ありと思え，それかといって技師の方々も私以上に総裁の意志を呑み込んだ上での「適当証明」だ。私は自分で自分を納得させていなかったから，こんな風な悩みがでてくるのだと，早速，尾崎君にこれを訊しました。ところが何のことはない。当時物価は，下落の方向を辿っていた。セメントは供給過剰で，落勢はなおひどい。したがって建値を下げると，落勢に拍車をかける結果となるので，建値はそのまま据えおいて，その範囲内で激烈な競争をしてる。なおもし日銀で買ってもらえれば，メーカーの信用を増すことにもなるので，こんな競争値段が出たのだと諄々と説明してくれた。

自分は活眼が開けた。そのまま重役室へ持っていってともかくご承認を得た次第です。私はその当時処世上偉大なる発見をしたと尾崎君ともども喜び合い，終生「自分を納得しないで，なんで人を納得せしめえようぞ」という教訓を活かし続けてきました。

尾崎君ありがとう。モット沢山，イヤ重要な思い出話があるだろうと思召すかは分らぬが．これは四六時中拳々服膺してきた。君からの教訓の主位を占めるものです。重ねてありがとうといわせてもらいたい。

（元三和銀行頭取・元自治大臣・元文部大臣・元通産大臣）

尾崎久助君を語る

新　居　善　太　郎

僕と日建設計工務の前社長尾崎久助君との交際も，考えてみれば本当に長いものだ。それは大正15年6月に，僕が広島県の郡長から，大震災後の東京を再建するための復興局に呼び戻され，庶務課勤務になって以来のつき合いである。当時の復興局は内務省の外局とはいえ，関係各省から優秀な人材が出向する混成旅団の観があり，建築部には笠原建築部長，武部庶務課長（元満州国総務長官），佐藤茂助さん（技術課長，日本建築の大家）の麾下に北沢五郎，伊部貞吉，尾崎久助君などがおり，他の部には，のちの厚生大臣・軍需大臣吉田茂，厚生大臣・参議員議員広瀬久忠，警視総監萱場軍蔵，白松大分県知事，大達茂雄（元文部大臣）など梁山泊さながらに，豪傑，俊秀がたむろしており，いまでこそ尾崎君もいいだしたらあとへ引かない頑固者とみられているようだが，揃いも揃って鼻っぱしの強いのばかりいるところでは，さほど目立って頑固というほどでもなかった。

いまの労働省が復興局跡で，ここの粗末なバラックの二階の，間仕切りもない部屋に意気盛んな連中が机を並べて仕事をしたわけだが，震災で徹底的に破壊された東京を復興するための法令制定，それに伴うゴタゴタから工事施行の一切を復興局がやることになっており，いま盛んにいわれている「市街地再開発」―区画整理を，そのうち建築部では東京横浜で換地後約21万棟の建物移転という非常に困難な仕事を強行したわけで，思わぬ障害が毎日のようにでてきた。たとえば甲種防火地区に鉄筋コンクリート造りを促進するために補助金を出すとか，借地借家法の改正，敷地関係で共同建築ができるよう奨励指導するやう，民事訴訟や行政訴訟による裁判所への出頭，毎週補償審査会で移転計画や補償金の説明などで……仕事はいくらでもあとから追っかけてくるので，文字通りゆっくり寝る間もない忙しさだった。これら山積する仕事を手際よくさばくには，庶務課と技術課は車の両輪のごとく密接に協力しなければならないので，尾崎君と僕の交際は日ごとに深まっていった。いま当時を回顧しても，昼食をとりに食堂へ行っても，食事そっちのけで仕事の話に没頭するほどの激しさだったが，こうした毎日の背景なしには二人の交友関係を語ることはできない。

今日の役人には想像もつかない忙しさにもかかわらず，若い僕らは“首都復興”という使命観に燃えて，大いに張り切って仕事をしたものだが，昭和3年に僕は本省へ復帰し，尾崎君もまた当時長野金吾氏の設計による日本銀行本店建設の仕事をすることになって別れて以来，長い間ゆっくり会う機会もなく過ごしたが，僕が京都府知事に赴任したとき，久しぶりに訪ねてこられ，ご子息の進学問題などで相談に与ったが，これがプライベートな交際としてははじめてで，それまではすべて仕事オンリーの交際だった。しかし，ときたまたま戦争中で，とても満足に懐旧談にふける余裕も時間もなかった。その後，半分焼け野原になった大阪の知事になったときには，尾崎君も自分の会社として住友から独立させるため奮闘中――といった具合で，これほど親密なつき合いをしていながら，なにせ忙しい仕事を通じてのそればかりとて，私生活面や，家族ぐるみの交際にまで発展することがほとんどなかった。ようやく僕が戦後，浪人するようになってから，尾崎君が上京する際には会って，やっと“仕事以外”のつき合いができるようになったわけで，われながら本当に忙しい交友だったと苦笑を禁じ得ない。

尾崎君の技量のほどは，若いとき土木関係で優秀な人材の集まる復興局から，とくに懇望されて日銀に移った一事で推察できると思うが，僕はその方は全くの門外漢なので評言は慎しむが，こと人物のまじめさ，熱心なことに関しては絶対の信頼をおける。またその仕事ぶりの特徴はつぶさに現場をみて回ることにある。このことはすべてのトップにとり重要なことは誰もわかりながら，なかなか実行できない点だが，それを尾崎君はやっている。僕はいまでもこういう例を復興局長官だった堀切善次郎さんと，占領軍のアメリカ人にみた。神奈川県知事から復興局長官になられた堀切さんは，すぐに長官用のくるまを小型車にかえ，どんな狭いところでも自分で行って計画もきき，督励された。第一線に足を入れることの少ない日本人の役人として，これは異例のことだったが，やはりそれだけの成果を立派にあげられている。つまり現場を知らずして的確な判断を下し得ないことを，君は堀切さんに学んだのかもしれないが，それを忠実に実行して会社を今日の大たらしめているところは偉いものだと感心する。これなどいうべくしてなかなか凡夫の行なえるところでない。今後一層のご自愛を祈る。

（元復興局書記官建築部庶務課長，元京都府知事，元大阪府知事）

尾崎さんのイメージ

山田久就

尾崎さんの旧姓は田中といった。「田中久助」という名前は大連小学校，旅順中学校の生んだ最大級の秀才であったという記憶が，旅順で少青年時代を過したわれわれの脳裏にもよく残されている。尾崎さんはもちろん旅順中学を首席で卒業せられ，勇躍，三高，帝大の関門を見事に突破，その後復興院に迎えられるという極めて順調なコースを踏まれた。遠く満洲の空から中央を憧憬していたわれわれ学徒には，尾崎さんの内地での飛躍振りは大きなインスピレーションであり，また道標でもあった。この意味から尾崎さんの跡を慕って中央に進出し，今日それぞれところを得ている大連，旅順「子」は，同窓の大先輩である尾崎さんに畏敬と感謝の念を捧げている者が多いと思う。

尾崎さんがその非凡な天稟を建設事業に向けられた動機はいろいろあると思う。しかし尾崎さんが少青年時代を過された往時の大連，旅順にはロシヤの東洋経略の夢の大建設がそのまま残っていた。またわが国がロシヤと選手交替してからも満鉄の大建設，大連，旅順の市街，要塞，港湾，道路等の大工事を眼の当りに見ることのできた環境におい立ったのが大きく影響していると思うことはヒガ目であろうか。

戦後，米国の指令で全く形式的な基準で作られた追放令の被害者として，私のもとに相談に見えられたとき，全く久方振りでお目にかかる機会を得た。当時私は終戦連絡中央事務局の政治部長としてその衝に当っておった。尊敬する先輩からいろいろ実情をうかがってお力添えができたことをほんとうに嬉しく思っている。当時，京都のお住居に尾崎さんを訪ねた親友から聞いた話であるが，茶人趣味の古閑な純日本式のお屋敷に北京や熱河でご蒐集になった貴重な土器の数々が飾られてあった由で，尾崎さんは「日本人の住居にはやはり日本建築が最適であると思う。また京都に都を定めた古人の眼識にも敬意を表するが，ただ一つの難点は冬の寒いことで，日本式の建物に旅順中学の寄宿舎にあったようなスチームの暖房を備え付ければ完璧であろう」との意味のことをしみじみと語っておられたという話が，いまだに記憶にあり思い起される。

日本式のモーチブを基調とし，それに欧米文化の「便利」と「合理」と「コンフォート」をどしどし採り入れるという建築家としての尾崎さんの理念が，以上の言葉の中にクッキリと浮ぼりされておると思われる。

かって関東大震災の当時，京都の復興に青壮年時代の情熱を傾倒せられた尾崎さんの眼に，現にオリンピックを迎えるために雄大な建設事業をやってのけた大東京や，夢の弾丸列車や，名神国道の完成等々はどんなに映っていることであろうか。わが国の建築事業発達の上に大きな足跡を印しておられる尾崎さんにとっては，以上のような現状は大きな立場から見てご自分の理念に合致するもので，多年の夢の具現であるとして，さぞご満悦の情を禁じ得ないものがあろうと心密かに拝察しておる。

（前駐ソ大使）

尾崎久助君を語る

黒　崎　幹　男

あれは恐らく大学三年の頃であったろう，九段の能楽堂に演能の会があって私は君の誘いを受けお能の見物に出かけたことがあった。用事の都合で少々遅れて私が会場に入った時すでに，君は先着して新婚後間もない新夫人と並んで見所に坐っていた。私はその傍に同席して坐を占めたが，私のお能を見るのはその時が三度目か四度目位のこととて，その日もただ漫然と物珍らしさだけで見るにすぎなかったが，目を瞠したのはお能よりも新夫人のしん子さんのあでやかな若妻姿であった。私がしん子夫人にお目にかかったのはそれが初めてである。久しいことで会の名も演目も演者の名も忘れてしまったが，中で邯鄲が演ぜられていたことを記憶する。君はその時謡本を開いて終始熱心に舞台を見詰めていたが，平素大学にあって建築構造に詳しく当時のいわゆる構造派と見られていた君に，謡を稽古しお能を嗜む豊かな趣味性のあるのを見つけて，以後君に対して一層敬愛の念を深くしたのであった。

君の趣味性はその後も各方面に発展し，ダンスに，和歌に，絵画にと止まる所を知らず，何れもアマチュアの域を脱した感があり驚嘆に値する。私はその内の一つ，君の小唄に関する執心について語って見ることにする。

昭和15，6年の交，日支事変がますますむつかしくなり，人心がようやく落付きを失い前途に何やら大きな不安を感じて毎日過していた頃，一夕君は同級の矢田茂君と同道，高輪の拙宅を訪れ，小唄をやってみたいが何とか手引きを頼むとのことであった。世相の混乱した時，不景気等で人心が沈滞した時などきっまて刹那的な小唄が喜ばれるのは古くからの慣わしだが時は正にそういう時であった。何がなしに君も心の憂さの吐け口を見出したかったのではなかろうか。私は喜んでその申出を引受け，小唄の功徳，来歴，邦楽界においての位置，稽古の上の心得等話した上，取敢ずといって簡単な曲の二三を手ほどき口述したのであったが，君はそれに強く興味を覚えたようであった。当時私は新たに設けられた住宅営団の招きで仙台支所に赴任のことが決っており，不日離京する手筈になっていて，永く両君の稽古を見ることができないことが分っていたので，稽古の一切は懇意な一流師匠に托することとしたが，離京の日まで何回か君は拙宅を訪ねて稽古に勤しんだ。ようやく二三どうにか形がついてきた頃，君と矢田君とは私の離京の送別という名目で一夕柳橋の田中家に席を設け宴を張ってくれた。私は嬉しかったが，あるいは送別は名目でその実，両君それぞれものにした小唄を宴席で用いようとの下心であったかも知れない。当日は美妓数人を侍らし，諸事不自由勝な中でも美酒佳肴を置き，座はまことに賑かであった。やがて頃合を見計らい，君は妓達の弾く三味線に乗せて研究の成果を発表したが，一座ヤンヤの喝采で，お上手ですねとの褒め言葉があちこちにあがった——ただし，それには始めて間もない方にしてはという註がついていたことを付記する。

その後私は東京を離れ仙台に二年間を過す，君は多忙の日々の小閑を利して，赤坂の松風綱師について真向に稽古に通った。昭和16年12月戦局は大東亜戦争にまで発展し世情一層騒然となったある夜，君はヒョッコリ私の仙台の寓居を訪れて見えた。当時仙台の近郊にあった船岡の海軍火薬廠に仕事の上の出張の途次とのことであった。折柄物資は欠乏，どちらを向いても気の晴れるようなことのない時であったので，君のその時の訪問も実に嬉しかった。早速馴染の料亭春日に電話して何はなくとも先づ一献と暗闇の中を歩いて君を招じた。気掛りは何処でも同じ話題の戦況如何だが，当夜はそれよりも先づ君の小唄の上達振り如何ということであった。先づ聞き役を集めてというので芸達者な妓数人を招集し，爪弾きの浅酌低唱に夜の更けるのも忘れたのであった。その後私が在仙二年東京に転任して帰京する頃には，君は師匠の松風師から芸道執心の旨認められ，松風の姓を許されて紫岡を称し，松風紫岡という名取になっていたが，惜しくもその名札は戦災で焼失したそうな。家元からもらった名札を見せることができないので，誰も僕の小唄の真価を認めてくれぬといってぼやく当時の君の微笑ましい姿を想い出す。妻も信用してくれぬから一つ聞かせてやろうといって，妻君同道赤坂の料亭に出かけ，私も同席して小唄を唄ったこともあった。戦後も追々落付きを取戻しつつはあったが，当時の荒廃した世相の中にあってそうした遊びに気を晴らすことのできたことは，少からず君に幸したのではあるまいか。

君が京都に移り住んでからも，上京の折は暇を盗んで田園調布の拙宅に見えて稽古に励んだ。その内にしん子夫人も始められ，君と一しよに見えるようになつた。逆に私が大阪に用事出張の時に下鴨梅の木町のお宅を訪ねたこともある。その時は君や夫人の小唄が床しく，わざわざ東京から荷厄介を承知の上で三味線を持つて行つた。そして夜遅くまで唄い続け，翌朝も辞去直前まで三味線を離さなかつたことを覚えている。

そういう往復はその後長く続いたが，一度新橋の小松にいるから遊びに来ないかと君から電話を受けた。行つて見ると友人数人，座はなかなか賑やかだ。やがて小唄数番，君は相変らず喝采を博したが，私が驚いたのは君が次いで立つて“鮮やかに“小唄振りを踊つたことである。君の小唄振りはその後も同じような会合で幾度か見る機会を得た。これはどこで教わつたか今もつて私は聞いていない。ただし聞かなくとも大概分るような気がする。

君は先年健康を害し，その小唄振りを見なくなつてすでに久しい。聞けば今はしん子夫人が踊りの稽古を始め小唄振りをなさつているとのこと，全く夫唱婦随の典型だ。それにしても君の多趣味，そしてそれを支える体力，気力のタフなのに驚嘆の外はない。それが君を今回大成せしめた因であろう。願わくば愈々加餐あつて往年の元気を取戻されんことを祈る。

（黒崎建築事務所・芸大講師）

尾崎久助さん

伊藤鑛一

尾崎久助さんが長谷部竹腰建築事務所に副所長として来られたのは昭和13年と思います。私も引続いて入所いたしましたが，当時は池田宮彦さんが大阪の担当副所長，尾崎さんは東京担当として，長谷部竹腰建築事務所東京事務所で活躍されていました。長谷部竹腰建築事務所に来られる前は大正9年，当時の分離派建築会を創立された主力の方々と同期に東京帝大工学部建築学科をご卒業になられてから辰野葛西建築事務所に勤務されました。

大正12年9月の関東大震災の後には内務省の帝都復興院の技師として活躍されました。それから日本銀行の建築技師として長野宇平治先生のもとで働かれ，長野先生亡きあとはチーフとして主として日本銀行本店建築を完成されたのです。

私との交わりのはじまりは長谷部竹腰建築事務所に入られてからでございますので，それ以前のことは直接，折にふれ尾崎さんから聞いたことを申し上げた次第です。

なお，今一つ申し残したいことは，東京におられる間早稲田大学の講師として18年間教鞭をとられて沢山の早稲田のお弟子さんがあることです。お弟子といえば，内藤多仲先生は，尾崎さんを私の門下生といっておられます。内藤先生と尾崎さんとはもっとも親密なお間柄であります。

大東亜戦争が起きて昭和19年の秋，長谷部竹腰建築事務所が住友土地工務株式会社に吸収されました時，尾崎さんはその取締役建築部長になられ大阪勤務になられました。その時しばらく桃ガ池のアパートに寝起きされたことがあります。その頃ちょうど私も同じアパートにおりまして大変ご懇意にしていただきました。その後戦争が熾烈になりまして，尾崎さんの京都洛北梅の木町の家は残りましたが，東京の東中野のお宅は戦災で失われました。それからは完全に関西の人になられました。

会社の方は住友土地工務株式会社が解散して日本建設産業株式会社となり，22年には住友土地工務の時代の社長北沢敬二郎さん，専務竹腰健造さん，同じく林千秋さん（土木技術者），常務の池田宮彦さん等常務以上の方々は財閥解体による追放でおやめになられたので，尾崎さんは日本建設産業株式会社の専務取締役建築土木担当となられました。この頃は建築の設計監理の仕事はほとんどありませんでした。昭和25年7月1日日建設計工務株式会社となり，尾崎さんが取締役社長となられました。その頃からようやくぽつぽつ設計監理の仕事があるようになりました。

ここで戦争中尾崎さんの担当されたお仕事を振返ってみますと，横須賀海軍建築部の依頼による軍施設の建設の設計があります。それから北支製鉄株式会社，北京にある中国聯合準備銀行本店の増築をはじめ海州，新郷，塘沽および石門の各支店建築，上海の華興商業銀行およびその厚生施設等がありまして，東京より北支関係のお仕事が多かったと思います。

さて日建設計工務株式会社になってからも，私は名古屋事務所長をしておりましたが取締役から専務取締役となりますにつれて，尾崎社長といよいよ接渉が深くなってまいりました。

仕事の上だけでなく終戦後宿屋がない時代には，私が大阪へ行けば梅の木町のお宅に泊めていただき，尾崎さんが名古屋に来られれば私の家に泊まられるというようになって，お家族とも親しくしていただくようになりました。昭和32年私が副社長となって大阪本社に勤務するようになってからは，ますます一緒にお仕事をする日々がつづきました。一昨々年8月26日急に病気になられ，その後はご静養を続けておられて今日に至っています。一日も早くご健康になられますよう祈っている次第であります。

尾崎さんのお人柄について私の感じましたことを二，三申し上げますことをお許し願えますならば，まず第一に誠にご熱心でやりはじめると徹底して熟達するまでおやりになることです。例えば小唄，これは名取りであると申しておられますが，唄われるのを聞いていますとなかなか渋い喉です。立方もご熱心で二，三回で自分のものにしてしまわれます。和歌も佐佐木信綱先生のお弟子とのこと。絵についてもはじめられたのが昭和30年頃と思いますが，約十年，今日では知らぬ方はございますまい。運動の方はスキーで若い頃骨折して入院されたのでやめられたと伺いましたが，それでなければ相当な腕になられたと思われますほど，誠に何事もご熱心で私共としましては，もって範とすべきことと存じます。

次に几帳面な生活をしておられ感心させられておることです。土曜に東京に行っておられても日曜は必ず京都に帰られ，また夜行で月曜には東京におられるというようにしておられました。朝は早く起きられ仏檀に向いリンをたたいて仏をおがみ，それから朝食をせられるというようでいつも感心させられました。

次に他人の陰口をされたことがありません。社員といえども決して批評しない人であります。それから決して怒らない人であります。またほんとうにいわゆる堅い方であります。このように美点は数えられぬほどありましてご趣味，ご性格を通して汲めどもつきぬ滋味豊かな人間味は私の拙い筆をもつてしては到底うまく表現しきれませんが，私の卒直な印象の一端を申しあげまして，いささかなりとも尾崎さんの人間像が浮彫できますれば幸甚に存じます。ただいま日建設計工務株式会社取締役相談役の要職につかれておりますが，一日も早くご健康を回復されますようお祈り申し上げまして擱筆する次第でございます。

（日建設計工務株式会社　取締役社長）

尾崎久助先生と私

横山不学

私が東大の建築学科を卒業し，故佐野利器先生のお世話で，日本銀行臨時建築部に就職して，初めて先生との面識を得るに至ったのは昭和3年の4月の初めのことでした。当時の臨時建築部は，長野宇平治先生を技師長として，尾崎，阪東両技師が技師長を補け，日銀の辰野旧館の三方に，第1期から3期にわたる新館増築工事の設計と工事管理とを使命として組織されたもので，最盛期には日銀側調査役以下の工事管理事務組織をも含めると100人を越えるような大世帯であったように記憶しております。この建築部は増築本館のみでなく，大阪金庫館を初め，各地に建つ日銀支店の設計管理の業務にも従事していましたが，第3期本館増築工事が竣工して，その使命を完遂した昭和13年に解散することとなりました。その間十年間に及ぶ長い年月の間，私が終始先生の下で，ご懇篤なご指導を賜ったことは私にとってこの上ない幸であったと，当時を顧みまして今更のように感ずる次第であります。

いつも蝶ネクタイをされ，鼻眼鏡をかけておられた端正な，そして復興局の技師時代に幾多困難な技術的問題を処理されて来られた経験によって充実した壮年建築技師としての先生の風格が，まだ学校出たての私に深い印象となって現在まで残っています。

学窓を出たての当時の私は，はなはだ未熟の上に，現在のように，いろいろの基準や指導書もないままに，まったくの五里霧中で，手を取るようにして一つ一つの実務を先生に教えていただいたことを思うと，先生としては全く骨の折れたことであったろうと，今思い出しても赤面のほかありません。しかし，先生はいつも変りなく，温厚な態度で指導され，一度も私の不勉強や非才を非難されるようなことはありませんでした。

先生は日銀関係の建物の設計管理に当って，いつも極めて研究的な態度で臨み，また進歩的な技術を積極的に移されました。先生は昭和3年頃すでにタルボットの原書によって水セメント比説によるコンクリートの新調合設計をされていましたが，それは私の大学時代の建築材料学の講義には全く出て来なかったことでした。しかしこれは，ほんの一例にすぎません。日銀本館に使用された多くの材料について各種の試験が行なわれました。コンクリートの調合決定やウォーカビリティに対する実験，鉄骨の防錆塗料を決定するための塗装鉄筋によるボンド試験や，耐候試験，ロッキング・ゴムタイルの引張および耐摩耗試験，溶接接手の引張試験や鋳鋼トップアングルの材質試験，スティール・クリートをびっしり配置した金庫壁型枠中への豆砂利コンクリートの充塡実験，金庫壁のドリルとガスバーナによる耐穿孔試験，金庫扉用特殊鋼のウイディアによる耐穿孔試験，完成建物部分の地震計による自己振動周期の測定，各種構造材料の試験データの数理統計学的分析と，その材料管理技術への応用，支那事変への突入に伴う耐弾スラブ設計のための調査研究，山留に対する地盤の安定問題の調査，大仕掛な地耐力試験の実施など，一寸思い出すだけでも枚挙にいとまがないほどの実験や試験や調査を，先生は立案，指導されて，設計施工の段階でこれを実施検討するという，極めて入念な設計や施工監理を実行されたのであります。

また先生は構造設計や実用計算と関連した杭，シートパイル，山留，地中壁などに関する土質工学的な問題や，積載荷重や，ラーメンの解法などに関して，調査研究を進められ，それらを論文として学会誌に発表されると共に，当時としては先駆的な溶接工法や，ニューマティック・ケーソンによる基礎工法や，耐弾スラブの築造などの多くの新らしい技術を積極的に導入されています。先生の学位論文が十年におよぶこれらの実際的な構造的技術推進の結果を纒められたものであったことは，まことに当然のことでありました。

以上に，私はつい先生の堅い面のみ記述してまいりましたが，先生はこの地味なお仕事の間に，絵画，和歌，ダンスなどを楽しまれ，柔らかい面でも時に私達を指導して下さいました。先生の軽妙にして重厚，温情と包容力の大きいご人格が，後年日建設計の大組織を統率されることとなったのも当然のことでありましょう。

今私の座右にある先生の全く素人の域を脱したすばらしい「絵と短歌」の上下2巻と「百日で見た欧米建築」というご著書を見て，先生の巾の広い生活力に今更のように感嘆し，またいつも先生を助けて伴に歩まれてこられた奥様の温顔を思い浮べ，先生ご夫妻が今後ともいよいよお元気でご活動のことを切にお祈り申しあげながら，この拙ない文を終ることといたします。

（横山構造設計事務所長・工博）

尾崎さんの短歌

佐佐木由幾

尾崎さんは建築界では偉いかたなのよ，と短歌の仲間にきいたのは，あの大きな戦争の数年前でもあったろうか。私は尾崎さんのご専門のことについては何も知らない。私の知っているのは，尾崎さんのあたたかなお人柄と，そこから生れる短歌だけである。本郷の西片町に私達が住んでいた頃，朝のおそいわが家で，やっと私一人が起きたころ玄関に見えて，父の好物であったリキュールなどを届けて下さったよく気がつかれる，やさしい尾崎さんである。数年前，絵と短歌の集をいただき，その時つくづくと尾崎さんの絵に感じ入ったことである。

絵も建築もそうであろうが，短歌というものは，思いがけない所で知らぬ間に，作者そのものが表われて，あとで読み返してぎょっとなる時がある。尾崎さんが短歌を盛んに私達の雑誌に発表されていたのは，昭和20年を中心にして，その前後10年づつ，つまり20年程の間であろうか。戦争時の歌，諸外国を歩かれた折の歌，家庭のことを詠まれた歌，あらゆるものがあるが，建築家らしい歌として

新築の大ビルの下べに古り崩えて開拓時代の小木造家

北海道で詠まれたものであるが，開拓時代の小さな木造の家，それももう年経てくづれかかっている。一方新築の堂々とした近代的なビル。その美，その機能性は尊ばなければならぬ。しかし崩れかかった開拓時代の家にも，人間として，建築家として愛惜を感じる。

本願寺の甍の線を平行に鋭く見する今朝の大霜

この歌にも理性的な美しさがある。霜の歌としていかにも近代的な感覚をもって歌われている。甍の線をといわれてあるところに，私達は建築家の眼を感じるのである。

弥陀仏はさもあらばあれ衢中に峙つ大き入母屋の屋根

おもしろい歌と思う。たいていの人は仏様を歌の中心に持ってこようとする。仏様のまなざし，頬の豊かさなどから限りない慈悲，また永遠につながる真理等を表現しようとする。しかし，この歌は，さもあらばあれと軽く逃げて，大きな入母屋の屋根を据えている。

天地の乾ける国の花紅く黄土の上に芍薬は燃ゆ
くれないの八重の花びら盛り上る芍薬めぐり虻おびただし
昼たけてふくらみ張れる芍薬の蕾をすぐる陽の照りかげり

の三首は芍薬の姿を，その豊かさ，おほらかさをすっかり写し出している。この歌が昭和20年の作といえば，天地の乾ける国ということを合点されるであろう。そして心の余裕というか，美なるもの善なるものに対する憧憬というか，そのようなものが感じられる巧みな歌である。自然の風物を歌われたものは

なだれ行く人に交りてふと見たるビルの合間の朱き入りつ日
秋空の未だあかきに薄靄の底に灯ともる山峡の村
雑木林も落葉樹も色づきて油絵めける札幌郊外

のように，おだやかな手馴れた表現のなかに，鋭く美をうけとめてある。

山茶花の花にひた倚る冬の日々花あらば足らふわが心にて
光なき孤独に堪へず此宵もまた蠟のあかりに家内は寄り合ふ
子を連れてさびしく人の降りし駅雪野の向ふに遠く灯が見ゆ

のように人間的な深みを湛えた歌も沢山発表しておられる。短歌というものは技巧だけのものではない。作者の精神が，全人格が，その裏打ちとなっているのである。頭脳を使う忙しい地位にあり，かつ上に掲げたような思いやりのある，柔軟性に富んだ歌を作られる尾崎さんである。ご多忙のためと思うが，近詠をあまり発表されないことが，いかにも残念に思われる。

掲げたい歌，語りたいことは，なお多くあるが，紙数がつきたようであるから，次の機会に譲ることにしよう。

（歌　人）

"元気な頃の尾崎さん"

福田佳雄

"職業は？"とたづねながら荷物をあけた税関吏は画材のあるのを見とめて，"オオ，ペインター"と首肯き，いとも簡単にベレー帽姿の全く風采の上らぬ紳士を通した。

これは尾崎さんが何処かの税関で貧乏画描きと間違われたことと，尾崎さんの普段の生活振りから税関を通る時の尾崎さんを想像した図であるが，チョビ髪でひきしめた羽左エ門ばりの好男子尾崎さんも，風采については普段からかまわない方であった。気どるところがなく肩苦しい構造学の知識を奥に秘めて，お人柄は酔人というにふさわしく小唄に踊りに芸域が広く，今でも美人連から尾崎さんの消息がたづねられたり，尾崎さんの話が出されたりしており，真に男冥利につきていると思われる。このように人気があったにかかわらず，尾崎さんはよく冗談半分に『ある会社の社長が私を好きだというたが男に好かれても仕様がない。女の子に好かれなければ……』というたことが思い出されて来る。それは尾崎さんの人柄をよく表わしており，先方の社長さんが面と向って，"好きだ"といわれた尾崎さんの人柄が偲ばれる。

世の中が忙しくなってくると，ヂックリ全体を聞いて判断することなく，部分を聞いて全体を推理判断しやすくなる。これはややもすると按摩と象の物語りと同じ判断をしやすい。そこでわが尾崎さんについても，また別の面からライトをあててみたい。なくて七癖とはよくいわれたもので，この気さくな，ブラない，酒脱な，真に至人の感ある尾崎さんも，その例外でなくいろいろこまかい癖があるが，とくに印象に残っているのは話す時の手振りに独特のものがあった。癖とはいえないが，尾崎さんは列車の中でも眠るということは滅多になく，原稿を書いたり歌を作ったりし，旅館では画をかくという風に年中身体を動かしており休む暇というものを見たことがない。"尾崎さん．あなたは今朝上京し今夜お帰りですか？"とはよく聞かれた質問だが，真にその通り東京大阪間をよく頻繁に往復したものだと，その旺盛な元気，タフに感心させられた。

さて，このような人柄で，活動的な尾崎さんは，また別の面では，一度意見を述べると決してこれをまげない強靱な心の持主であった。これは技術家としては非常に貴い所だが，社会人としてみる時話の内容によっては誤解されやすい。

尾崎さんが入院する日の朝どうも様子がおかしいので，奥様は会社を休むようにすすめたが尾崎さんはそれを聞かないで出社した。当日は役員会であったので，当時会長であった尾崎さんはその責任を感じて出勤したのであろうが，とにかく奥様はご主人が一度いいだすとなかなか聞かないので，尾崎さんの出社を黙認したとのことである。このことから平素些細なことでも尾崎さんは自分の意見をまげなかったことがうかがわれる。船越さんの説得で病院で診察の結果，即刻入院となり事無きを得たしだいであるが，まことに危険なことであった。今やお元気になられ療養三昧のご生活だがこのようなことがまたとないよう祈る次第である。

さて風采には無頓着であった尾崎さんも心の中はダンディであったと解される。したがって尾崎さんの酔人もその意味で見ねばならないと思う。この心のダンディは程よく理性に内包され，また時には知性に働きかけて一種のアクセントとなり知性をよりかがやかせ，あるいは色どって尾崎さんの風格の一面を作っていたと見られる。私はその具象的なものを尾崎さんの画の中に時折感ぜられてならない。

この秋病気がよくなられた尾崎さんは奥様と三度目？のハワイ旅行をなされた。その第二回目のハワイ旅行より帰られた時と思うが，尾崎さんからヴォリューム感あふれる水着姿の女性のカラー写真を見せられ，その撮影の苦心談の一席を伺った。フラダンスに流線の美を見，数多くの水着女性に曲線の美を見た尾崎さんは，芸術心頓に高まるを覚え苦心に及んだ結果であろうか，小柄な尾崎さんがカメラをかまえるところを大女に見つかり，トッチメラレナイように心をくばり，チョコチョコしてシャッターを切った様子が思い浮ばれてほほえまれる。

（日建設計工務株式会社取締役東京支社長）

尾崎先生

岡橋作太郎

尾崎先生の教えを受けた方はずいぶん多いのではないでしょうか。私も昭和7年から8年にわたってであったと思いますが，早稲田の学生として先生から構造学の講義を拝聴いたしました。先生は当時日本銀行にご勤務になっておられ建築学教室に講師としてお見えになっておられました。

先生は黒い上衣を召され縞のズボンを跨いておられたと思います。いつも同じようにしておられたように思います。そして美髭を蓄えておられました。そして白い手袋，この頃はモーニングの花婿が写真を撮られる時に持たされるあれの右手の方の一つだけをお嵌めになり，チョークを持たれました。そして時間の始めから終りまで黒板にギッシリと数式を書き続けられました。途中で少しも余計なことはおっしゃらず，まして脱線をしたり，学生を笑わせたりすることはなさいませんでした。そして予定せられたところまで参りますと，右手の手袋をお脱ぎになって黒板の角でハタハタとその手袋をおはたきになり，チョークの白い粉を落されました。そこで学生一同ホッと息をつく，といったような具合でございました。正直なところあまりツキアイヨイ先生ではございませんでした。私などは数式の方にはあまりツヨクない方でございましたから，とくにそんな風に感じたのかも知れません。その証拠には尾崎先生の時間はどうも—といったような声は学生の間にはチットも起りませんでした。むしろ底の方に畏敬の念が強く流れておったようでございました。まことにキチンとしたご講義でありました。また先生は英語は英語の発音でキチンとおっしゃいました。たとえば internal work という語の work は warku などと日本風におっしゃらずチャント work そのものの発音をキチンとなさいました。いまでも先生の発音がハッキリと私の耳に残っております。

先生は多芸多彩また暖いお人柄であることは皆さまご存じの通りであり，私もまたつねにそう感じ入っておるのでございますが，学生の頃にはそのように感じておりませんでした。私が鈍感であったせいもございましょうが，これは先生の講義，教場といったものに対するお考え方から来たことであったろうと存じます。昭和13年に先生は現在の日建設計工務の前身である長谷部竹腰建築事務所に入られました。ここではからずもまた私は，今度は上司としての先生にご指導をうけることになりました。追々に，といってもかなり急速に，私は先生の教室では知ることのなかった面に接することになり，そのお人柄に深い敬愛の念を覚えるようになって参りました。

昭和27年の9月，すでに日建設計工務の社長となっておられた先生はヨーロッパ，アメリカを旅行されることになり，私はそのお伴をすることになりました。当時はゼット機も北極ルートもまだございませんでした，42時間かかってローマに着きました。はじめてヨーロッパの土に歩を印された先生のご感慨，これは先生の著された「百日で見た欧米建築」でよく知ることができます。イタリヤではナポリ，ポムペイ，カプリ島に遊ばれ，それから国際住宅都市計画会議に出られるためにリスボンに直行されました。同行は石井東京都建築局長，師岡建設省住宅局長，それに私でございました。会議の様子などは先に申し上げました先生の著書によっていただくことにいたしましょう。リスボンからマドリッドへさらにパリへいたりました時，私は病気となり入院することになってしまいました。先生のお役に立つことができなくなったばかりか，とんだご迷惑をかけご心配をかけました。その時にお心遣いいただいたあのこと，お手数を煩わしたあのこと，ありがたくも申し訳わけない，忘れることのできない私の思い出となりました。先生はその後お一人で北欧諸国を回られ英国を経て米国へ渡られました。1ケ月半の後健康に復した私はニューヨークで再び先生とご一緒になり，米国内を廻りホノルルを経て12月下旬に帰国いたしました。先生は気軽にご自分で何でもなさり，あまり役にたたない私のお伴でも間に合うことになってしまったのでありました。ニューヨークでは，ひと足先きに着いておられた先生に国連などを案内していただくようなことになったりもいたしました。

私は教えをうけた学生として，旅行のお伴をいたしましたものとして，尾崎さんのお人柄をお伝えしようとしたのでございますが，失礼なことを申し述べただけで終ったようでございます。

（日建設計工務株式会社取締役大阪事務所長）

父

尾崎嘉文

舌で下唇に湿りを与えて講義をしている父，謹厳そのものの姿で叱言をいう父，私の子供の頃，また学生の頃の父はウルサ型だけで表現されてよかったのではなかろうか。

朝に夕に多忙な身体，夜行にて東京行，夜行にて帰洛とともに山陰九州方面への出張，数年前までは自宅におること一ケ月の内何日位であったか，曲毛に白髪を交え，つねに何かを考えているような目，書類と鉛筆を自分の伴侶のようにしていた父が，会社の社長を引き，会長になってから幾月かの後，昭和36年8月28日の日曜日に自動車嫌いであった父が，珍らしく私の愛車バンガードに同乗し，三方五湖へドライブに行き，車内でハシヤギ,夜遅く蓬坂山の「カネヨ」(註：カネヨは父が三高時代に学校の寮からホウバをはいて歩いて食事にきたことのある想い出の料理屋とのこと)に車を着けビールを飲み，遅い夕食をして機嫌よく午後11時過ぎ帰宅いたしました。その翌日父は脳血栓で倒れたのです。いままでの過労に加え，一日の楽しかるべきドライブでも，悪路の衝撃に耐えかねねたのでしょうか，病魔はウィークポイントに飛び出したのです。それから現在までの4年間闘病生活をしてきました。さらに今後も永い闘病生活をしなければならないでしょう。

父は一撤の人です。こうと思うとなかなか意志を曲げぬ人で，また，人一倍の努力家でした。何か知ら信念というものを持っていたのでしょう。私の子供の頃，勤めより帰ると講義のある前日はその下調べに，ない時は何か別のノートを纏めており，いまにして思えばそのノートは学位論文でありました。いままでの半生は努力と実行との闘いで，恩師先輩の意見を充分に自分で消化し，あくまでも努力に努力を重ね，責任の全うできるような生活をしてきました。ですから私ども兄弟は随分口喧しい親父だなとつねに敬遠し，何事も母を通して話をしたものです。しかし，不出来な私ども兄弟を子に持った父も，教育は人一倍の苦労をしたらしく，こと勉強については直接注意をうながし，何かと気を配ってくれました。今になってよく解り，ありがたいことだったと感謝しております。口やかましい，気難しい反面一家揃って豊島園に遊び，小金井の桜堤に遊んだこともあります。母が病を得た時には逗子に家を借り静養させておりました。たまたま海水浴のできる季節であったため，土曜日はみな母の許に集り，一日中遊びましたが，そのような時でも父は暇を見つけるのか，また予定を作っているのか知れませんがノートを手から離しませんでした。私は終戦後大学の研究室を止めて半年ほど病床にありましたが，その間随分と私の病気のこと，また病後の就職のことを心配し，私の知らぬ間にいろいろと手を打っておいてくれました。

父と同じ建築界に入った私に公私の区別を非常にやかましく説き，仕事に対する便宜は一切計って貰えませんでした。当時私はそのことに関し恨んだこともありました。いま考えてみると，その公私混同しないことが，父の社会における人間性に非常にプラスしたのではないでしょうか。病を得てからでもやはり公私混同についてはやかましくいいます。私も7年ほど前から建築事務所を開設しており，何度か父に相談事がありましても遂にそれも単なる報告に終ってしまい，私の本題とすべき頼みごとにまで話が到らずにすんでしまうのです。仕事のことなど，理を弁えて話をすれば話に乗ってくれますが，人への紹介事等肝心のところでは，いくら父子であるとも，会社の役員をしている以上，父から日建の不利になるような紹介は一切できないと叱言を喰う仕末です。しかし父のお蔭で私も随分と世間のみなさまから可愛がられ，仕事の上にプラスさせていただいていることは，親の光七光が私の場合十四光になっていることでしょう。

最近の父の生活は悠々自適という言葉が当らぬかもしれませんが，病と闘いながら好きな絵を画き，温泉旅行にまたハワイ旅行に余生を楽しんでおります。かっての鋭い眼光もいまでは，柔和となり，孫とか，あるいは近所の小さい子供さん等を相手にするほどの好々爺になってきました。しかしその中にも生来のカンシャク，セッカチは見逃すことはできません。だが現在より健康になってほしいことはもちろんですが，現在の状態でもよいから長生きをしてもらいたいと願っております。乱文でしたが以上が愚息より見た父であります。最後に父より教わりました私の大好きな，佐佐木信綱先生作の詞を書いて筆をおかせて頂きます。

白雲は　空に浮べり谷川の　石皆石の　自らなる

(尾崎建築設計事務所長)

尾崎久助君を囲む座談会

大学の同期生が語る学生時代・卒業後と先達のこと



黒崎幹男氏



森田慶一氏



尾崎久助氏



中沢誠一郎氏



滝沢真弓氏

と　き　昭和39年10月20日
ところ　京都・都ホテル



政岡基次氏



片山光生氏



生方文次氏

片山　尾崎先生のお徳を偲びまして座談会を開催させていただきます。大正9年東大ご卒業からのお話は生きた現代建築史を伺う感がいたします。よき時代のお話など織り交ぜてお話し下されば，われわれ後進のよき道標となるのではないかとも思います。

高等学校時代

滝沢　司会をやれとのことですが，まず音頭をとるということにして，私から始めさせてもらいます——

編集係の方から「大学へ入ったときのことから」とのご注文だったんですが，クラスには三高の出身者が特に多かった。現にこの顔ぶれを見ても一・二・三高と並んでいるが，五人中三人までが三高出ですな。そこで何故そんなに多勢三高から建築科へ来たかということ，このことについては，かって森田君から聞いたこともあるが……。それから特に，尾崎君がなぜ建築科を選んだか，というような話から始めていただいたらどうか。

森田　われわれのクラスには旧三高出身が非常に多かった。建築へはいった動機は各人それぞれちがうだろうが，ボク自身について言えば，そのとき旧三高に伊藤小三郎という英語の先生がおられて，イギリス留学から帰られたばかりでゴシックの大会堂の話なんかを熱をこめてやっていただいた。それが印象に残っている。工科なんてろくなところじゃないというが伊藤先生の持論だったが，しかしその工科のなかでも，建築だけはやるに価するような仕事だと，そういうことを言われて，それがどうやらボクを建築へ誘惑したらしい。尾崎さんはその点どうだったかな。

尾崎　物理で有名な森総之助先生が保証人なんですね。その森総先生に卒業のときに呼びつけられて，「おまえはどこへ行くか」ときかれた。「どこへ行ったらいいのかな」「おまえは入学試験のときから化学がダメだ。化学をよく勉強をしろ」「化学はきらいなんです」「それじゃ化学のないところへ行くよりしようがないな」というようなことで，京都の疏水の設水の設計者として有名な田辺朔郎先生のところへ行って相談してこいということになった。田辺先生は静岡県の人で県人会の世話をしていられたが，相談をすると，「化学がきらいなら土木か建築よりほかないが，キミは絵はどうだ」と言われて，「絵は好きです」と答えると，「それじゃ建築へ行け」と即座にそこへ決められちゃったわけですよ。

黒崎　森田さんのお話のように高校の先生の話から建築を志望したというようなのは，われわれにもあるんですよ。ボクは仙台の二高で，そこの林久男先生というドイツ語の先生が建築の話をよくしておられて，その人に引っぱられたというか，やはり，やり甲斐のある仕事じゃないかというふうに考えて建築を志望したんです。われわれの卒業後に林先生は京都へこられて三高の先生になられた。

中沢　ボクも三高だけど，尾崎さんや森田さんの一年上で一緒ぢゃなかった。ぼくの父が建築をやっていたので，建築をやることになったといえばその通りなんですが，実はね，ボクは高校2年のときに文科へかわろうと思ったが，結局母に泣きつかれて文科へ行かなかったということがあるんです。高校当時，夏期講座で江馬務先生からお寺へつれて行かれ，お寺の話や建築の話をきいているうちに，坊さんはいいなと思って文科へ行こうと思ったわけです。けっきょく文科はあきらめて父の家業の建築へはいった。江馬先生の印象は強かったですね。その当時，四条烏丸の角に三井銀行ができて，あれは大先輩鈴木さんの設計で世間にはボロクソに言うものもあって興味を引かれたことも覚えている。それで建築をやろうという気が出たというほどではないけれど。

森田　伊藤小三郎先生も，京都では三井銀行がよいなあと言っておられたね。

尾崎　建築よりその方をやっていた方がよかったかも知れませんね。それやっていたら，いまごろ袈裟かけて，今東光先生の弟子のなまぐさ位にはなっていただろうに。

滝沢　高校のお話が出たが，ついでにいうと，われわれが高校へはいったのは大正3年。第一次欧洲大戦のはじまった年で，今年はその50周年に当る。いかに古いかということがわかるね。ところで何科へ行こうかって話だが，当時の高校では〝製図の点のいいものは建築へゆけ〟という風だったではないかな。それに絵ごころもあるとか……ボク自身のことをいうと，他の学科はダメでも製図だけはよかった。それに絵も好きだった。数学もキライじゃなかった。幾何学など好きな方だったが，計算がヘタなんだな。数字はダメなんだ。数学の先生は理科系だからたとえ計算がちがっていても，式の立て方が正しければ相当の点をくれたものだ。ところがウワサによると東大の機械科に柴田銈作という先生がいて，工科はたとえ理論はよくても実際の計算がちがっては役に立たぬと強硬な意見だという話を聞いて恐れをなして建築科へ逃げ込んだのだが，だから構造計算はニガ手で敬遠せざるを得なかった。それにしても当時の高校の製図は恐しく精密なものだったね。

尾崎　そりゃ無茶やったな。ワットマン紙へ烏口で引いた線を先生が虫メガネで見るんですからね。

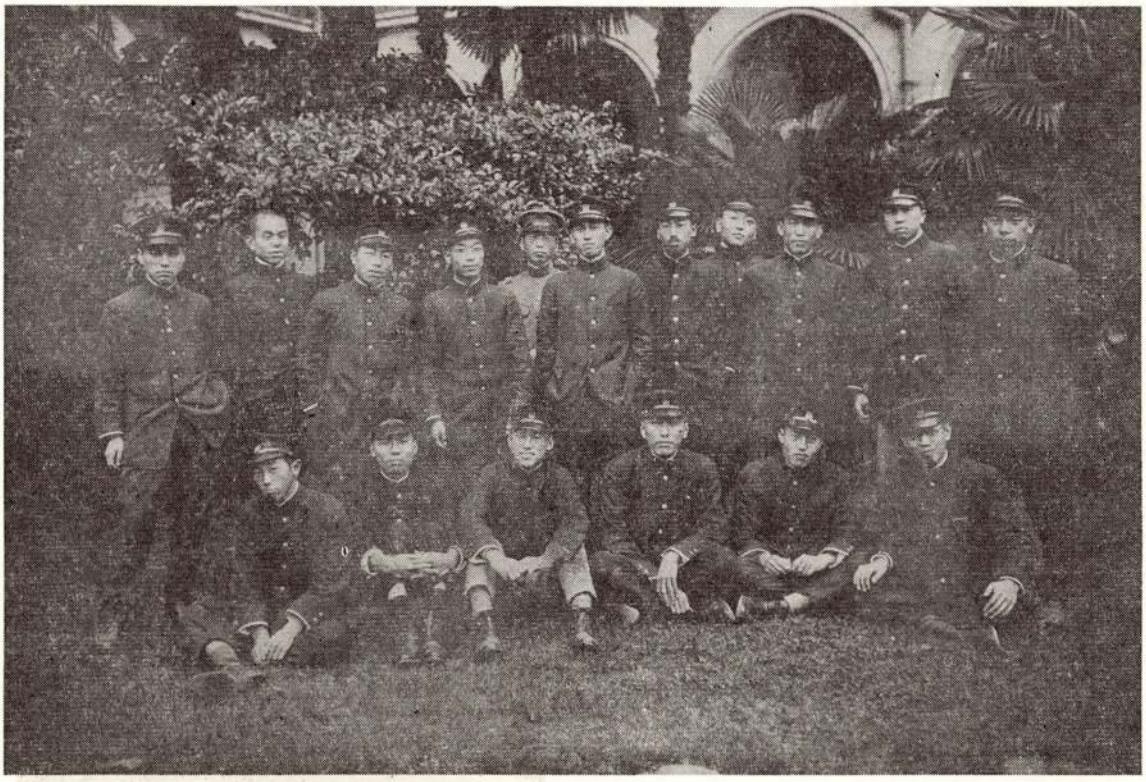
大学時代

滝沢　われわれの建築科へはいったときは，——大学というと帝大を意味したものだが——古い先輩など大学に入試があるのかと驚いていた。高等学校の前身は「大学予備門」だ。その伝統で昔は高校から大学へはフリーパスだった。ところが，われわれの頃はすでに入試があり，しかもかなりはげしい競争率だった。建築科は16人しかとらなかった。これはおそらく収容施設に限度があったためだろうが，社会的にも要求が少なかったからだろうね。とにかく建築科の世帯は小さかった。何とかいう有名な大先輩は秀才でクラスで二番目だった，そのクラスは実は二人だけだった，などいう笑話もあるが，昔の大学は秀才ばかりだったらしい。われわれの頃は16人でも昔から見れば人数がふえたわけで，それだけ秀才度も低下したのかも知れないがね。さき程の話でもわかるように，建築科というところは工科の中でも異色のある存在だった。ところが入試の問題は皆一様に，数学・物理・化学で建築科の特異な性格など考慮されていなかった。そこでボクは時々思うことなんだがね，入試に失敗した人々の中には，もしも築築家として一家をなしていたら素晴らしい人がいたんではないかな，とね。

ところで，われわれが入った時，まだ特待生という制度があった。そして二年上のクラス，このクラスは，いわゆるブリリアント・クラスだったが，中に二人の特待生がいた。大口清吉さんと岩元祿さん。岩元さんは高校でも先輩で，かなりよく知っていた。長兄が一高のドイツ語の先生で夏目さんの「三四郎」に出てくる「偉大なるクラヤミ」の広田先生のモデルだったというほど一種の奇人的天才。次兄はどこかの県の知事だった。つまり毛並みのよい兄弟の三人目，というわけだった。大した秀才で先覚者だった。この岩元さんのことは明治大学の神代君が，たしか「新建築」誌に書いているからご承知の人もあるだろうな。

尾崎　われわれより上か？

滝沢　二年上だった。それから一年上のクラスに二人の秀才がいた。一人は吉田鉄郎さん——当時は五島という姓だったが——もう一人は構造学の江国正義さん——この人も当時は田中という姓だったが……



大正6年9月，東大工学部本館中庭にて。　（滝沢所蔵）

向つて左から　後列　1人目　黒崎幹男，3人目　滝沢真弓，7人目　中沢誠一郎（右から5人目），
10人目　森田慶一（右から2人目）
前列　3人目　尾崎久助

尾崎　横浜国立大学の学長をしていたんですね。

滝沢　そうだ，三年程前に定年で止められたが。そしてわれわれはそのあとに入ったわけだ。ところが，この一年先輩のクラスが——製図室が両クラス共同の広い部屋だった——音楽の好きなクラスだったな。製図をしながら，大勢がいつも大きな声で歌っている「行こか戻ろかオーロラの下を，ロシアは北くに果て知らず」なんてね。

尾崎　歌をうたっているところへですね。塚本先生がはいってきて，車夫馬丁にもおとるというて叱られた。（笑い）

滝沢　塚本という先生はなかなか，やかましい先生だった。風采堂々，威厳があったね。叱られた歌ってのは何の歌だったかなア……

尾崎　オペラだよ。あのころはもっぱら。

滝沢　そうそう浅草のオペラが流行の尖端だったね。

尾崎　清水金太郎に田谷力三などがいた。

滝沢　それに女優の岡村文子，もう60以上の婆さんのはずだが。そこへ古典的な塚本先生がカミナリを落した「車夫馬丁にもおとる！」（笑い）まだそんな言葉のある時代だった。

尾崎　いまそんなことを言うたら……。（笑い）

中沢　中村さんもやかましくいったね。タバコがあぶないと。

滝沢　中村さんで思い出した話がある。伝えるところによると佐野利器先生も学生の時，製図しながら歌をうたっていたそうだ。あまりお上手だったとは思われないがね。そこへ中村先生がソッと入って来られて，佐野学生の肩をたたいたとか。どうも歌は建築科の伝統だったらじいな。ボクらのクラスには権藤君というのがすばらしい歌手だった。バリトンだったかな，三高出身だった。

尾崎　うまかったね。

中沢　権藤君は高校はボクらと一緒だった。このごろは小唄だが，あの当時は声楽だったな。

滝沢　権藤君はスポーツもやっておったね。とにかく体格はよく，従って声量もあり，大したもんだった。森君も歌は好きだった。

中沢　森君はボクの中学の1年先輩だ。京都の五中だった。

滝沢　歌も好きだったが，声がどうも，奇声でね……背が高かったのでクチの悪い山田君が「煙突」とアダ名をつけた。煙突が声を出すようだって……。

中沢　山田のオンチも有名だ。

尾崎　そのときにね，ぼくはベルリナールアーケップレフトという本やほかになにか2冊から3冊の本を持ってオペラへ行って，それを腰かけにしてそのまま忘れて帰った。（笑い）

中沢　もう一人好きなのがいたね。

尾崎　小倉尚君。

中沢　あれも好きだったね。

滝沢　小倉君は陸軍の委託生で工兵中尉だった。番外みたいな存在だったが。この人を加えてクラスは17人だったね。

森田　滝沢君も歌った方だろう。

滝沢　ボクは権藤君にコーチしてもらってね，彼が低音をやり，ボクが高音をやった。

ところで，われわれの次のクラスにも人物がいたね。特に坂静雄君……。

尾崎　あれは勉強をしておったね。

滝沢　もう一人が井上新二君。大した人物だったと思う。建築家としてというよりも人間としてスケールが大きかったね。その次のクラスもブリリアント・クラスで岸田日出刀君，長谷川輝雄君，吉田宏彦君など多士済々だった。長谷川君は東大の助教授となり建築史家として将来を嘱望されていたが病気で亡くなった。

その前に岩元さんも亡くなった。岩元さんは明治時代の有名な鋳金家のアトリエを借りて独身生活をしていたが，堀口君やボクなどが訪ねると「君，如何にして少なく眠ることができるか」などといってガムシャラに勉強していた。油絵はもちろん泥土を持ち込んで彫塑をやったり，安月給を工面してピアノを買って作曲をやったり……とうとう胸をやられて，医者のいうことも聞かず，ピアノの上に喀血した，などとムチャとも悲壮とも……これが天才の宿命とでもいうものだったのかな。

尾崎　長谷川君は三高のランニングの選手だった。

滝沢　岩元さんや，長谷川君が生きていたら，その後の東大の空気は今とは異なったものになっていたろうな。

尾崎　長谷川君は腹の病気だったね。

中沢　特待生は岩元さんのクラスでしまいになったのだね。



東京帝大時代の尾崎久助君　（尾崎氏蔵）

滝沢　たしかそうだね。その前には恩賜の銀時計というのがあった。建築科の先輩では岡田信一郎さん，高橋貞太郎さん。

森田　ボクらが入学した頃はまだ成績の順位を発表していただろう。ボクらの時からそれが無くなって助かったが。

中沢　塚本さんが言いだしたそうだね。塚本さんが教室主任のようなかっこうだった。関野さんは洋行していたし。

森田　とにかくそのころはデザイン万能だったからな，構造というようなものはあまりやらなかった。構造をやったのは田中正義さんと，そのまえは後藤慶二さんくらいでしょう。後藤慶二さんは構造をやっても，あれはデザイナーでもあるし……。

滝沢　両方できた人だ。がこの人も天才夭折の組だった。

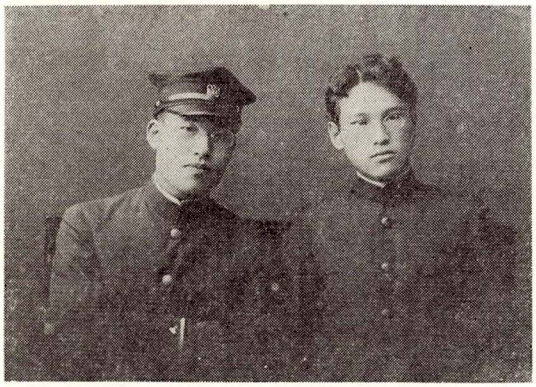
森田　だからほんとうに構造をやりだしたのは，おそらく尾崎さんくらいかな。

滝沢　大学卒業は大正9年だから，関東震災前というわけだ。すでに鉄骨，鉄筋は実施されていて，現に第一次大戦直前，丸の内の「海上ビル」が鉄骨を建てていた，が実際に伸びたのは震災後ということになるだろうかな。

先生のうわさ話

滝沢　さっき建築科の世帯が小さかったという話をしたがね，教授の陣容も小規模だった。教授は3人じゃなかったかな。中村達太郎先生，伊東忠太先生，塚本靖先生。

尾崎　教授は3人だった。



東京帝大時代の尾崎久助君（右）と故石本喜久治君

滝沢　関野貞先生という，学者としては有名な人だったが，まだ助教授。佐野利器先生も助教授。内田祥三先生が助教授，いやまだ講師……そこでこの辺で先生の思出話はどうか。さし当り，内田先生のことなら尾崎君がいい。

尾崎　そりや内田さんにね。みんなからそそのかされて，滝沢君と二人で，「試験を延ばしてくれ」と言うたらね。「そんなにいうのなら勝手にわたしやります」とおこられた。

滝沢　どうしてあんな人選が決まったのかな。どうも変な選び方だった。内田さんは高校以来の先輩だからというのでボクが。そして尾崎君，これがケッサクなんだ。尾崎君は時々クシャミをする。それが内田さんのとよく似ているから。（笑い）まあそんな茶目ッ気からではなかったかな。

尾崎　ともかく二人で行った。バカなクジを引いたもんだね。エライおこられちゃたね。

滝沢　「キミたちが勝手なことをいうならボクの方も……」なんて，今思うと内田さんも若かったんだね。だが，その時はホウホウの態で引き下がったなァ。

尾崎　とにかくあのころの教授陣は中村達太郎さんが施工みたようなことをやっておられたが，理論的な構造学はやっている教授はなかったんですからね。佐野さんがそれをはじめられた。

滝沢　日本で始めて鉄筋コンクリートの講義をしたのは土木科の広井勇という先生だったそうだ。札幌農学校を出て独力でアメリカに留学したという人だ。

尾崎　あの人はえらい人だな。

滝沢　停年制というのが始めて東大で問題になった時，年寄りではいけないというならオレは止める，と停前以前に辞表を出したそうで，いかにも明治の人らしい気骨があったな。内田先生はこの土木科の先生から教わったのだそうだ。鉄骨や鉄筋コンクリートの方は土木の方が先なんだね。

尾崎　古い古い。京都でもそうや。建築では辰野先生すら，鉄筋コンクリートの大要はよう知らなかったそうですね。

森田　とにかく構造はそんな状態だった。当時ミューラー・ブレスラウだとか，フェルスターだとか，そういうようなむつかしい本を読んでおったのは尾崎君だけだったかな。

滝沢　当時の構造学が如何なる段階にあったかという問題の参考までに――東京の丸善書店が佐野先生の設計で明治42年末に出来た。が軸部は鉄骨でも煉瓦巻き。但し床だけは鉄筋コンクリートで，これが日本で，たしか二番目の鉄筋コンクリートだとか，佐野先生が，いささか得意の面持ちで話された。それが大震災で煉瓦がくずれ，火が入ったので，鉄骨は曲り，床が――3階だった

が――書物の重味で落ち重なって，書物が半月もの間燃えつづけていた。

尾崎　それはなかなか焼けんもんだよ。倉庫は。

生方　さっき佐野先生のお話なんですがね。講義はなかなかお上手ですね。ボクきいていたが，昭和5年ごろ建築学会の印象はいまも残っています。

滝沢　佐野先生は東北人だったが言葉づかいは江戸っ児かと思われるほどキビキビしておられた。自分でマチガイと気がつくと卒直に訂正する，という風でハッキリしていましたね。それと対照に，やかまし屋だけれど，どこか茫洋たる趣のあったのが塚本先生。文展創設の頃はその審査にも関係された。

尾崎　先生はその委員だった。幅は広かったね。

中沢　当時の文展の入場券をもらつた。

滝沢　そうそう，そんなことがあったね。それから伊東忠太先生。先生は山形のご出身だから東北人だが佐野先生とは異って黙々としておられた。がお若い時から俊敏を以て聞こえ，明治のたしか三十年頃の話，当時岡倉天心一派が古美術に国宝という制度を設けようといっていた時，若き伊東工学士が，建築をも加えねばならぬと主張して，それが特別保護築造物の制度となったのだそうだ。また当時「造家」学といっていたのを「建築」学とすべしと提案したのも先生だったのだそうだ。

尾崎　そういう話だね。

森田　そろそろ卒業しょうか。（笑い）

尾崎　卒業させてくれん。（笑い）

中沢　ボクらには卒業式というものはなかったんだね。

尾崎　卒業式はないんだよ。卒業をしたのか，せんのかはわからなかった。誰れかがたのんでおいたら免状を丸い筒に入れて送ってくれた。

中沢　あれなんとか言ったな。太って大きな。そうそう，木村貞吉さん。あの人にたのんだ。

滝沢　風采堂々としていたからボクは初め教授だろうと思ったが。が教室の事務長格だったな。愛称を「キムテイ」といった。だから，お互同志，卒業祝賀会なんてお祭り気分も出ない。もっとも本郷三丁目の燕楽軒という所で，簡単にやるにはやったがね。

中沢　そういうお祭りは次のクラスが盛んだった。同窓会など多いときは年二回くらいあつたな。

滝沢　あのクラスはそういう点では大したものだった。素人芝居などもやったとか。

ところで今話に出た卒業式の件だが，恩賜の銀時計時代には東大の卒業式には天皇が行幸になった。それが止まったので，ガクリと来た。それがボクらの時代，というわけではないか。ギャップの時代とでもいうか。

中沢　そういう感じもするね。

尾崎　たしかに入学式はあったが。宣誓させられた。誰れかが代表で行って。

滝沢　宣誓式はあったようだね。ボクはズボラをして，あとで工学部長の別室みたいな部屋で宣誓簿に署名してきたように記憶する。

中沢　宣誓したことはおぼえんな。宣誓をしたおぼえはないよ。（笑い）

滝沢　建築科の講義の他に，尾崎君は文科のフランス語にも出席していたね，森田君と二人で。勉強家だと感心したよ。

尾崎　神田にあったアテネフランセというのにも通ったことがある。

中沢　美学の講座もあったな。

滝沢　美学や美術史はボクもよく行った，文科のね…

尾崎　美学は大塚保治という人でした。

卒業後・先達のことなど

森田　卒業して辰野葛西事務所へ行ったのは堀口君と滝沢君と三人か。

尾崎　いや滝沢君とボクとの二人だけだ。

滝沢　辰野さんはボクらの在学中に亡くなった。生きておられたらボクは行かなかったろう。名義は依然として「辰野・葛西」だったが，葛西万司先生が主宰していた。隠居仕事だと評されていた位呑気な所だった。さっき話に出た大学の木村貞吉さんの紹介で入った。

堀口君は大学院に残っていたが，後にボクが博覧会に移った時，引っぱり出して，そこでボクといっしょになったのだ。

尾崎　キムテイさんは大学と兼務で，この事務所の事務をやっておった。

滝沢　就職したのが大正9年の7月末か夏休前だった。それから12年秋の震災までの間，何か問題はなかったろうかな。

尾崎　ないな。

滝沢　大震災で東京は焼野原になった。そのため事務所は止むなく開店休業。その時尾崎君は東大とタイアップして毎日焼けビルの調査をして歩いた。そのエネルギーには驚いたね。火災の実地研究は，あれが日本では始めてではないかな。

尾崎　写真を集めたんだ。

滝沢　そうそう，君は組立暗箱の立派な写真機をもっていた。当時としては珍しい物持ちだったわけだ……あんな大きな火災は世界でも未曽有というわけだったろう。

この大火災で思出したことがある。尾崎君は在学中

「鬼ボルト」というニック・ネームだった。髪の毛がちぢれてウズを巻いている，それを誰かがね。ところが今度は震災で火災の調査だ。地獄の火の番をするのは鬼だというので，鬼ボルトのボルトが外れて「鬼」と略称されるようになった。（笑い）

尾崎　葛西事務所にいても滝沢さんにはよくいわれた。

滝沢　誰が名付親かはしばらくあずかるとして，これは誠に適切な名前だったね——勉強の鬼，仕事の鬼なんだからね。（笑い）

森田　そのころ，中沢君が内務省，ボクが警視庁にいて，建築監督官をやっておった。

中沢　ボクが建築監督官になったのは尾崎君のせいだ。あの時分，ボクは病気ばかりしていてクスリをよく飲んでいた……。

尾崎　タラコン錠やゲンノショウコを飲んでいたね。

中沢　たまたま学校へ出たら，尾崎君がことわったというので，内田さんがボクに建築監督官になれというんだ。

尾崎　辰野葛西事務所には，帝都復興院のできるまでおった。葛西先生はナマケもので建築士会にはちょっとも出ていかん。滝沢さん代りに出てくださいといわれたら，出る気のない人の代りだからわしもやっぱり出ませんといってたね。（笑い）

滝沢　それでも月給をくれていたんだからね。先生はあんまりガツガツするのを好まれない。

尾崎　あれは大人（タイジン）だったよ。

滝沢　仕事も無かったわけではないが，ボクのデザインでは注文がとれなかったんだ，何しろ「分離派」式だったからね。そこへ「面白いデザインをやらないか」と先輩の小倉強さんにすすめられて博覧会へ行った。その博覧会もあと半年で解散という時，葛西先生を訪ねたら「博覧会の後，まだ何所へも決めてないならば，また私の所へ来ないか」といわれた。人生意気に感ずってことがあるね。ボクはすぐ博覧会の方へ辞表を出して，また葛西さんの所へ戻った——出戻リって形だった。ボクのようなモノグサをよく採ってくれたものだね。

尾崎　とにかくノンキな時代でしたからね。いまならおこられちゃう。

森田　震災前尾崎君とボクは戸山ケ原の近くの筋向いの家に住んでいた。ボクはまだ独身だったものだから毎晩毎晩尾崎君の家へ押しかけたものだ。奥さんにはずい分御迷惑なことだったろう。心ないしわざで，いつも申し訳ないと思っているよ。（笑い）

滝沢　尾崎君は在学中に結婚していたね。

尾崎　そうだね大正8年だから，4月の3日だ。結婚式をやったのは。その時分はいい時代だ。青島は陥落するし御大典はあるしねえ。京都の三高の生徒はんというてもてたもんだよ。7月に卒業したのだが，3月ごろにはもう就職先がきまっていたな。

滝沢　第一次大戦が終って経済界が不況になり，ボクらより1年先輩は就職難だった。一旦決った就職が取消され，その解約料として1ケ月の捨て扶持をもらって却ってもうかった，なんて人もあった。呑気なところもあったが，これから世の中がだんだん厳しくなる，という気配はあった。

尾崎　しかしボクらも面白かった。葛西事務所へはいったとき，役所はね，土曜は半日で夏の休みもあるし，それにわれわれはなんにもない。そこで今日でいうベースアップですね。それやってもらいたいと滝沢君と二人の職員組合で要求をしたことがある。（笑い）

黒崎　あのときは月給はいくらだったかな。

尾崎　月100円だ。

黒崎　ボクは文部省へ推薦されたが，学校の監督はいやだから曽根中条事務所へはいった。それは100円だったな。

尾崎　そんなことをいっているが，滝沢さんなど朝から晩までろくになんにもしていなかった。ネン土細工のコマイヌをつくったり，ベースボールをしたりして，あの時分は大して仕事はなかったな。

滝沢　政友会という政党の総裁で，総理大臣になった原敬という大政治家があった。その郷里の盛岡に原家の位牌堂を造ることになって，始めてボクのデザインが採用された。その前面にコマ犬が欲しい，が彫刻家にたのむと金がかかるという。そこでボクが「私が造りましょう」と引受けたのが粘土細工の由来なんだ。

森田　ボクは震災直前に京都へ行ってしまったが，もし東京にいたら復興院へ引っぱられて，尾崎君と一しょだったかも知れんね。復興院時代の話はどうや。どのくらいおったかな。

尾崎　大正12年から昭和2年までおった。最後に拝謁を仰せつけられた。洋服がない。フロックコートですね。しようがない。斎藤亀之助君に借りに行ったら小さいんだ。ボクのからだの方が大きいんだね。窮屈でもガマンしろというので。ところがシルクハットがないんだね。家にちょうどおやじの忘れて行ったのがある。それに新聞紙を入れてのせろと。（笑い）

その時分は帝都復興院といった。しかし佐野先生という人もエライ人だったな。あの人は非常に魅力がある。人間として。建築局長のとき，ほかの土木とか，造園，上下水道などいろいろの技術者が佐野先生を中心に集っていて，佐野さんがいつも中心のような形であった。官制上ではなくて自然的にそうなるのであった。

森田　しかし方々で抵抗もあっただろうな。

尾崎　そりゃ，あったろうね。清水組へ入っても随分抵抗もあった。実際大学の先生をやりながら，宮内省の

課長だったり復興院の局長にもなるし，市役所の同じく局長をしていたからな。

滝沢　佐野先生は当時の革進派……当時の民主主義，吉野作造さんの共鳴者だった。

中沢　ボクらの卒業する時分は全体にそうであったもんな。

尾崎　全体にそうであった。

中沢　佐野さんは民主的というか。

森田　吉野作造さんのは民本主義や。

中沢　メートル法，あれは佐野さんや。

尾崎　ボクは学会の編集をやっていたときに横書きにしたら塚本先生におこられた。漢文はどうするんだと。どうして読むのかと。

森田　建築学会の講演会に賀川豊彦を呼んできたり，あれは佐野さんの大正のころだな。

中沢　〝佐渡は49里波の上〟あの49里はメートル法では歌にはならんと。あの時分だな。それは。

森田　伊東先生はメートル法絶対反対だった。

中沢　メートル法を採用すれば日本がほろびると，岸和田の岡部さんや伊東忠太さんは，反対運動をした。片方，佐野さんは賛成した。

尾崎　佐野さんはエラかった。先覚者だな。

中沢　佐野先生のお家にはヨロイがおいてあったな。

尾崎　佐野先生のお家は感心せん。あんな不細工なの。あんなの建築じゃない。

滝沢　構造から割り出したのだそうだ。そして地震の時，先生のご家族は日本一の構造学者が設計した家だから大丈夫と安心しておられ，先生は他所におられて大変心配された（笑い）という話だ。

黒崎　昭和2年に日本銀行へ行っとるな。復興院は終ったのかい。

尾崎　ボクの仕事は終ったのだ。主に横浜の区画整理をやらされていた。復興局というのはまだあったよ。

黒崎　昭和5・6年ごろまでか。

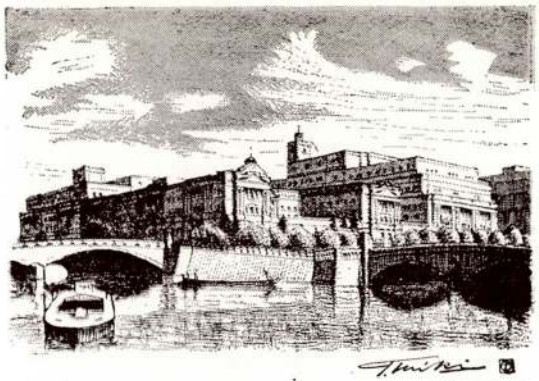
尾崎　大分しまいまでおった。高等官5等であったので4等になる迄おろうかと思ったところ，後に満洲国総務長官になって〝連に抑留されてひどい目に遇われた武部六蔵さんがそんなことつまらんことだといわれる。やることはないし，それに第一天皇さまに拝謁したから，それでもうやめちまったんだ。

黒崎　復興局でどういう仕事をしたのか。

尾崎　そういわれると困る。実はあんまりやってはいないんだ。横浜の区画整理は全部やったんだ。ぼくが，本職は横浜の区画整理だったんだ。

滝沢　人の二倍も三倍も仕事をするから，モノグサ太郎のこちとらは引立て役に回されて迷惑する。（笑い）

尾崎　そういわれると困るんだ。日本銀行には10年くらいおった。



日本銀行本店

日本銀行では坂東君と一緒だった。

滝沢　日本銀行で尾崎君の上にいたのが長野宇平治さん。長野さんは若い時辰野さんの下にいて，日本銀行の技師となり，独立してからも殆ど銀行建築専門。「わたしンところの設計料は世間並みよりお高いですよ」というと，金持ちの銀行家は益々信用する。（笑い）本当はこれでなくちゃいけないんだが……。

尾崎　全くそうだ。長野さんがいえばほんとうかと思うが，われわれはいうても，とてもほんとうにはされんが。

滝沢　自ら英国風のアーキテクトを以て任じておられた。風采堂々たる美男子で，クラシックなデザインはその風采を反映するごとく立派だったな。

森田　大した給料をとっていたんだね。

尾崎　長野さんの給料を見ていると，袋からハミ出しているんだ。おかしいな——というわけ。きいてみたら月給は2,000円だと。われわれが200円か300円いくらというときですから，月給2,000円とは驚いたもんだね。

中沢　そういう話をきいたことがある，キミが10円札でかぞえるのに向うは100円札でかぞえている。（笑い）

尾崎　そんなもんだ。

中沢　それほどちがうんだ。

先達と美人

滝沢　ところがウワサによると先生のもうけた金を奥さんがみんな使ってしまうって……。

尾崎　学校の運動会などにはパーッと寄付をしたそうだ。大したもんだ。ところで岡田信一郎さんだが，この人の亡くなったのは，ボクが日本銀行にいる時分で，万竜夫人を見に行こうというわけで葬式に行ったんだ。万竜さんをよく見てきたよ。

滝沢　ボクはある時電車に乗ったら目のさめるような

美人が乗っていた。すると，その隣りの隣りに岡田さんがいた。ボクはあわてて岡田さんに敬礼したがね——なるほどウワサにたがわず，と感心したね。

尾崎　もう一話ある。東京会館で曽禰先生のなんかのお祝いのあったとき，バカにきれいなのが向うにいるんだ。その横にいるのが岡田信一郎さんらしいんだ。なあんだ，あれ万竜かと。

中沢　岡田さんは人力車で学校へきていたよ。

尾崎　あの時分は早稲田の先生もみな人力車できたよ。吉田さんなんかも人力車だ。いまでいえば自家用車だがね。三高の島文次郎さんかなにかも人力車できたよ。あれも好男子だもの，人力車に乗ってもおかしくはないんだ。美男子だものね。

滝沢　その妹か姉さんか，問題になった美人があったはずだが……。

尾崎　お茶の水事件のね。美男子の島さんなら似合わしいが，われわれが人力に乗ってもどうも（笑い）ダメダなあ，と思ったことがあったね。

滝沢　お茶の水事件といったかどうかは知らぬ。が明治41年——ボクはその年始めて東京に出たが——当時艶歌師というのがいて夜の街でヴァイオリンをひきながら流行歌を歌っていた「ああ世は夢か，まぼろしか」なんて。美しい愛人の病気を治そうと人を殺して生きぎもを取った，という事件の歌だった。その美人が島さんの妹だったとか……。

尾崎　よおく知っとるね。（笑い）島さんは，なにかで読んだが安藤勝一郎さんと文士の仲間だったんですね。

森田　安藤さんは奥さんの方が有名だ。

尾崎　夫人が安藤孝さんといってバイオリニスト。あれ安藤さんと浜松へんで会うことになっていた。夏休みがすんでもなかなか帰ってはこないんだ。まだ浜松へんにいる？　というわけです。

滝沢　奥さんの話だがね……。ボクはある席で——実は堀口君の細君が同席だったがね——さっきの話にも出た田中正義さんから「君のクラス仲間で細君のエライのは誰か」と聞かれた。そこでボクは，タキザワ夫人は番外とすると前置きして，堀口夫人と尾崎夫人（笑い）とためらわず答えたね。本当だよ。その事を証明する話がある。ボクの知っていた医者に河西という，元満鉄病院長をした人があった。日本へ帰って，病院を建てたい，という相談をうけたが，ボクは当時博覧会で忙しかったので尾崎君を推せんした。河西夫人が，また大した賢夫人で……。

尾崎　エライ人だったんだね。

滝沢　さすがに賢夫人で，用事ができると主人の代理として朝早く尾崎君の所へ連絡に行く。尾崎君が出勤せぬうちにというわけだ。どんなに早く行っても，尾崎夫人はお家をキチンと整え，身づくろいもすまし，お茶など出されても立派なお手前だったとのこと。河西夫人すっかり感心してね。ある時尾崎夫人に向って「あなた，お妹さんはありませんか」と。妹がないと聞くと河西夫人はすっかり失望落胆して「お妹さんがおありならば是非とも家の長男のお嫁にと思っていたんです」と。尾崎君の今日あるは奥さんの内助の功のいたすところだ，と思うね。現に，前にもいったように，尾崎君は在学中に結婚された。そして，卒業論文の字がどうも御本人より上手だった（笑い）というウワサだがね。

この辺で話を建築の方にもどして，長谷部・竹腰時代のことを伺ってはどうかな。

戦中・戦後

尾崎　長谷部・竹腰時代は短いんだ。13年から19年まで。この間ボクは日本ではあまりなにもやらないんだ。北支とか中支とかへ行って支那の銀行の本店，支店，そんなものばっかりをやっておった。

滝沢　向うで小倉尚君に会ったかという話だったが……。

尾崎　小倉君が中将で北支の軍の兵器部長かなにかで大したもんでえらかったんだ。ぼくが訪ねてゆくとね。門番がささげ銃をやるんだ。エラかったんだね。
長谷部鋭吉さんという人はえらかったね。

黒崎　デザインもよかったね。

尾崎　ずぬけていた。デザインをしてわれわれの意表に出るようなものを平気でやっていたね。

滝沢　ボクらが長谷部さんの存在を知ったのは，明治天皇記念の絵画館の応募図案の時だ。大したデザインだった。このことに関しては，かって森田君と対談したことがあるが（本誌，昭和33年3月号参照）。

尾崎　ほんとうだよ。芸術家であっても人間としては謙譲家で，ちよっと珍しい人だったな。

中沢　あまり外へは出ない人だな。

尾崎　そうだったよ。

森田　長谷部さんと竹腰さんとは性格的には全然反対だったのじゃないか。

尾崎　それでよかったんだね。竹腰さんという人は純然たる現実派であった。それだけに長谷部さんも経営の方は竹腰さんにまかせていた。経営には手腕力量のある人だったな。

生方　尾崎さんは長谷部・竹腰事務所から日本建設産業をへて現在の日建設計と名前がかわってからの初代の社長になられました。

尾崎　日本建設産業では，ボクは専務をやらされて閉口したな。あの時分資金調整法というのがやかましかった。建設産業で建設資材だとか，販売をやるというので，キミ日本銀行へ行って説明をしてくれというので，知っているから行って説明をした。

政岡　初代の日建は何人くらいでしたか。

尾崎　何人くらいだったかな。100人にもならなかったね。

生方　日建と名前のついたころはそのくらいですが，現在の基礎をおつくりになった。

尾崎　労働組合ができかかって，こっちはそういうことを知らんから閉口しちゃった。あれには，労働法の本を買ってきて読んだりした。総務部長の布君が唯一の味方で労働協約を結ぶのには苦労をした。団交に出ればどうせいろいろ策略を弄せられても，こっちはなんにも知らんのだから誠心誠意やるより仕方がないと思って，それでやりました。みなさんにも納得をしてもらって労働協約を結んだが，労働協約の締結というのはエライことですね。

政岡　現在は何人くらい？

生方　傍系的なものを入れまして700名です。

政岡　世界的にもこんなのはあるんですか。

生方　世界的にはアメリカのスキッドモアー・オーイング・エンド・メリルが最大なもんです。5・6年前の話なんですが。

尾崎　あれよりも，もっと大きいのがいまはあるそうだよ。

森田　尾崎君に京大の講師をお願いしていたのはそのころか。

生方　尾崎先生の京大の講師は昭和21年から23年までやられました。

尾崎　あのときは往生したよ。時間におくれんようにというのでタクシーに乗って行ったが，結局講師料よりも，この方が高くついたんだ。（笑い）

生方　「日本建設産業」の流れをくんで「日建」と呼んでいるのでしょう。

尾崎　その「日建」を保存しているわけなんです。

生方　電話では「日建セッケン」とききあやまられて泡を食うことがあります。（笑い）

余　技

政岡　日建がそういう成長をしたのも先生のたいへんなお骨折りです。先生をお訪ねしても朝東京から帰って昼から博多へ行くという。そのお忙しいのに，よく絵をお描きになるヒマがありますね。

尾崎　ああいう余技というものは忙しいときにでもできるので，ヒマでないとできないということではね。

滝沢　絵心という点からすると森田君やボクなどの方がね。だが二人共——森田君にゃ失礼だが——モノグサだ。「鬼」じゃないからね。ところが構造家だと思っていた尾崎君が絵をやり出した。というんでこちらは恐慌を来たしたわけだ。こういう勉強家にゃかなわぬ，寸暇もムダにせずで……。

尾崎　忙しい間にやるのが楽しみですね。

滝沢　忙しいせいか「裸婦」が実は「ラフ」スケッチだ，なんて……（笑い）

政岡　梅原流——というのか，どうかは知りませんが——絵を描かれたのは学校在学中からですか。

尾崎　いえ，近年です。病気のすこしまえですな。病気をしてから，すこしね，気力がおとろえた。

森田　奥さんもやられる？

尾崎　近ごろね。教えてやった。

森田　尾崎君の絵は，はじめは下手やったな。（笑い）

滝沢　絵ばかりではない。短歌もやる，小唄もやる……。

黒崎　短歌もやるし，小唄もやるし，かと思ったら近ごろはおどりもだよ。

滝沢　けしからんことだな。（笑い）

尾崎　短歌は佐々木さんの直弟子だ。

黒崎　おどりは何年くらいやった？

尾崎　そう言われると困る。（笑い）

黒崎　なにか名前をもっているな。

尾崎　それが面白いんだ。日本画を描いて雅号を入れる。〝紫岡〟良い名前ですなと。これ実は絵の方でつけた名前ではなく小唄の名前です——というと，おどろいているんだ。（笑い）戦災でヒノキの看板も免状も焼いてしまった。あれなければダメなんだ。人が信用をしてくれん。ほんとうの小唄をきいていたんでは，ほんとうの名取りとは信用されんので。（笑い）

森田　奥さんは？

尾崎　家内は長唄だが，小唄もやるけれど，この方はぼくの方がうまいよ。

滝沢　それこそウタがわしいというもんだ。一方的発言だ，奥さんがこの席におられないんでね。それにこの席では実演してもらうわけにもゆかぬ……そろそろ時間ですから，この辺で……

片山　どうもありがとうございました。

尾崎久助著作目録（単行本を除く）

建築雑誌

年　月	誌　名	Vol.	No.	Page	論　文　題　名	備　考
大正13年4月	建築雑誌	38	452	193	高熱による鉄筋コンクリート構造の崩壊について	
〃　6月	〃	〃	454	319	震災およびそれに伴える火災による建築物被害の統計（臨）	
〃　7月	〃	〃	457	479	建築材料の耐震耐火的考察（大正12年関東震火災号（其二）災害防止調査委員会）	共著者：田中正義
昭和2年5月	〃	41	496	628	丹後震災地調査所感	
〃　7月	〃	〃	498	980	Los Angeles の新建築条例案における耐震計算規定	
〃　12月	〃	〃	503	1460	大正12年の大震火における各種建築構造の火害について	
昭和3年3月	〃	42	507	284	内藤博士の「架構建築耐震構造論」に対する Illinois 大学 Wilson 教授の批判	
〃　5月	〃	〃	509	447	耐火試験の結論としての壁体および防火炉の耐火力	
昭和4年12月	〃	43	528	1509	鉄矢板に対する腹起の経済的配置の近似算法	
昭和7年2月	〃	46	554	115〜179	軸応力を無視せざる弾性アーチの解法とその階段形梁への応用	梗概，別紙
昭和8年6月	〃	47	572	761〜790	対称垂直荷重を受ける矩形架構における曲能率の最下層柱脚部の固定状態如何による相違の比較	梗概，別紙
昭和10年8月	〃	49	602	963〜979	耐火建築上今後特に注目すべき点について	講　演 梗概，別紙
昭和12年3月	〃	51	624	343〜346	コンクリート構造建物荷重の分析的研究（梗概）	本文は　論文集5号　p. 89 梗概，別紙
〃　11月	〃	51	632	1348〜1357	建築材料試験およびその結果に対する統計数学の応用について	梗概，別紙
昭和13年4月	〃	52	637	416〜421	建築材料試験及びその結果に対する統計数学の応用について　補遺	梗概，別紙
〃　7月	〃	52	640	773〜781	近年相次いで行なわれた欧米中央銀行の大建築工事	
昭和14年3月	〃	53	648	451	特殊積載荷重の実側値（竹山謙三郎抄）	早稲田建築学報，昭和13年12月p.27〜34　掲載の抄録
昭和15年3月	〃	54	660	225〜236	基礎深き建物の根伐地盤の昇降運動および建物接続工法について	
〃　〃	〃	〃	〃	261〜262	新工学博士　尾崎久助君	
昭和28年5月	〃	68	798	13〜18	アメリカ建築の変貌	
〃　6月	〃	〃	799	1〜7	第21回国際住宅および都市計画会議報告	共執筆者： 岡橋作太郎

建 築 と 社 会

誌　　名	年	月	頁	題　　名	備　　考
建築と社会	51	8	18	近頃考えること	談　話
〃	52	11	36	尾崎理事のリスボン便り	葉書文面とその写真
〃	53	3	14～19	ヨーロッパの住宅建設と戦災復興	
〃	54	2	17～24	欧米建築こぼればなし	
〃	58	9	12	城雑感	城特集号
〃	58	5	巻頭	就任の御挨拶	日本建築協会々長
〃	59	1	27～28	巻頭の言（竹腰健造氏を語る）	竹腰健造特集号
〃	60	1	29～30	7年目のロスアンゼルスとホノルルで	
〃	60	10	73～76	8年目のホノルル・サンフランシスコ・ロスアンゼルス	
〃	61	3	73	晩年の長谷部先生のプロフィル	長谷部鋭吉特集
〃	61	1	43～44	年頭のことば	

土木工学・基礎研究

土木工学	昭和15	3,5,6		日本銀行建築鉄骨及び鉄筋コンクリート工事	(1)(2)(3)と掲載
〃	昭和11	9,10		建築基礎としてのケーソン	
基礎研究第1集	昭和12	2	51～63	建築潜函基礎散論	梗概，別紙
〃　第3集	13	7	93	不等沈下によりてラーメンに起る応力に就て	昭和13年6月　早大建築学教室における第19回談話会にて発表の紹介
〃　第4集	14	5	31	〃	原本なし

建　築　士

建　築　士	53	8	12～15	アメリカの建築事務所	
〃	60	5	34～41	人物風土記　第14回 日本建築士会の育て親　　長野宇平治先生	座談会出席

大阪府建築士会会報

	(号)	(年)	(月)	(頁)		
大阪府建築士会会報	1	53		18～20	建築士の名	
〃	7	56	1	26～30	あれこれ寸言	諸家執筆
〃	7	56	1	31～40	住宅不足は解消するか	座談会
〃	11	57	10	2～3	建築事務所の今昔について	
〃	12	58	4	26	「目地」欄に執筆	
〃	15	59	3	2	第5回大阪府建築コンクール審査報告	審査委員長
〃	25	61	9	2	時評　更に根本的の都市計画を	
近畿2府4県建築士会合同編集会報	2	56	11	28	建築家の海外旅行漫筆 欧米旅行　ホテル予約のしくじり	

尾崎久助・雑誌掲載論文の内容梗概

軸応力を無視せざる弾性アーチの解法とその階段形梁への応用

正員　尾　崎　久　助

梗　概

本稿を分ちて第1編と第2編とにする。

第1編　鉄骨構造や鉄筋コンクリート構造の二鉸式あるいは無鉸式アーチの解法にあたっては軸応力の影響は僅少なりとして無視するを普通とするが，それではフラットな形の場合には非常な誤差を生ずる。フラットな場合の正当な解法については従来余り研究されておらぬように思われる。本稿においては同様の場合の解法と補正の方法によることとして，鉄骨構造並に鉄筋コンクリート構造の二鉸式，あるいは無鉸式パラボラ形および対称山形フラットアーチについてその正当な解法を示したものである。

第2編　階段形に屈曲した梁はその曲能率，剪力等を計算するに当って真直なる梁として取扱わるるを慣例としているが，それは理論的根拠の検討を経てのことではなさそうである。本稿は第1編を応用しつつ階段形梁を弾性アーチとして理論的に解いて垂直荷重および曲能率を受けた場合の真相を明らかにし，なお別に階段形梁を持つ架構の横力に対する計算方法解決の一端として同場合の柱の虚点の位置を明らかにしたものである。

（階段形梁の特別の場合としては単に水平に対して傾斜した真直なる梁もあるが，これは曲能率，梁の軸に直角なる剪力共に真直なる水平梁と全然相等しく，ただ軸応力を生じ，それによって端の反力が水平梁と異ってくるだけであるから，特に論ずるまでもない。）

（建築雑誌　第46集　第554号　昭和7年2月　115～179頁）

対称垂直荷重を受くる矩形架構における曲能率の，最下層柱脚部の固定状態如何による相異の比較

正員　尾　崎　久　助

内容梗概

本稿は矩形架構において最下層柱脚部の固定状態を異にせる場合の曲能率の相異状況を近似的に計算比較したものである。

緒　言

第1章　対称垂直荷重を受くる単張間矩形架構の曲能率

1．算式

2．曲能率の値と柱の虚点の位置

第2章　対称垂直荷重を受くる多張間単層矩形架構の終端張間の曲能率

3．算式

4．曲能率の値と柱の虚点の位置

第3章　対称垂直荷重による上層柱脚部の曲能率が加わって生ずる単張間多層矩形架構の最下層の曲能率

5．算式

6．柱脚に剛節せられたる連続基礎の全長にわたりて支えられたる場合の曲能率を得るために，柱下基礎にて支えられ柱脚に剛節せられたる繋梁を有する場合としての曲能率に付加すべき曲能率

第4章　対称垂直荷重による上層柱脚部の曲能率が加わって生ずる多張間多層矩形架構の最下層終端張間の曲能率

7．算式

8．柱脚に剛節せられたる連続基礎の全長にわたりて支えられたる場合の曲能率を得るために，柱下基礎に支えられ柱脚に剛節せられたる繋梁を有する場合としての曲能率に付加すべき曲能率

第5章　結論

9．普通の架構における梁と柱との剛比と第二層柱脚部の曲能率

10．多層矩形架構最下層の曲能率の近似式

11．対称垂直荷重を受くる矩形架構の曲能率の近似値

以下略

（建築雑誌　第47集　第572号　昭和8年6月　761～790頁）

耐火建築上今後特に注目すべき点について

（昭和9年12月13日の通常講演会における講演を整理したるもの）

正員　尾　崎　久　助

内容梗概

アメリカにおける多年間の統計に基いて，まづ耐火建築の火災の被害状況を調べて，耐火建築がわれわれの期待に背かざるものなることを認めるとともに，こんごわが国の耐火建築において更に改善を計るべき諸点を省察し，その改善の方策としてオートマチックスプリンクラー及び網入硝子の開口よりの延焼防止に有効なることを

説き，次にやはりアメリカにおける工事中の建築の火災の状況とその防備策に言及してわが国における注意を喚起し，最後にわれわれに教うる所多き National Board Building Code の新版中の消火耐火に関係せる規定を簡単に抄出して参考に資したるものである。

（建築雑誌　第49集　第602号　昭和10年8月　963～979頁）

コンクリート構造建物荷重の分析的研究

正員　尾　崎　久　助

内容梗概

建物の積載荷重の実測せられたる平均値に比して法規上定められてある値の甚だ大なることに対して説明を与え，今日の相当進歩した計算方法に即して法規上定むべき積載荷重の値の改正試案を提示し，実在コンクリート構造建物の荷重分析よりして，全荷重に対して実際の積載荷重が極めて小部分に過ぎず，大部分はコンクリートの重量なることを明らかにし，それにより法規上もある範囲内は用途変更の融通性を容認して差支えなきこと，普通には積載荷重部分的増減の影響は特に考慮すべき程でなきこと，建物重量軽減のためにはコンクリートの濫用を戒める外特殊軽量コンクリーについても注目すべきことを説き，また荷重上の安全率は積載荷重の採り方にほとんど関らず，常に1を出づること僅少なる所以を示したものである。

（建築学会論文集　第5号　昭和12年3月　89～98頁）
（建築雑誌　第51集　第624号　昭和12年3月　343～346頁　梗概）

講　　演

建築材料試験及びその結果に対する統計数学の応用について

本編は昭和12年7月8日の通常講演会で試みた講演を書き改めたものである。

内容梗概

統計数学の概要を説明し，実際の建築工事に当って施行せられた鋼，セメントおよびコンクリートの品質試験111組（試験度数総計 17,857）に対して各種の統計値を算出して各材料の品質の均等性，規格に対する合格の度合等を数学的に考察し，また建築工事において異種構造材料間の各試験度数の比を定めるにも統計数学の助けを借りる時は一つの拠り所を得ることを明らかにしたものである。実例として採用せられたものは構造材料のみであるが，もちろん他の材料についても同じことである。

（建築雑誌　第51集　632号　昭和12年11月　1348～1357頁）

建築材料試験及びその結果に対する統計数学の応用について　補遺

正員　尾　崎　久　助

内容梗概

先づ試験結果の統計値より，正規曲線を作る方法を説き，それと試験結果度数折線とを比較し，それに依って統計値がどの程度に信頼し得べきかを推定することを述べ，また各材料の各品質ごとにその均等性が必ずしも一様でないことを示し，なお度数の多寡に従ってそれよりできる正規曲線の形の変化を推察した。

次いで，度数曲線を観察するのでなく，単に算術平均値を求めあるいはそれによって品質の合格不合格を定めるだけならば，度数はかなり少くてもよいことを述べ，その場合の算術平均値を度数の多い場合の値に比較して大差なきことを明らかにし，更に3個宛抽出したものの平均値の度数分布図と統計値を観察し，その結果は上記の目的のためには実地上不適当ではないことを説いた。なお1個を採る場合よりは3個を取る場合の方が良結果を得ることはいう迄もないことを示した。

以上いずれも実例について説いたものである。

（建築雑誌　第52集　第637号　昭和13年4月　416～421頁）

建築潜函基礎散論

日本銀行臨時建築部技師 工学士　尾　崎　久　助

内容梗概

建築用気潜函基礎につき，形状大きさ，空気消費量並に使用コンクリートに関してとくに注意すべき点を考察し，更に実例の詳細なる統計を掲げて資料に供すると共に，とくにそれによって大型潜函少数と小型潜函多数との比較研究を述べたものである。

（基礎研究　第1集　昭和12年2月　51～63頁）

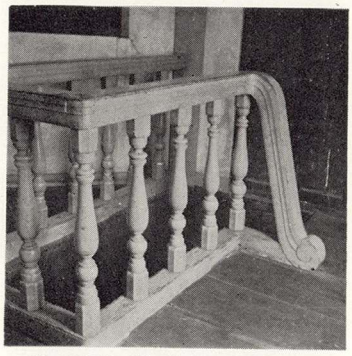
尾崎久助・著書

- 工学ポケットブック（分担）　昭和4年
  （担当：特殊構造物，擁壁，耐火構造）
- 建築構造要覧（上巻）（分担）　昭和19年
  （第1章　度量衡および数学）
- 百日で見た欧米建築　昭和29年
- 尾崎久助絵と短歌（1）　1962年
- 尾崎久助絵と短歌（2）　1963年

細部特集　4. 手　　摺



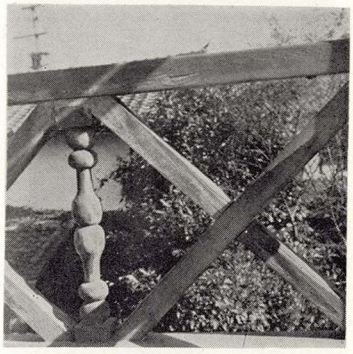
37. 日赤熊本支部記念館
熊本市，4年（1871），旧外人教師住宅，伝長崎の大工の作



38. 開智学校旧本館
松本市，9年（1876）
棟梁・立石清重，重文



39. 尾山神社神門
金沢市，8年（1875）
棟梁・津田吉之助，重文



40. 九鬼隆敏邸
三田市，8年頃



41. 竜谷大学本部本館
京都市，12年（1879），重文



42. 長崎市・旧精洋亭
14年（1881）



43. 成徳小学校旧本館
倉吉市，20年（1887）

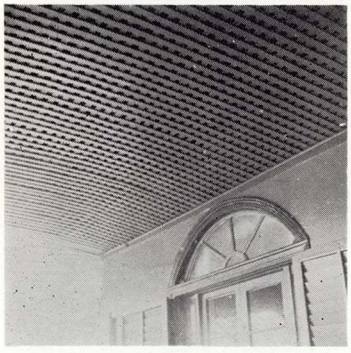


44. 同志社理化学館
京都市，23年（1890）
ハンセル設計



45. 旧岩崎久弥邸
東京都，29年（1896）
コンドル設計，重文

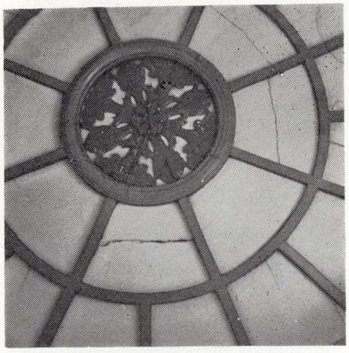
5. 天　　井



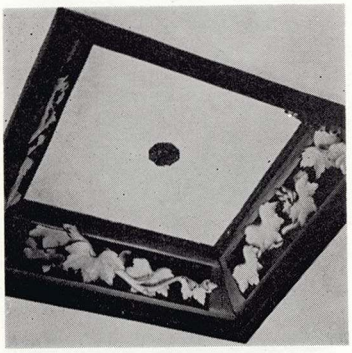
46. グラバー邸
長崎市，幕末，重文



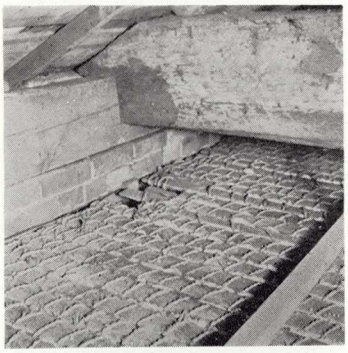
47. 大浦天主堂
長崎市，7年（1874）拡張
プチジャン他，国宝



48. 開智学校旧本館
松本市，9年（1876）
棟梁・立石清重，重文



49. 開智学校旧本館
松本市，9年（1876）
棟梁・立石清重，重文（滝沢）



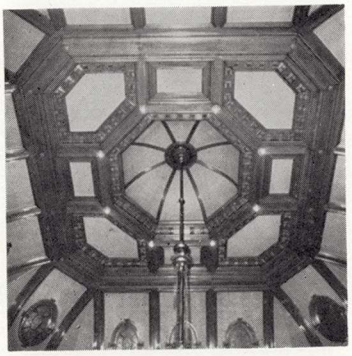
50. 同志社彰栄館（天井裏）
京都市，17年（1884）
伝グリーン設計



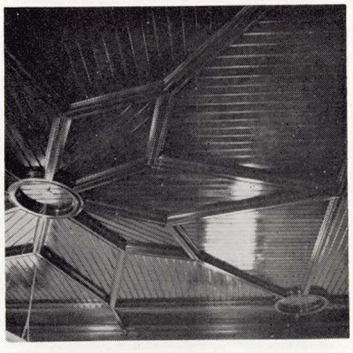
51. 旧彦根中学校本館
滋賀県，22年（1889）
小原益知設計，現存せず



52. 旧岩崎久弥邸
東京都，29年（1896）
コンドル設計，重文（林野）



53. 日本銀行大阪支店
大阪市，36年（1903），
辰野金吾設計（林野）



54. 三菱銀行大阪支店
大阪市，43年（1910）
曽禰達蔵設計，（林野）



近代建築の
要求に生まれた

伊奈のデヤータイル

大阪神ビルにご採用
デヤータイル二丁掛

IS 伊奈製陶株式會社

本社・工場　愛知県常滑市扇面新田　電(5)2700(代)
東京事務所　東京都中央区西八丁堀2—8　電(551)6371(代)
大阪事務所　大阪市西区新町南通1—23　電(541)5484(代)
九州駐在所　福岡市鍛冶町1橋口ビル4階　電(74)9080(直)(76)1731(交)
札幌駐在所　札幌市大通西7丁目2番地　電(3)3806

マルエス

日新

永久防水材
マルエス印
ルーフィング

信用第一
最高の品質

メルタン
ルーフィング

国内の気温較差の著しい所に於ても能くその苛酷な条件に抗して老化せず　特に寒冷地に於ける投術的困難は殆んど解決されたと云っても過言ではありません

特許
ビニエスタイル

お部屋のポイントは床材から

明るい配色……
落ちついたムード

マルエスルーフイング製造元

日新工業株式会社

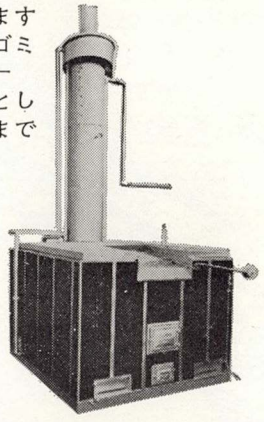
本　　社　東京都足立区千住東町93　TEL東京(888)2101～9
大阪支店　大阪市西区新町北通1丁目40　TEL大阪(531)5281～3
出張所　名古屋TEL 名古屋(54)9996・広島 TEL 中(2)1019
九州 TEL福 岡(5)0768・札幌 TEL (5)6885

塵芥炉 Inciner

ゴミのない
美しい生活

■日本人は、世界で一番衛生的な国民といわれますが、ゴミ処理に関してはまだまだです。家庭のゴミ街のゴミの完全処理はインシナーの塵芥炉から—インシナー工業は塵芥炉の総合トップメーカーとして、優秀な性能をもつ製品をご家庭から大工場まではば広くご利用願っております。

〈アフターサービス完全実施〉

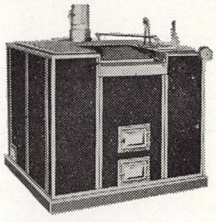


TYPE HW
塵芥ボイラー

■ゴミでお湯を沸かす

塵芥焼却の熱を利用してお湯をわかし、浴場、シャワー、手洗に、給湯できる経済型。温水ボイラーの1年分の燃料費でHW型が設置できます。しかも、水で熱を吸収しますので炉の生命はぐんとのびます

●工場／事務所／倉庫



TYPE C
定置式

■多量のゴミ処理に

大型の機構をもち比較的多量のゴミ処理に適しています。空気利用貯芥籠・放熱板に独自のアイデアをとり入れた本格的塵芥炉の決定版。さらに大量の焼却には多基連結使用ができます。

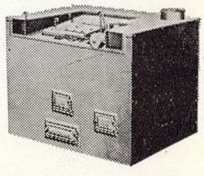
●工場／病院／学校／ホテル

TYPE E
ポータブル

■コンパクトな小型炉

ゴミ箱程度のスペースで設置できるキャビネット・タイプ。湿度の高いゴミも完全焼却できる高性能をもっています。完全密閉式で火災の心配もなく。広い構内では本炉の分散設置が便利です。

●大工場の分散設置／アパート
中小事業所／食品店



TYPE F
超小型
ポータブル

■スマートなデザイン

0.6(間口)×0.6(奥行)×1(高さ)の小型ながら、空気が外側を流れ炉の中心で燃えて熱のムダがまったくない高性能炉。しかも、外部へ熱の放散がなく、焼却炉とは思えない美しい外観は設置場所を選びません。

●小規模事業所／一般家庭

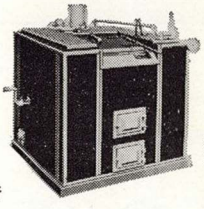


TYPE D
液状汚物
塵芥兼用

■液状汚物も同時焼却

C型と同じ機能によってゴミを燃却すると同時に、その熱で炉の中の液状汚物を完全処理します。そのための燃料費は不要。しかも、残物処理はハンドル操作なので衛生的です。

●伝染病棟／結核病棟／医学研究所



TYPE S
ダストシュート
直結型

■衛生的で絶対安全

構造・機能はE型と同じですが、近代高層建築などのダストシュートに直結できます。従って、目にも、手にもふれず、安全で、しかもハンドルのワンタッチだけ。画期的な設計でシュートへの引火の心配はまったくなくなりました。

●近代建築／高層建築

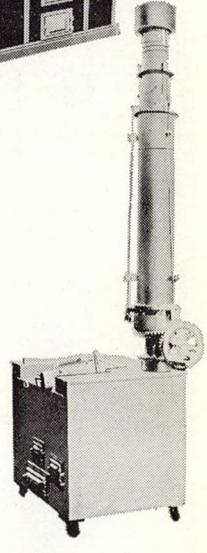


TYPE ES
スライド
チムニー式

■移動格納が自由

煙突の伸縮が自由で車輪付。固定した設置場所がない場合など、お好みの場所に移動させ、煙突を伸ばして焼却できます。焼却機能はE型と同じ。

●商店／小工場／事業所



〈代理店募集中〉

■ゴミ処理のコンサルタント

ゴミ処理相談
コーナー開設
312—7481

クボタ

インシナー工業株式会社

大阪市北区牛丸町55　東洋ビル　電話(312)4571
本　　社　東京都品川区北品川2～134　電話(491)3860(代)
名古屋営業所　名古屋市昭和区恵方町2～8　電話(84)5874
福岡営業所　福岡市春吉3丁目　春野ビル　電話(76)1880

世界に誇る驚異的建材！

ガスにも熱にもビクともしない！

40年の厂史と最新技術の産物

特許----耐酸.耐アルカリひふく鉄板

オリエンタルメタル

永久建材・超ひふく鉄板

スーパーオリエンタルメタル

新時代にマッチした

各種のカラー製品が有ります

美しいアルミ箔ひふく鉄板

オリエンタル アルシート

型錄送呈

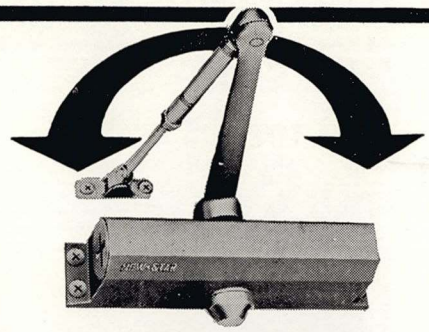
責任施工

オリエンタルメタル製造株式会社

本社工場 尼崎市大物北口 電話 大阪(481)4947～9
大阪支店 尼崎市北新町4-41(古川ビル) 電話大阪(401) 9745～6
東京支店並工場 埼玉県蕨市大字塚越1620 電話 蕨(32) 3115～7
支店・出張所 郡山・八幡・名古屋・川崎・岩国・宇部・延岡・敎賀・三原・徳島・徳山

●ドア　を閉めるのは ボクの役目です

■建築様式の著しい発達に伴いドア　の軽量化、簡美化される現代、勢いドア　チェックもこれらに適応したものを要求されます。
創立40余年を誇る最古の経験と、最新の特殊専用機設備から生れるニュースター・ドア　チェックは、構機の合理化、確実な作動、耐久力、斬新なデザイン、これらを完全に満たした絶対信頼いただける理想的な製品です。



NEW★STAR



ニュースター製品

- フロア　ヒンジ
- ドア　チェック横型
- 〃　菱型
- 〃　隠蔽式
- ピボット　ヒンジ
- ラバトリ　ヒンジ
- 押板 メラミン樹脂
- 押板 クリスタル硝子

日本ドアーチエック製造株式會社

本社工場 大阪市生野区巽矢柄町222 電話(716) 2231～6
東京支店 東京都千代田区神田小川町2－12 信愛ビル 電話(291) 1920・4920
福岡出張所 福岡市天神4丁目4－24 電話(74) 2372・3312
名古屋出張所 名古屋市東区高岳町1丁目11 電話(94) 4627－8
札幌出張所 札幌市月寒中央通314－1 電話(86) 8052・8433

第25回・町方大工



千原喜代蔵氏 66才

京都市北区大将軍一条町27

「わたしは，7年前，脳溢血で倒れ，その養生に，信州にある中風の名湯といわれる鹿教湯に5年間療養生活をした。そこには，そういう中風で倒れた気の毒な人たち，とくに関東の人たちが沢山おり，その人たちに俳句を教えた。いまでは何百人という弟子がいる」と，千原さんをお伺いしたとたんに，こういわれて多少面くらった。

町方大工で適当な人ということで，近畿地建の人から，京都の千原工務店の人がよいと紹介をしてもらったので，町方大工についてきわめてユニークな生いたちなり，考え方なりを聞くことができると期待していたが，千原さんは，店を息子にゆずり，すでに第一線をしりぞき，いまや俳句一筋にうちこんでおられ，あまり建築の話をしたがらない風であった。

しいてお聞きしたところ，大正2年に，叔父について大工徒弟をはじめ，翌年京都にきて以来，昭和30年頃まで町の住宅建築を中心に町方大工として生きてこられた。その間，大工徒弟時代に京都工学校建築科を卒業（大正8年）し，大正15年に千原工務店を創立し，昭和24年に綜合請負業としてのこんにちの株式会社千原工務店をつくられたとのことである。昭和25年に一級建築士の資格もとられた由。

千原さんはいう。京都では，施主は，繊維商の筋の主人が多い。そういう主人は「茶」と「花」をやっており，芸心がある。したがって十数年にわたってそういう主人たちの住宅の仕事をやっていると，いきおい「茶」と「花」の芸心がうつる。それで，京大工（キョウ）—京都の大工—は「茶」と「花」の気（ケ）を学ぶようになった。数寄屋風の建築もこなせるようになった。職人もそういう芸心に染ったものであるという。このあたりに京大工（キョウ）のひとつの特徴があるのであろうか。

千原さんは，そういう弟子を7，8人養成されたが，第二次大戦でほとんど亡くしてしまった。全く「痛恨とするところです」という。

戦前の町方大工の仕事のことを聞くと，昭和7～10年は，別荘建築，借家建築の盛なときだった。1カ月に7箇所ぐらいの棟上げをしたものだ。よくもうかったものだ。何しろ材料が安かった。通し柱4吋角の米松（3寸2分角）20尺ものが1本70銭だった。大工手間が60～70銭ぐらい。その当時が一番の活躍期で京都では，熊倉工務店とあめりか屋とうち（千原工務店）の三つが住宅建築で鳴らしたものだという。借家ひとつにしても，5軒つづきや7軒つづきの長屋で，同じような形だから，親方としては弟子にまかしておけばできたものだったらしい。建具や左官にしても自分をよく知っている職人にたのんだものだという。

いまの大工に対して「勉強心がない」と批判される。「当時は晩でも自分で図面をひいたもので，今の大工は自分で図面を引くことはほとんどない。これではよい仕事はできない」。技術（技能）に関する限り，いまの大工に対する態度は相当きびしいらしい。

千原さんは，茶（裏千家）をやるかたわら昌頭にふれたように俳句を身につけておられる。昭和18年頃からはじめられ，いまや雅号を「先達」といって，二，三の俳句の著（「句集先達」「鹿教湯句日記」）をだし，弟子もあって通信教育をしておられるとのことである。この話をきいて，本「職人シリーズ」の第3回目に登場したある庭師も，石ととりくみ，自然への観入ということから，晩年は芭蕉の俳諧にうちこみ沢山の句をものにしておられ，雅号も「木生」といっておられたのを思いだす。職人気質が芸心に通じ，晩年になってそういう俳諧の境地に至るのであろうか。千原さんの俳句話も興味深く承った。



あるお茶屋さん（千原さんの作）

冬日いまや応天門をそれんとす

これは，「ひとつ新作を披露しましょう」といって，詠われたものである。平安神宮の応天門を背景に詠われたもの。氏の句集をひもといてみると，旅の句が多い。虚子俳話から感銘をうけられたとか。

今回は，町方大工としての姿をうきぼりにできなかったにしろ，町方大工とくに京大工が町屋のひいき筋の芸心にふれ，それを身につけてきたという形での晩年の生活をのぞいたような気がする。ここによき腕をもつ職人は，よき芸心をいかすことができるという教訓がみられるようである。

住宅作品としては，戦前だが，東京へわざわざ招かれて造つた神戸（カンベ）博士邸，京都の丸平人形屋の稲荷の別荘がある。

（松井昭光 記）

会員の頁

あけましておめでとうございます。挿入のハガキにて，会員のページにお便りください。掲載の分に粗品進呈。

☆　★　☆

□職人かたぎ□

建築関係の職人といっても，いろいろの種類があるが，ここでは大工をとりあげて，話を進めてゆきたいと思う。およそいかなる建設工事でも，仕事の最初から最後の仕上げに至るまで，大工はもっとも必要性が強いのである。

とにかく遠い昔から，大工になるのにも学校があるわけではない，つい戦前までは棟梁の家に，主として住込みの弟子入りをして，年期を入れて技能を修得したものである。

しかも道具に機械的な物もなく，すべてを手工具によって，汗水を流して働いたもので，木づくりをするにはちょんなを用い，ちょんなはつりで向脛を負傷することもある。

建築には高級なものから安普請もあるが，そのいずれにしても，己れの腕まえの自信ある技能を発揮するため，ぜに金では無い自尊心に燃えて，人からよくできたと褒められることを，唯一の誇りとしていたものである。

たとえば，昼休みの時間中でも，焚火を囲みながら，仕事の施工法や〝おさまり〟の是非等を，口角泡を飛ばして熱心に論じあうというほほえましい風景をみることができた。それでこそ後世までも，木造でありながら，堅固な構造や，造作の完璧なものが仕上げられたわけである。

ひるがえって当今の職人かたぎはどうだろう。賃金ばかり高く要求して，その割に技能は低いということである。これも時世，時節で仕方がないと簡単にあきらめることはできない。はなはだ残念に思う次第である。

戦前の職人かたぎを，そのままそっくり復活せよということは，到底望むことはできないとしても，せめて大工それ自身の本分を，もうすこし取戻して，技術の洗錬に力を注いでもらいたいと，切望して止まぬものである。

京都市・相沢喜久太郎

☆　★　☆

□建築設備計画への私見□

建物内の諸設備は最近とくに費用のかかる立派なものを設けるようになった。立派という意味は外観だけでなく内容も整ったものでなければならない。設備費が主体工事費と相半する高層ビルでは，設備の決定には最初から慎重に考慮してかかる必要がある。

例えば，エレベータについて申せば，照明器具とともにもっとも人目につきやすく建築意匠にも密接に関係するから，エレベータの据付位置と配列，乗場の意匠からホールボタン，インジケータの類まで建物にマッチしたものが望ましい。それとともに内容的には，設備台数を建物規模や建築構造に応じて既往の交通測定データーや交通計算によって理想的な点を見出し，建設費も維持費も経済的であるようにまとめることが必要であろう。

今A：建物延床面積 m²，C：エレベータ設備台数，D：定員，E：昇降速度 m/sec，F：2階以上の階数，F_p：予想停止階数として次式が考えられる。

$$A \propto \frac{C \cdot D}{7\frac{F}{E}+6F_p 2.35D}$$

第2項をUとしてA/Uの値が小なるほど建物に対しエレベータ設備は充分であることを示す。これについては今春当協会より出版される予定の「建築技術者のための電気設備」のうちのエレベータの章で詳しく述べたが，要するにどの設備でも，実用と経済性を備えた使いやすくしかも建物意匠にはよく合致したものを選択すべきで，これからの設備の決め方は合理的に行ない，勘で決めるようなことは避けるべきである。

なお私は，この度下記場所で技術士業務を開きましたが，特に建築設備中のエレベーダ，エスカレータおよび運搬機械などの設置計画について建築関係各位のご要望にお答えしたく存じます。

宝塚市米谷蔵ノ坪31　技術士　木村武雄
電話宝塚(6)2771　大阪連絡所 (203)1818

☆　★　☆

□新しい建築の会館を.／□

会員の皆さん，明けましてお目出とうございます。

〝一年の計は元旦にあり〟と申しますが，新しい年の幕明けに当って，47年の歴史ある建築協会が，3年の後に迎える50周年記念を目標に，われわれの手で，われわれの建築会館を建設する計画が樹立されるべきでありましょう。

過去をふり返って見るに，今協会のある近畿建築会館より，建築士会が生まれ，建築学会近畿支部を一本立ちさせ，日本建材協会（旧関西建材協会）が育った由緒ある建物ではあるが，建設界の発展に伴って手狭となりつつあり，新しい会館の建設が待望されています。

綜合建材展示場，各建築関係団体の事務所，共同会議室，図書室，オーデトリアム，食堂，サロン，地方会員のための宿泊施設等を含めた，関西建築関係者のための一大殿堂を是非とも協会として建設したいものです。

会員の中から生まれた熱意によって，全会員の能力を結集した立派な会館が実現するように，年の始めにこの計画をみのらせて，初夢でなく現実に向って，今年こそ，その第一歩を踏み出す年にしたいものです。

本会企画委員　大日本土木KK
山本　茂

雨仕舞について

KK竹中工務店技術部長　笠　原　正　幸

雨仕舞とは，雨水の建築物への侵入を防ぎ，速かに外部に排出して，防水防湿を完全にすることである。建築物の屋根の雨漏れや，地下室の浸水などは，直ちにその居住性や利用価値に影響するから，その重要性は認識されながら実際施工に際し，工事面および管理面などで軽く見られることが少なくない。ことに，窓回りやコンクリート不良部分からの浸入は，外観上の不都合や危険性が屋根の雨漏や地下室の浸水ほど直観的でないだけに軽視されがちであるが，こうしたことが窓枠材の腐食やコンクリートの中性化となり，建物の耐用年数へも影響してくることになり，建築施工上極めて重要なことであるが，なかなか完全な施工はきわめて困難なようである。

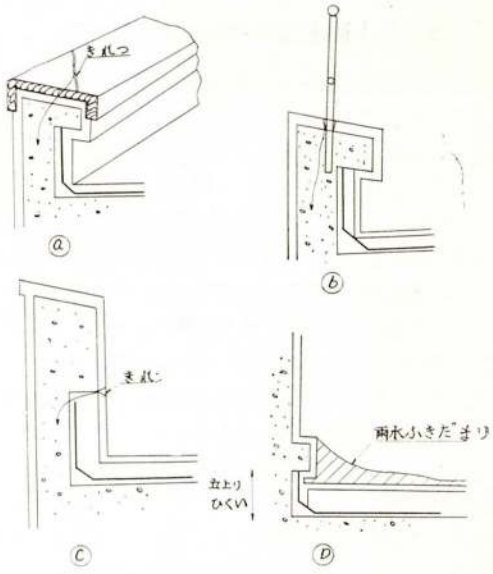
そこでこの防水工事について注意せねばならないことは，その施工すべき部分に対して，あらかじめ起こり得る，例えば雨量，風向，最大風速，水圧などの予備調査を行ない綿密な計画を立てることである。この防水工事の雨仕舞については極めて広範囲にわたっているが，ここでは主として鉄筋コンクリートの屋根外壁について述べてみたい。

1）屋根アスファルト防水の雨仕舞について

雨水を速かに排出するためには，勾配を許す限り大きくすべきであるが，歩行用屋根（防水押えのある場合）は，1/100，非歩行者用屋根（防水押えのない場合）は1/50以上としたい。雨仕舞として最も重大なものはパラペット，塔屋等の立ち上がり部分の施工である。種々な方法があるが，パラペットは鉄筋コンクリート主体にて水切りをつけ，パラペット天端と立上がり部分には，水分を完全にとるようにすべきである。また，塔屋出入口は屋根コンクリート面より 30cm 以上高くしないと完全な雨仕舞は施工できない。**第1図，第2図**に立上がり部分の例を示す。非歩行者用もこれに準じて施工する。

次に，雨仕舞の不良になり易い例を示す。

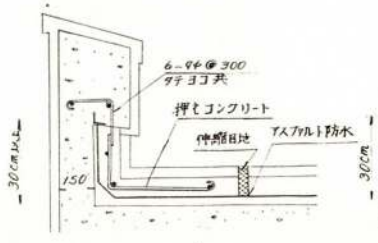
第3図（a）は，笠石が不良，またはコンクリートに巣のある場合笠石に亀裂が発生し雨水が浸入する。また笠石にブロックまたは，石を用いた時は継手箇所に不備があると漏水する。（b）は，パラペットに手摺等パイプの挿入されている時は，この取付箇所の空隙から浸水し，またパイプの腐蝕によりモルタルが割れ浸水しやすい。手摺等は屋根面に防水層の上に立てるとよい。（c）は，立上り面に水切がいなので亀裂が生じ雨水が防水層の裏側へ回り漏水する。（d）は，塔屋の立上がり部分が少ないため雨水の吹溜りとなり漏水の原因となる。立上がり部分を 30cm 以上としたい。防水押えとして，泡コンクリートの使用が多くなったが，膨張率がコンクリートの約5倍であることを考慮しないと種々弊害が生じている。



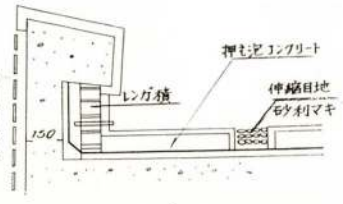
第 3 図

また，ルーフドレインは排水を速めるようになるべく低くすべきである。施工に際しコンクリートに打込むのがよく，この際鉄筋に当り低くならないことがあるので気をつけねばならない。また，防水の仕様によりルーフドレインの型式を決定し，砂利まき押え層等の場合は専用のドレインを用いるか砂利止めを作らねばならない。

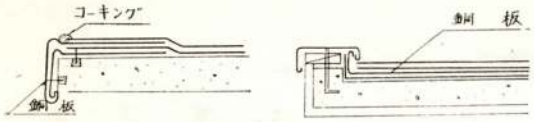
パラペット立上がりのない防水端部の雨仕舞は，防水層の伸縮により端部に故障の生ぜぬように留意せね



第 1 図



第 2 図



第 4 図

ばならない。（第4図参照）

2）セメント防水工事の雨仕舞について

セメント防水はセメント防水剤をセメントまたはモルタルに混入してコンクリート構造物を防水施工する方法である。しかし，屋根版のように厳しい気象変化の繰返される所では水密コンクリートの考え方だけでは，モルタルおよびコンクリートの収縮を極度に少なくしたり，亀裂発生ををなくしたりすることはできない。平面に凹凸のある構造物では平面形の変化している箇所に応力が集中して亀裂が入り易く，また建物の長さが長くなると亀裂が多く大きくなり易いので50mが有効に利用できる限度である。従って，屋根面積が500m²を超える場合，ならびに建物の長辺が50m以上のときは，エキスパンションジョイントその他により適当な防水処理をせねばならない。

セメント防水工事の雨仕舞としては，パラペットや塔屋の立上がり部分はコンクリート自体にて水切りをつけるなどアスファルト防水と同様にすべきであるが，コンクリートの亀裂発生の防止が重要なこととなる。排水を速かにするためには，水勾配は1/30位が望ましいが少なくとも1/50までとしたい。また屋根版のスパンは 7m 以下を標準とし，屋根版の厚みは厚いほどよいが少なくとも 12cm 程度とする。また隅角部には補強筋を入れるとか，溶接金網を敷込むとか，版の中央部分に上端筋をふやす等を行ない，コンクリートの収縮を分散させる方法を考慮すべきである。以上のごとくセメント防水工事は軟弱地域の大規模または高層屋根や，版層を極度に薄くする大梁間，シエル構造の屋根などには適用することは間違いである。

3）合成樹脂，ゴム等による防水の雨仕舞

最近合成樹脂およびゴムなどのシートによる防水工事が発達してきた。これ等の雨仕舞もアスファルト防水等と同様に考えて差支えはない。ゴムなどのシートは伸縮率が大きい点は極めて有利である。他の系統の防水仕様と同一場所に使用するとその接合部分より故障が多いから注意せねばならない。

なにぶん出来て幾年も経っていないので種々未知な点もあるが，これからは大いに伸びて行く工法であると思われる。

4）コーキング防水による雨仕舞

最近まではコーキング材の材料費および施工費が割合に高かった関係で，日本においてはその使用が少なかった。しかし，ここ十年来建築物の質的向上とともにに耐用年数の問題と高分子化学の発達により，コーキング材の良質なものが比較的安価に供給され，その使用が多くなり，JIS も制定された。

雨仕舞の最も必要とする箇所，すなわち，外部サッシとコンクリート，外壁仕上材料等の取付箇所，各種 PC 板の接合部，各種ブロック目地および取合部，屋根および壁のエキスパンション，屋根防水の立上がり部分等，その用途は非常に多い。また第3図以下で示した雨仕舞の不良になり易い部分にはコーキング材を使用するのがよい。また今後カーテンウオール工法が多くなるにつれてその使用も多くなるであろう。コーキング材も種類が多いので特性を研究し適した所に使用せねばならない。

いずれの場合も設計当初よりコーキング材を充填できるように考慮し，またその大きさも，見付 10mm，深さ 15mm 程度を標準とし，大きすぎても，小さすぎても種々不都合が生じやすい。コーキング材に塗装をする場合は塗料の成分によりコーキング材をおかすことがあるので，表面に酸化被膜ができてから塗装するのがよい。またサッシ塗料によりコーキング材がおかされ，密着不完全な塗膜にコーキング材が附着するようなことになるので，塗料の乾燥後に充填しなければならない。コーキング防水は他の防水も同様であるが，施工管理に当り十分注意して下地に完全に附着するようにせねばならない。下地の乾燥が不十分であったり，目地底の不良等で下地との付着が不良時はコーキング材の表面は奇麗に仕上がっているのに裏側に雨水が浸入しており，指でコーキング材の表面を押すと水が出ててくるようなことがあるから，注意せねばならない。

結　語

主として鉄筋コンクリート造の雨仕舞について述べたが，各種防水工法においても仕様，材料の選定の重要なことは第一であるが，施工管理が最も重要であると思う。建築物の故障で最も多い漏水を防ぐためには，比較的重んぜられない雨仕舞について考慮し，完全な設計，完全な仕様，完全な施工をするようにせねばならない。

また，建物の雨仕舞などを完全なものにしても，その後の維持管理をおろそかにしたために建物に種々故障を生じ耐用年数を少なくする例は多い。コンクリート中に鉄骨や鉄筋を抱えているビルは，雨水の浸入により鋼材が発錆しその膨張により外面に亀裂が入り，遂に破壊に到る例も見られる。使用者の多くが保全思想の欠除のため，折角の立派な建築物も，機能や価値が当初の何分の一かに落ちて，無残な姿をさらしているものの見られることは，まことに遺憾である。



超高層建築にも使われた完全防水材（ブチルゴムシート）

三ツ星ベルト株式会社の

ネオルーフィング

三ツ星ベルト

本社／神戸市長田区浜添通り４丁目
ＴＥＬ（67）5071（大代表）
支店／東京・神戸・名古屋・福岡・
大阪・札幌



東海道新幹線の橋梁防水工事。その他長軀軽量建築、変形建築の屋上、厨房室、地下室、プール、トンネル、貯蔵庫等の防水にその威力を発揮しています。

●三ツ星ベルトの技術陣が独創開発。伸縮性、耐キレツ性、耐候性、耐薬品性にすぐれ、いままで難問題だった完全防水処理もこれで解決。
●北海道立寒地建築研究所において材質のご検討ずみ。
●お問合わせは本社・支店へ。

北京科学シンポジウム参加のため訪中して 2

中国建築界の人々と交流して

松井昭光

▶北京科学シンポジウムに，中国側の建築代表として，梁思成，楊延宝，沈勃，劉雲鶴の諸先生らが参加されていた。梁思成教授のことは，かねがねお名前はきいていたが，人民大会堂における開幕前夜のレセプション（8月20日）に同じ卓にすわられたのにはおどろいた。こんなに早くお会いできるとは思わなかった。先生は，中国建築学会の副理事長をしておられ，清華大学建築系主任教授である。小柄な方ではあるが，中国建築界の指導的理論家，歴史家でおられる。シンポジウム中はもちろん，清華大学への訪問，諧趣園万寿山，人民大会堂などの建築見学などにつきそっていただき，いろいろと説明をしていただいた。

楊延宝先生も，中国建築学会副理事長で，南京工学院副院長をしておられる。UIA の副会長もしておられ，前川国男氏とは友達だといわれる。中国きっての建築家のひとりであろう。和平賓館という近代建築風のホテルの設計者である。先生らの案内で和平賓館と東院（北京典型的四合院住宅形式）をみせてもらった。討論会では私の論文に対して，ご意見をよせられた一人である。

沈勃先生は北京市建築設計院院長をしていられるが，なかなか体格のよい，立派な人である。沈先生に，はじめてお会いしたのは，梁先生と同じく前夜のレセプションの席であったと記憶する。その後，北京市建築設計院を訪問したとき，あたたかい歓迎と説明をしていただいたものである。

劉雲鶴先生は，中国建築学会秘書長をしておられ，日本でいえば，学会の事務局長にあたると思われるが，権限はもっと重いと思う。中国建築学界といろいろ交流するには，この人を通じてすればよいと思う。後でのべるように，日本と中国との今後の建築交流について話しあった。北京工業設計院を訪問したとき，金瓏卜院長にお会いした。

▶そのほか，北京シンポジウムに，論文を発表され，あるいは討論会で意見をよせられた方々，とくに「逝江民家」を発表された建築科学研究院歴史理論研究室の王其明さん（女性）や，汪坦教授（清華大学），黄学詩先生（建築科学研究院建築経済研究室）の方たちも印象に深い。また，忘れえぬことは，北京滞在中，毎日，シンポジウムや，各設計機関，古建築，住宅団地，プレハブ工場の見学案内につきそってくださった張秀文さん，孫城豊さん，顧啓洪さんの三人から親身にもおよばぬお世話をいただいたことである。張さんは建築学会の書記であるが，中国の建築組織についての知識を教えていただいた。孫さんは学会材料委員会委員をしておられるそうだが，日本語が達者で，終始私たちの通訳をしてもらって大助りだった。顧啓洪さんは，昨年（1964年）の6月，大阪での「中国経済貿易展」のため，中国団員の一員として来阪された折，お会いした工程師で，そのとき千里ニュータウンなどを案内したことがある。「北京で再び会いましょう」とお別れしたものだが，早速，開幕式で会えたことは大へん嬉しかった。

▶シンポジウム終了後，9月2日より9月16日まで日本学術代表団は三班に分れて中国各地を訪問旅行することなり，私は，北京から南京→無錫→蘇州→上海→杭州→広州というコースを回った。ゆくさきざきで，ひじょうな歓迎をうけたわけであるが，各地の建築関係者が案内につきそっていただいたのも忘れえぬところである。南京では，南京工学院建築系の劉敦楨教授にお会いした。ずいぶんお年寄であるが，日本語ができられるので，聞けば，東京高工大正10年卒で，谷口忠氏や，狩野春一氏と同期だという。無錫では，無錫建築工程公司経理（支配人）の黄夢飛さん，蘇州では，蘇州建築工程学校の庄同善さん，上海では，上海市規画建築設計院の曹伯慰さん，杭州でも名前は聞きもらしたが，工程師がつきそってくださった。



中央の小柄な方が，梁思成教授。右より，ソマリヤの科学者，1人おいてメキシコの科学者。梁思成教授，徳永勇雄氏，筆者，中国の科学者，一番左端がこの人民大会堂の設計に参加した中国の女性建築家。（人民大会堂前にて）

▶私は日中建築交流センターの代表として，中国建築学会の楊春茂理事長をはじめ，上記の副理事長，秘書長らの役員の方々と会食し，日中両国の建築交流の具体化について話しあう機会をもったことを喜んでいる。だいたいつぎの三点について話しあった。①文献交流の強化，②研究者の交流（とりあえず研究者名簿の交換）③人の交流。

そのほか，「建築設計資料集」とか標準ディテール図面などの図書の贈呈をうけたし，中国建築学会誌「建築学報」のほんやく権の許可もいただいた。

奥尻硅石パーライトモルタル

発売元：大阪奥尻硅石パーライト販売ＫＫ
大阪市東区空堀通１―90
TEL （761）4188

用途：耐火構造用鉄鋼パーライトモルタル。地階，押入，イオン水槽，浴槽，一階の床，タタミ下地等の断熱（結露防止）用。
軽量鉄骨の建築の軽量化モルタルに，富士波ラスシートに。

特徴：・川砂を使用しない本格的なパーライトモルタル。
・パーライト使用目的にマッチする軽量，断熱，耐火材。
・こねよい，塗りよい，作業性がよい。
・硬質粒状のため強度がありクラツクがこない。
・防水性に富んでいる。
・仕上用（普通モルタル代用）に使える。

ヤマラス Ｃ型

製造・販売：ＫＫ山中製作所
大阪市南区大宝寺町中之丁17
TEL （261）7900
堺市遠里小野町２―40
TEL 堺 ② 1137

用途：ビルや店舗，学校，病院，倉庫，工場等の外内壁，天井，間仕切，塀等のモルタル壁下地材。

特徴：欧米のリブラスと同型の製品で，完全オートメ設備によつて良質の冷延板コイルから連続生産されるため長尺が可能で，リブ間隔が完全に均等であつて，しかも網目が立体化しているため湾曲せず，完全展開されて伸縮性がないので亀裂防止に役立ち，丈夫な美しい壁をつくることができます。

価格・規格：

品番	ゲージ	製品寸法	価格
＃29	G31	0.91m×1.82m(2枚 1坪)	枚 175
＃35	G29	〃 （ 〃 ）	〃 210
＃40	G28	〃 （ 〃 ）	〃 240
＃50	G25	〃 （ 〃 ）	〃 290

月星シートラス（亜鉛鉄板製）

製造：ＫＫ山中製作所
販売：小林金物ＫＫ
札幌市南三条西2―3 TEL 札幌㊗8161
月星商事ＫＫ
東京都中央区西八丁堀4―6
TEL 東京（551）2121
月星商事ＫＫ大阪支店
大阪市西区新町南通3―9
TEL （541）8771

用途：木造や鉄骨の各種建築物の外壁下地や内部，間仕切等のモルタル壁下地材。

特徴：月星印亜鉛メツキ波板の谷部に両翼が雌型に直立した楕円形の穴が千鳥状等間隔にあつて，片面モルタル塗で防火性能が充分果せる製品です。亜鉛とモルタルの化学作用によつて強い附着力が得られ強力な壁をつくり，しかも下地材等の資材節減と工期が短縮できる画期的な製品です。

価格・規格：

品番	ゲージ	製品寸法	価格
1号	32(0.258)	0.78m×1.82m(2.4枚 1坪)	枚 460
2号	31(0.278)	〃 （ 〃 ）	〃 500
3号	30(0.318)	〃 （ 〃 ）	〃 560
4号	29(0.357)	〃 （ 〃 ）	〃 600

月星プラスシート（亜鉛鉄板製）

製造：ＫＫ山中製作所
販売：小林金物ＫＫ
月星商事ＫＫ
月星商事ＫＫ大阪支店

用途：各種建築物の外内壁や間仕切，特にタイル下地や庇及び天井にも最適な新しい壁構築材。

特徴：月星印亜鉛メツキ波板の側面を切断，谷部を絞つた三角形の穴を千鳥状等間隔にあけ，その片面にコプラスを波型と直角又は平行の網目として一体となるよう接合された製品で，肉厚が平均化し，仕上りがキレイでムラがでず，耐火性，耐震性に優れた理想的な壁構築材です。

価格・規格：

品番	ゲージ	製品規格	価格
1号	35(0.198)	0.65m×1.82m(3枚1坪)	枚 460
2号	33(0.238)	〃 （ 〃 ）	〃 500
3号	32(0.258)	〃 （ 〃 ）	〃 560
4号	31(0.278)	〃 （ 〃 ）	〃 600

「建材のしおり」係より

■この頁は建築材料業者の方々に提供しております。
■この頁を通じて，貴社の製品を設計者，施工者，官公庁，学校など建築関係者により多く知っていただくために，原稿をお送りください。
■原稿は，商品名・用途・特徴・規格・価格・製造会社名・販売会社名とその住所・電話番号および原稿作成者名を，簡潔にお書きください。
■原稿は，大阪市東区北浜３―37 社団法人日本建築協会編集部「建材のしおり」係へお送りください。
■掲載料はいりません。

★製品の詳しい内容は各製造・販売会社へお問合わせください。

会　　報（11月分）

定時評議員会

27日　4時――4時半　於会館集会室
出席者　評議員　五十嵐議長外12氏，委任状出席59氏，合計72氏
理事　鷲尾副会長外2理事
議　事　1.昭和40年度選出評議員数決定の件

理　事　会

12日　3時半――5時半　於会館会議室
出席者　東畑会長，竹中副会長外5理事
稲垣監事
議　事（1）定時評議員会開催の件
（2）K.K.日本建築センター株式引受の件
（3）元会長外叙勲祝賀会に関する件
（4）忘年懇親会開催の件
（5）工高生デザインコンクール10周年記念作品展開催の件
（6）入退会者承認の件
（7）報告事項
昭和39年度決算見込について

企画委員会

11日　6時――7時半　於会館会議室
出席者　塚本委員長外4委員
議　事　1.企画委員会において議題となった問題の整理について

住宅委員会

委員会
11日　5時半――8時半　於会館集会室
出席者　海上委員長外16委員
議　事（1）各小委員会の事業計画について
（2）報告事項

小委員会（プレハブ住宅）
17日　6時――7時半　於会館会議室
出席者　沖田主査外4委員
協　議（1）.プレハブ住宅に関しインドよりの照会に関する件
（2）研修会小委より要望の講演に関する件
（3）活動方針に関する件

小委員会（総務）
19日　6時――7時半　於会館会議室
出席者　福永主査外2委員
会誌「委員会特集」号の原稿に関する件，および12月に委員の忘年懇親会開催について協議

事業委員会

小委員会（忘年懇親会）
9日　正午――2時　於会館会議室
出席者　山本主査外10委員
忘年懇親会の後援金，寄贈品の依頼や余興等について協議打合せ

委員会
12日　5時半――6時半　於長岡天神錦水

✳特許
小俣式
防火シャッター全般
●設計
製作●
●施工
小俣シャッター工業株式会社
大阪支店
大阪市北区若松町30　電話（341）9004．9016．4825
本社　東京都北区田端町　事務所及本工場　埼玉県与野市

出席者　増井，岡本正副委員長外16委員
議　事（1）忘年懇親会の実施案について
（2）昭和40年1月，2月の事業計画について

編集委員会

13日　4時――6時　於会館会議室
出席者　片山委員長外6委員
議　事（1）「工事別建築材料集成」3分割に関する件
（2）「委員会特集」を2月号に変更の件
（3）4月「内部空間特集」号について
（4）作品作風欄掲載作品について照会の件
（5）その他

法規委員会

25日　3時半――5時　於会館会議室
出席者　佐野委員長外7委員
議　事（1）経過報告
（2）建築士法改正に関し行政協会よりの照会に対する回答に関する件
（3）会誌「委員会特集」号原稿の件

教育委員会

小委員会（工高生コンクール）
6日　正午――5時　於会館会議室
出席者　清水主査外
作品展実施の準備について協議打合せ

近代建築調査委員会

13日　3時半――4時半　於会館会議室
出席者　滝沢委員長外4委員
議　事（1）ディテール集資料の検討
（2）会誌「委員会特集」号原稿の件
（3）今後の委員会開催について

工高生デザインコンクール表彰式

21日　2時――4時　於会館集会室
出席者　渡辺審査委員長，藤村「一の会」代表
橋本教育委員長　入選者11名外
入選者に対し賞状，賞牌を，また最優秀作に対して「一の会賞」を交付した後，審査委員長から審査概評を行って式を終った。それより開催中のコンクール10周年記念作品展を参観して茶話会を開催懇談。

講　演　会

「建築と色彩」講演と映画の会
1．と　き　11月10日　2時――5時
1．ところ　千代田生命ビル9階ホール
1．講　演　「建築と色彩」（スライド併用）
奈良女子大教授　山崎勝弘氏
1．映　画　「色彩調節」「美の設計」カラー
1．入場者　250名

若い会員の集い

「建築計画の中の構造」
27日　6時――8時　於会館集会室
ゲストに高橋慶夫氏（大阪建築事務所社長）を迎えて開催。出席者　35名

工高生デザインコンクール10周年記念作品展

1．会　場　丸善画廊（大阪阪神百貨店2階）
1．会　期　11月19日――24日
1．展示品　第1回――第5回入選作50点（図集）
第6回――第10回入選作50点（パネル）

ブロックの防水塗料！
ビニール・セメント・ペイント
ブロックタイト
刷毛又はスプレ塗り　常備淡彩12色
安　価・速　乾・美　麗
水谷ペイント

オリンピック東京大会記念 第1回 日本建築祭

1. 共催団体　建築8団体
1. 行事日程参加者

11月1日	研究発表会	早大理工学部	1,100名
2日	大会	代々木体育館	4,500〃
2日	懇親会	ホテルニューオータニ	1,900〃
3日	研究協議会	早大理工学部	1,550〃
3日	自由発言の場	〃	530〃
4日	見学会	オリンピック施設	4,000〃
4日	記念講演会	朝日講堂	510〃
10月25日 11月4日	国際スポーツ施設展	代々木水泳場	71,000〃

見学会

「淡陶タイルとメンソンリイセメント工場見学会」

14日——15日（1泊2日）

淡陶株式会社殿，株式会社原田商店殿両社のご協賛後援によって開催。参加者　26名

「大阪市清掃局西淀工場見学会」

設計　東畑建築事務所

施工　K.K.奥村組

25日　1時半——4時　参加者　34名

「国鉄新幹線，新大阪駅見学会」

設計　大阪幹線工事局

鉄道会館1級建築士事務所

施工　K.K.大林組

28日　1時半——3時　参加者　45名

「奈良の茶室を訪ねるつどい」

29日　10時——4時

岡田孝男博士の解説によって，称名寺の珠光庵，興福院の長闇堂と龍松庵，博物館の八窓庵，依水園の三秀亭等の各名茶室を訪ねた。参加者　39名

＝特許＝
氣光式通風器
製造販売
特許第一五二三八号
カタログ進呈
兩用式レヂスター
大阪市西区江戸堀下通2-79
田辺工業株式会社
電話土佐堀(44)7437－9

協賛した会

第9回「現代建築シンポジウム」

1. 主催　朝日新聞大阪本社
1. 日時　11月17日——19日
1. 会場　新朝日ビル　朝日文化ホール

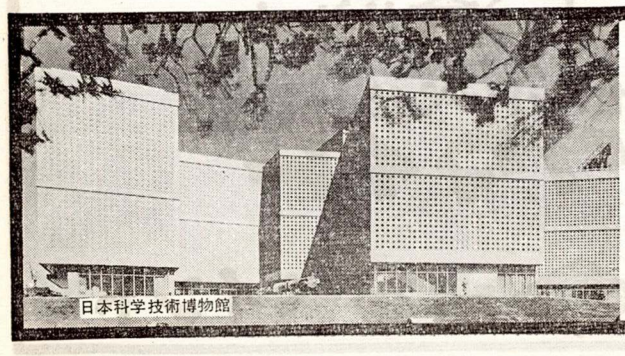
編集後記

■あけまして おめでとうございます。ことしもよろしく お願い申しあげます。

■さて，昭和34年1月号に，前々会長竹腰健造氏の特集を 送りましたが，今回も，それにならつて，尾崎久助前会長の人徳をしのんで，その特集を送ることになりました。大正時代の 日本の建築界の 隆盛期の背景，戦前までの昭和時代，そして，戦後の 建築界の隆盛期の背景など，個人を通じてではあるが，それらが 浮ぼりされていることは まことに興味のあることと思います。また絵画，短歌 などの余技を，その一端ではありますが，ここにご紹介できたことを 喜んでいます。ご多忙中のところ，この特集のために，ご寄稿いただいた各位，座談会に 出席された方々，ご協力いただいた 日建の関係者に厚く お礼申します。この企画にご協力いただいた担当幹事は，塚本猛次，政岡甚次，片山光生，生方文次，広瀬二郎の各氏です。誌して感謝申します。

■なお「工事別建築材料集成」の上（11月号），中（12月号）をお送りし，好評を いただいていますが，訂正補足をする箇所が 少なからずあることと思われますので，お気付きの方は 文書で事務局まで お知らせ下さい。訂正補足は，下の3月号に追補の 形で集録する 予定ですので よろしくお願いします。

■次号は建築協会の「委員会特集」の予定。


日本科学技術博物館
●特許吹付タイル・内装・外装用化粧材
セラスキン
●建造物の外壁面に!!陶器の壁紙
セラクロス
山本窯業化工株式会社
大阪市東淀川区西淡路町3－176　TEL(322)4851～4
東京出張所・東京都中野区朝日ケ丘12　TEL(362)8667

屋根浪板
谷樋には **大島化学のひふくてっぱんを**

固定式通風器 連続式換気装置にも

耐酸スタンダードメタル

カラースタンダードメタル

PATENT Standard

大島応用化学工業株式会社

本社 大阪市城東区野江東之町4の104 (931)7071—3
支店 新居浜・東京・名古屋・四日市・広島・富山

田中式
スカイライト・ベンチレーター
スチールサッシュ・ドアー
スチールシャッター・オペレーター

TNK **田中工業株式会社大阪出張所**

大阪出張所 兵庫県尼崎市南竹谷町2—89

TEL 大阪(411)6341(代表) (411)6342

本社 東京第一工場 東京都墨田区錦糸町1—25
東京第二工場 東京都墨田区吾嬬町東4—122
小倉工場 福岡県小倉市赤坂上の宿37
川崎工場 神奈川県川崎市東渡田3—43
札幌出張所 北海道札幌市北大通東4丁目4
盛岡代理店 岩手県盛岡市木伏49・東北建設(株)
名古屋代理店 愛知県名古屋市西区桜木町308
米子代理店 鳥取県米子市祇園町2—93・吉田工務店

TEL 東京(623)代表0106—0108・(622)0790
TEL 東京(611)2118—9
TEL 小倉(52) 2833・2834
TEL 川崎 ② 7594—5
TEL 札幌 ③ 6762・0515
TEL 盛岡 ② 7642
TEL 名古屋 (57) 7641
TEL 米子 ② 4683

信用ある技術と伝統の

アスファルト工事

専業大店

大阪市北区真砂町五番地
電話 大阪(三四一)二〇七—八・四八三六—七

株式会社久保商店

賀　正

建設業者有志

株式会社 **浅沼組**

取締役社長　浅沼猪之吉

本　社・大阪市天王寺区石ケ辻町・電話代表（762）0251～9番
支　店・東京都新宿区荒木町五番地・電　話（351）4141～4番
名古屋市中村区水主町三丁目四ノ二　電話(57)5571～8番
営業所・鳥取・広島・金沢・郡山・奈良・京都・神戸・仙台
札幌・静岡・津・岐阜

株式会社 **新工務所**（アタラシ）

取締役社長　新　順一

本　店・大阪市北区曽根崎中一丁目四三　・　電話代表大阪（341）9151番
支　店・東京都千代田区神田猿楽町二丁目七・電話代表東京(291)3741番
営業所・神　戸

安藤建設株式会社大阪支店

専務取締役　瀬川　博
支店長　鎌田幸二郎

大阪市西区江戸堀北通一丁目七番地　電話　代表（441)3788
本　社・東京都中央区八重洲四丁目七番地　電話　代表（281)3721
支　店・出張所・名古屋・仙台・静岡・福岡・千葉・横浜・水戸
・盛岡・新潟・神戸・沼津・札幌・福島・豊橋

株式会社 **大林組**

取締役社長　大林芳郎

本　店・大阪市東区京橋三丁目七五番地
電　話　大代表（941）８６１番
支　店・東京・札幌・仙台・横浜・名古屋・岡山・広島・福岡・高松
出張所・神　戸

株式会社 **奥村組**

取締役社長 奥村太四郎

本　　店・奈良県北葛城郡香芝町逢坂６０３　電　話　奈良県香芝　３４７７
本店営業所・大阪市阿倍野区松崎町１の５１　電話　大阪(621)１１０１(大代表)
支　　店・東　　京・名　古　屋・広　　島・四　　国・九　　州

鹿島建設株式会社

会　長　鹿島守之助

本　社　東京都中央区八重洲五の三
大阪支店　大阪市東区瓦町五の七一（瓦町ビル）
電　話　大　阪　(202)　代　７４６１・８１６６

株式会社 **神崎組大阪支店**

常務取締役支店長　大　西　繁　市

大阪市北区曾根崎新地１丁目２１
電　話　(341)　７３７１～４番
本　店・姫路市北条口86－3　電話代表姫路(23)2021－3

株式会社 **熊谷組大阪支店**

常務取締役支店長　泉　治郎一

大阪市西区西道頓堀通二丁目一番地　電話大阪(531)代6082
本　社　東京都新宿区築土八幡町二二番地　電話大代(260)2111番
支　店　東京・北関東・名古屋・広島・四国・福岡・札幌・仙台

株式会社　鴻池組

本　　店　大阪市此花区伝法町北３―６７
電話　代表　(462)１６３１番
支　　店　東京・名古屋・福岡・広島・松江

佐藤工業株式会社 大阪支店

取締役社長　佐藤欣治・取締役大阪支店長　勇内英次

大阪市東区北浜一ノ二五　電話大阪（231）6731～3，0681～4

本　　社・富山市総曲輪二三〇
東京支店・東京都中央区日本橋本町四ノ八
福岡支店・福岡市赤坂二丁目六番一一号
名古屋支店・名古屋市中区仲ノ町一ノ一
札幌支店・札幌市南七条西十一丁目
富山支店・　同　左
本社分室・　同　左
仙台支店・仙台市茂市ケ坂11（西村商会ビル）
富山工場・富山市稲荷元町九六

清水建設株式会社

社　長　清水　康雄
本　社・東京都中央区宝町二ノ一
取締役支店長　白井　周二
大阪支店・大阪市西区土佐堀通リ二ノ二
電話（443）5431　大代表

住友建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　柳田信吉
大阪市東区北浜五丁目二二番地（住友ビル別館）
電話（202）代表7421番
本店　東京都新宿区荒木町一三番地
電話（353）代表5111番

株式会社 錢高組

取締役社長　錢高輝之

本店　大阪市西区阿波座上通三丁目二番地　電話大阪（531）6431番大代表
支店　仙台・東京・名古屋・福岡
出張所　札幌・盛岡・前橋・新潟・千葉・横浜・静岡・京都
神戸・岡山・広島・徳島・松山・小倉・熊本・長崎・大分

大成建設株式会社

常務取締役
支店長　稲田芳郎

大阪支店　大阪市東区南本町4丁目20番地　TEL大阪（252）1131大代表

大鐵工業株式会社

取締役社長　伊藤政恵

大阪市北区茶屋町38番地

電話 ㊱1 7 1 ～ 5 番

支店　天王寺・津・名古屋・米子・福知山

大日本土木株式会社大阪支店

取締役支店長　山田豊

大阪市北区堂島北町九番地　電話㊵代表5931

本社・岐阜市長住町二丁目三番地　電話岐阜②代表6141～6145番

支店・東京・名古屋

営業所・神戸・和歌山・奈良

株式会社竹中工務店

取締役社長　竹中錬一

本店 大阪市北区堂島中二丁目三〇 電話大阪(312)1251番大代表

営業所 札幌・仙台・東京・横浜・静岡・名古屋・富山

京都・神戸・岡山・広島・高松・北九州・福岡

鉄建建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　花房三郎

大阪市大淀区天神橋筋六丁目五番地（天六阪急ビル）

電話 (351) 2427・6830・8946

本社　東京都千代田区神田三崎町二丁目六番地

電話東京 (262) 3411

戸田建設株式会社大阪支店

専務取締役（関西駐在）　石丸正名

常務取締役支店長　芝地光

大阪市北区真砂町三二番地・電話㊱5951－8番

本社・東京都中央区京橋一丁目三番地

大阪支店営業所・京都・神戸・福井・金沢・富山

飛島土木株式会社大阪支店

取締役支店長　新　島　幸　雄

大阪市北区堂島浜通1丁目21番地　電話（341）0394・2971(代表)
本　社　東京都千代田区九段二丁目三番地

日産建設株式会社大阪支店

常務取締役支店長　武　藤　幸　一

大阪市北区堂島北町28－1
電話　大阪（362）代表5531番
本社　東京都港区赤坂青山南町1－1
電話　東京（402）大代表8151番

西松建設株式会社関西支店

取締役支店長　蛯　原　逸　雄

本　社　東京都港区芝西久保桜川町13番地
電話東京大代表（502）0211番
支　店　大阪市東区釣鐘町2丁目41番地
電話　大阪　代表（941）8431番

株式会社間組大阪支店

取締役支店長　遠　藤　巖

大阪市東区横堀町二丁目七〇番地　電話(203)代表2821
本　店・東京都港区赤坂青山南町一丁目一番地　電話東京（402)代表8171
支　店・仙　台・名古屋・大　阪・福　岡

株式会社藤木工務店

本　店・大阪市東区両替町一丁目一三　電話（941)代表 451番
支　店・東京都新宿区三栄町二三番地
岡山県倉敷市旭町六六〇
香川県高松市丸ノ内十一番地ノ十二
出張所・福岡・京都・名古屋・津・岡山・新居浜・徳島

株式会社 藤田組大阪支店

常務取締役
支店長　村島良雄

大阪市北区堂島中二丁目三八番地　電話(362)代表7671
本　社・東京都渋谷区千駄ヶ谷四ノ六
支　店・横浜・名古屋・大阪・広島・九州・札幌

前田建設工業株式会社大阪支店

取締役支店長　島田光富

支　店　大阪市東区石町2丁目7番地　電話大阪㊵局9356～9358番
本　社　東京都千代田区富士見町2丁目3番地　電話東京㉛局5511番(代表)

真柄建設株式会社大阪支店

取締役
支店長　漆村重一

大阪市天王寺区生玉寺町六番地の七　電話㉗1272・1273・1274番
本　社　金沢市彦三一番丁七六　電話金沢代表③1266番
支　店　東京・大阪・名古屋
営業所　金沢・富山・福井・大津・京都・岡崎・神戸

株式会社 松村組

取締役社長　松村雄吉

本　社・大阪市北区空心町一丁目七〇番地　電話代表大阪㉘6331
支　店・東京・札幌・名古屋・広島・福岡

三井建設株式会社大阪支店

取締役
支店長　岡田清治

大阪支社　大阪市北区絹笠町一五番地　電話大阪(361)代表7651
本　社　東京都中央区日本橋室町二ノ一(三井ビル)　電話東京(270)大代表8651
支店所在地　札幌・横浜・名古屋・広島・福岡・大阪
大阪支店管轄営業所　京都・神戸・和歌山・奈良・徳島

村上建設株式会社 大阪支店

取締役
大阪支店長　山本芝鶴

大阪支店　大阪市北区富田町三五番地　電話大阪(312)0871～6(361)7887
営業所　神戸・岡山・福井・高松・新宮
本社　東京都千代田区九段四丁目六番地　電話東京(331)0511～9

株式会社 森本組

代表取締役社長　森本積善

本社　大阪市天王寺区夕陽ヶ丘町三番地
電話　大阪(771)0353～0357
営業所　東京・名古屋・広島・松江
出張所　浜田・奈良・池原・河合
尾鷲・夜久野・紀南・由良・伊勢・海野・多治見・読書・宮川

株式会社 あめりか屋

取締役社長　前野慶太郎

大阪市北区堂島上二丁目一一　電話代表(341)5682　(312)0445

株式会社 青山工務店

代表取締役　湯原来

守口市八雲南10番の200番地
電話　大阪(991)5080・5986

株式会社 金剛組

代表取締役　金剛利隆

大阪市天王寺区椎寺町六六　電話(771)9751～3・2654

三和建設株式会社

代表取締役　森本多三郎

本　　社　大阪市東淀川区加島町四三一　TEL (301) 代表 6 6 3 6 ～ 9
東京支店　東京都港区芝田村町三一　TEL東京 (431) 2720・6814
京都営業所　京都市右京区西大路五条上ル　TEL京都 代表 (84) 8897
東京工場　川口市仁志町一～二四一　TEL 川口 4 1 0 0
高槻工作所　高槻市大字唐崎九九　TEL 高槻 (5) 6 0 1 3

株式会社 **中道組**

代表取締役　中道朝男

大阪市都島区相生町二七番地　電話 大阪(351)1887(代表)
大泉出張所　群馬県邑楽郡大泉町下小泉二一一二番地　電話 大泉(6)2348・2908

NITTO **日東建設株式会社**

社長　長久保　俊夫

本　社　東京都千代田区麹町二丁目五ノ二　電話 (261)9801～5
大阪支店　大阪市北区末広町12(新末広ビル)　電話 (351)0623～6

日本建設株式会社

社長　生田重政

本　社　大阪市東区安土町4－5　TEL (261) 7591－6
支　店　東京・名古屋・福岡・仙台・札幌・四国

東海興業株式会社大阪支店

常務取締役大阪支店長　小松英二

大阪市北区梅田町27（サンケイビル）　TEL (313) 代表0451番
本社　東京都千代田区丸ノ内3－4（日石ビル）　TEL (212)大代表3261番

株式会社 **井上組**

取締役社長 井上福蔵

本社 大阪市都島区東野田町二丁目一五番地 大阪 (351)0530(928)4031～4
出張所 神戸市生田区加納町三丁目一番地 電話葺合 (22) 0914

株式会社 **今西組**

取締役社長 今西壽雄

本社 大阪市天王寺区上本町七丁目二番地ノ一 電話(771) 7231·8231·8351
支店 東京都新宿区内藤町一番地 電話(341) 4476
出張所 神戸市生田区下山手通四丁目四番地ノ一 電話 (3) 6060
営業所 芦屋市山手町一二〇番地 電話芦屋(2)2226

株式会社 **岡組**

総合建設業

取締役社長 岡三郎

本店 大阪市北区堂山町八九 電話 (312)0456(代表)·0776(代表)
支店 東京都中央区日本橋茅場町二ノ一(植松ビル) 電話 (661)8272·(860) 4780
名古屋市中区矢場町1の37(山市ビル) 電話 (25) 5811 (交換) 9705(直通)
神戸営業所 神戸市葺合区磯上通5－1(三光ビル) 電話 (23) 7186(直通)4651(交換)

栗本建設工業株式会社

取締役社長 中積治一

本社 大阪市西区北堀江通一丁目三一番地 電話㊸代表5801
出張所 東京・神戸・和歌山

株式会社 **小坂井組**

代表取締役 小坂井正夫

本店 大阪市北区太融寺町五六番地 電話 (341)9331~4·4664
営業所 京都市・西宮市・大東市

大洋建設工業株式会社

取締役社長　木戸口信義

本　店　大阪市天王寺区北河堀町五四番地　電話大阪㈹代表2672・3880
支　店　和歌山市南材木町三丁目二番地　電話和歌山②3225
営業所　京都市下京区揚梅通烏丸西入　電話京都㉟4001
営業所　堺市浜寺元町六丁八〇七番地　電話堺⑥13　70
出張所　泉大津市我孫子六九番地　電話泉大津②1675

株式会社 大末組

取締役社長　山本末男

本　社　大阪市南区大和町1番地　電話(211)代0555・代6343
松原工場　大阪府松原市丹南町635の1　電話松原⑧4050・黒山135・61
東京支店　東京都豊島区池袋東1の43　電話(981)6177～9
名古屋支店　名古屋市中区矢場町3の35(ハセビル)　電話(26)5421
営業所　大津・和歌山・岡山・神戸・奈良・堺

株式会社 西田工務店

取締役社長　西田義郎

本　社　岸和田市加守町626　電話岸和田貝塚②代表7221
大阪営業所　大阪市浪速区元町4丁目227　電話(632)代表4001
出張所　和歌山・東京

総合建設　株式会社 長谷川工務店　ビル経営

取締役社長　長谷川武彦

本　店　大阪市東区本町1の18　TEL(261)代表7631
東京支店　東京都渋谷区栄通1の5　TEL(462)代表2321
名古屋出張所　名古屋市中村区泥江町1の24(中経ビル)TEL(57)代表2481

不動建設株式会社

取締役社長　庄野勝

本　社　大阪市南区鰻谷仲之町57番地　電話大阪(271)4771
東京支社　東京都中央区銀座西4丁目1番地　電話東京(567)1751
名古屋支店　名古屋市中区南大津通5丁目11番地　電話名古屋(25)7551
北海道支店　札幌市北四条西4丁目1番地　電話札幌(23)5727
九州支店　北九州八幡区白川町1丁目2番地の1　電話八幡(65)5867
営業所　仙台・横浜・堺・神戸・新潟

長谷川組株式会社

取締役社長　長谷川為一

本　社　大阪市天王寺区大道町四丁目一三〇
電　話 (771) (代表) 4148・4149・4140
工作場　大阪市天王寺区大道二丁目三二九
電　話 (771) 9044番

阪神土木工業株式会社

取締役会長　泉谷平次郎
取締役社長　藤原正一

本　社　大阪市北区梅田町93番地　電話(312)5691～5
西宮営業所　西宮市池田町35番地　電話　西宮(2)3433
神戸営業所　神戸市灘区御影町上東802　電話　神戸(8)5362
出張所　芦屋・尼崎・京都

GENERAL CONTRACTOR 不二建設株式会社

取締役社長　山口吾郎

株式会社 八木工務店

取締役社長　八木一郎

本　社　大阪市阿倍野区阿倍野筋1丁目25番地
電　話 (621) 2281 (代表)
倉庫・工作場　大阪市東住吉区爪破東之町
電話 (0723) ⑧ 2460

矢島建設株式会社

取締役社長　矢島浩三

本　社　東京都中央区銀座七丁目五番地　電話東京(572)代1436
大阪支店　大阪市南区北炭屋町八番地　電話大阪(271)代5837
取締役副社長
支店長　仁平信也
支店・営業所　仙台・名古屋・福岡・蒲郡・和歌山

株式会社 **米田工務店**

取締役会長　米田治郎兵衛
代表取締役　米田良男

本　社　大阪市天王寺区逢坂上ノ町7　TEL（771）代表7771～4．0155

龍（リュウ）建設工業株式会社

取締役社長　近藤春男

本　社　大阪市城東区古市南通五丁目五番地　電話(931)5331(代表)
釣鐘町営業所　大阪市東区釣鐘町二丁目四一番地　電話(941)7871(代表)
京都出張所　京都市左京区丸太町通川端東入東丸太町三九　電話　京都(77)4188(代表)
名古屋出張所　名古屋市千種区四谷町三丁目二〇番地　電話名古屋(78)7151(代表)

水野建設株式会社 大阪支店

取締役支店長　水野正三
大阪市北区太融寺町120　電話大阪(341)(代)3931～3933
工作場　同北区鶴野町71　電話大阪(371)1921
本店　京都市下京区西七条市部町17　電話(37)8052・8277・5360
営業所　横浜市・平塚市

望月建設株式会社

取締役社長　望月小太郎

本社　大阪市北区堂島上一ノ一八　電話（341）614～5・801～2・3805・7913
工作所　豊中市島江一丁目一　電話（392）4831～2番

株式会社 **盛工務店**

代表取締役　盛道雄

本社・大阪市旭区赤川町二丁目五六〇番地
電話　大阪(921)3471（代表）
営業所・神戸市・福岡市

賀　正

建　材　業　者　有　志

WOOD FLOOR
(HARD)
TOPモザイック・フローリングボード
フローリングブロック・寄　木　材
責　任　施　工　共

伊丹木材株式会社

大阪市西区南堀江通1丁目12番地　電話(531) 1653・3190　(541) 7677

株式会社　**エバレヂン工業所**

特許　第421051号
エバレヂン合成樹脂防水剤
製造販売及防水工事施工

大阪市北区鳴尾町10番地
電話 (341)6260 (362)9575.9576

室内装飾施工 及 資材床材卸・壁材・ブラインド
カーテン・レール・室内清掃用品敷物類・その他

大阪装飾株式会社

代表取締役　蜷　川　智　造

大阪市西区京町堀2丁目64番地　電話大阪 (44)0931-3　資材部専用(44)4725-6番
東京営業所　東京都文京区本郷1丁目15番地　電　話　東京(811)7454　(812)5827番

奉仕感謝の店

株式会社　**川岸窯業商店**

代表取締役　川岸繁夫

大阪市西区靱本町2丁目98　電話 (541)代8467

綜　合　建　材

関西建材株式会社

代表取締役　藤　中　昭　男

大阪市浪速区幸町通三丁目　電　話　(561) 代 5 3 6 1

京都市中京区壬生馬場町一九　電話 (84) 0808・1880　(81) 0061・0062

セメント防水急結剤 シンケン

着色顔料　チェリーカラー

室内装飾繊維壁材製造発売

㈱新興建材工業所

代表取締役社長　福頼　圭蔵

本　社　大阪市西区四ツ橋　電話 (541)5756～9

営業所　明石市西王寺町1丁目39　電話 (0789) 5852

営業所　福岡市上牟田八田町26番地の1　電話 (65) 3245

大　阪　ガ　ス　指　定　店

コロナ電業社大阪代理店

オーバルウイスコンシンバーナー代理店

株式会社　タカラ商会

代表取締役　保　科　宏

大阪市浪速区元町1－742　TEL　(641) 4507・5187　(631) 3974

田中式温水缶及ガス風呂

田中風呂製作所

代表者　田中照雄

大阪市浪速区元町1—742　電話 (641) 5313・8128

工場　守口市大宮通四丁目25

防　水　工　事　全　般

セメント防水・リーダ液・オセオ防水

アスファルト応用工事全般

吹付壁・コーキング・ラオコーフ・他特殊工事

大日特殊建材工業株式会社

大阪市城東区今福中2－32　TEL (931) 1560・(958) 3890

防　水・防　熱・音　響・工事と材料

TAKAYAMA **高山工業株式会社**

大阪営業所　大阪市北区老松町２の１９（昭栄ビル）
TEL　(341) 直通９０１５・代５９７６～９
本　　社　東京都千代田区神田小川町
TEL　(251) ０１６１－０１６６
名古屋連絡所　名古屋市南区鶴里町１の２７
TEL　(81)　７　４　８　８

実用新案第544608号　ナニワ緩勾配瓦
意匠登録第151860号　真空ナニワＳ　} 発売元
各地産和洋瓦　卸売元

ナニワ瓦株式会社

代表取締役　仲野利雄
大阪市浪速区元町１丁目７４２　電話　(641) ５０６５

鉄筋ラス・親子ラス・ダイヤラス

中川ラス製作所

代表者　中川安蔵
大阪市南区鰻谷仲之町３１　但し十合百貨店北ノ辻東へ入ル南側
電話　(271) ５２２８～９・８２４８

内　装　工　事

㊀**藤本タイル株式会社**

代表取締役　藤本治一
大阪市浪速区元町１－７４２（賑橋交叉点）　電話　(631) ５３４５－９

アシバネED

ビニテツ実用レール
各種戸車用レール
埋込イカダレール
カーテンレール
アルミ板、条、異形棒
アルミモールデング

古河電気工業　古河アルミ指定問屋

安田レール株式会社

大阪市南区末吉橋通り一丁目十七番地　電話(061)6571(代表)

各種冷暖用機器専問製作

木村工機株式会社

本　　社　大阪市東区上本町一丁目一三番地　電話代表（761)6921番
東京営業所　東京都千代田区和泉町一番地ノ一(直江ビル)　電話(851)4619・4629・4696番
名古屋出張所　名古屋市南区白雲町六四番地　電話（82）５６２９番
福岡出張所　福岡市塩原七四〇番地　電話（３）５７８７番
工　　場　大阪府八尾市久宝寺一七八一番地　電話代表八尾(2)7047番

完全な防水工事は
メルタンルーフイング　防水
レオパノールBA シート

日新工材株式会社

代表取締役　井場　績
大阪市西区新町北通1—17　電話（541)3785～6・2721

謹賀新年

昭和４０年元旦

社団法人 日本建材協会

大阪市西区京町堀１丁目１７０番地
電　話　大阪（443）代０３４５番

常設展示場

大阪市西区京町堀１丁目１７０　電話（443)代0345
広島市鉄砲町１０８　電話（21）5469
高松市中野町８８１の１　電話（３）7657
福岡市住吉松月町２９３　電話（３）1259

給排水・衛生
暖冷房・換気　設計施工

株式会社 大阪城口研究所

代表取締役　城口庸平

大阪市北区高垣町一・電話大阪(311)局7575(代表)
京都市東山区大和大路正面上ル電話京都(56)局4945(代表)
神戸市生田区下山手通六ノ一・電話神戸(4)局　5892

電気・暖冷房・水道・衛生設備
設計施工

大阪電気暖房株式会社

(旧社名　株式会社 大阪電気商会　大阪暖房商会)

取締役社長　菅谷三郎

本店　大阪市西区江戸堀一丁目60番地
電話　大阪(441)大代表8231番
支店　東京・名古屋・福岡
出張所　京都・神戸・岡山・高松・広島・熊本
札幌・仙台・新潟・富山・金沢・福井

水道・衛生・暖冷房・其他管工事
設計並施工
(旧斎藤久孝事務所)

斎久工業株式会社大阪支店

大阪市北区常安町11番地
電話　大阪(443)5041～5番
本店　東京都中央区新富町3丁目5番地(菊栄ビル)
電話(551)7450～9番

札幌営業所　札幌市南十条西十三丁目九六四　電話札幌㉓2959
金沢営業所　金沢市高岡町三五　電話金沢㉑2074
福井出張所　福井市城之橋下町一〇　電話福井②2436
高松出張所　高松南二番丁九　電話高松②5195
岡山出張所　岡山市大供松ノ木三八〇ノ一　電話岡山㉔5486

創業　大正二年
暖冷房・換気・空気調和
病院諸機械・給排水・衛生

株式会社 斎藤省三商店

東京店　東京駅前丸ビル6階676区
電話　東京(201)3761・3762・3763・3764
大阪店　大阪市西区土佐堀通　大同ビル714号
電話　大阪(443)3361～5
札幌店　札幌市北四条西16丁目1番地　高田屋ビル二階
電話　札幌②0010・0956・③4661
名古屋店　名古屋市中区南大津通一丁目　千代田ビル522号
電話　中局㉔1766　㉕3042

冷暖房
給排水、衛生水道
電気



金属製建具
環境衛生施設
荷役運搬機械
化学鉱山機械

三機工業 株式会社 大阪支店

取締役社長　山田熊男
取締役支店長　樋口勝栄
大阪市東区北浜2丁目22番地　電話大阪(202)代表3071
本店　東京都千代田区有楽町1丁目10番地
支店　出張所　名古屋、福岡、札幌、広島、仙台、富山、金沢、静岡、高松、
工場　鶴見、相模、六郷、高槻、中山、古賀

須賀工業株式会社

空気調和　衛生設備

大阪市西区土佐堀通1丁目14　電話441—5171
支店—東京・大阪・名古屋・京都・神戸・福岡

給・排水・衛生・消火・暖冷房設備

株式会社 西原衛生工業所大阪店

大阪市大淀区中津南通4丁目11　電話大阪㊽3531番

空気調和装置・塗装設備
設計施工

株式会社 建材社

大阪支店
大阪市北区中ノ島二丁目　(新朝日ビル5階)
電話　大阪㊸3721(代)
本社及東京支店　東京都中央区銀座西6丁目3
(朝日ビル8階)
営業所　名古屋市中区菅原町2丁目
(センタービル)
連絡所　広島・北陸

冷暖房・温湿度調整・水道
衛生・環境衛生施設
設計施工

山田工業株式会社

本社　大阪市西区京町堀1丁目62　電話　(443)代表　8161～9
出張所　東京都北区上十条1丁目10　電話　(911)　3941
名古屋市中村区牧野町1の6　電話　(54)　0966
神戸市生田区北長狭通7丁目1の1　電話(4)1778・4386
広島市中町2番地の4　電話(2)7575・7588

暖房・冷房・水道・衛生設備
設計施工

株式会社 三晃商会

本社　大阪市北区富田町16　代表(341)7031
支店　東京都千代田区小川町2丁目1　桧ビル　(201)7751—3
福岡市養巴町22　(74)1158
出張所　名古屋市中区新栄町2丁目1　(97)1820
福井市宝永上町105　(2)1596
松江市東本町4丁目147　(2)5098
広島市紙屋町8　(21)4537

暖・冷房・空気温湿度調整装置
設計施工
高砂熱学
本社 東京都千代田区神田駿河台4丁目2番地
大阪支店 大阪市北区梅田8番地（新阪急ビル8階）
電話 大阪（312）4521（代表）

空気調和装置、各種冷凍機
設計・製作・施工
東洋キヤリア工業株式会社
大阪支店
大阪市北区堂島浜通1－25（新大ビル）
電話大阪（341）8356
本社 東京都中央区日本橋本石町4－2（三井第二別館）
支店 東京・名古屋 出張所 九州
工場 埼玉県北足立郡・東京都足立区

暖冷房・水道衛生工事
設計施工
株式会社 **栄興商会**
取締役社長 中山敏正
本店 大阪市福島区上福島北二丁目一番地
電話大阪㊿3391～5番
支店 東京都新宿区荒木町一九番地
電話（351）2177～8番
神戸出張所 神戸市生田区下山手通八丁目三三 電話元町④3035番
仙台出張所 仙台市東四番丁四五 電話②5136番

暖房・冷房・水道・衛生
温湿度調整装置
設計施工
株式会社 **朝日工業社**
大阪市東淀川区加島町357 電話㊿2271～9（代）
東京支社 東京都港区芝浜松町2－7 電（434）6171（大代表）
支店 北海道・仙台・名古屋・広島・福岡

温湿度調整装置、暖房
冷房、水道、搬送機設備
設計並ニ施工
第一工業株式会社大阪支店
大阪市北区富田町30 電話大阪㊿（代表）0977
0978～9・0970
本社 東京都千代田区丸ノ内3—2（新東京ビル）
電話（211）8511・8561（代）
仙台支店 仙台市新伝馬町60
電話 7332
名古屋出張所 名古屋市東区東門前町3—6
電話⑨2893

温湿度調整・暖冷房・換気給排水・衛生設備
設計並施工
日本管工業株式会社
代表取締役 市川繁雄
本社 京都市中京区両替町通り姉小路上ル
電話㉒（代表）7975・（夜間専用）5532
大阪営業所 大阪市北区天満橋筋1-37（天満橋北詰）
電話㊿8829
四日市営業所 四日市市浜田西末広町 電話7503・3665
津営業所 津市栄町2—111 電話3610

暖冷房・空気調和・環境衛生工事一切
設計施工
日本熱学工業株式会社
社長 牛田正郎
本社 大阪市北区万才町50
大阪事業本部 電話 大代表（312）8671
東京事業本部 東京都新宿区三栄町18
電話（341）7171～5.1622.1624.5315
名古屋事業本部 名古屋市中区城代町7
電話（23）4690・3520
各事業部 京滋、下関、新潟、金沢

給水 衛生 空気調和設備
設計施工
平山工業株式会社
取締役社長 平山京平
大阪市西区江戸堀2丁目2番地
電話 大阪（441）代1994 （443）代0331

冷房・暖房・温湿度調整装置
換気・給排水・衛生設備
設計施工
第一企業株式会社大阪支店
大阪市北区天満橋筋4—71
電話㊿2808・2809・2800・2134
本社 東京都文京区元町2丁目17番地
電話（811）（代表）6294
支店出張所 名古屋・福岡・札幌・仙台・高松・広島

温湿度調整装置・冷暖房・換気装置
ファン・ヒーター・クーラー
スチール・アルミ・サッシ・ドア・シャッター
設計・製作・施工
理研鋼機株式会社
大阪営業所 大阪市東区高麗橋5－45（興銀ビル別館）
電話大阪代（202）7745番
本社・工場 東京都北区神谷3の10の3
電話東京代（901）3191番
本社・分室 東京都港区芝佐久間町1の46（大同ビル）
電話東京代（501）3156番
営業所 名古屋・仙台 連絡所 福岡

電気工事設計施工

工藤電気株式会社

取締役社長 西村庄市

大阪市北区野崎町六九
電話・大阪(313)代表3456
東京支店 東京都中央区西八丁堀二丁目十二
電話(551)8330・8303
営業所 名古屋・神戸・岡山・広島・北九州

各種電気工事設計施工

浅海電気株式会社

取締役社長 浅海正雄

本社 大阪市北区老松町1丁目22
電話 大阪(362)8701
東京支社 東京都港区赤坂溜池町1
電話(481)8621～4・3573
営業所 名古屋・札幌・旭川・福岡

電気工事・計装工事
設計施工

栗原工業株式会社

取締役社長 栗原信英

大阪市北区永楽町8番地（日産生命館）
電話 大阪㈹ 代表 1234～9
支社 東京・名古屋
出張所 舞鶴・広島・八幡・福岡・富山

電気工事設計施工

中央気電工業株式会社

取締役社長 今村騰

本社 大阪市北区梅ヶ枝町五六番地
電話 大阪代表㈹ 8131～7
支店 東京・名古屋・四日市・神戸・御
営業所 坊・新宮・松山・草津

空調衛生設備品 各種自動制御盤
監視盤・グラフィック盤・指示計器盤
端子盤・高低圧受配電盤・分電盤
各種フロートスイッチ・其の他
各種自動装置用電気機器設計製作

森井電業株式会社

取締役社長 森井定勝
専務取締役 佐野春吉

本社 東京都港区芝三田綱町一番地
電話 東京(451)代表9611
支店 大阪市北区常安町十六番地
電話 大阪(443)代表8381・夜間(441)0502
出張所 名古屋・広島・福岡
工場 東京・大阪・福岡・名古屋

各種電気工事設計施工

株式会社 **ヤマト電気商会**

取締役社長 山本龍太郎

本社 大阪市北区西堀川町15番地
電話大阪(341)代3056
東京営業所 東京都港区芝田村町5－29 相馬ビル5階
電話 東京(434)3848・(431)8435
出張所 大阪南・北海道・名古屋・四日市・福山・福岡

電気・暖冷房・空調工事設計施工

三宝電機株式会社

取締役社長 嘉納伝三

本社 大阪市北区絹笠町五〇（堂ビル三階）
電話(312)1471(代)
支店 東京都中央区明石町15（辻孝ビル）
電話(542)5641
営業所 名古屋市北区城見通二丁目二〇番地
電話(99)5131～3
出張所 小松市・堺市・高槻市・姫路市

電気工事・設計・施工

朝陽電気株式会社

取締役社長 山本博三

本社 大阪市北区中之島三丁目三 朝日ビル6階
電話 大阪局㈹9531(大代表)
㈹7057(直通代)
営業所 大阪市西区土佐堀通り四丁目八番地
電話 大阪局㈹5201番(代表)－3
出張所 京都市中京区西ノ京中合町二十番地十一
電話 京都局㈹9296(代表)～7

電気工事設計施工

江東電気株式会社

取締役社長 猪飼幸次郎

本社 大阪市生野区勝山通9丁目72
電話(716)4035(代)～8
支社 東京都新宿区淀橋533
電話 東京(371)6203
出張所 金沢・名古屋・高知・広島

電気工事・設計・施工

中本電気株式会社

取締役社長 中本正明

本社 大阪市城東区野江東之町三丁目一一五
電話 大阪(931)代表 7341～5
機器工場 大阪市城東区野江東之町三丁目一一 電話大阪㈹7004
資材倉庫 大阪市城東区野江西之町三丁目一一三 電話大阪㈹2193

電気工事設計施工
並架線金具製作販売
（日本工業規格表示工場）
八千代電設工業株式会社
取締役社長 梶本秀尾
大阪市東区森之宮東之町
電話大阪 ㊾ 6531（代）～8
支店 名古屋
営業所 東京
出張所 岡山・北九州

電気工事設計施工
株式会社 三興社
代表取締役 林 敏夫
本社 大阪市北区絹笠町50（堂ビル7階）
電話 ㊱ 3671（代）
支店 東京都中央区日本橋箱崎町3丁目2番地
電話 ㊲ 1478（代）
出張所 川崎・相模原・堺・福山

電気設備工事設計施工
東光電気工事株式会社
大阪支社
支社長 姉川正男
大阪市東区高麗橋五丁目二八番地
電話 大阪（202）0325～9番
本社 東京都千代田区西神田1丁目8番地
支社 札幌・仙台・丸ノ内・名古屋・福岡
出張所 旭川・白河・横浜・静岡・富山

エレベータ・コンベヤー・リフト
エスカレータ・ホイスト・クレーン
N・T・E型オートパーキングステーション
設計 ㊥ 製作
日本エレベータ工業株式會社
本社 大阪市大淀区天神橋筋6（天六阪急ビル）
電話（351）4927代表7071交換
東京営業所 東京都台東区上野3丁目10番10号
電話（832）5241代表
名古屋営業所 名古屋市中区宮出町58
電話（24）8416

電気工事設計施工
富士電業株式会社
取締役社長 田中実
本社 大阪市西区北堀江上通1丁目65
電話大阪（541）0564～7・7148～9
営業所 東京・名古屋・広島・福岡

株式会社 **矢橋大理石商店**
大阪出張所
大阪市東区高麗橋二丁目九 野村ビル五階
電話 大阪 ㉑ 4257—8番

PAINTING CONTRACTOR
塗装工事請負
株式会社 **林塗装店**
TEL. 大阪 ㉑ 1756—7・東京 ㉑ 1335

営業品目
●樹脂防水ゴーレヂン
●樹脂防水ゴーレックス
●化粧壁材ソリジットスタイン吹付
●樹脂砂壁エバーサンド吹付
合同特許建材工業株式会社
本社 営業所・大阪市東住吉区駒川町3—54 電(791)代7814～6
代理店・広島市比治山本町1180 電広島（51）4967
・東京都品川区東大崎3の239 電東京(491)9698

塵芥炉 Incinerator
インシナー工業株式会社
大阪営業所 大阪市北区牛丸町55 東洋ビル
電話（312）7481・4571
本社 東京都品川区北品川2～134
電話（491）5649・3860
名古屋営業所 名古屋市昭和区恵方町2～8 電話（84）5874
福岡営業所 福岡市春吉3丁目 春野ビル 電話(76)1880

鉄骨・加工
設計・施工
新鋼建設工業株式会社
取締役社長 吉田信武
本社 大阪市西区立売堀北通1—76
電話（531）0609・6575・7418
（541）8166・8349
夜間専用(531) 2053
工場 大阪府大東市三箇425

社寺数奇屋用瓦……大仏瓦
耐風雨緩勾配用瓦……大和瓦
美術建築内外装用タイル……大仏タイル

株式会社 大佛

本社 京都市東山区今熊野大仏池田町9の9 (56)3555 3725
大阪営業所 大阪市北区空心町1丁目28 (351)0703
名古屋営業所 名古屋市瑞穂区堀田通1丁目30 (88)2703
東京営業所 東京都渋谷区上原1丁目29の4 (467)1641

特許 白蟻

松平式白蟻殺滅予防所

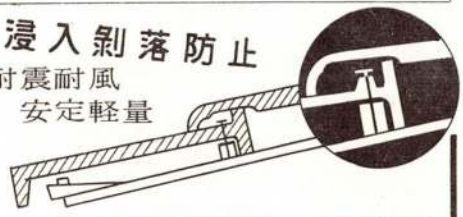
奈良市南城戸南方町28 電話奈良4098
(近日移転先)
奈良市登大路二番町(博物館前) 電話奈良4098
出張所 奈良市春日町尾田組内 電話6011・6012
本部 高知県宿毛市宿毛町2639

陶管・練瓦・ヒューム管
ベンチレーター・マンホール



株式会社 三幸商會
大阪市北区与力町一ノ一〇
電話 大阪㊿4032

雨水浸入剝落防止
耐震耐風
安定軽量



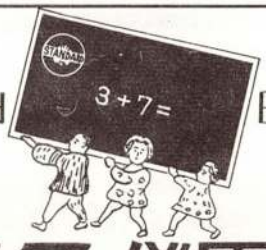
ナニワ瓦株式会社
大阪市浪速区元町一丁目西電話641㊿㊿番

ナニワ緩勾配瓦
3寸緩勾配最適軽量水止付(空葺)瓦

耐酸ツボ各種
天窓瓦福林産地直売
建築陶器の百貨店



株式会社 吉田芳雄商店
大阪市北区南森町交叉点
電話 大阪(341)2403・3904



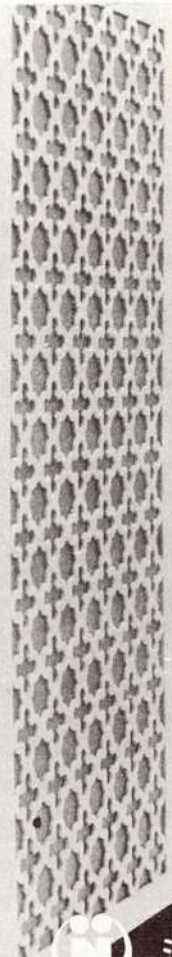
Standard Board&Slate

フタバ黒板
大阪市東住吉区桑津町三丁目101番地 電話大阪(717)4561~2

奉仕感謝の店

タイル 衛生陶器

㊿川 株式会社 川岸窯業商店
大阪市西区靱本町2丁目98 靱本町電停前
電話大阪・㊿8467~9番



素晴らしい花格子!!
三次立体加工の決定盤
クトクランマー

クトク
の新建材

プリント合板
ビニオン
ビニライト
リズムウッド
美装パネル
九建天井板
強力合成接着剤
ブルータイン

浪速合板株式会社
大阪市浪速区幸町通3の20 TEL (561) 2201(代)
東京出張所 東京都荒川区日暮里町8の618 TEL (807) 0250

広告目次 (50音順)

建築と社会 昭和40年 Vol. 46 No. 1

ア kk朝日工業社……19
朝日石綿工業kk……表4
浅海電気kk……20
インシナー工業kk……中挟・21
伊奈製陶kk……中挟
岩元工業kk……26
宇部興産kk……31
kk栄興商会……19
永和工業kk……前付
オリエンタルメタル製造kk……中挟
小野田セメントkk……31
小俣シャッター工業kk……本文
大阪機工kk……24
kk大阪城口研究所……18
大阪セメントkk……30
大阪耐酸工業所……26
大阪電気暖房kk……18
大島応用化学工業kk……1
鳳工業kk……前付
kk奥村重兵衛商店……本文・38
奥山化工業kk……37
kk織本建築事務所……34
カ kk桂商会……前付
亀井kk……25
kk川岸窯業……22
関西煖房工業kk……33
関西生コンクリート協会……35
関西三星タイル会……表4
近畿工業kk……前付
近畿電気工事kk……29
クマガイ工業kk……前付
工藤電気kk……20
kk久保商店……1
栗原工業kk……20
(有)黒川化学工業所……25
kk建材社……18
kkゴール……前付
江東電気kk……20
合同特許建材工業kk……21
kk神戸製鋼所……前付
サ 斎久工業kk……18
kk斎藤省三商店……18
三栄建材工業kk……前付
三機工業kk……18
kk三幸商会……22
kk三晃商会……18
kk三興社……21
三宝電機kk……20
敷島金物kk……前付
新鋼建設工業kk……21
kk新興建材工業所……36
須賀工業kk……18
kk鈴木シヤタア商会……34
住江織物kk……32
住友金属工業kk……前付
住友セメントkk……29
タ ダイケンサッシkk……38
田島応用化工kk……表2
田中工業kk……1
kk田中風呂製作所……34
田辺工業kk……本文
第一企業kk……19
第一工業kk……19
大日本硝子工業kk……33
kk大仏……22
高砂熱学工業kk……19
kk武智工務所……本文
中央電気工業kk……20
朝陽電気kk……20
テイパ化工kk……前付
トーメン建材工業kk……本文
東京カーテンオール工業kk……33
東光電気工事kk……21
東芝商事kk……本文
東洋キヤリア工業kk……19
東洋陶器kk……前付
東洋綿花kk……本文
東洋リノリュームkk……前付
kk東和パネル製作所……前付
ナ ナニワ瓦kk……22
内外建材kk……33
内外工業kk……34
中本電気kk……20
浪速合板kk……22
kkニッカナ……前付
日新工業kk……中挟
日本アスファルト防水工業協同組合……前付
日本エレベータ工業kk……21・32
日本管工業kk……19
日本建鉄kk……表3
日本サッシ協会関西支部……27
kk日本シヤッター製作所……表3
日本スピンドル製造kk……前付
日本セメントkk……30
kk日本セメント防水剤製造所……表3
日本綜合防水kk……前付
日本電池kk……前付
日本ドアーチエック製造kk……中挟
日本ドライブイットkk……36
日本熱学工業kk……19
日本冷熱工産kk……25
日瀝化学工業kk……前付
kk西原衛生工業所……18
ハ kk林塗装店……21
kk美素工業所……本文
美素建物管理kk……本文
kk平川鉄工所……前付
kk平田タイル……26
平山工業kk……19
フタバ黒板……22
二葉屋装備工業kk……26
富士製鉄kk……28
富士電業kk……21
マ 松平式白蟻殺滅予防所……22
kk満点製作所……28
ミヅシマ工業kk……前付
kk三高製作所……32
水谷ペイントkk……本文
室谷商事kk……37
森井電業kk……20
ヤ kkヤマト電気商会……20
八千代電設工業kk……21
kk矢橋大理石商店……21
山田工業kk……18
山本窯業化工kk……本文
kk油脂化工社……表3
kk吉田芳雄商店……22
吉野石膏kk……24
ラ 理研鋼機kk……19



大阪機工
OKKの
アルミサッシ

■サッシ・ドアー
■ルーバー
■カーテンウォール
■プレハブサッシ
■その他　特殊設計と製作

大阪機工株式會社
サッシ事業部

本社　大阪市大淀区豊崎西通1の4
電話　大阪(371)0664　5
工場　兵庫県伊丹市北村猪名川製造所
福知山線北伊丹駅前
電話　伊丹　大代表　5121

新しい時代の
燃えない建築資材

切らずにそのまま張り上げられる豊富なサイズのへり折り石膏ボード：
ニュータイガーボード

キレツがでない——あくがでない——施工が早い——塗りよい石膏プラスター：
YNプラスター

TIGER BRAND
吉野石膏株式会社
本社　東京都千代田区神田司町2－13（和光ビル）
TEL（231）6681（代表）
支店　大阪・福岡
営業所　札幌・仙台・名古屋・広島
関係会社　菱化吉野石膏・チッソ吉野石膏
宇部吉野石膏・住鉱吉野石膏

（カタログ進呈）

謹賀新年　広告目次

（50音順）　昭和40年元旦

K K あめりか屋……8
K K 青山工務店……8
K K 浅沼組……2
K K 新工務所……2
安藤建設K K……2
K K 井上組……10
伊丹木材K K……14
K K 今西組……10
KKエバレヂン工業所……14
大阪装飾K K……14
K K 大林組……2
K K 岡組……10
K K 奥村組……3
鹿島建設K K……3
K K 川岸窯業商店……14
K K 神崎組……3
関西建材K K……15
木村工機K K……17
K K 熊谷組……3
栗本建設工業KK……10
K K 小坂井組……10
K K 鴻池組……3
K K 金鋼組……8
佐藤工業K K……4
三和建設K K……9
清水建設K K……4
KK新興建材工業所……15
住友建設K K……4
K K 錢高組……4
K K タカラ商会……15
田中風呂製作所……15
大成建設K K……4
K K 大末組……11
大鐵工業K K……5
大日本土木K K……5
大日本特殊建材工業KK……15
大洋建設工業KK……11
高山工業K K……16
K K 竹中工務店……5
鉄建建設K K……5
戸田建設K K……5
東海興業K K……9
飛島土木K K……6
ナニワ瓦K K……16
K K 中道組……9
中川ラス製作所……16
K K 西田工務店……11
西松建設K K……6
日産建設K K……6
日新工材K K……17
日東建設K K……9
（社）日本建材協会……17
日本建設K K……9
K K 間組……6
長谷川組K K……12
K K 長谷川工務店……11
阪神土木工業K K……12
不動建設K K……11
不二建設K K……12
K K 藤木工務店……6
K K 藤田組……7
藤本タイルK K……16
前田建設工業KK……7
真柄建設K K……7
K K 松村組……7
三井建設K K……7
水野建設K K……13
村上建設K K……8
望月建設K K……13
K K 盛工務店……13
K K 森本組……8
K K 八木工務店……12
矢島建設K K……12
安田レール K K……16
K K 米田工務店……13
龍建設工業K K……13

窓掛、緞帳、日際、壁紙　**室内装飾**　絨氈、舗床材一般

東洋リノリユームの **東リカーペット** 発売元

亀井株式会社

大阪市東区南久宝寺町四丁目（心斎橋筋）

電話 大阪（251）1353（代）～6

製造発売元・責任施工

特許ニツポン防水液
ニツポン防水液B号
ニツポン急結液壱号
ニツポン耐寒剤
ニツポン防水目地材
ビルコート

標準セメント防水剤

国立大阪工業試験所御創製 特許 ニッポン セメント防水剤 強度増加 絶対防水 硬化促進

黒川化学のセメント防水

有限会社 黒川化学工業所

本店 工場　神戸市東灘区住吉町反高林 TEL (85) 2723

特約販売・工事店

東洋キヤリア工業株式会社
東洋ゴム工業株式会社
(株)大阪パッキング製造所
大洋産業株式会社

販売　工事

各種保温保冷材料　冷暖房工事
各種冷暖房機器　防熱防音工事
冷凍機・石綿製品　各種配管工事
各種樹脂加工品　設計施工

日本冷熱工産株式会社

取締役社長　石川良興

本社及大阪営業所　大阪市西区土佐堀通1の16（石川ビル）
電話 大阪（443）3661～5
九州支社及長崎営業所　長崎市茂里町13番地　電話（4）0092・0308
営業所及出張所　広島・福岡・小倉・大分・徳島・舞鶴・東京

タイル

衛生陶器

エスロンタイル

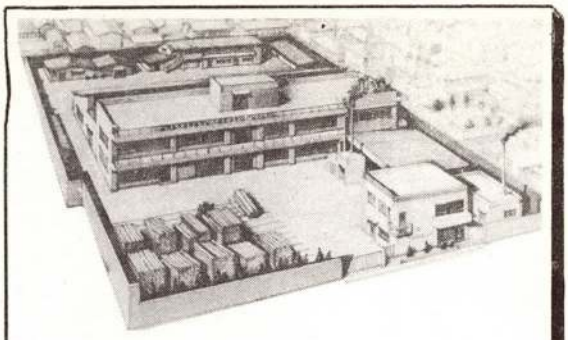
サンウェーブ

流し台・調理台

株式会社 平田タイル

大阪市西区阿波座中通1

電話 (531)1003～5 (541)8731～3



FUTABAYA DECORATORS, LTD.

建築物船舶等造作工事
家具建具・室内装飾工事 設計施工
内外装飾織物・敷物類一式

（創業大正7年）

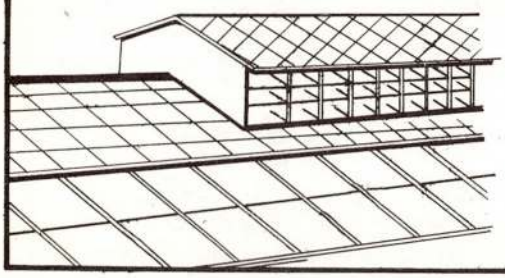
二葉屋装備工業 株式会社

取締役社長 若林繁吉

大阪市大淀区本庄川崎町2の6
（天六電停西北2丁）

電話・大阪 (31) 3321～3・3630

岩元式 **スカイライト** 並 固定筒型 **コンチニアス ベンチレーター**



サッシュ、ドアー、シャッター
伸縮扉、オペレーター、門扉鉄柵
其他金物一式製作施工



カタログ進呈

岩元工業株式会社

本社 大阪市東成区東今里町4の40
電話(981)0616～0618

冷蔵庫防熱工事
耐酸モルタル工事

アスファルト専門工事

アスファルト防水工事
アスファルトタイル工事
各種床工事

大阪耐酸工業所

大阪市北区浮田町82番地 電話大阪(371)1333番

サッシ・ドアの設計・施工は
伝統と信用のある下記協会員へ

西日本規格サッシ(株)
大阪市浪速区敷津町3の20(大阪府建団連会館) (641)5859

旭サッシ工業(株)
大阪市城東区野江西之町1の44 (931)3561

尼鉄建材(株)
尼崎市西向島町270 (401)6301

朝日建材工業(株)
高松市木丸町洲端2169−1 高松(3)9101

岩住サッシ(株)
尼崎市守部下河原15 (401)6751

(株)石居工業所大阪営業所
大阪市北区老松町3の23(新老松ビル) (361)5965

(株)栄進社大阪営業所
寝屋川市木屋町601 寝屋川(3)0808

大阪理研工業(株)
豊中市神州町2番21号 (391)0661

(株)大阪鉄工所
大阪市西区本田町1の44 (531)1254

大阪機工(株)
大阪市大淀区豊崎西通り1の4 (371)0664

川鉄建材工業(株)
神戸市東灘区魚崎町魚崎700 神戸(85)4343

加地シャッター工業(株)
大阪市生野区中川町3の15 (731)7134

(株)関西鋼業製作所
大阪市城東区野江中之町2の5 (931)6045

(株)建鋼社
広島市中広町1002 広島(28)3271

三協アルミニウム工業(株)大阪営業所
大阪市西区京町堀通り1の125(東洋ビル) (443)1461

三機工業(株)大阪支店
大阪市東区北浜2の22(三井信託ビル) (202)3071

昭和工業(株)
大阪市城東区茨田横堤町39 (931)8903

昭和鋼機(株)大阪支店
大阪市西淀川区佃町3の155 (471)6051

諏訪鋼業(株)
大阪市東成区深江西1の2 (981)7221

ダイケンサッシ(株)
堺市松屋町1丁6番地 堺(38)1141

谷山鋼機(株)
大阪市城東区茨田横堤町230 (931)7191

(株)高橋サッシュ製作所
新居浜市中村字西松本223 新居浜5111

田中工業(株)大阪出張所
尼崎市南竹谷町2の89 (411)4014

中国理研サッシュ(株)
広島市舟入幸町612−1 広島(31)2081

中国金属(株)
広島市舟入川口町594 広島(31)9476

東京カーテンウォール工業(株)大阪支店
大阪市北区富田町18(島根ビル) (361)9154

浪速建材工業(株)
大阪市城東区茨田横堤町41 (931)1171

日本建業(株)
大東市大字新田21 大東(72)1581

日本スピンドル製造(株)
茨木市太田新田60 茨木(2)4741

日本建材工業(株)
尼崎市久々知字山之口9 (401)5794

日本建鉄(株)大阪営業所
大阪市北区堂島上2の39(毎日産業ビル四階) (361)6758

日軽アルミニウム工業(株)大阪営業所
大阪市東区高麗橋5の1 (202)4657

(株)汎建製作所
大阪市此花区西島町3の15 (462)4661

不二サッシ工業(株)大阪支店
大阪市西淀川区御幣島町中3の4 (471)7651

(株)三高製作所
尼崎市神崎字五反田280 (401)6158

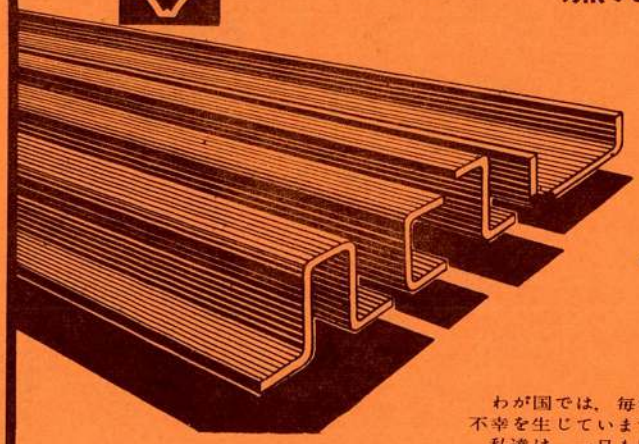
八幡エコンスチール(株)大阪営業所
大阪市西区阿波座上通り1−27(新松岡ビル) (531)1758

理研鋼機(株)大阪営業所
大阪市北区宗是町1(大阪ビル) (441)8621

六甲工業(株)
大阪市西成区旭北通り2の2 (632)2921

社団法人 日本サッシ協会 関西支部
支部長 和田村太郎
大阪市浪速区敷津町3−20(大阪府建団連会館) (632) 6171〜6

燃えない家を造りましょう





わが国では，毎年火災のために400億円に近い莫大な損失と，大きな不幸を生じています。
私達は，一日も早くこのようなことから解放されなければなりません
そのためには燃えない建築材料が必要です。
当社では，この要望に応えるために，最適の建築材料として，すでに欧米で大量に使用されている「軽量形鋼」を，当社川崎製鋼所の新鋭設備で生産しております。
この「軽量形鋼」は，軽くて丈夫な「薄鋼板」を冷間成型して，各種の形鋼を大量に生産するもので価格も低廉です。

富士製鐵の軽量形鋼

マンテン®の金属建材

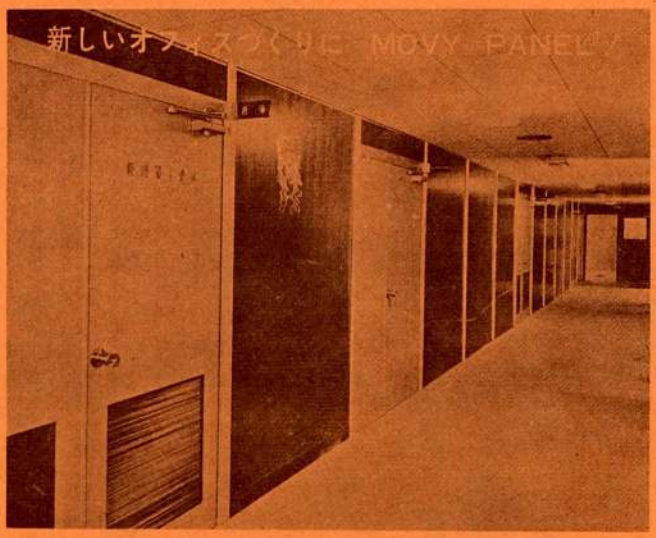
設計・責任施工

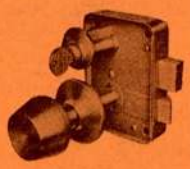
組立簡単，移設自由，デラックスな感じがする間仕切システム
可動向仕切 ムービーパネル®PAT.

金属下地材の決定版，あらゆる貼上材にマッチする各種タイプ有
SK式金属下地 ネールロック®PAT.

吸音効果満点，仕上げが美しい，取付けが簡単
アルミ建材－パラホン®・スパンドレル

発売元 住友商事株式会社 建設建材部





公団用MR形面付錠

●その他
建築金物　ドア錠…公団用MR形面付錠、モノロック
軽量ドアチエック…アルペット
特製窓金具…モノトコホッパー
新家庭金物　その他高級建築金物一切
ハンガーポート架金具
飾り棚付金庫チャーム
セイフ，ハニースクリーン，マイハンガー

製造元 株式会社 **満点製作所**

本　社	大阪市南区日本橋筋3丁目2番地　電話　大阪（632）1151（代）
東京営業所	東京都江東区亀戸町2丁目114番地　電話　東京（682）3241（代）
名古屋出張所	名古屋市中区宮前町4－16（東海塗料ビル）　電話　名古屋（26）3529（直）
工　場	大阪府河内市大字水走55番地　電話　河内（0729）（61）6205（代）

電気工事
計装工事
設計
施工

高度な技術・安全な施工

近畿電氣工事株式會社

取締役会長　佐藤　太
取締役社長　大森久司

本　　店　大阪市北区南扇町11 電話(大代表)大阪312－1281
支店＊支社　大阪北・大阪南・京都・神戸・姫路・奈良
和歌山；滋賀＊名古屋・広島・東京

住友セメント

取締役社長　斎藤次郎

本　　社　東京都台東区北稲荷町13　電話 浅草(841)8121～9
大阪営業所　大阪市東区大川町一番地(勧銀ビル)　電話 北浜(202)0171～7
出張所　青森・仙台・金沢・名古屋・小倉

アサノ セメント

日本セメント株式会社

関西事務所　大阪市北区梅田1番地　大阪神ビル7階　電話大阪（361）3351～6

本　　社　東京都千代田区大手町1丁目4番地
事 務 所　北海道・東京・名古屋・関西・九州
出 張 所　仙　台・広　島・高　松
包 装 所　札幌・函館・釧路・下板橋・横浜・芝浦・青森・新潟
名古屋・大阪・広島・糸崎・高松・門司・小倉・福岡・鹿児島

大阪セメント

大阪セメント株式会社
大阪市北区堂島浜通1丁目25番地

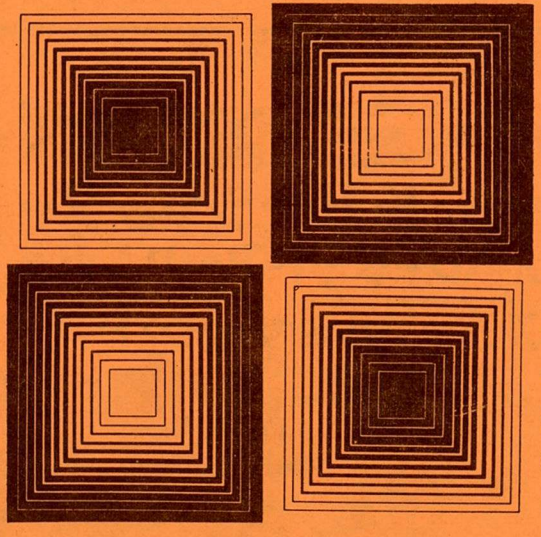
小野田
PORTLAND CEMENT
商標登録
ONODA

小野田　普通　ポルトランドセメント
小野田　早強　ポルトランドセメント
小野田　ダム用(中庸熱)　ポルトランドセメント
小野田　シリカセメント
小野田　高炉セメント
小野田　フライアッシュセメント
小野田　白色　ポルトランドセメント
小野田　カラーセメント

小野田セメント

社長　安藤豊禄

東京本部　丸ノ内・鉄鋼ビル
大阪支店　梅田・第一生命ビル



宇部セメント

宇部普通セメント
宇部超高級セメント
宇部中庸熱セメント
(混合セメント)宇部ポゾランセメント
(セメント混和材Fly Ash)宇部ポゾラン
(軽量骨材)宇部パーライト

セメント／化学製品／機械／石炭

UBE　宇部興産

宇部・東京・大阪・名古屋・広島・福岡・高松・新潟

運　搬　機　械

エレベータ・コンベヤー
ホイスト・リフト・クレーン・エスカレータ

設計・製作・据付・修理

日本エレベータ工業K.K.

本　　社　大阪市大淀区天神橋筋六丁目　天六阪急ビル
　　電話　大阪（351）4927㈹・7071（ビル）
東京営業所　東京都台東区上野3丁目10番10号
　　電話　東京（832）5241㈹
名古屋営業所　名古屋市中区宮出町58　電話名古屋（24）8416
工　　場　大阪市東淀川区小松中通5丁目6番地12　電話（381）0363・4588

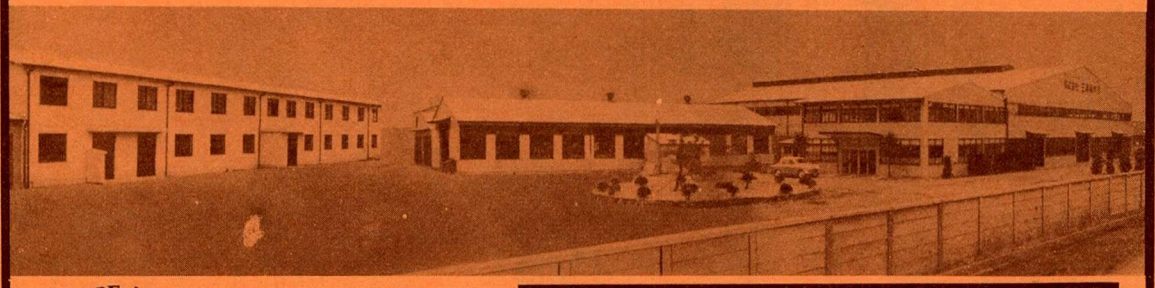
住江の　カーペット・モケット・カーテン

住江織物株式会社

大阪営業所　大阪市南区安堂寺橋通4—55
TEL（251）0081～8
支店・出張所　東京／名古屋／札幌／仙台
金沢／高松／広島／福岡

オートメーションでボンデー並びに完全焼付塗装に依る

錆びない●三高式
スチールサッシ・ドアー・シャッター
オペレーター・ドアーハンガー
ステン・アルミサッシ・ドアー



TRADE MARK
M.T.K.S

株式会社　三高製作所
本社工場　尼ヶ崎市神崎五反田280　電話　大阪（401）6158・6159
9463・7939　（491）3200

アルミニウム

ステンレス　　カーテンウオール

ブロンズ

東京カーテンオール工業株式会社

（旧社名東京鋼板工業株式会社

本社及工場　東京都荒川区尾久町５ノ１０００
電話（891）８１３１～８
大阪支店　大阪市北区富田町１８番地島根ビル
電話（361）９１５４～７
名古屋支店　名古屋市東区久屋町５の９（住商ビル）　2578～9
福岡出張所　福岡市橋口町15番地の1（サンビル3階）㉔８８２５

網入光り波型ガラス（スレート小波／スレート大波）　長サ965㍉　1,818㍉

ダイニチ・アーモライト　波板・平板

（硝子繊維強化ポリエステル板）各種波、寸法（長尺物有）

製造販売　**大日本硝子工業株式会社**

大阪支店　大阪市北区玉江町２ノ４（三菱倉庫ビル）　電話㊶1389・3389・3281
本　社　神奈川県相模原市小山字久保２２４　電㉜3101～4

建築基準法にフリーパスのガラス屋根

特許　内外式 電動ベンチレーター

屋上強制換気装置のパイオニヤ
ご信頼におこたえできる
行届いた設計施工

内外建材株式会社

大阪市西区土佐堀船町23（大阪商工ビル）ＴＥＬ(441)3983・4396
工場　大阪市城東区天王田町１の141　ＴＥＬ（962）1149

内外式スカイライト

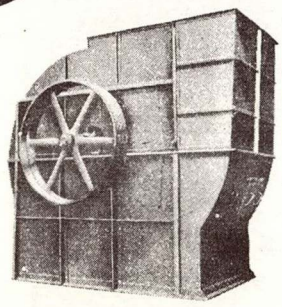
工場・プラットホーム・
体育館・アーケードに最適

内外式 連続採光換気装置
コンチニアスベンチレーター
筒型各種ベンチレーター
設計　施工

KANDAN

煖冷房温湿度調整

設計　施工



各種送排風機

設計　製作

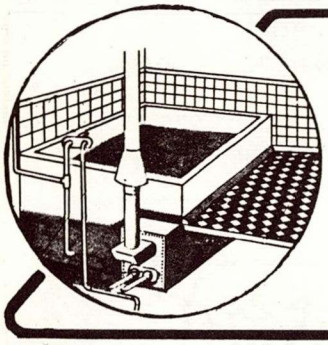
関西煖房工業株式会社

本社　大阪市住吉区万代東６丁目３番地
電話大阪（672）1281（大代表）～９
堺工場　堺市浜寺石津町中２丁目200番地
電話堺③７３０１（代表）～３
出張所　名古屋・福岡・徳島

鈴木式防火シヤタア

株式会社 **鈴木シヤタア商会**

大阪市北区茶屋町33　電話 (371) 4151～6
北陸営業所　金沢市長田町119　電話 ㉑ 2287



田中のガス風呂

ミリオンポリバス浴槽

各種銅鉄風呂釜一式
箱風呂・ボイラー・
ガス風呂・温水鑵

大阪ガス会社指定

田中風呂製作所

大阪市浪速区元町1丁目742　(641) 5313・8128

N.G.C.式

責任施工
アスファルト防水工事
セメント防水工事
アスファルトモルタル床舗装工事
耐酸アスファルト
モルタル工事

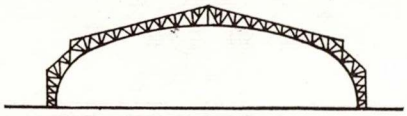
米国パブコ・コンパウンドアスファルト
米国バイヤライト・コンパウンドアスファルト
} 販売

内外工業株式会社

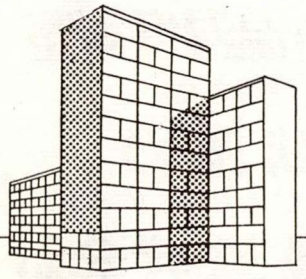
本社　大阪市阿倍野区旭町一ノ五一　電話 (641) 3434～6
工場　大阪市阿倍野区旭町二ノ六六

N.G.C.インシュライト断熱材製造発売元

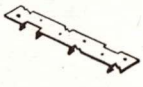
綜合建築設計への道

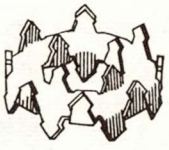


設計部　1．各種鉄骨・鉄筋コンクリート造
建築の設計監理
2．ダイヤモンドトラス・ジグザグ
トラス・平行トラス等
各種大張間鉄骨造の設計監理

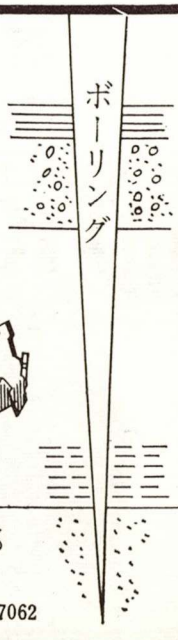


金物部　1．耐震耐風木材接合金具の製造販売
PAT. O式（織本式）ヂベル及クランプ
2．鉄筋の接手及末端定着金具
PAT. バコ及バスト





地質部　ボーリング・建築物基礎工事
の為の土質調査



株式会社 **織本建築事務所**　所長 織本道三郎
（旧織本建築設計々算事務所・織本特殊構造研究所・合体）
東京都中央区日本橋かきがら町3の2　電話 (671) 6443・7007・7062

簡　易　で　**生**　均　質　な

コンクリート

豊国生コンクリート㈱

電話（312）３６３７番
工場所在地（尼崎・守口）

大阪宇部コンクリート工業㈱

電話（271）6051～７番
工場所在地（福崎.吹田.桜島）

ツルガ生コンクリート工業㈱

電話（361）6235～７番
工場所在地（春日出）

大阪アサノコンクリート㈱

電話(312)0182.(313) 0881番
工場所在地（津守.淀川.魚崎.城東）

ノザワコンクリート㈱

電話（303）3101番
工場所在地（茨木）

三菱セメント㈱大阪支店

電話（361）1261番
工場所在地（尼崎.大阪.城東.阪南）

小野田レミコン㈱大阪支店

電話（361）1261番
工場所在地（尻無川.灘波島.茨木
京都.神戸）

住友セメント㈱大阪営業所

電話（202）0171～7番
工場所在地（春日出.堺.西宮.
神足）

大阪徳山生コンクリート㈱

電話（202）0531～９番
工場所在地（大阪港区）

八幡高炉コンクリート㈱

電話　堺（３）2323～５番
工場所在地（堺．千里山）

大阪生コンクリート㈱

電話（361）1231番
工場所在地（佃.千島.大東.向日町
神戸.和歌山.姫路）

関西生コンクリート協会

大阪市北区兎我野町６７－１
（梅田グリーンビル６階）
電話(312)8831(代表)3267(直通)

DON'T DRILL IT
DRIVE-IT
JAPAN DRIVE-IT CO.

建設用鋲打銃ドライブイットが
軽量鉄骨業界に贈る新工法！

ドライブリベット工法

(PATENT. PEND)

御手持ちのドライブイット（三三〇型及四四〇型）にドライブリベット用アタッチメントを取付けるだけで電気も、ドリルも、コンプレッサーも使はずに薄鋼板金属板に、瞬間に、強固に経済的にリベット打ちが出来る特殊リベット法が完成致しました。

ドライブイット・ドライブピン
ドライブリベッター・ドライブリベット



製造元
日本ドライブイット株式会社
東京・大阪・名古屋
大阪市北区絹笠町11　TEL 341－6444
361－8709

・優美な繊維の京壁材 →
新日本壁
・塗りつける織物壁材 →
錦上壁
・近代的な趣味の壁材 →
新いすゞかべ
繊維の色土 ……→

日本壁
←・繊維の床砂材……
パピロン壁
←・パルプの日本座敷壁材
いすゞかべ
←・吹付のできる京砂壁材
大和壁

SK
近代的上塗壁材
繊維塗料製品

製造発売元　株式会社 新興建材工業所　■全国有名建材店にございます
本社　大阪市西局区内四ツ橋　電話大阪(541) 5756～9
営業所　明石市西王子町1丁目39　電話　明石　5852
営業所　福岡市上牟田八田町26番地の1　電話　福岡(65)3245

内　装　資　材
専　門　店

建　材　の　室谷

室谷商事株式会社

本　社　神戸市生田区北長狭通４－１（英和ビル）
直通電話　神戸（33）0881～３
支　店　大阪市北区絹笠町50(堂ビル５階 502号室)
直通電話　大阪(312) 2031～４
倉　庫　神戸市葺合区八幡通１－５（電話㉒2923）

陸屋根防水には
特許 絶縁工法を

OKUYAMA-KAKOSYO WATER・PROOF OAM

カッパー防水帯
コーパータイト

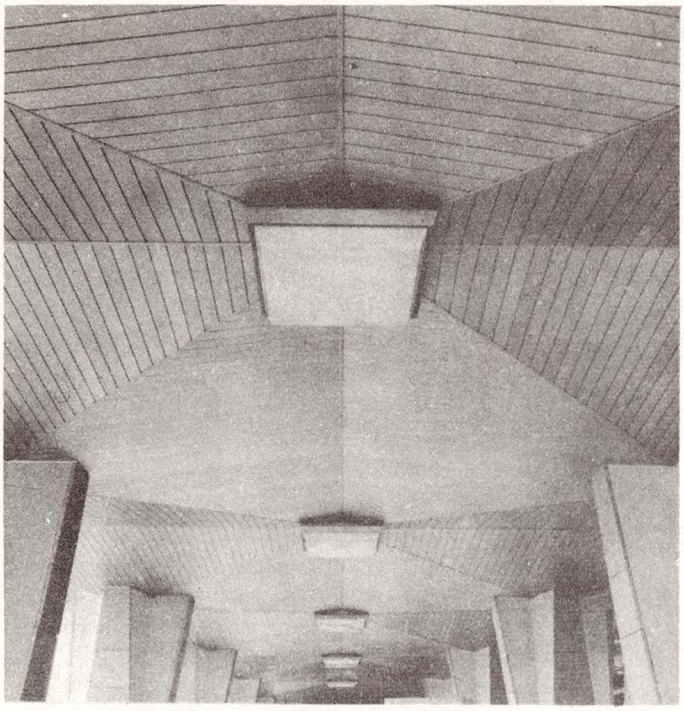
特許 奥山式熱工法・冷工法綜合防水層

奥山化工業株式會社

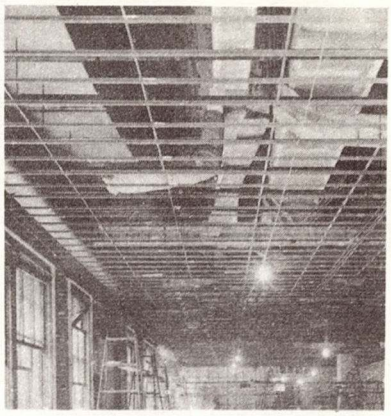
東京都中央区銀座西８の３　電話（571)2703～4・2370・4064・0264
名古屋出張所　名古屋市南区若草町３３　電話（81）３６６０

●御申越次第カタログ進呈

アルミニウム天井　　鉄鋼会館

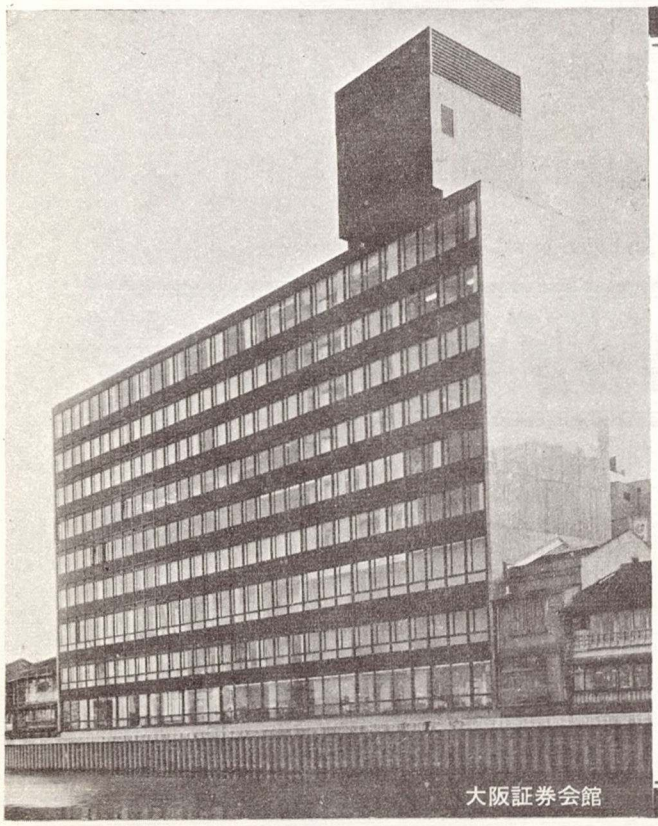


日進式ボード下地　　新阪急ビル



ボード下地や　アルミニウムの
仕事につきましては　何卒
奥村重兵衛商店に　ご照会下さい

大阪市北区木幡町60番地
K.K.奥村重兵衛商店
電話　大阪 ㊊ 4131(代)
福岡出張所 電話 福岡② 6460


大阪証券会館

モダンな
都市美を
創る……

ダイケンの
カーテンウォール
▶米国ヴァリーメタル社と技術提携◀

◆営業品目◆
アルミ
ステンレス　サッシ／ドア
スチール
防潮パネル
アルミレディーメード
サッシ／ドア

ダイケンサッシ株式会社
〈旧大阪建材工業株式会社〉

本社・工場	堺市松屋町1－6 TEL(38)1141
鳳工場	堺市平岡町48 TEL(7)1565～6
東京事務所	東京都千代田区平河町1－1 TEL(261)6641
名古屋営業所	名古屋市東区東新町4(イースタンビル)9439 11
福岡営業所	福岡市舞鶴2丁目1の24 TEL(74)5406
金沢営業所	金沢市下新町13 TEL(31)3427～8
長野代理店	長野市吉田東町1251 TEL(3)2729

日本建鉄の

PS型レデイメードサッシ

アルミサッシドア

日本建鉄株式会社

本　　社　東京都千代田区大手町2～8　TEL東京（201）0341（代）
大阪営業所　大阪市北区堂島上2～39　TEL大阪（361）6758（代）

日本建築協会優良證明

セメント増強防水剤

ウォータイトB号

CEMENT WATER-PROOF WOTAITO

株式会社 日本セメント防水剤製造所

本　　社　兵庫県宝塚市高台上の池北28－1　電話　宝塚（6）2153
大阪事務所　大阪市東区船越町2－31（船越ビル）　電話（941）2626（直通）
出張所電話　東京（431）8648・名古屋㉜1331
ウォータイト式防水工事代行店電話　大三工業高松②8697安藤工事　仙台㉓0721・札幌⑤7171　福岡③5765　豊永建材　広島⑥6371

仕様書型録贈呈

紫綬褒章に輝く

JIS合格モルタルコンクリート用

特許特マノール防水剤

責任・施工・請負

特許マノール急結剤　特許マノール接着剤

八幡メタルホームKK推奨品

株式会社 油脂化工社

本　　社　東京都品川区二葉町1－441　電話東京（781）1715
取締役社長　矢中龍次郎　大阪営業所　大阪市東成区西今里町2－48　電話（971）4765・0063

防火シヤッター

甲種
乙種

☆電動式
☆手動式
☆バランス
☆パイプ

株式會社 日本シヤッター製作所

本社工場　大阪市東淀川区田川通6丁目38番地
電話（大阪）（301）代3656～9番
工場　東京　福岡　支店営業所　名古屋　高松　岡山　高知
代行販売店　全国主要都市ニアリ

昭和二十四年三月十九日
第三種郵便物認可　昭和四十年一月二十日印刷
昭和四十年一月廿五日発行
（毎月廿五日発行）

総てのビルに住宅に法定不燃建材を

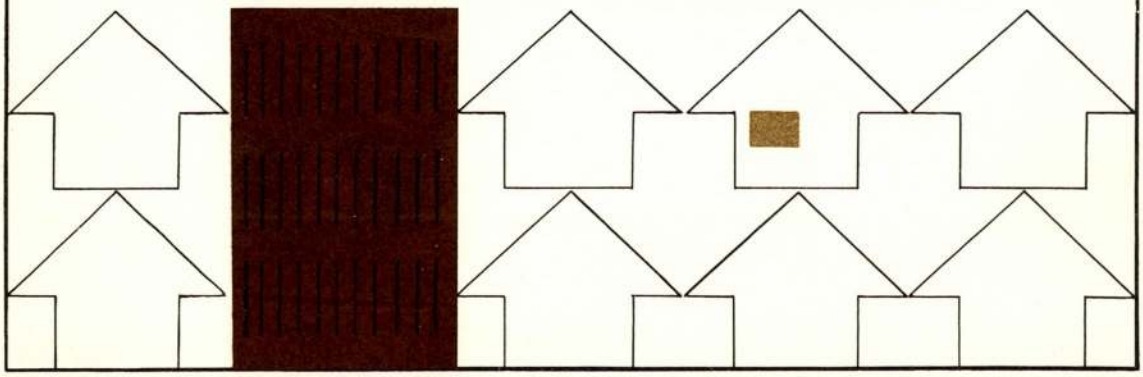
朝日フレキシブルボード
姉妹品　朝日カラーボード

朝日スレート
大浪7.5山・小浪

吹付石綿 朝日プロベスト

通産省認定 不燃 NO.3012

ASK
朝日石綿工業株式会社
大阪営業所　大阪市北区神山町四六 電話大阪(312)8521代表
本　社　東京銀座七
営業所　東京、横浜、名古屋、岡山、新居浜、門司、札幌
工　場　東京、横浜、山梨、名古屋、大阪、岡山、門司、宮城



三星の床材
ソフトンタイル

株式会社 木下謹三商店
大阪市西区江戸堀南通5ノ35
電話(441) 5408・5486(443) 2700

株式会社 久保商店
大阪市北区真砂町5
電話(341) 0207～8・4836～7

三友工業株式会社大阪支店
大阪市西区南堀江大通1の19 電話(541) 6161～4

合名会社 利倉幸商店
大阪市南区長堀橋筋2ノ20(道頓堀電停前)
電話(211) 6923・0575
京都営業所 京都市中京区河原町夷川下ル (23) 3277・3279

和泉産業株式会社
大阪市南区日本橋筋2ノ36
電話(632) 0121～4

石井建材有限会社
神戸市兵庫区荒田町1
電話⑤ 2697・2140・9151

株式会社 タテバヤシ商店
京都市下京区大宮通四条下ル
電話(81) 0871～2

岡田建材株式会社
名古屋市西区桜木町3－8
電話(57) 7461～3・8589

株式会社 名建商会
名古屋市中区宮出町41ノ2
電話(24) 1329・2106・2817

日東物産株式会社
本　社・名古屋市中区東瓦町39 電話(24)6176～9
岐阜出張所・岐阜市竹屋町27 電話③2201・2360

青盛建材株式会社
本社・広島市鉄砲町108 電話(21)2281～7
岡山・岡山市東田町3 電話(3)8285～7
福岡・福岡市万行寺前町14 電話② 5566～8

関西三星タイル会員

売価　一部　金百八十円（送料共）

ご入会のお申込は……
「建築と社会」発行所　社団法人 日本建築協会 大阪市東区北浜3－37　電話大阪(231)9648・9649・9640
振替口座大阪39975番